

圖164 第1号盛土遺構 IVa段階出土剥片石器(3)

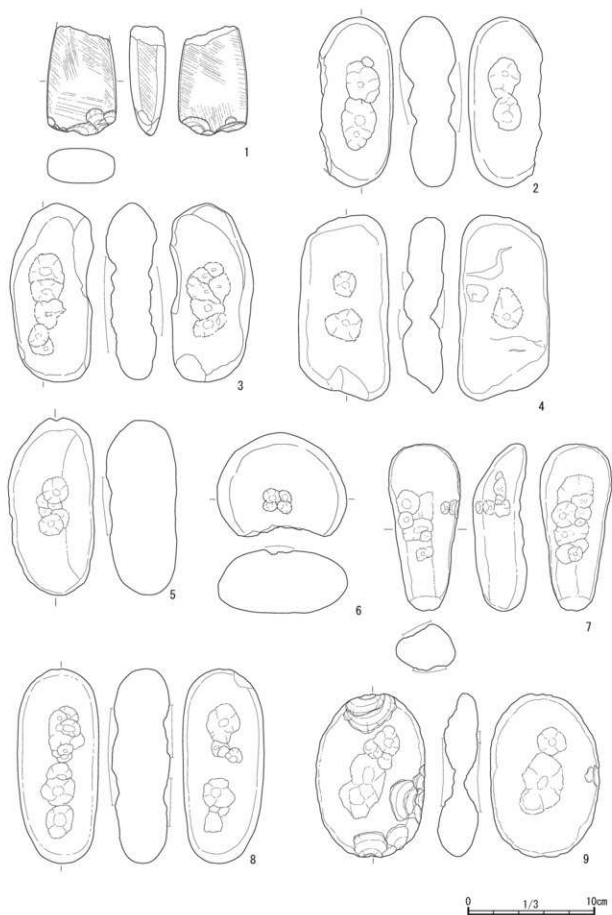


圖165 第1号盛土遺構 IVa段階出土礫石器(1)

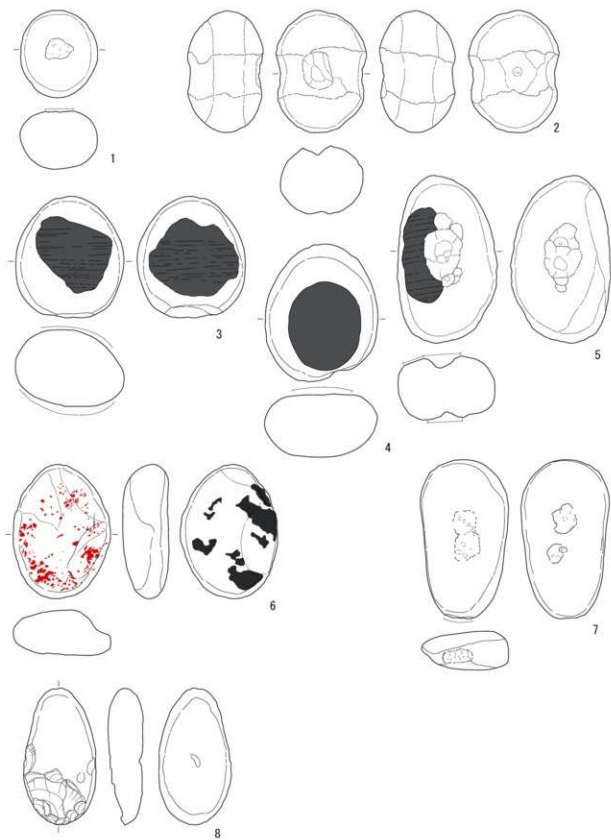


圖166 第1号盛土遺構 IVa段階出土礫石器(2)

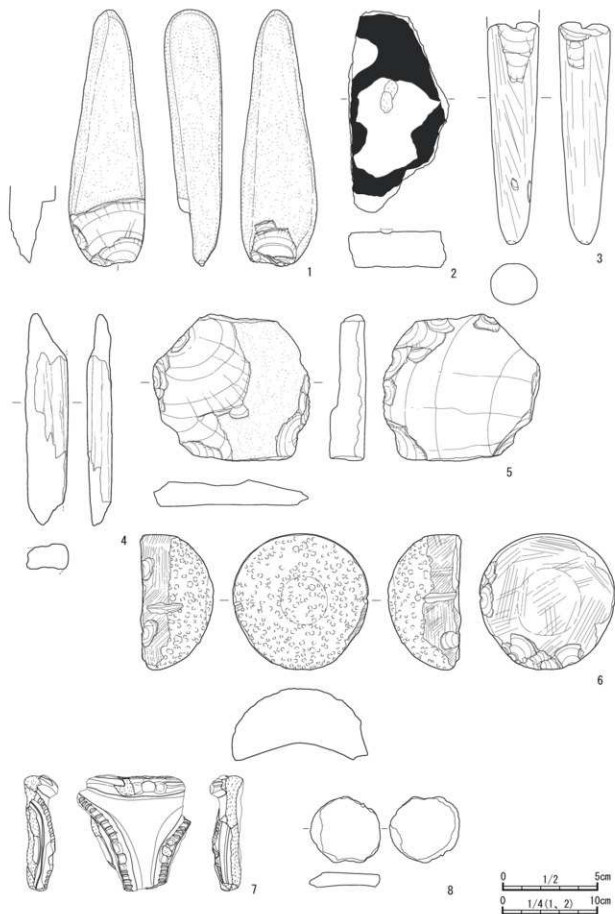


図167 第1号盛土遺構 IVa段階出土礫石器(3)・土石製品

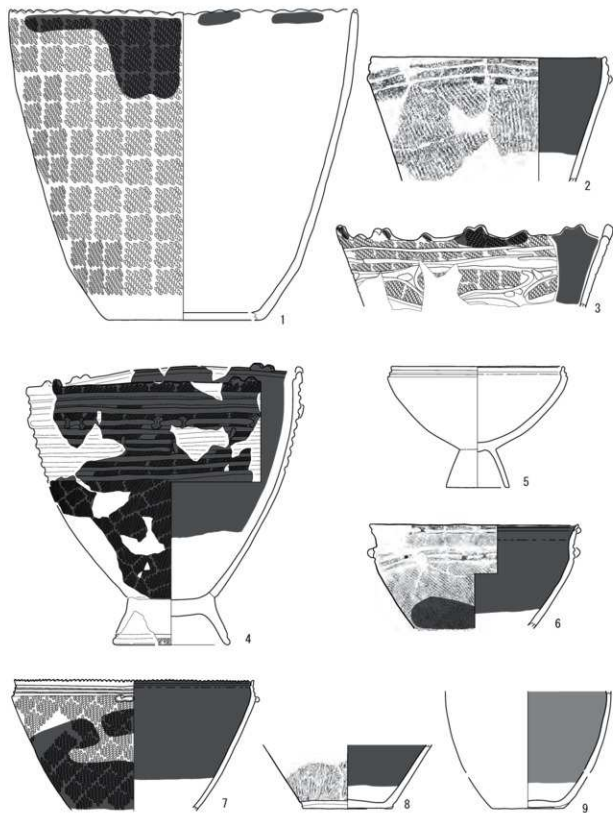


図168 第1号盛土遺構 IVb段階出土土器(1)

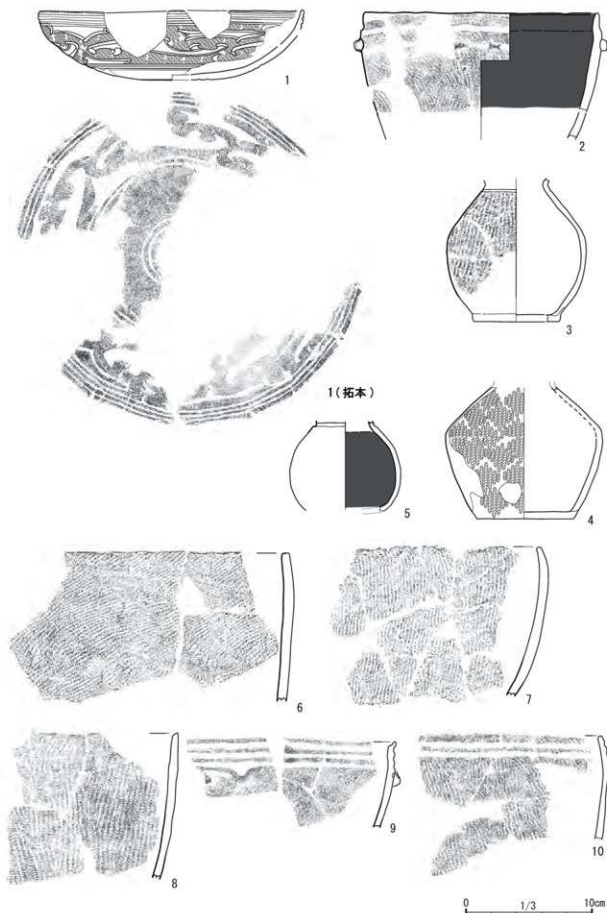


図169 第1号盛土遺構 IVb段階出土土器(2)

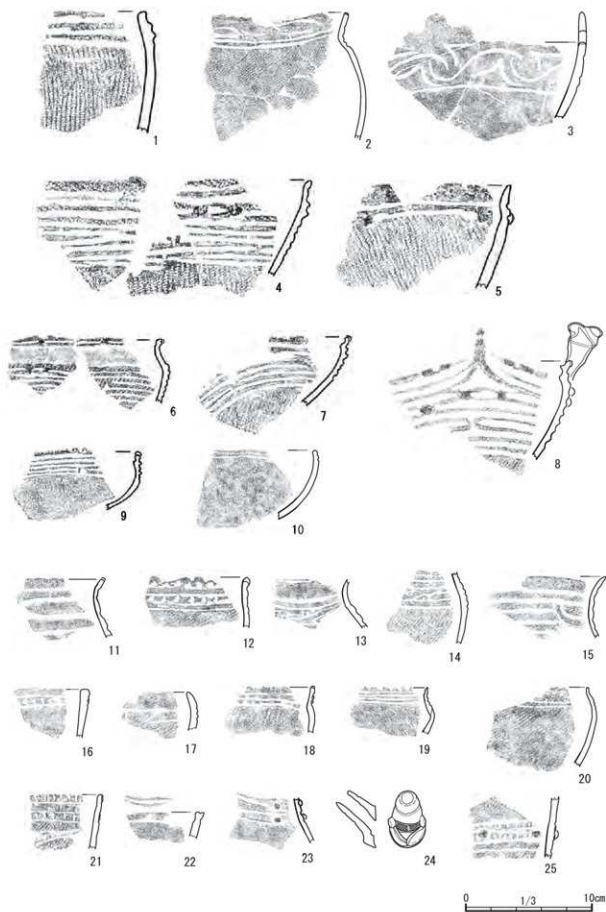


图170 第1号盛土遺構 IVb段階出土土器(3)

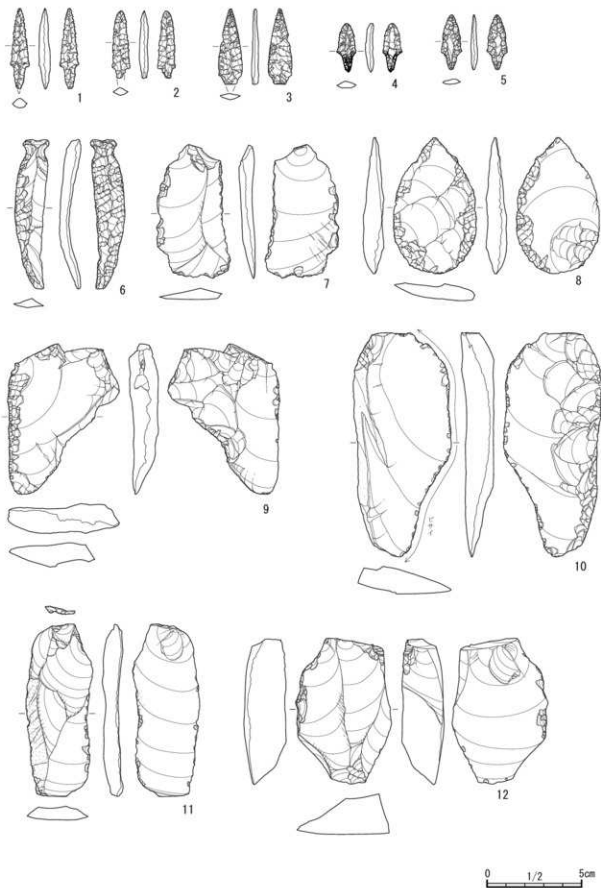


图171 第1号盛土遺構 IVb段階出土土利片石器(1)

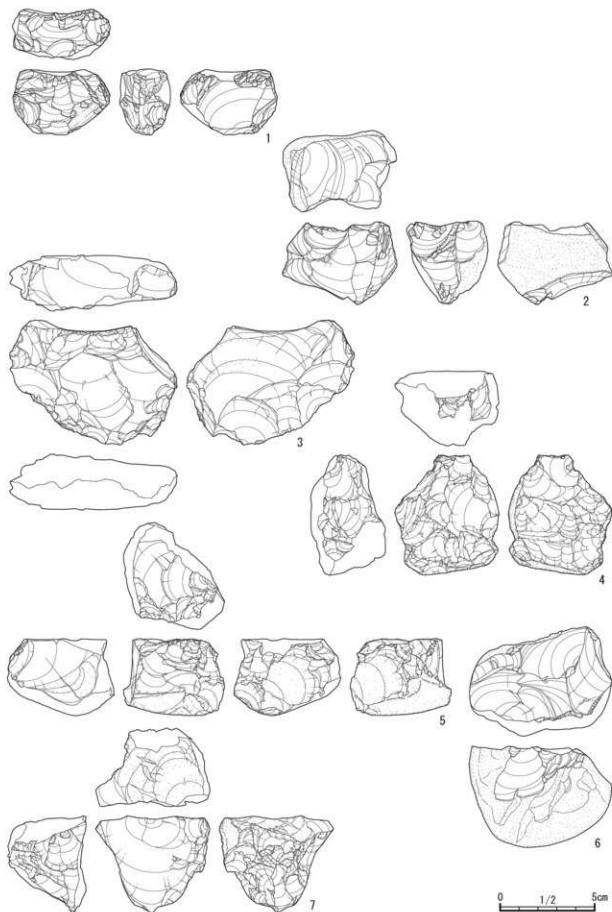


図172 第1号盛土遺構 IVb段階出土剥片石器(2)

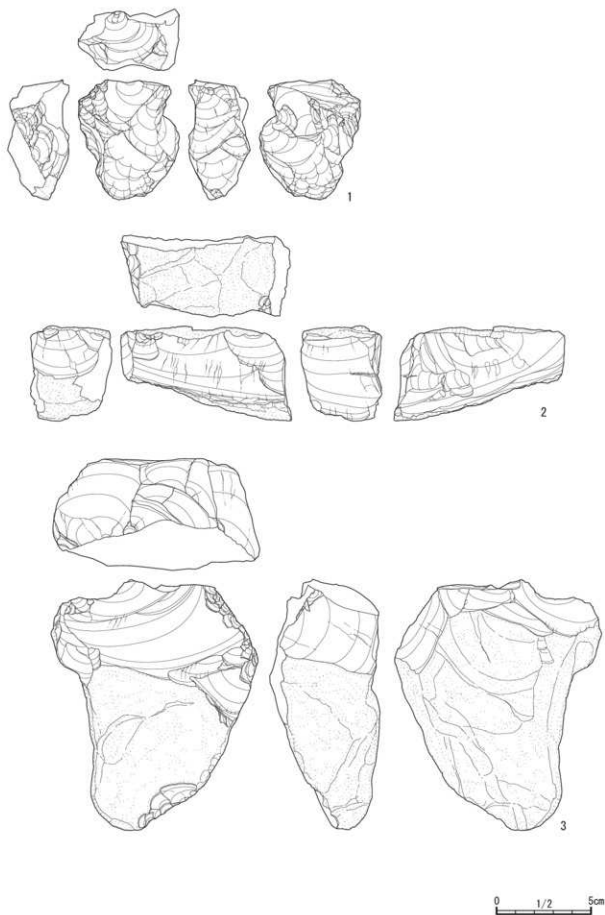


図173 第1号盛土遺構 IVb段階出土剥片石器(3)

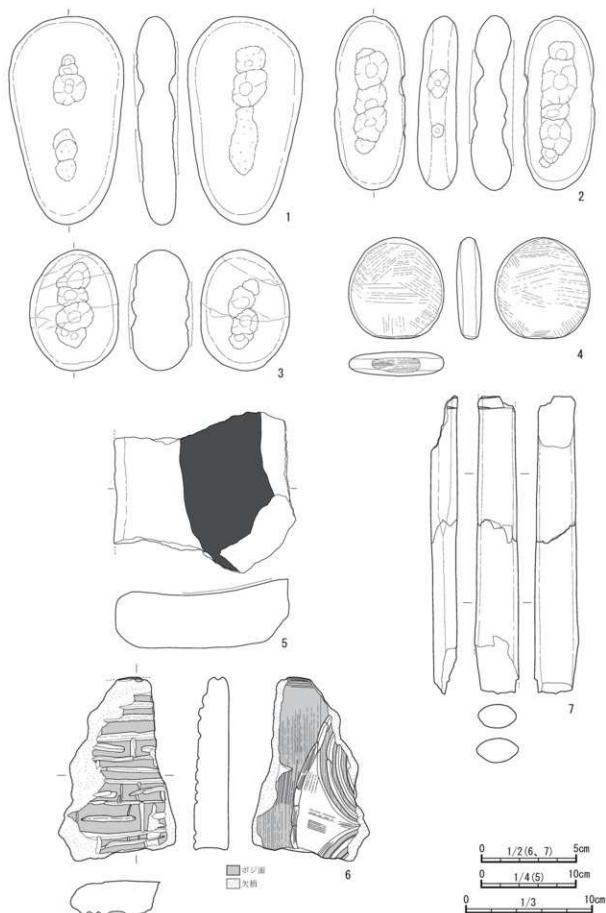


图174 第1号盛土遺構 IVb段階出土礫石器・石製品

(5) V段階 盛土遺構第I層出土遺物

第1号盛土遺構の上面を覆う第I層出土資料を掲載している。遺構外の第I層とは連続的であるので、表10に出土した土器をグリッド別に掲載した。

表10 V段階・第I層出土土器のグリッド別重量(g)

グリッド	25	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	総計
V0	424.5											424.5
VN	869.1	13.9	173.3									1,056.3
VM	9.2	238.1	772.3	788.0	27.7	1,011.3	68.8					2,915.4
VL		7.4	74.7	662.0	1,779.9	748.2	1,818.2	1,836.2				6,926.6
VK				759.3	1,664.5	2,008.4	804.8	972.5	1,301.7			7,511.2
VJ					330.1	11.5	2,985.5	2,698.8	12,960.8	6,497.1	4,423.0	29,906.8
VI						2,914.1	1,315.0	6,898.2	20,373.9	6,899.7	4,475.5	42,876.4
VH							1,606.5	7,200.1	8,357.7	2,687.2	287.0	20,138.5
VG						309.0	2,058.0	3,064.1	7,510.2	2,718.0	66.7	15,726.0
VF							123.6	1,825.9	2,537.2	128.2	59.6	4,674.5
総計	1,302.8	259.4	1,020.3	2,209.3	3,802.2	7,002.5	10,780.4	24,495.8	53,041.5	18,900.2	9,311.8	132,156.2

複数のグリッドにまたがるものも有る。

【土器】

深鉢形土器、台付鉢形土器などが出土している。

図175-1は深鉢形土器であり、口縁が欠損している。LR縄文の横走縄文が施文されている。内外面に炭化物が付着している。高台を持つ形態である。図175-2は深鉢形土器の底部であり、内面に炭化物が付着している。図175-3は深鉢形土器の断片で、縦方向の条痕文が施文されている。図175-4は台付浅鉢形土器である。口唇部に刺突列、口縁部にも刺突列と、B突起が貼り付けてある。台部は欠損している。図175-5は台付鉢形土器である。入組文を簡略化したような沈線文が施文され、沈線文の屈曲点に斜めに刺突文を入れている。図175-6は台部である。透かし窓を持ち、沈線文と突起が見られる。図175-7は3条沈線を持ち、8は工字文、9は羊歯状文を持つ鉢形土器である。

【石器】

この層から石鏃、石錐、石筥、石匙、削器、異形石器、石核、剥片、礫石器、石皿などが出土している。

図176-1から10は石鏃である。大半は有茎鏃である。図176-11から13は石錐である。図176-14は石筥であり、基部が欠損している。図176-15から21は石匙であり、すべて横形である。刃部は両面加工が多い。図176-22は削器、23は微細剥片である。

図177は石核である。

図178-1は磨製石斧である。刃部が欠損している。石材は頁岩製である。図178-2から4は凹石である。図178-2は正面に沈線状の痕跡が認められる。図178-5は敲石であり、球形に近い素材の下側に敲痕が見られる。図178-6は凹石と磨石の複合であり、裏面に磨面が見られる。素材礫長軸に直交する方向に擦痕が見られる。

【石製品】

石棒が2点出土している(図178-7・8)。

(6) 時期不明 第1号盛土遺構出土遺物

ⅡからⅤ段階のどの段階かを特定できない資料である。

【土器】

深鉢形土器、台付鉢形土器などが出土している。

図179-1は深鉢形土器であり、口縁部に対し底部が小さい形状である。底部は欠損している。図179-2は深鉢形土器であり、口唇部に刻み、口縁部に3条沈線が巡る。RL縦走縄文が施文されている。図180-1は深鉢形土器であり、B突起と口縁部に3条沈線が巡る。口縁部外面と内面に炭化物が付着している。図180-2は鉢形土器である。山形突起と二又突起を持ち、二又突起間に刻みを持つ。山形突起の形状に沿って沈線が一条口唇部に見られる。底部付近にも1条沈線が巡る。LR縄文が施文されている。図180-3は深鉢形土器であり、底部が欠損している。RL縦走縄文が施文されている。口縁部の内外面に炭化物が付着している。図180-4は聖山Ⅰ式の鉢形土器であり、口縁部に2種類のB突起が見られる。胴部には連繫入組文がみられ、RL縄文が施文されている。図180-5は壺形土器の底部断片と推定され、底部外面中央が円形にくぼんでいる。内外面にミガキを施している。土器片(図180-6~10)は深鉢形土器、羊歯状文や入組文を持つ鉢形土器の口縁部、無文の浅鉢形土器の口縁部などがある。

図181-1は大形の皿形土器である。晩期4期と思われ、入組状の区画文と、充填文が見られる。磨消縄文であり、LR縄文が見られる。この土器はグリッドVI-34・35、VJ-35の第Ⅰ・16・18・22・28層にまたがって出土している。

【石器】

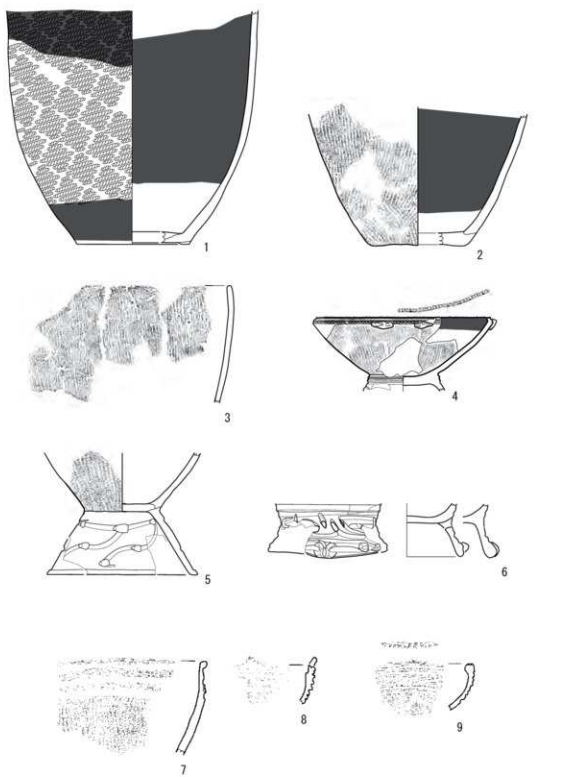
この層から石鏃、石錐、石篋、石匙、削器、石核、剥片、磨製石斧、礫石器などが出土している。

有茎鏃(図182-1~7・10)が主体的である。図182-8と9は黒曜石製で基部が欠損している。この2点の黒曜石は原産地分析を行っており、その成果は平成28年度刊行の報告書で掲載する予定である。石錐は小形・大形がある(図182-11・12)。石匙は横形が大半であり(図182-13~15)、縦形は摘み部のみの加工で、器体には加工はみられない(図182-17・18)。他に削器(図182-16・19・20)や敵石(図182-21)がある。磨製石斧は砂岩製で、刃部断片資料である(図182-23)。

【石製品】

大形の石製円盤には表面にアスファルトと思われる黒色付着物が見られる(図182-22)。

(高橋)



0 1/3 10cm

図175 第1号盛土遺構 V段階出土土器

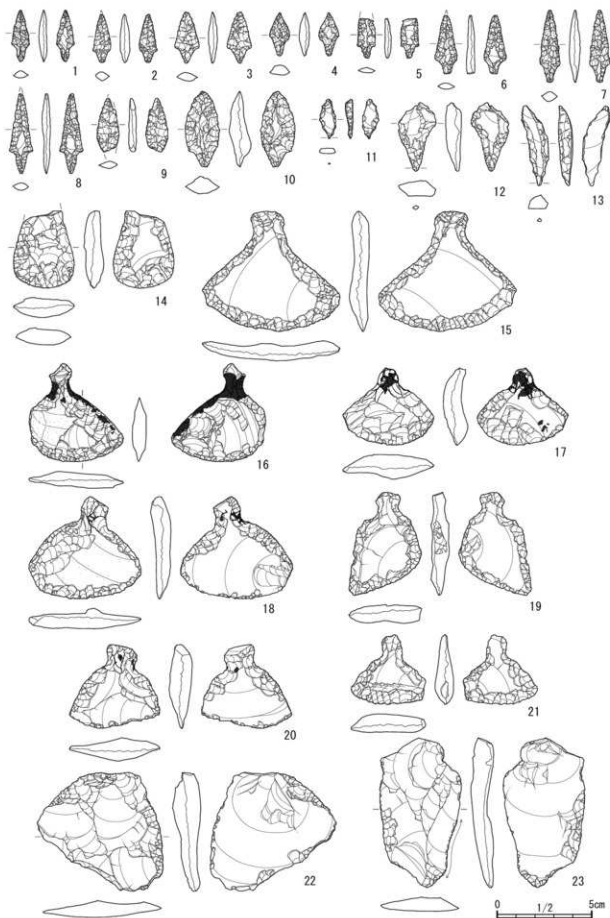


图176 第1号盛土遺構 V段階出土剥片石器(1)

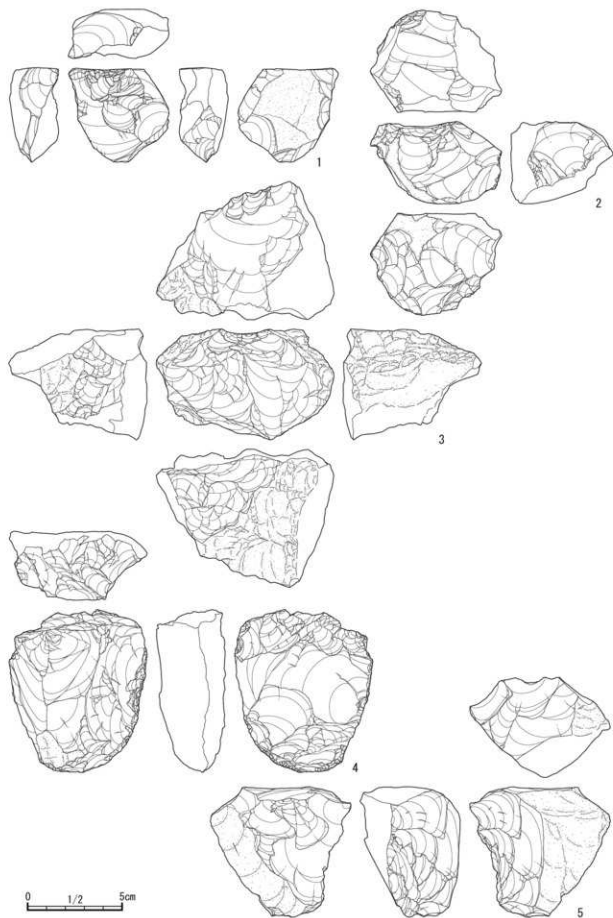


図177 第1号盛土遺構 V段階出土剥片石器(2)

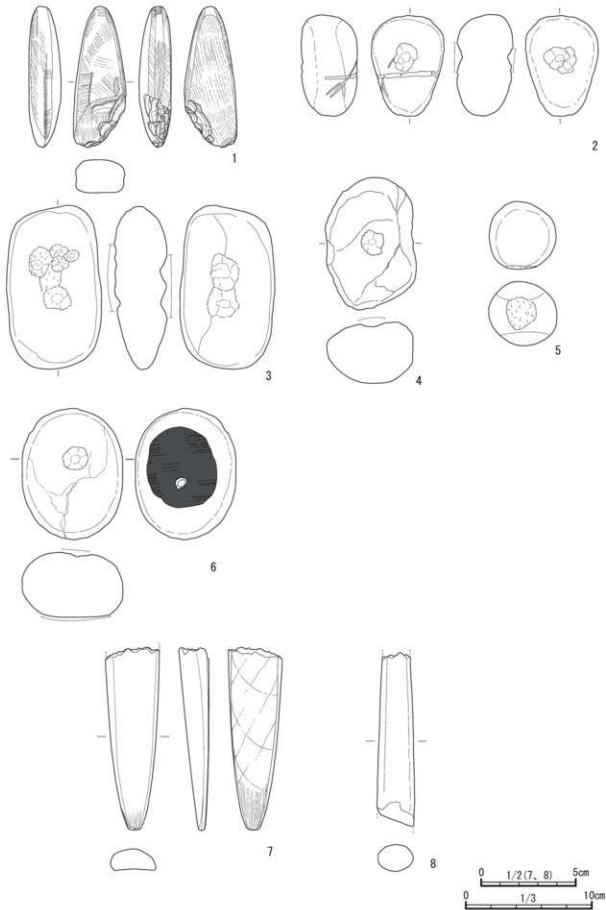


図178 第1号盛土遺構 V段階出土礫石器・石製品

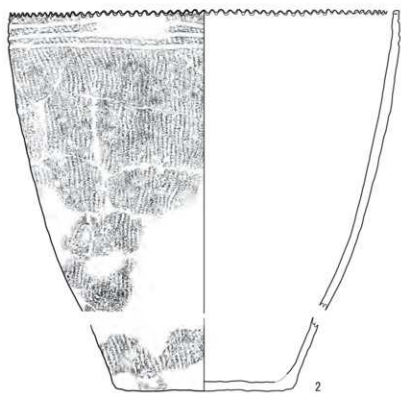
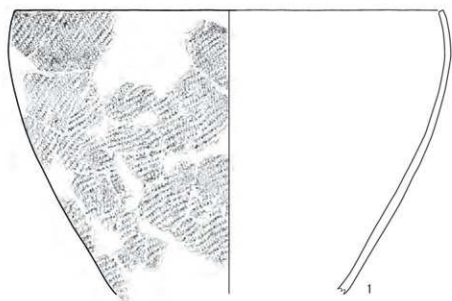


図179 第1号盛土遺構 時期不明土器(1)

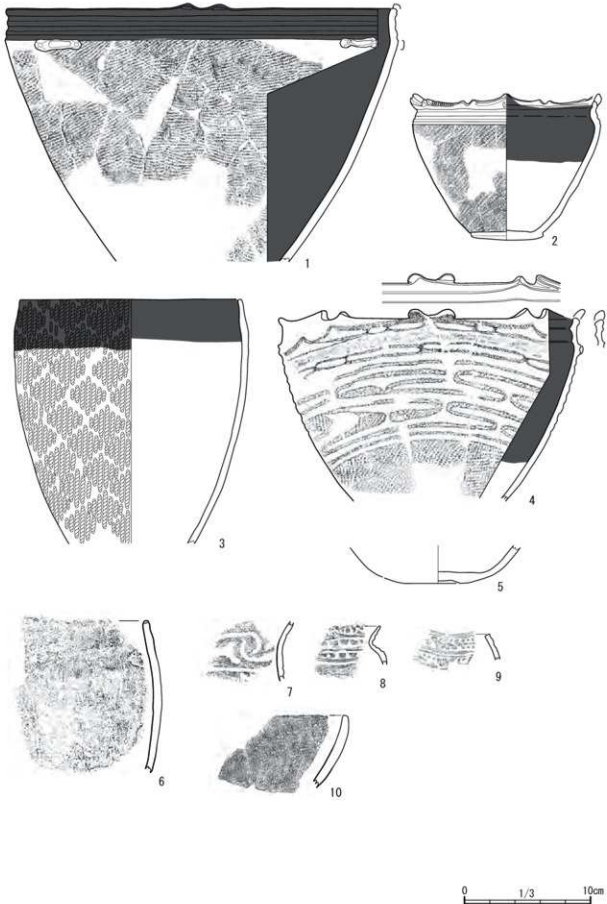


图180 第1号盛土遺構 時期不明土器(2)

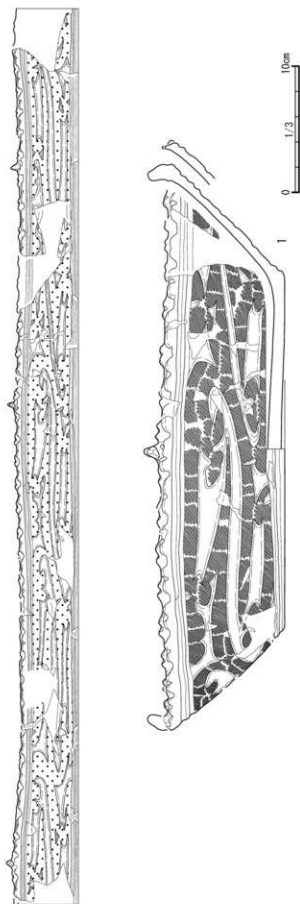


図181 第1号盛土遺構 時期不明土器(3)

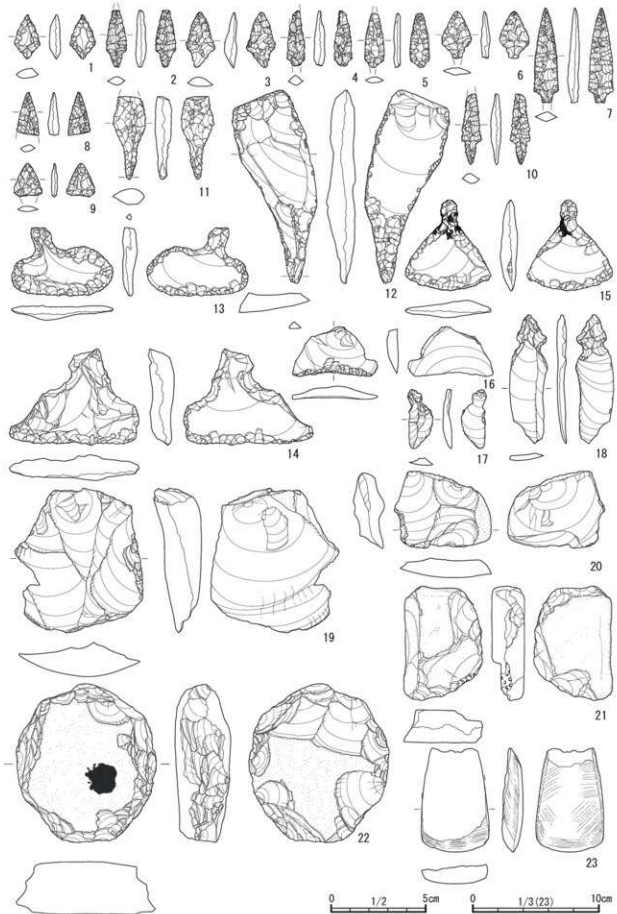


圖182 時期不明石器・石製品

第3節 遺構外出土遺物

第1号盛土遺構の範囲外から出土した遺物である。

1 第Ⅰ層

【土器】

土器は個体に復元できるような資料はなかった。各時期の土器が混在している。

【土製品】

図183-1は刺突文土偶の下半身部である。沈線でパンツ状の部分を表現し、刺突文が見られる。股間部には短い沈線が縦に1条見られる。特徴から晩期後半期の土偶である。

第1号盛土遺構第1層出土の土器も復元できた個体の多くは晩期後半期に属するものが多い。晩期前半期は破片資料が多いので、おおむね晩期後半期の時期に形成された堆積層と推定される。

図183-2は無孔の土製円盤である。図183-12は棒状であり。先端に刺突がある。

【石器】

この層から石鏃、石錐、石筥、石匙、削器、石核、剥片、礫石器などが出土している。

図183-3・4は有茎鏃である。図183-5は大形石錐である。図183-6から9は縦形・横形石匙である。図183-10は削器である。11は大形の二次加工剥片であり、打面側から両辺にかけて加工が見られる。図184-1・2は石核である。

図184-3・5は凹石である。図184-4は磨石であり、表裏・両側面に磨面が形成されている。図184-6は表裏の扁平な面に凹み、下端には刺突と敲打による潰れが見られる。

【石製品】

図184-7・8は石製円盤である。

2 第Ⅲ層

【土器】

晩期前半期の資料が多く、おそらく第1号盛土遺構下部のⅡa段階に相当する層と推定される。

図185-1は入組文をもつ装飾深鉢形土器であり、図88-8(第2層)と同一個体である。図185-2は入組文を持つ鉢形土器である。図185-3・4は羊歯状文を持つ鉢形土器である。図185-5は、羊歯状文を持つ壺形土器である。図185-6・9・10は雲形文を持つ浅鉢形土器である。図185-7は条痕文をもつ胴部片である。図185-8は高台を持つ鉢形土器の底部資料である。

【石器】

この層から石鏃、石錐、石筥、石匙、削器、石核、剥片、礫石器などが出土している。

図186-1から3は有茎鏃である。図186-4は凹基鏃である。図186-5・6・8は縦形・横形石匙である。図186-9は石錐、図186-10から12は削器である。図186-7は珪質頁岩製の敲石である。

図186-13・16は凹石である。13は側面に敲痕を持つ。図186-15は磨石である。図186-14は敲石であり、下端に敲痕が見られる。図186-17の石皿は扁平礫に平滑な磨面が見られる。図187-2の大形石皿は、2つの破片が接合した。右側の破片は、調査区の北東隅の地点で、第Ⅲ層の落ち込み状の部分に横倒しの状態で出土している。接合したもう片方(左側)は、西捨て場から出土した。

【石製品】

図187-1は大形礫の扁平な面の上端に凹みが見られる。敲打整形と思われる。図187-3から7は石製円盤である。図187-9・10は有文・無文の石棒である。図187-8は玉材と思われる。

(高橋)

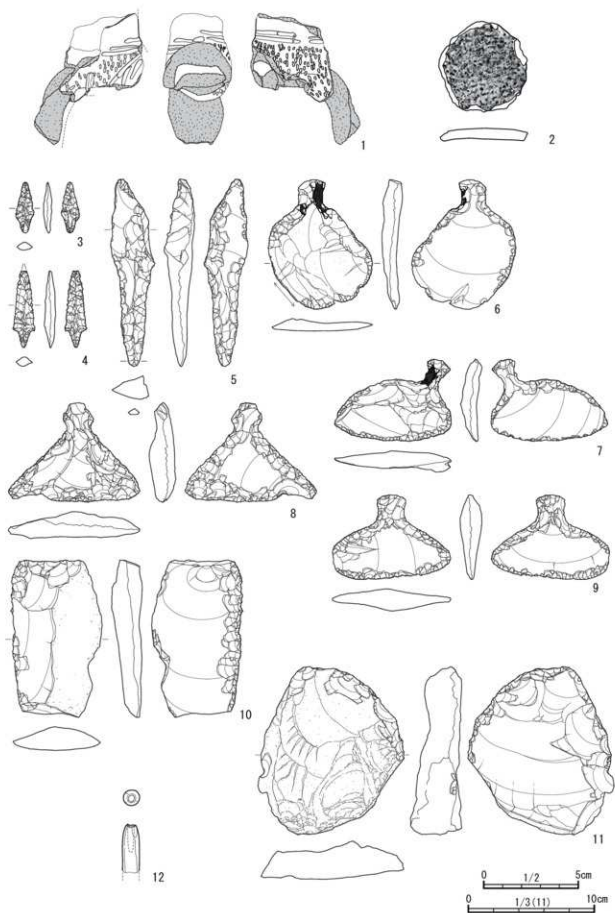


図183 第I層出土土製品・剥片石器



図184 第1層出土石器

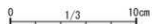
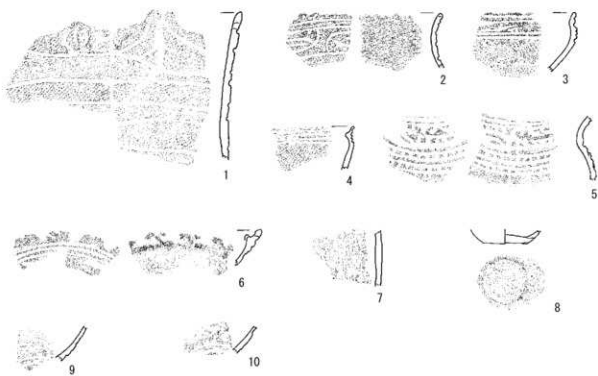


图185 第三層出土土器

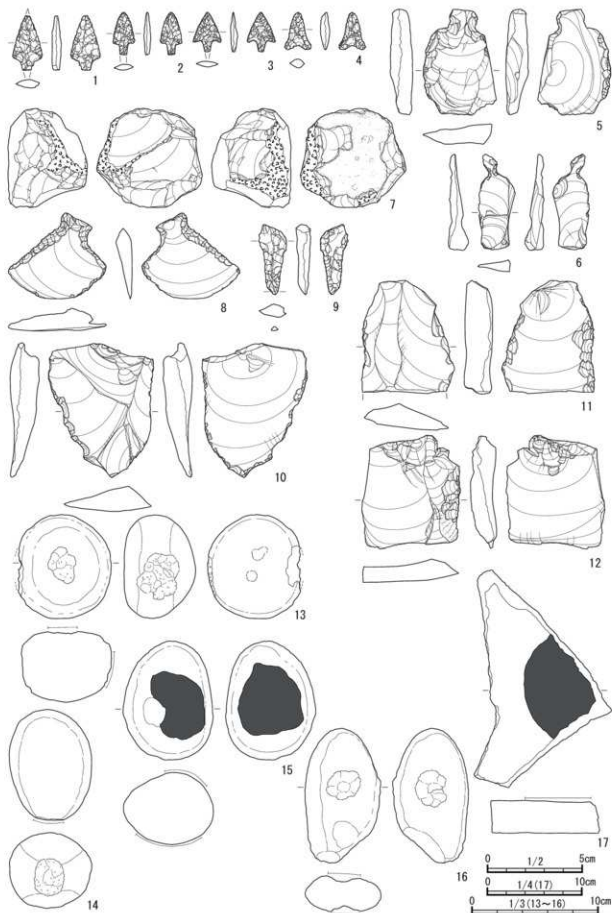


圖186 第Ⅲ層出土剝片石器

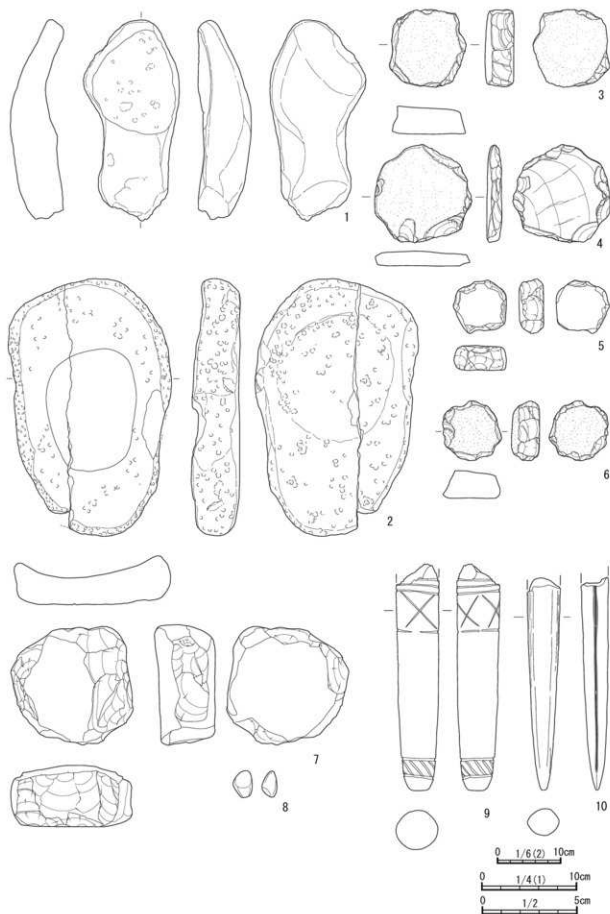


図187 第三層出土礫石器・石製品

第5章 総括

第1節 遺構の変遷

川原平(1)遺跡の本報告範囲において、多数の遺構を検出した。これら遺構について、第4章第2節(5)で設定したⅠからⅤ段階に分けてその内容を記載する(図188)。なお、この「段階」は、第1号盛土遺構の変遷を順序立てて説明するためのものであり、遺跡全体の変遷を示すものではないことをあらかじめお断りする。

Ⅰ 各段階における遺構について

(1) Ⅰ段階(縄文時代中期後半)

Ⅰ段階の中期遺構は、建物跡(竪穴住居跡)5棟、土坑20基が検出された。

立地は北西隅の岬状の先端部にあり、南北は急な斜面で囲まれている。中期遺構の東限・南限は第13号建物跡である。

川原平(1)遺跡の地山層は礫層の地点が広い範囲で認められるが、中期遺構はこうした礫層をさけて、シルト質の地山に構築されている。第13号建物跡のある地点よりも南側の地山は礫層であり、晩期の柱穴群が分布している。そのため晩期の建物跡とは異なる立地を意図的に選んでいたものと思われる。

竪穴住居跡や土坑の上面には晩期の遺物を包含する黒色の覆土で覆われており、晩期にはこれらの遺構は埋まりきっておらず、窪地であったと思われる。

(2) Ⅱ段階(縄文時代後期後葉から晩期前半)

この段階では、シルト質の地山部分に配石遺構、土器埋設遺構、土坑、焼土遺構、ピットなどが検出された(Ⅱa段階)。出土遺物から後期後葉から晩期前半にかけて形成されたと考えられる。配石遺構については後で詳述することとし、それ以外の遺構について述べる。

晩期遺構の内、土器埋設遺構について、土器はおおむね正位の状態で見られる。器種は深鉢形土器が大半であり、一部壺形土器が含まれる。数点横倒し状態の埋設土器があり、この場合鉢形土器が埋設されている。

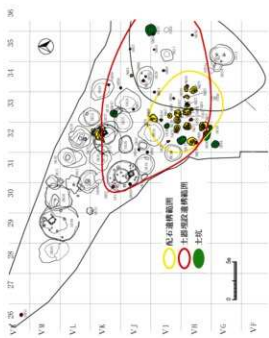
ピットも多数確認されたが、地山礫層地区で確認できた柱穴と比較し小形である。確認できた掘り込み面と出土遺物から、大半はこの段階に構築された遺構と考えられるが、組み合わせなど明確には捉えることはできず、その性格は不明である。

土坑の中で、第22号土坑は、比較的大形の晩期土坑である。土器・石器の出土量もかなりある。秋田県向塚田D遺跡において、特殊な土坑との記載があるが、この土坑も類似した性格の可能性がある。

配石遺構の所で改めて詳述するが、Ⅱ段階におけるこの地区は、配石遺構・土坑・土器埋設遺構が集中して検出されているので、後期後葉から晩期前半の墓域として機能していたと考えられる。

(3) Ⅲ段階(縄文時代晩期後半)

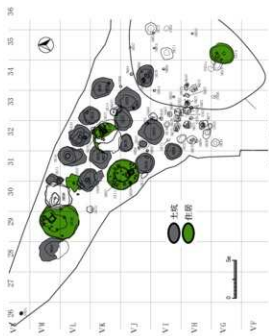
この段階で、第1号盛土遺構が形成され始める。出土土器から遅くとも晩期4期には構築が始まっ



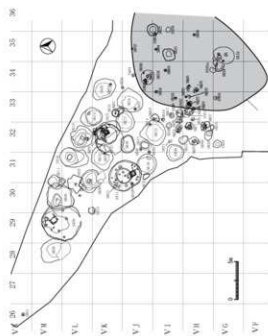
第1号坑土遺構の範囲
Ⅱ 段落(縄文時代前期前半)



第1号坑土遺構の範囲
Ⅳ 段落(縄文時代前期後半)



第1号坑土遺構の範囲
Ⅰ 段落(縄文時代中期後半)



第1号坑土遺構の範囲
Ⅲ 段落(縄文時代中期後半)

図188 遺構の変遷

たと考えられる。これ以外の遺構は見られなくなるので、この段階で、この地点は墓域としての機能を失い、集落内における場の使い方の一部が変化すると考えられる。また、Ⅲa段階では完形に近い個体の土器が出土しており、堆積層は第1号盛土遺構の中央部、東から西側にかけて形成されている。

(4) Ⅳ段階（縄文時代晩期後半）

この段階では、Ⅲ段階と異なり、堆積層の形成は第1号盛土遺構の南側である。堆積層も第1号盛土遺構の中央部から南西方向に向かって形成されている。包含する土器が後期後葉から晩期前半の土器を含んでおり、Ⅲ段階とは堆積層の形成や出土土器などが明らかに異なる。

北捨て場への廃棄も行われている（Ⅳb段階）。

第21号土坑なども確認されており、何らかの活動が行われていたと思われる。

堆積層の形成方向や出土遺物などから、第1号盛土遺構を形成するⅢ段階とⅣ段階の間に断絶があったと思われる。

(5) Ⅴ段階（縄文時代晩期後半）

第1層が形成する段階である。近現代の遺物も含まれているが、かなりの縄文時代晩期の遺物が含まれている。晩期5期の遺物が大半である。晩期6期に相当する資料は出土していない。

以上を要約すると、中期遺構はシルト質の地山に形成され、礎基盤の地山には形成されていない。一方で礎基盤の地山には多量の柱穴が確認されている（次年度報告書で詳述）。このシルト質地山地点であるこの地点では、Ⅱ段階で配石遺構や土器埋設遺構、土坑が形成されており、川原平（1）遺跡の平場の北西隅は晩期前半期の墓域として機能していたことが窺える。晩期後半期のⅢ段階・Ⅳ段階には北捨て場を含め、盛土遺構などの土砂の廃棄場としての場所になり、墓域の機能は消失し、墓域は別の地点に移動したものと考えられる。Ⅴ段階以降の人間活動は認められず、晩期後半以降はこの地点での人間活動は終了したと思われる。

（高橋）

2 各遺構について

(1) 中期遺構について

1) 遺構群の配置

本報告書の掲載対象範囲である遺跡北西部は、北側が岩木川、西側は大沢川に面し、台地が半島状に突出した部分とその基部である。縄文時代中期では中葉の円筒上層e式期の堅穴住居跡が1棟、中期後葉から末葉の堅穴住居跡が3棟出土した。他に中期後葉以降の可能性のある住居跡が1棟ある。出土遺物や遺構確認面などから中期後半と考えられる土坑群は台地が半島状に突出した部分に分布する。土坑は群をなし長軸が約2～4m、深さは約数十cm以上（深いものでは1.5m以上）の大形のものも多く、断面形は逆台形のものが多い。やや小形のフラスコ状の土坑を1基含んでいる。時期がわかるものでは、円筒上層e式期と榎林式期のものがある。しかし時期の詳細が不明な土坑が多い。

遺構配置図を見ると東側の晩期の第1号盛土遺構の下には第13号建物跡と第28号土坑が位置するが、東に向かって遺構が減少していく状況がみとれる。平成27年度の調査では、第1号盛土遺構の

さらに東を調査したが、中期遺構は確認できなかった。なお、晩期遺構の集中する遺跡中央部分では、遺構構築等により欠失したものがある可能性も残る。しかし現場段階の所見では、晩期に土の廃棄が確認できる北捨て場や北東捨て場でも中期遺物の出土量は少なかつた。また、表土直下が礫層となり、深さのある土坑が構築しづらい場所である。そのため遺跡全体でも、遺跡北西部に集中的に中期遺構が構築されたと思われる。

以上から、本調査区で中期遺構についての全体像を考察できるため、変遷、周辺遺跡の状況を含めて総括したい。

2) 遺構変遷

まず、時期毎の遺構分布を述べる。

円筒上層e式期の堅穴住居跡である第13号建物跡が、東南端に位置する。同時期に第45号土坑があり、約20m離れている。

第7号建物跡は中期後半の土器埋設炉を持つ住居跡であるが、保存状況が悪く詳細時期が不明である。遺構の重複関係や炉型式から、榎林式期以降の可能性がある。

榎林式期の土坑では第18・20・29号土坑がある。この時期の堅穴住居跡として第9号建物跡がある。

中期末の大木10式併行期では堅穴住居跡が2棟出土した。第11号建物跡、第12号建物跡は、中期の土坑が真下に位置する。埋まりきらない土坑を平面的に広げ、住居として活用したものと考えられる。第9号建物跡では同様の可能性は低いものの、①貼床が掘削必要範囲である炉跡周辺よりも南側まで広がること②西に隣接する第30号土坑は、台地先端部のためか深さが50cmと浅いものであったことから、浅い土坑を再利用した可能性は僅かに残る。

また、第9号建物跡と第12号建物跡は複式炉の流れを組む石囲炉で、炉のそばに入口施設と考えられる石が配置されている。第11号建物跡は同様の入口施設を持つが、石囲炉に隣接して住居中央側に地床炉がある。第9号建物跡と第11号建物跡は炉内出土炭化物の炭素年代測定を実施しており、結果は来年度に報告予定である。3棟の住居跡のうち、第9・11号建物跡は黒色土が厚く自然堆積し、第1号盛土遺構に近い第11号建物跡は堆積土の上部から中部にかけて多数の晩期土器が出土した。縄文時代中期末の土坑の有無は不明確である。

3) 土坑群の堆積状況と形状

土坑は人為堆積のものが多く、多くは地山に由来する黄～灰褐色土が堆積する。廃絶後の、時期の新しい土坑の掘削土の流れ込みや、堅穴住居跡の掘削時の土の投げ込みがあった可能性がある。最上層に第Ⅲ層由来の黒褐色土が残るものがある。また、第9号土坑のように、堆積土中に大きな礫を含み、別な層位ではほとんどの複数の礫が出土するものがある。第18号土坑は土器破片を含む層や炭化物層が堆積土の上位に見られる。

土坑底面は円形のものが多いが、第14・16号土坑のように上部に張り出し部分を持つものがあり、形状の変化をもたらしている。張り出し部分は土坑に深さがあるために、掘削時の排土搬出や土坑使用時の出入口としての役割が想定される。

付属施設としては第10号土坑の新段階では2対の柱穴を持ち、上屋があったと考えられる。第9・

14・16号土坑では底面にビットを伴う。

土坑群には、断面がフラスコ状の第42号土坑が含まれている。確認層位と堆積土からも中期後半と考えられる。

これらの土坑は、第24と27号土坑の上部が重複する例を除いて重複がない事も特徴的であり、構築・使用の時間差はあっても、中期後葉までは、埋没中であっても目視できた可能性がある。さらにいえば、土を掘り出して再利用が可能だったものと思われる。中期末になると、前述のとおり第11号建物跡、第12号建物跡は、真下にある埋まりきらない土坑を平面的に広げたと考えられる。第12号建物跡では、下にある第27号土坑は深さがあることから、住居の構築にもなって遺構を拡幅した際の土で埋めた可能性がある。

4) 西目屋村の遺跡群での類似土坑の分布

川原平(1)遺跡に隣接する川原平(4)遺跡では台地縁辺に中期後半の堅穴住居跡と土坑群が分布する。直径2m、深さ1mを超える大形の土坑群は、岩木川に面し谷状に内湾する範囲内に分布している。川原平(1)遺跡の土坑群から約250m東にまとまっている。

これまで刊行された周辺遺跡の報告書からも関係する遺構が中期後半を中心に抽出できる。

砂子瀬遺跡E区の第0908号土坑は長軸2.40mの不整形円で、深さは65cm、底面に長径約1mの楕円形のビットが伴う(青森県482集)。確認面から縄文時代後期の土器が出土しているが、当初に作成した土層断面図と完掘の図面・写真からは土坑の壁と底面の確認が難しかったことが見て取れる。川原平(1)遺跡の第9号土坑の調査経過と類似している。

鬼川辺(3)遺跡では中期中葉から後葉の住居跡とともに、長径2m、深さ1mを超える断面形状がフラスコ状・逆台形のものが調査されている。住居跡よりも、より沢に近い部分に分布している(青森県541集)。

大川浜(3)遺跡でも縄文時代中期から後期の住居跡のほか、土坑がまとまりを持って検出されている。ここでは第150号土坑の上に第107号堅穴住居跡が構築されている例についてふれる。第150号土坑は確認面から98cmの深さを持ち壁の断面形状がほぼ垂直に立ち上がる。その上に縄文時代中期の石囲炉のある第107号堅穴住居跡がある(青森県544集)。川原平(1)遺跡で土坑と重複する第11号建物跡、第12号建物跡の例を思わせる。炉の形状は川原平(1)遺跡の中期末のものに類似しており、時間的に近い可能性がある。

芦沢(2)遺跡では縄文時代中期中～後葉の第50号土坑の真上に後期後葉の第6号堅穴住居跡が構築されており、埋まりきらない土坑の落ち込みを利用した「遺構の再利用」と推察されている。第50号土坑は3.08×2.22m、深さ1.15mであり、底面に2基のビットを伴う(青森県540集)。

以上から、類似した形状の土坑は周辺遺跡でも出土しており、本遺跡例は特殊なものではない。また、埋まりきらない土坑を利用して、その上に堅穴住居を構築する例も特殊例ではないといえる。

5) 県内外での類例

貯蔵穴については長い研究史があり、弥生時代研究で大形土坑を屋外貯蔵の施設と推察した例(石野1967)など各地、各時代で論じられている。

青森県内の同時期の遺跡例として青森市三内丸山遺跡を、1980年代という比較的早い時期に報告された例として、岩手県二戸市(旧浄法寺町)五庵Ⅰ遺跡及び五庵Ⅱ遺跡をあげる(岩手県94・97集)。

三内丸山遺跡では「南の谷」に面した台地緩斜面の南地区(第10・11次調査区)では円筒上層e式期を中心とした縄文時代中期後半の堅穴遺構が群をなして分布している。第14号堅穴遺構は、2.70×2.60mで深さが1.90m、底面の南端と北端に各1個の柱穴を持つ。この遺構は多くの書籍で貯蔵穴として紹介されている(青森県教育委員会編2008他)。また、南地区の堅穴遺構の中には平安時代のものもある。

五庵Ⅰ遺跡及び五庵Ⅱ遺跡では断面が「ピーカー状」の縄文・平安時代の土坑が報告されている。五庵Ⅰ遺跡の平安時代の2.74×2.28mのⅧH19土壇では、底面に直径が約50cmのビットが確認されている。貯蔵穴として記載され、ビットは開口部を覆う蓋に関する役目を果たす施設として推定されている。五庵Ⅱ遺跡の土坑群は「尾根の突端部」に立地しており、川原平(1)遺跡の立地に類似している。

両遺跡には平安時代に土坑を再利用した例も含まれている可能性があるが、縄文時代のものと平安時代のものが時代を問わず同じ区域に現われている。この点からも、立地が重要な役割を果たしているものと考えられる。

6) 推定される機能

川原平(1)遺跡の土坑群については、前述のように①断面がプラスチック状のものだけでなく、底部にビットを持つものも貯蔵穴としての機能が推定されてきたこと②それらの土坑は他の大形土坑と重複せず、空間的に群をなすように見えること③縄文時代の定住集落では、墓域や居住域といったように機能を同じくするものが同じ地区に集まる傾向があること④近隣の集落遺跡でも類似した土坑が散見され、特殊例ではなく普遍性のある機能が推定されることを指摘できる。このことから、他の大形土坑も貯蔵穴としての役割を果たしたものが多くと考えられる。

土坑群の立地をみると、川原平(1)遺跡は台地縁辺の半島状の部分に分布しており、その延長上は岩木川と大沢川の合流点に近い。また、南側は内湾し、晩期には西捨場の有機質遺物層が形成される。斜面崩壊等による滑落崖があり、地元作業員によると近年まで湧水があったといわれている。水と近接し、半島状の台地は尾根筋と同様に道が自然にできる場所にあるといえる。川原平(4)遺跡の台地縁辺の内湾する部分についても水が集まる部分であるうえ、段丘上の台地と下位の部分との人の行き来がしやすい場所である。

以上から、水と近接し、段丘の上下の移動の結節点となり、道の存在が想定されるという立地が関連することが想定できる。しかし、同様の場所は他にもある。また、川原平(4)遺跡及び同時期の拠点的な集落である水上(2)遺跡の発掘調査報告書の刊行前であることから、問題提起にとどめておきたい。

(齋藤)

(2) 配石遺構について

1) 構造

配石遺構は、立石を持つ配石遺構（日時計状組石遺構）と、一定の配置を持たない配石の2種類が確認されている。

2基の立石を持つ配石遺構はVH-32グリッドにおいて、並んで確認できた。共に立石は扁平な礫の平らな面を南北側に向けている。立石の周囲には、放射状に置石を、さらに外周に縁石を置くことで配石遺構を構成している。配石下部には土坑が掘られ、坑底から、緑色凝灰岩の玉や石匙が出土している。そしてこれを取り囲むように、他の配石遺構や土坑などが分布している。一定の区域に配石遺構が構築されていたことが窺える。

2) 配石遺構の類例－特に立石を持つ配石遺構について（図189）

中期後葉 東北北部では縄文時代中期後葉ごろに配石遺構が本格的に現れる。岩手県北上市榊山遺跡では立石を持つ配石遺構が出現する。個々の配石遺構が群をなして形成されているが、その群は環状配置の様相を呈していない。青森県青森市三内丸山遺跡第14次調査において縄文時代中期末に、立石を持つ配石遺構である第20号配石が確認され、放射状に配置した置石は存在しなく、中心の立石と縁石で構成されている。下部には土坑は存在しない。

後期十腰内I式期 後期の十腰内I期には、北海道小樽市西山崎ストーンサークル、森町鷲ノ木遺跡、秋田県北秋田市伊勢堂岱A遺跡、漆下遺跡、鹿角市大湯環状列石、岩手県滝沢市湯舟沢遺跡、青森県青森市小牧野遺跡、西目屋村砂子瀬遺跡、平川市太師森遺跡、黒石市一ノ渡遺跡など、大規模な環状列石・配石遺構群が出現し、場合には構築に伴う造成作業も行われている。

平川市太師森遺跡（平賀町2005）は、個々の配石遺構が集まって、全体にC字状に配石遺構が配置されている。遺構が構築しやすいように、本来の丘陵斜面地に大掛かりな人為的削平・造成工事を実施し、人工的空間を創出している。個々の配石遺構については、第1号組石遺構のように中心の立石の存在はないが、縁石と置石が見られ、置石は内外2重に密に並べられている。下部構造の調査は行われていないので、土坑が存在するかは不明である。これ以外の並べかたもあり、数種類に分類されている。

西目屋地域では、砂子瀬遺跡にて配石遺構が確認されている（青森県2009）。

鹿角市大湯環状列石では立石を持つ配石遺構が確認され、近隣の本木後口配石遺構群では積み重ねた配石遺構が確認されている。北秋田市漆下遺跡では、各種形状の配石遺構が検出され、その中で、SKQ283は中心の立石と縁石はないが、置石が2から3重に放射状に配置されており、配石下部に土坑が確認されている。

小樽市西山崎ストーンサークルも立石を中心に周囲の置石は放射状に2から3重に配置され、縁石は不明瞭である。

後期後葉から晩期 後期後葉から晩期の資料として、西目屋村大川添（3）遺跡で第102号や第104号配石遺構などが確認され、放射状に配置された置石とその周囲を取り囲む縁石が確認されている。この遺跡では他の形状の配石遺構も確認されている。時期的に川原平（1）遺跡の配石遺構よりも古い段階に形成されており、かつ、配石遺構下部には土坑が存在しないなど、川原平（1）遺跡と異なる点も見受けられる。

晩期には青森県弘前市大森勝山遺跡、三戸町泉山遺跡、秋田県鹿角市玉内遺跡などで大規模な環状

列石・配石遺構群が確認されている。

鹿角市玉内遺跡は、阿部義平(1968)により立石を持つ配石遺構が報告されている。また秋田県教育委員会(1988)による調査においても配石遺構群が確認され、出土土器と掘り込み面の時期から、後期後葉から晩期前半期に相当する。時期的に川原平(1)遺跡の資料と近いので、以下内容を検討してみる。

配石遺構は玉内遺跡A地区で確認されている。立石を持つ配石遺構は、黒色土に作られ、中心に高さ20cmの立石、そのまわりを放射状に石を並べ、その外側に直径2mの円形に組んだ緑石を置く。そして放射状の置石は周辺の緑石には達しない。下に土坑が存在するかは不明である。遺物は周辺から大洞BC式が出土している。この配石遺構の規模は川原平(1)遺跡のものより大きい、その他の点で類似している部分が多い。

それ以外の配石遺構は、配石下部に土坑が掘り込まれ、土坑の壁に沿って、もしくは坑底に礫が敷き詰められている。この土坑内の礫という点では、川原平(1)遺跡と玉内遺跡は、配石遺構の構造が異なる。

玉内遺跡の配石遺構は、川原平(1)遺跡の遺構と類似点もあるが、下部の土坑の構造に差が見られる。

立石を持つ配石遺構を含む各種配石遺構は、中期末に出現し、後期十腰内1式期に発達し、晩期前半までは配石の伝統が継続し、晩期に縮小する(鈴木2007)。後期の立石を持つ配石遺構は、置石が放射状に密に敷き並べられている。さらに、置石は内側と外側の2重構造、場合には3重構造になっている場合もあり、緑石は不明確な場合が見受けられる。それに対し、川原平(1)遺跡の立石を持つ配石遺構は置石の配置が1重である。また、置石を隙間無く並べていないため、石の配置が雑な感じがあることは否めない。立石を持つ配石遺構も、時期によって構造の点で差異があることが窺える。

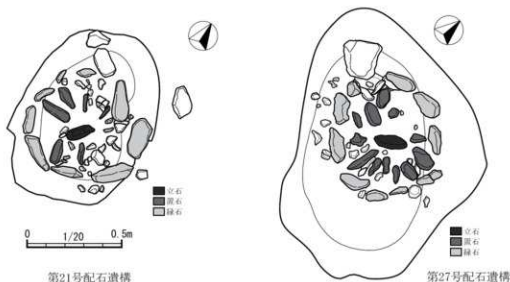
3) 配石遺構の性格

配石遺構に対して、祭祀説、墓域説、墓地・祭祀による霊域、集落共同体の変化と関連、集落構成と厳密に対応するという説が立てられている(齋藤1985、江坂1985、塚原1987など)。

川原平(1)遺跡の配石遺構について、他の遺構との関係を含めてその性格を検討してみる。

- ① 配石遺構はVII・I-32・33あたりに分布し、旧地形がゆるやかに傾斜する地点の堆積層に集中している。一定の区域に配石遺構がまとまって検出されている。
- ② VIグリッドより以北、配石遺構の北側に土器埋設遺構が分布している。配石遺構と分布が異なっている。
- ③ 住居遺構と思われる柱穴群は、地山が礫層の地点に構築されているのに対し、配石遺構、土器埋設遺構などはシルト質の地山に遺構を築いており、場の用途における選定が異なる。
- ④ 配石遺構下部に土坑が確認できた状況を受け、埋設土器を含め、遺構2基に対しリン・カルシウム分析を行った結果を参考にすれば、遺体を埋葬した可能性が高く、墓として機能していたことが推定される。
- ⑤ 出土土器の大半が後期後葉から晩期前半であるので、当該期に築かれた遺構と考えられる。

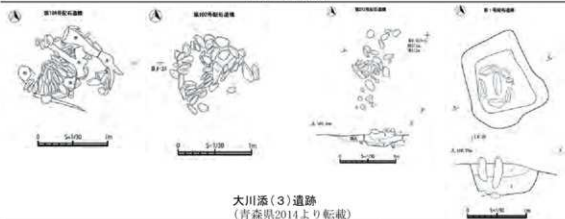
以上のことを考慮にいれば、川原平(1)遺跡の北西隅は、後期後葉から晩期前半の墓域として



第21号配石遺構

第27号配石遺構

川原平(1)遺跡



大川添(3)遺跡
(青森県2014より転載)



三内丸山遺跡 XIV
(青森県2000より転載)

第3号配石遺構



太師森遺跡

(平賀町教育委員会2005より転載)

第2号配石遺構



第1号配石遺構



第6号配石遺構

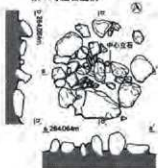


図189 配石遺構

利用されていた可能性が非常に高い。

津軽地域ではつがる市亀ヶ岡遺跡、五所川原市五月女菟遺跡、青森市平野遺跡、弘前市薬師遺跡などで墓域が確認されている。石棺墓が検出できた平野遺跡を除き、配石遺構を伴うものは確認されていない。一方で、亀ヶ岡遺跡などでは、黄色ロームを墓上面に覆うことが報告されており（青森県立郷土館1984）、土饅頭の様な様相になっていたと推定される。このように晩期の墓は上部構造として墓標のような構築物があった可能性が高く、川原平（1）遺跡の場合、礎などを置くことで一種の墓標のような効果をもたらしていたと考えられる。

立石を持つ配石遺構は、晩期の段階では青森県では津軽地方南部で確認されており、青森市内、三八上北地域にまでは広がらない。立石を持つ配石遺構を構築する文化が秋田県などの地域と連動しているのかなど今後の検討課題であろう。一方で、配石遺構下部の土坑について、秋田県側の事例と差異が見受けられる。その原因は各遺構・遺物の比較検討が不可欠であるが、ここでは埋葬に伴う風習などの差として捉えたい。

（高橋）

（3）第1号盛土遺構について

1) 第1号盛土遺構の形成について

第1号盛土遺構の構成する母材は、炭化物、礫を多く含む層とシルト主体の層の互層によって形成されている。堆積層の中には焼土（第51号焼土遺構）が確認されているが、焼け面がないので焼土を廃棄したものと思われる。第1号盛土遺構は塚状に盛り上げたものではなく、特定方向から土を廃棄、もしくは盛った結果形成された可能性が高い。堆積時期や傾斜角度、母材となる土質の違いなどから堆積層を段階に分けられた。

以下、段階ごとに盛土遺構の変遷を見ていく。なお、Ⅰ段階は中期遺構なので、ここでは割愛する。

【Ⅱ段階】Ⅱ段階（図188、190）において、後期後葉から晩期前半期の遺構が検出され、当該期の生活面・墓域であったと考えられる。

Ⅱ段階を構成する堆積層は、図190の点線部を境に、地山の平坦面と傾斜面に分かれる。

地山落ち込みを埋めるように形成する部分（第20・24・25・26層など）には、配石遺構が集中して分布する。後期後半から晩期前半の土器が出土している。平坦面部分には平場を覆うように堆積層（第7・8・9・16・19層）が確認されている。晩期後半期の土器も少なからず確認されている。特に第16層は晩期後半期の土器を多く含み、堆積層も第19層の上に波打つように乗っていることなどから（図77）、Ⅲ段階に帰属する可能性もある。また、第2層も地山平坦面にあり、現場所見では分層できなかったが、堆積層の一部はⅡ段階から分離する可能性もある。

【Ⅲ段階】この段階で第1号盛土遺構が形成される。

堆積層は基本的に第1号盛土遺構の中央部から始まり、東側から西側へ、緩斜面に向かって形成されている。そして、Ⅲ段階の出土土器は、晩期4期から5期が大半である。若干の後期後葉から晩期前半の土器が出土するが、この時期の資料は破片資料であり、形を復元できるようなものは出土していないので、混入と思われる。よってⅢ段階は、基本晩期後半期の晩期4期から5期にかけて構築さ

れたと考えられる。

Ⅲ段階はまず、第51号焼土遺構が形成される。この遺構から、把手を持つ台付鉢形土器(図68-1・2)が出土している。文様は横位連続工字文が施文され、いわゆる聖山Ⅱ式に相当する。次に、Ⅲc段階という礫を多く含む層が形成される。

Ⅲa段階(第15層)は炭化物が多量に含まれた層である。この堆積層から晩期4期・聖山Ⅰ式・晩期5期に相当する土器がまとまって出土している。土器の出土状況も他の層と異なり、その場で潰れたような状態や完形土器が確認されており、意図的にその場に廃棄もしくは遺棄したような状態である。次のⅢb段階(第18層)でも晩期4期・聖山Ⅰ式・晩期5期の土器が出土する。工字文を持つ台付浅鉢形土器など、晩期5期に相当する土器がⅢa段階よりも幾分多く含まれている。土器は水平堆積であるが、Ⅲa段階のような出土状態ではなく、土器片が敷き詰められたような状態なので、廃棄のあり方がⅢa段階と少し異なる。

その後もⅢd・e段階が形成され、晩期後半期の土器が出土している。

【Ⅳ段階】Ⅳ段階になると、廃棄行為が変化する。Ⅲ段階が東側から西側に向かって形成されているのに対し、Ⅳ段階は第1号盛土遺構の中央部を起点に北東から南東にかけて、盛土の南側を中心に形成されている。このⅣ段階の層は礫が多く含まれているので、礫を多く含む堆積層を削平し、第1号盛土遺構に廃棄した結果と思われる。

出土土器は、時期が後期後葉から晩期後半と幅広い。

以上のように、Ⅲ段階とⅣ段階では廃棄する土砂の供給源などが異なることが予想される。Ⅳ段階は、礫を多く含む層で形成されているので、礫層を削平することで生じた土砂を廃棄したと推定される。さらに、Ⅲ段階とⅣ段階の境には、第21号土坑が確認されており、何かしらの人間活動が行われていたと思われる。

このような状況が読み取れるので、Ⅲ段階とⅣ段階の廃棄の間に、断絶があった可能性がある。

【Ⅴ段階】遺跡全体を覆う表土である。晩期後半の土器などが多量に含まれているので、引き続き何かしらの廃棄活動が行われた結果と思われるが、Ⅲ・Ⅳ段階のような明確な廃棄方向などは確認できなかった。

2) 類例について

薬師遺跡 青森県弘前市(旧岩木町)薬師遺跡において、晩期後半の盛土遺構が調査されている。岩木山の火山麓扇状地の端部、標高160mほどに位置する。盛土遺構はロームと土層、炭化物層によって互層をなしている。構築は塚状に盛り上げたのではなく、特定方向から土を廃棄もしくは盛った結果形成された可能性がある。さらに、盛土遺構を構成する堆積層は、層の堆積方向、傾斜具合からさらに細分されており、特定の廃棄単位にまとめられる。盛土遺構は晩期4期から5期ごろに構築されている。

また、盛土遺構形成以前は焼土遺構、建物跡、土器埋設遺構、土坑、黒褐色の晩期前半の包含層が確認されている。盛土遺構の上面を掘り込んだ遺構が確認されているため、盛土形成以降の人間活動も窺える。

盛土遺構途中、あるいは以後には貯水池状遺構、建物跡、埋設土器などが確認されている。晩期5

期以降、砂沢式・五所式・井沢式期が確認され、弥生時代にまで人間活動が継続されている。

大橋遺跡 岩手県北上市大橋遺跡は、和賀川左岸に位置し、盛土遺構が2基確認されている。盛土遺構以外に、掘立柱建物跡、焼土遺構、土坑、炉跡などが検出されている。盛土遺構の内、南盛土遺構は大洞BC式からC2式にかけて構築されている。北盛土遺構は、24×12m、高さ1mほどである。大洞C1式からA式にかけて構築されている。2つの盛土遺構の間には浅い谷があり、堆積層の連続は認められない。堆積層は炭層、褐色の砂質シルト、暗褐色シルト層が互層をなしている。

関東地方で検出されている盛土遺構との比較から、褐色土と黒褐色土の互層、床面を伴う炉跡、住居面の痕跡が最下面と最上層に多く、中間層に見られないなどといった共通点を挙げている。異なる点として、関東地方の盛土遺構のような中央が窪地にならない、構築時期が晩期中葉に限定されるなどを挙げている。盛土遺構下部や上部から焼土遺構が確認され、居住域と遺物の廃棄の累積の結果であり、晩期中葉の集落の一形態として評価し、盛土遺構は居住域と考えている。

向様田D遺跡 秋田県北秋田市(旧森吉町)向様田D遺跡において盛土遺構(SM60)が確認されている。小又川右岸の標高134から138mに立地する遺跡である。規模としては、基底面積が190㎡、高さ最大高0.8m、体積は100㎡前後と推定されている。旧地形は、北側に緩斜面があり、南側は微高地である。向様田D遺跡では盛土遺構下部から遺構が確認されている。SK25土坑墓は、相対的に大規模な土坑であり、上面に土盛りをしている。大洞B2式からBC式頃に構築された遺構である。旧地形の窪地にはSQ127環状配石遺構が構築されている。また、盛土遺構構築直前の地表面に円礫が300点以上分布する。円礫が盛土遺構のより上位の堆積層からは出土しない。盛土遺構が形成される以前に、この地点では土坑墓、焼土遺構、円礫群などが構築され、土坑墓造営やこれに伴う儀礼が行われた。盛土直下層は、大洞BC式、C1式を主体とする。また、盛土遺構自体、中下層と上層に区分した際に、上層は層厚などの点で、中下層と異なる点が認められるなど、川原平(1)遺跡の第1号盛土遺構のⅢ段階とⅣ段階のような差異と同一と思われ、盛土遺構が単純な土の盛り上げではないことが推定される。盛土中下位層や上位層は大洞C2式が主体となっている。盛土遺構自体の形成は大洞BC式からであり、本格化する大洞C1式から遺物の廃棄と土の積み上げが集中して行われ、大洞C2式まで継続する。盛土遺構形成時期の居住域などは未確認のため、場の性格が大きく変容している。遅くとも大洞A式には盛土遺構形成は終了し、同時に遺跡自体も断絶する。

盛土遺構出土遺物の過半を占めるのは深鉢形土器、鉢形土器、浅鉢形土器などであり、祭祀具として特化したと認めえるような遺物は少ない。大洞C1式、C2式は浅鉢形土器が優勢であり、小形の鉢形土器もしくは台付鉢形土器も多い。向様田D遺跡とその周辺では居住域を伴わないので、当該地域は小集団が分散居住しており、これらの捨て場は複数の集団が集結する集合祭祀の所産とした。

その他 盛土遺構と積極的に判断できないが、今津遺跡、宇鉄遺跡では、晩期4期、5期の遺物包含層が確認されている。今津遺跡は居住遺構の検出はないが、大規模な捨て場が確認されており、晩期4期の土器が出土している。土器の接合率・完形率は非常に高い。宇鉄遺跡は斜行堆積の遺物包含層が検出され、その下部には遺構が検出されている。晩期4期から5期の遺物包含層である。

3) 盛土遺構の性格

以上類例として4遺跡の盛土遺構を取り上げてその内容を検討してみる。

これらの盛土遺構に見られる共通点として、①最下層に前段階の遺構面が残されている。②異なる母材によって互層に堆積層が形成されている、③斜行堆積である。

一方相違点として、上部に遺構が構築されているかなどである。

こうした盛土遺構の特徴に対し、八木勝枝（2004・2010）は岩手県を中心に、晩期集落構造の解明の一環で盛土遺構に注目する。盛土遺構は人為堆積を含む遺物包含層が塚状に堆積した結果である。晩期の集落事例は少ないので、包含層には居住空間が潜んでいる可能性を指摘し、岩手県盛岡市手代森遺跡や花巻市安塔屋敷遺跡などを検討し、包含層範囲内の住居などについて言及している。

向様田D遺跡の報告では、墓域として機能していた地点に、遺物の大量廃棄を伴う葬送や祖先祭祀などに関わる儀礼的な行為が行われた場と解釈し、また、出土土器組成の検討から、饗宴などに伴う遺物の廃棄などを想定している。

栗師遺跡では、昭和33年と35年の報告では盛土遺構の構築の一つの理由に平坦地の拡張といった人為的な造成工事が行われたように感じられると報告されている（田村1968）。また、この盛土上面に何かしらの遺構が構築されており、後代には別の土地利用があったことが窺える。

近年の盛土遺構の研究は、単なる遺物の廃棄場としてのみでなく、集落変遷の中に位置づける研究が増えてきている。長沼孝（1993）は、盛土遺構は住居削平時の排土や一定の区域を削平した際の排土などを意図的にマウンド状にしたものとし、焼土や多数の遺物を伴う場合が多い。盛土遺構はいずれも同時期の住居跡に隣接し、土や焼土の排土場所、土器・石器などの廃棄場所、そして作業や儀式の空間という複合した性格を持っているとした。福井淳一（2014）は、盛土遺構は「捨て場」「送り場」「排土処理」「儀礼場」そして遺跡構成要素として考えた場合、住居・墓などと関連しながら変遷していくとし、集落構造の中で考える必要を説いている。

川原平（1）遺跡の第1号盛土遺構の場合、Ⅲ段階とⅣ段階の堆積層の形成が異なる。Ⅲ段階は晩期4から5期の資料にほぼ限定されており、比較的復元個体になる資料が多かった。それに対し、Ⅳ段階は後期後葉から晩期全般の資料がみられ、土器の復元率はⅢ段階と比較して非常に悪い。Ⅲ段階の場合、何かしらの儀礼などを伴った廃棄であったのに対し、Ⅳ段階は土砂の廃棄に伴い、土器が巻き込まれた可能性がある。

4) 盛土遺構のまとめ

川原平（1）遺跡の集落の変遷を捉えることが、最終的な大きな目的の一つであるが、この盛土遺構から集落構成の理解に大きな知見を得ることができた。つまり、後期後葉から継続した集落が、晩期中葉あたりを境に集落の景観が大きく変化することである。

具体的には墓域として機能していた地点が、盛土遺構の構築に伴う遺物の大量に廃棄・遺棄する地点に変わり、標識を持つ配石遺構などが盛土遺構の下に埋もれてしまったことである。さらにこの廃棄活動は、2つの段階の廃棄が行われ、その母材や土器の内容が異なる。その間、この一帯ではわずかな遺構が構築されているにすぎず、墓域としても居住域としても機能していないこととなり、まったく別の機能を持った場として活用されていたこととなる。

晩期後半期に集落の景観を大きく変える土木作業的な削平の痕跡は栗師遺跡でも確認されており、川原平（1）遺跡では少なくとも、晩期の集落を形成する過程で、多量の土砂を移動したものと考

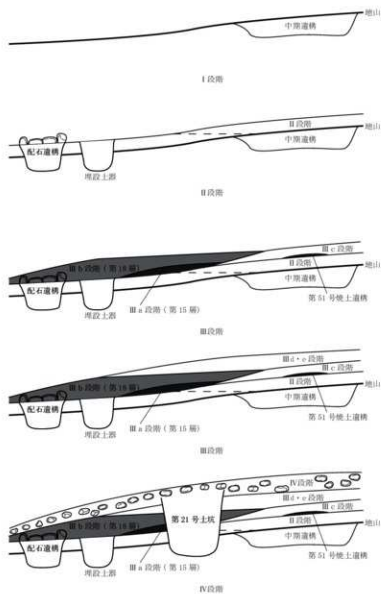


図190 第1号盛土遺構形成模式図

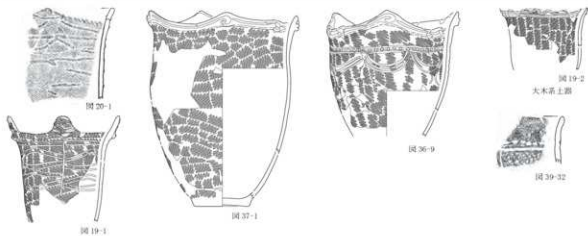


図191 中期後半の土器

られる。晩期の土木工事を垣間見ることにつながる重要な知見が得られた。

墓域という宗教的・社会的な空間が廃棄場所になるということは、盛土遺構の構築そのものが儀礼の場としての機能以外に、まったく異なる性格であった可能性も視野にいれなければならない。そのため、川原平(1)遺跡の盛土遺構の性格については、他の3つの盛土遺構の存在と住居遺構、捨て場との関連も含め、十分に考慮しなければならない。より詳細な性格については、来年度刊行の最終報告書に譲る。

(高橋)

第2節 出土遺物

1 土器

(1) 縄文時代中期の土器について(図191)

中期の土器は、遺跡北西端部に位置する中期の遺構群から主に出土し、ほかに第1号盛土遺構の第25・26層などからも出土した。最も古いものは第13号建物跡出土の図20-1や第1号盛土遺構の第25・26層出土の図91-6で、円筒上層d式に比定される。出土量は比較的少ない。円筒上層e式には第13号建物跡でまとまった量が出土し、出土量としてはやや増加の傾向が見受けられる。同建物跡からは、大木8a～8b式の影響を強く受けた深鉢形土器(図19-2)も併せて出土しており、円筒上層式と大木式の併行関係を窺うことができる。榎林式では建物跡からの出土例はないものの、第9号土坑や第20号土坑、第18号土坑などから残存状況の良好な試料が出土した。最花式～大木10式併行では、第11号建物跡や第12号建物跡からの出土が認められる。いずれの時期も出土量は多くはないものの、時期的には断続することなく遺物の出土が認められる。

※ 漆液容器(第17図2)について

第12号建物跡から、内面に漆膜が厚く付着した小形の鉢形土器が出土した。土器は底部からやや垂直に立ち上がり、体部で膨らみ口縁部はやや内湾する。上端から1cm程度の範囲は無文であり、その下から底部際までは縄文が横位に施文される。口縁部には対向する位置に貫通孔が1対認められる。そのうちの1か所は口縁部の破損に伴い2/3程度が欠失しており、もう1か所は良好な状態で残存している。時期は器形と出土位置および共伴資料から、縄文時代中期大木10式併行と考えられる。

漆膜は内面のほぼ全面に3mm程度の厚さで付着し、外面には波だれ状に薄く付着する。漆膜は赤みを帯び、部分的に赤色顔料と思われる粉状の赤い付着物も確認できる。貫通孔部分にも漆膜が確認でき、本来7mm程度の孔が、漆膜により現状では3mm程度と狭まっている。現状の孔は本来の孔には接しておらず周囲を漆膜に囲まれており、土器内面の貫通孔部分には漆膜の盛り上がり認められることから、漆液容器として一定程度機能したのちに、外側から孔が開け直されたものと推定される。

本例は漆膜が赤みを帯び、赤色顔料の付着が認められることから、漆液の精製後、顔料を混ぜ合わせる工程で用いられた容器と考えられる。貫通孔の用途は定かではないが、孔の開け直しが行われていることから、何らかの必要性が窺われる。本遺跡では中期後葉の遺物に赤漆が塗布されている例は確認されていないため、実際に本遺跡で使用されたものか、外部から持ち込まれたものかは判然としない。

(岩井)

(2) 第1号盛土遺構出土土器について (図192)

【Ⅱ段階】Ⅱ段階は後期後葉から晩期前半期の遺物が中心であり、土器組成として、深鉢形土器、鉢形土器、浅鉢形土器、皿形土器、壺形土器、注口形土器などで構成されている。深鉢形土器は大形の粗製土器が土器埋設遺構を含め確認され、口縁部が内傾し、B突起が口唇部に貼り付けられている。装飾深鉢形土器も出土しており、これら2種類の深鉢形土器で土器組成を構成している。底部に高台が付されている資料も少なからず確認されている。

浅鉢形土器、皿形土器などには雲形文、羊歯状文、入組文などが施文されている資料が特に配石遺構周辺で多く確認されている。壺形土器には入組文が展開する赤彩の大形品が出土している。

Ⅱ段階でも第1号盛土遺構下部の地山が平坦部では晩期後半の土器が確認されている。この一帯は第50号土器埋設遺構が1基見られる程度で、比較的遺構の分布が薄い地点である。工字文を持つ台付の大形鉢形土器や台付浅鉢形土器、矢羽状沈線文を持つ皿形土器などが出土している。

このようにⅡ段階の土器は地点に応じて時期が少し異なる。

【Ⅲ段階】第1号盛土遺構を形成するのはⅢ段階からである。

Ⅲa段階は、土器組成としては深鉢形土器、鉢形土器、浅鉢形土器、壺形土器で構成されている。深鉢形土器は無文の粗製深鉢形土器の他に、口縁部に平行沈線が3条程度巡る深鉢形土器が確認されている。鉢形土器は出土数が多く、深鉢形土器同様に、粗製、口縁に沈線が巡るものなどがある。浅鉢形土器・皿形土器には、口縁部が無文で、口縁と胴部境に眼鏡状隆帯が巡るもの、胴部に連繫入組文が展開するものがある。壺形土器には肩部に連繫入組文、工字文、晩期4期に相当する壺形土器などが出土している。また、粗製壺形土器が比較的まとまって出土している。これらの土器の特徴から、晩期4期・5期を中心とした資料であり、これに聖山式に相当する資料が共存する。

Ⅲb段階はⅢa段階同様に、土器組成としては深鉢形土器、鉢形土器、浅鉢形土器、壺形土器で構成されている。出土土器の内容は、Ⅲa段階と大差はないが、晩期4期を含みながら、工字文を持つ台付浅鉢形土器が増加しているなど若干晩期5期に相当する資料が増加する。また、図130-16のような晩期4期から5期への過渡的様相を持つ土器が出土している。

Ⅲa・Ⅲb段階よりも古い段階に形成された第51号焼土遺構では、把手を持つ台付鉢形土器が出土し、横位連続工字文が施文されている。聖山Ⅱ式に帰属する資料である。

Ⅲ段階全体では、土器組成としては深鉢形土器、鉢形土器、浅鉢形土器、壺形土器で構成されている。工字文を持つ土器、矢羽状沈線文が展開する皿形土器、連繫入組文や晩期4期と思われる壺形土器などが出土しており、晩期4期から5期頃に相当する資料が出土している。平行線化した横長の楕円文を配して工字文風の様態を構成する鉢形土器(図147-3)が出土している。同様なモチーフを持つ土器は宮城県栗原市山王園遺跡で出土している。

このようにⅢ段階は、全般的に晩期4期から5期頃に形成されたと思われる。

【Ⅳ段階】上層のⅣ段階は、出土土器の時期が後期後葉から晩期後半と幅広い。Ⅳ段階は礫が多く含まれている層から、他の礫を多く含まれる地点を削平した結果と思われる。第1号盛土遺構でも触れたように、Ⅳ段階は意図的な廃棄というよりも、地形改変などによって生じた土砂とともに、土器などの遺物が巻き込まれて廃棄されたと考えられる。

Ⅳb段階には、口縁部が内傾し、平行沈線が巡り、全体が無文の台付浅鉢形土器(図168-5)が出

土している。形状から晩期5期でも新しい段階に属すると思われる。

【V段階】V段階は近現代の遺物含まれているが、おおむね晩期後半の資料が出土している。

(3) 聖山式について

第1号盛土遺構の时期的な問題について検討するため、いわゆる聖山式土器を検討する。

学史的には山内清男が大洞土器型式を設定したが、若干の地方型式の存在は示唆している。また、大別と細別に陸奥に亀ヶ岡式を当てているので(山内1937)、東北部は別型式の存在を考えていたと思われる。

芹沢長介(1960)は、晩期4期の説明の中で、北海道南部では地文に縄文をつけた後、指先あるいは太いヘラで平行沈線を重ね、いわゆる工字文に近い文様を描き出したらしい。これは次に第IV段階(晩期5期)に発展する要素であって、その萌芽は本州よりもむしろ北海道にあったらしいと述べている。

吉崎昌一(1965)が東北の晩期5期が在地のやや粗雑な胎土で作られた工字文を特徴とする土着土器とともに出土し、工字文の地文として縄文が付されるという特徴が指摘されている。「日ノ浜式」を設定している。晩期5期に併存する渡島半島の地域的な土器型式あるいは先行型式と晩期5期の過渡的な様相と捉えられた。

林謙作(1965)は、晩期4期の中で、大洞C1式の文様が簡略化されるが、その過程でも各地域は異なった地域色を発揮する。もっとも顕著な地方色が見られるのは東北北端から北海道西南部にわたる地域である。この地域では他の地域にさきかけて指描きの太い沈線による入組工字文が出現し、日ノ浜式に該当する。

このように東北地方の晩期中葉の資料が増加していくとともに、大洞C2土器の地方型式の存在が確認されつつあった。

【聖山遺跡出土土器について】上記のような研究の流れの中、聖山遺跡の調査が行われた。調査によって第1から第7ブロックが確認され、晩期中葉の遺物出土している。

そこから出土した土器は、聖山I式と聖山II式に大別された。その指標となったのが、土器に施文された文様のあり方である。文様は、多重沈線手法を特徴とし、連繫入組文を持つもの(聖山I式)と、横位連続工字文(聖山II式)である。

連繫入組文は、単位文様の入組文と三ツ又文が規則性を持って配置されることに特徴がある。入組文が区画的な働きをし、三ツ又文が充填文として入組文間の空間を埋めている。

横位連続工字文は、三ツ又文のうち、工字形の凹部を横位に連続してがいに配置する特徴である。横位連続工字文は、縄文施文を残している。反転部が垂直ではなく、斜めに調整される傾向を持つ。左右対称にカーブする整った反転部を持つ工字文は少ない。これは三ツ又文という文様の形状も大きく関与している。

横位連続工字文は鉢形土器、壺形土器に施文され、連繫入組文は鉢形土器、皿形土器、壺形土器に施文されている。また大洞C2式に特徴的な把手は、横位連続工字文を施文された鉢形土器に頻繁に見受けられる。横位連続工字文は基本1段であるが、壺形土器の肩部には上下2段の工字文が施文されている。

聖山遺跡の報告書では、聖山式は、大洞C2式からA式の範囲内に位置づけている。そして、これらの土器の特徴と、数カ所の遺物集中地点ブロックにおける聖山Ⅰ式と聖山Ⅱ式が量的な関係で変異を用いながら、報告書においては時期を違えながらブロックが形成されたと考えられている。さらに、この型式の編年について、飯島義雄(1981)は、連繋入組文から横位連続工字文への時間的推移を想定した。吉岡・岡村(1981)もこの2型式を検討し、その出土頻度の差からブロック形成の先後関係を捉えた。

須藤隆(2014)は、聖山遺跡の第2ブロックを検討し、連繋入組文と横位連続工字文との密接な関係があり、空間分布とともに緊密な共伴関係を指摘している。両裝飾意匠が併存し、共伴するあり方が聖山遺跡出土土器の主体的な土器型式の特徴としている。

また、弘前大学の調査においても、聖山式土器と他器種の関係を考慮し、晩期4期から5期の中間型式に位置づけている。

【類例】

二枚橋(2)遺跡 下北半島に位置する遺跡である。縄文晩期の遺物は晩期4期から6期にかけて確認され、特に晩期4期から5期の中間型式(聖山式)が多い。聖山Ⅰ・Ⅱ式が出土しており、特に連繋入組文を持つ壺形土器が多数出土している。

宇鉄遺跡 津軽半島の先端部に位置する遺跡である。Ⅱi層とした遺物包含層には連繋入組文を持つ壺形土器が多数出土している。また聖山Ⅱ式はⅡe・g層中心に出土している。器種としては鉢形土器、台付鉢形土器などが多い。共伴土器では晩期5期の台付浅鉢形土器などである。中でも、晩期4期と共伴して聖山式土器が出土している。聖山Ⅰ式を晩期4期に、聖山Ⅱ式を晩期5期と時期差と捉えている。

今津遺跡 津軽半島に位置する遺跡である。晩期4期の遺物包含層が確認されている。土器の接合率・完形率は非常に高い。晩期4期の土器とともに、沈線多重手法による横位連続工字文を施文された鉢形土器・壺形土器や、連繋入組文の壺形土器が見られる。高伏三足土器の胴部文様も入組文をモチーフとした構成を持っており、聖山式の影響を受けていると思われる。

観音林遺跡 五所川原市観音林遺跡では晩期3期から5期が多い。晩期4期から5期に属する資料が多く、その中に聖山式がまとまって出土している。連繋入組文は、壺形土器、鉢形土器、把手付鉢形土器、台付鉢形土器や無文地の皿形土器に見られる。横位連続工字文は台付浅鉢形土器などに見られる。

亀ヶ岡遺跡 壺形土器や鉢形土器に連繋入組文が見られる。

葉師遺跡 葉師遺跡の盛土遺構からも、数は少ないが、晩期4期・5期とともに聖山式土器と思われる連繋入組文や横位連続工字文を持つ土器が出土している。

その他 南部地域の東北町千曳遺跡や八戸市是川中居遺跡に、連繋入組文を持つ土器が少数確認されている。他に十和田市明戸遺跡、階上町滝端遺跡、三沢市野口貝塚には聖山式的な土器は見られない。

【川原平(1)遺跡の聖山式の文様構成、特に連繋入組文について】

連繋入組文については、文様部完形に近い資料を用いて、文様展開図を示した(図193)。

区画文としての入組文の内、両端が回り、「S」の字になるのを赤色で、片方のみが回り、「し」の字になるのを青色で示した。そして2つの入組文の間にS字もしくはZ字文が展開する。これを緑色

で示した。空間を埋める充填文様として、工字文風の文様が展開している。これを濃淡2色ある灰色で示した。文様帯の上限・下限は黒色で示した。

壺形土器(図152-1)はS字の入組文に「し」の字の入組文が4つ組み合わせわり、その隙間を工字状の充填文が埋めている。入組文の間にはZ字の文様が入り込む。図114-5と図115-2も基本的に同種の文様展開である。壺形土器(図116-1)はS字の入組文同士が入り組み、「し」の字同士が組み合う。そしてS字と釣り針型の組み合わせる中間にZ字文が組み合う構図となっている。展開図の4点は入組文の組み合わせに差が見られるが、充填文などに共通性も見受けられ、多くの変異があるというわけではない。第18層の図128-4、図128-1の壺形土器の胴部にも連繋入組文が見られる。

これらの文様の多くは、地文がミガキ整形であり、縄文が施文されていない。

文様は鉢形土器、皿形土器、壺形土器に見られる。聖山遺跡では、皿形土器や壺形土器の他に、鉢形土器などの体部文様にも展開している。川原平(1)遺跡では鉢形土器にはもっぱら横位連続工字文が展開しており、連繋入組文は1点確認されている。壺形土器や皿形土器・浅鉢形土器には連繋入組文のみられ、器形に応じて、横位連続工字文と連繋入組文が描き分けられている。川原平(1)遺跡には壺形土器に横位連続工字文が施文されている例はないが、聖山遺跡には胴の長い壺形土器の肩部に横位連続工字文が上下2段に施文されている。また聖山遺跡の土器は縄文施文が多いが、川原平(1)遺跡では壺形土器の1点に縄文施文の連繋入組文が見られる以外は、無文資料が多い。

【川原平(1)遺跡の聖山式の編年の位置】

以上から、川原平(1)遺跡の第1号盛土遺構の最下部は、聖山Ⅱ式が出土し、上層で聖山Ⅰ式が出土しているなど、推定されている型式的な前後関係は逆転している。また、大洞C2式の壺形土器なども上層から出土しており、最下部は晩期4期ごろに形成されたと考えられ、少しずつ晩期5期などの新しい段階の資料が廃棄されたと考えられる。そのため、川原平(1)遺跡の資料からは、聖山式と亀ヶ岡式土器の関係は、晩期4期から晩期5期にかけての併行関係としか言えない。

聖山式の分布と他の遺物の状況を踏まえ、津軽海峡を挟んだ亀ヶ岡文化圏の中には小さな土器文化圏が構成されている(藤沼他2004)。また、聖山式がまとまって出土する南限は青森県北部であり、岩木川下・中流域は聖山系と分類されている(福田2000)。津軽半島の分布では、北に行くほど聖山式の様相が強い土器が見受けられ、岩木山麓の遺跡の場合、聖山式は少数である。そのため、川原平(1)遺跡はその文化圏から見れば、周辺地帯に位置していると言える。

(高橋)

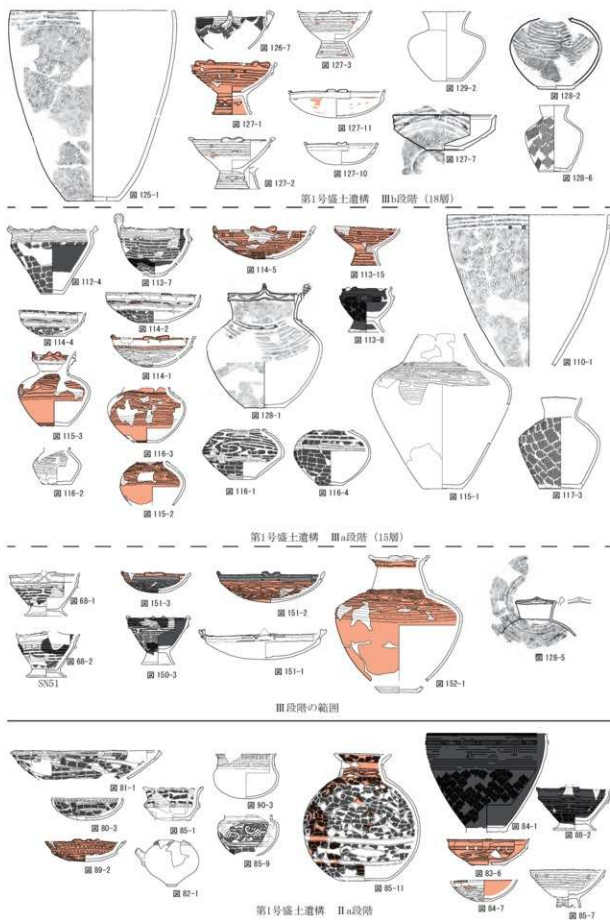


図192 第1号盛土遺構の各層から出土した土器

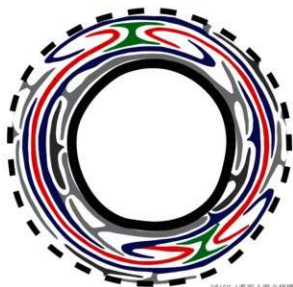


図112-1 壺形土器文様模式図

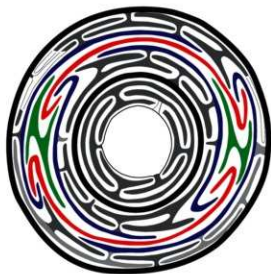


図114-5 壺形土器文様模式図



図115-2 壺形土器文様模式図

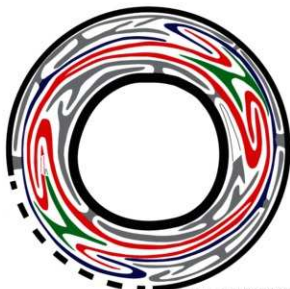


図116-1 壺形土器文様模式図

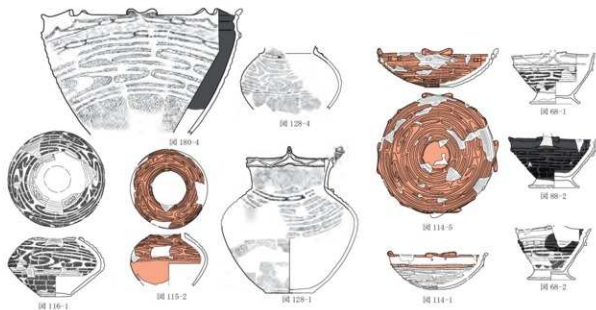


図193 聖山式土器と文様展開図

2 石器・石製品

(1) 石器組成と各器種について

表11 石器組成表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	N	O	Q	T	V	W	X	Z	総計	
遺構	20		2	1		3	10		19	2	8	34			10	12		2	8	51	182	
II段階	35		1	1	9	14	26	1	100		38	171		1	51	11	1	3	17	26	506	
IIIa段階	18		1		1	5	8	1	16		17	33			4	1		1	1	2	109	
IIIb段階	37		1	1	2	16	19	1	19		27	78	1	1	14				1	1	219	
IIIc段階	3		1			3	4		7		2	29			3	2		2	1		57	
IIId段階	3		2			2	2		12		3	14			13					4	55	
IIIe段階	8		1		2	1	3		8		2	18			1						44	
IIIf段階	19		1	1	1	8	15	3	25	1	22	62			6	3			4	2	173	
IVa段階	5	1	2			3	6	1	27		21	85		1	22	1		1	7	4	187	
IVb段階	5				2	1	5		20		8	45			5	2			3	2	98	
V段階	30		8	1	13	16	30	3	165		70	277		1	26	3		2	18	15	678	
時期不明	19		3		1	10	13		30		25	67		1	20	2				12	3	206
総計	202	1	23	5	31	82	141	10	448	3	243	913	1	5	175	37	1	11	76	106	2514	

A：石鏃、B：石槍、C：石錐、D：石筥、E：両面調整石器、F：石匙、G：搔器・削器、H：肉極石器

I：二次加工剥片・石器断片、J：異形石器、K：微細剥片、L：石核

N：打製石斧、O：磨製石斧、Q：凹石・磨石・敲石、T：石皿、V：軽石製品、W：加工礫、X：自然礫、Z：石製品

※ 剥片・製片は省略

※ 記号は薬師遺跡(青森県2014)に従った)

石器は石鏃、石錐、石槍、石筥、両面調整石器、石匙、削器、搔器、二次加工剥片、異形石器、微細剥片、剥片、石核などの剥片石器、打製石斧、磨製石斧、敲石、凹石、磨石、石皿などが出土している(表11)。薬師遺跡では、盛土遺構出土の石器は、晩期前半と後半で石器組成に違いが見られたが、第1号盛土遺構において段階ごとに石器組成を比較してみても、特定の段階にある器種が偏って出土しているようではなく、明確な石器組成の差は認められなかった。

次に個別の器種について、特記事項を記す。

【石鏃】石鏃の大半は尖基・平基有茎鏃である。アスファルトが茎部に付着している事例は多い。凹基鏃は中期に属すると思われる地点で出土している傾向が強い。

【石匙】石匙は横形が多く、刃部加工は両面加工が幾分多い。

【石核・原石】石核は各段階から一定量出土している。多くは自然面もしくは平坦打面を持ち、打面転位を行った資料が多い。数は少ないが、球心状に剥離する円盤状に近い形態もある。また、自然面を残し、1回の剥片剥離で廃棄されたような石核も見られる。

原石は数点確認されている。直角礫の珪質頁岩が多く、第44号配石遺構からは接合礫が出土している。石核や原石の存在から、遺跡内に珪質頁岩の礫を持ち込み、剥片剥離作業が行われていたと思われる。

【打製石斧】めずらしい形状として第18層から出土した分銅形打製石斧がある。珪質頁岩製であり、分厚い剥片を素材とし、素材中央部を加工で抉り、形状を整えている。III b段階の出土であり、晩期4から5期に帰属する遺物と思われる。刃部には使用したような痕跡は認められない。

分銅形打製石斧は、関東・中部で縄文時代後期頃から増加する(鈴木1981)。東北地方では、類例は少ないが、縄文時代晩期では、秋田県平鹿遺跡のSQ14、岩手県手代森遺跡、川目A遺跡などで出土している。東北地方で出土している晩期の打製石斧はバチ形が多く、側面を叩き潰して着柄に適するように整形している場合が多い。

打製石斧の用途については、北陸地域、東北中部で岩手県北上市大橋遺跡や秋田県横手市堀ノ内遺

跡、青森県五所川原市千苺(1)遺跡などで、土擦れを持つ打製石斧が出土するので、土掘り具としての用途が考えられている。しかし、本資料は土擦痕が確認できないことから、土掘り具としての用途ではなかった可能性が高い。

【磨製石斧】磨製石斧は5点出土している。多くは断面形状から、側面が丸みを帯びた形状であり、川原平(1)遺跡(青森県2006)で出土したような定角式磨製石斧に近い形状はない。敲打や研磨で整形されている。

【礫石器】礫石器は出土石器の量に比べて非常に少ない。多くは凹石である。珍しい形状の凹石では、石錘類似の資料が出土している。礫に敲打でへこんだ帯状に加工し、その中央に凹みがみられる。

(2) 石材について

剥片石器の素材となる石材は、総重量で、425,719.1g 出土している。その内、珪質頁岩は423,908.4g であり、他の石材は1,810.7g である。剥片石器の石材の大半は珪質頁岩である。珪質頁岩以外は、黒曜石や玉髄などである。黒曜石の原産地分析は来年度刊行報告書に掲載する。

礫石器は、安山岩・凝灰岩などを用いている(表12)。この石材は配石遺構の石材と類似しており、おそらく遺跡近辺で採取できる礫を素材として用いたと思われる。

表12 礫石器の石材

	磨製石斧	敲打器類	石皿	加工礫	総計
安山岩	1	12	7		20
角礫凝灰岩		1			1
礫岩		6	1		7
デイサイト		3	2		5
閃緑岩		2	3		5
粗粒玄武岩	1	8			9
緑色凝灰岩	1	1	1		3
泥岩			1		1
流紋岩				1	1
砂岩	1	17	15	2	35
頁岩	1	11		1	13
凝灰岩		39	2	2	43
総計	5	100	32	6	143

(3) 石器製作について

石器製作は、①原石の獲得から、②剥片剥離工程と、③素材剥片から石器を製作する石器製作工程の3工程を踏む。

珪質頁岩の原石・接合礫・礫端片、礫面剥片が出土しており、遺跡内に原石を持ち込み、剥片剥離が行われたと推定される。

剥片剥離工程では、第1号盛土遺構周辺から、多量の石核、剥片、原石、礫端片、礫面剥片が出土している。中には接合礫が出土し、中の芯になるような部分が抜けているので、良質の部分を得るために、表皮を除去した可能性がある。そのため、これらの状況から剥片剥離工程が遺跡内で行われた可能性が非常に高いと言える。他にも、接合作業は行わなかったが、多量の同一母岩と思われる剥片類が出土している。得られた剥片は、多様な形態を持つので、素材形状に応じて剥片石器が製作されたと考えられる。

石核は打面転位の資料が多く、試し割りのような石核もある。石核の中には、最終的にハンマーに

転用されたと思われる、珪質頁岩製の敲石も出土している。

石器製作工程については、図73-9、図94-24、25のような石織未製品が出土している。また、二次加工剥片のような石器製作途上のものもあることから、石器製作が行われたと思われる。

このように、珪質頁岩に関しては、遺跡内で剥片剥離から石器製作工程にいたる作業が行われていたと推定される。

珪質頁岩以外では、玉髄の大形原石が出土し、黒曜石も若干出土しているが、積極的に剥片剥離が行われたという痕跡は認められない。

磨製石斧を製作しているような、素材剥片なども確認できなかった。

(高橋)

(4) 石製品について

石製品は表13にある製品が出土している。礫石器同様に石製品もこの地点ではそれほど多くは出土していない。段階毎に検討すると、石製品はⅢ段階に少なく、Ⅱ段階や、晩期前半期の遺物が入り込むⅣ段階に多く出土している。

石製円盤 石製円盤は小(5cm未満)・中(5~7cm)・大(7cm以上)がみられ、素材は緑色凝灰岩・凝灰岩・玄武岩・安山岩・斑岩などがある。小形の場合は側面が研磨されているものもある。中・大形は側面に敲打痕が見られる。

表13 石製品組成表

	玉材	玉類	石製円盤	石棒	岩版	石製品	総計
遺構		36	14	1			51
Ⅱ段階	1		21	3		1	26
Ⅲa段階			1			1	2
Ⅲb段階						1	1
Ⅲf段階		1	1				2
Ⅳa段階			1	2		1	4
Ⅳb段階				1	1		2
Ⅴ段階			13	2			15
時期不明			3				3
総計	1	37	53	10	1	4	106

また、来年度刊行の報告書で詳述される予定であるが、各捨て場から、石製円盤が多量に出土しているのに対し、この盛土遺構一帯は非常に少ない。段階ごとに見てみると、大半はⅡ段階とⅣ段階から出土している。業師遺跡においても、円盤製品は晩期前半期に多い傾向が報告されており、川原平(1)遺跡の第1号盛土遺構一帯で少ないのも、時期的な原因の可能性もある。石製円盤は、捨て場などで多量に出土していることもあり、こうした石製品の組成差は、最終報告書で言及される予定である。

緑色凝灰岩の玉 第21号配石遺構の底面から出土している。玉が墓から出土した例は、津軽地域だけでも、青森市(旧浪岡町)平野遺跡、源常平遺跡、弘前市業師遺跡などがある。また、十腰内(1)遺跡(青森県2001)では壺形土器の中に緑色凝灰岩の玉材が納められている。川原平(1)遺跡の資料は立石を持つ配石遺構という特異な形状の遺構から出土しており、貴重な事例と言える。

小形の石錐が出土しているが、この遺跡で玉生産を行っていたかは不明である。

(中澤・高橋)

3 その他の遺物

(1) 土製品

【土偶】

土偶は刺突文土偶の腰部・右肩、中実土偶、大形遮光器土偶が出土している。刺突文土偶は、葉師遺跡において晩期4期から5期の土偶が多数出土しているが、川原平(1)遺跡の北西地区からは出土数が少ない。

類例が少ないが、数少ない30cmを超える大形遮光器土偶は、板柳町土井I遺跡、つがる市亀ヶ岡遺跡、平川市程森遺跡などで出土している。

【中空動物形土製品】

中空動物形土製品は、第1号盛土遺構の第14層(Ⅳ段階)で出土している。亀形土製品とも呼ばれる。この土製品は、楕円形の平面形態で、内部が中空になっている。一端に突起がつき、両側面に鱗状の張り出しが付くのが特徴である。特定の動物に結びつけて報告されているが、想像上の動物も含まれていると思われる(藤沼1997)。

川原平(1)遺跡の中空動物形土製品は、文様は2本一組の沈線文とその間に刺突・刻目列が展開する。正面は土製品の形状に沿って、裏面側は入組文風に組み合わせりながら文様が展開する。

類例としては、埼玉県さいたま市東北原遺跡や千葉県佐倉市江原台遺跡など関東方面でも出土している(小杉1986・1996)。

東北地方では秋田県三種町高石野遺跡、秋田県鹿角市玉内遺跡では、A地区の遺構外から出土している。この地区からは晩期前半の土器が出土している。長楕円形の平面形態を呈する。表裏の粘土を重ね合わせて作られている。三叉文、入組文を文様として持ち、赤彩である。山形県村山市作野遺跡の例は報告書では土笛と分類されている。楕円形の平面であり、突起を持つ。三叉状の文様が施文され、中空である。手を表現したような突起が2つついている。岩手県では岩手町黒内XⅢ遺跡、MⅢ堅穴住居跡1号(晩期4期、甲虫状土製品として記載)の北寄りの床面から出土している。久慈市大芦I遺跡の例は楕円形の平面形態であり、中空2本1組の沈線とその間に施文された縄文で入組文文様が展開する。人面が表現されており、晩期前半期と思われる。盛岡市手代森遺跡の例は鱗状把手のため、鳥が羽を広げたような形状であり、中空である。一戸町山井遺跡では7点出土し、内2点に正中線、C字の入組文、入組三叉文などで文様が表現されている。

青森県内ではつがる市亀ヶ岡遺跡、平川市石郷遺跡、青森市細越遺跡、野辺地町視ノ木遺跡、八戸市是川遺跡、松館遺跡、田子町野面平遺跡、南部町虚空蔵遺跡、平遺跡、寺下遺跡、三戸町中遺跡、十和田市明戸遺跡などでも出土している(青森県史2013、鈴木1982)。亀ヶ岡遺跡の例は大洞BC式の文様を施文されている。平遺跡の例は正面の両側側に2本沈線とその間に刺突文が施され、川原平(1)遺跡の文様構成に類似している。報告では晩期となっている。また沖中遺跡(三戸町2000)の例は、報告書では土偶とされているが、特徴から中空動物形土製品と思われる。裏面に入組文は、2本の平行する沈線を入り組ませて表現しており、刻目がない点を除けば、川原平(1)遺跡の中空動物形土製品のモチーフと類似している。この土製品の時期は、出土土器から後期末様から大洞BC式である。

大半は大洞B式からBC式の時期に帰属する。これらの製品はそれぞれの帰属する時期の土器文様を

モチーフとしているので、各時期の土器製作などに大きく影響を受けていると考えられる。

川原平(1)遺跡の中空動物形土製品も同時期の土器製作に大きく影響を受けていたと考えられる。第14層は後期後葉から晩期の土器が混在するため、層位的な観点から時期を特定することは困難である。しかし、2本1組の沈線と刺突列を基準とした文様構成は、後期後葉の土器に見られる刻目文様と類似するものである。また、入組部分も入組文を簡略化したような状態である。

このような視点から鑑みると、川原平(1)遺跡の中空動物形土製品は後期後葉に帰属する資料である可能性が非常に高いと考えられる。

4 接合関係とその分布

ここでは本報告書範囲と範囲外との間で接合した資料について記述する(図194)。

【石皿】石皿(図187-2)は第Ⅲ層(旧SK07)から出土し、その片割れが西捨て場のグリッドV6-27第Ⅲ層中から出土している。盛土地区の突端部、その両脇は急斜面であるため、上から西捨て場の方へ、転げ落ちた可能性もある。

【大形遮光器土偶】大形遮光器土偶(図92・93)は第28号土坑覆土上層を中心に出土している。パーツがばらばらに出土している。点取り番号P-5011は左肩部分であり、グリッドVJ-34である。王冠部分の一部は第18層から出土している。

また、同一個体と思われる部品が北捨て場から出土している。接合した股間部は北捨て場のグリッドVL-36の明揚層(第Ⅰ層の下)から出土している。接合しなかったが、右腰・右脚部がVJ-37の捨M層(第Ⅰ層の下)、VL-38の捨P3層(最下層に近い)で出土している。北捨て場は2m近くの厚みがある堆積層であり、遮光器土偶の部品が捨M層という上層、捨P3層という最下層に近い層から出土している。北捨て場の各層については次年度報告書に詳細に説明する。

【石剣】石剣(図174-7)は、第1号盛土遺構の北側、SN-BのVJ-36の22-1層から出土した。その接合資料が、北捨て場のVL-40の捨G層から出土したものと土が接合している。捨G層は北捨て場の中で比較的上層である。

地点間の接合は、川原平(1)遺跡Ⅱ報告書(第564集)では土製玉がIVQ45、IVV33と50m近く離れた地点同士が接合するなどの事例が散見される。これらも川原平(1)遺跡の活動、集落構造に大きく関わる内容である。まだ未報告の接合事例もあるので、詳細は最終報告書に記載したい。

(高橋)

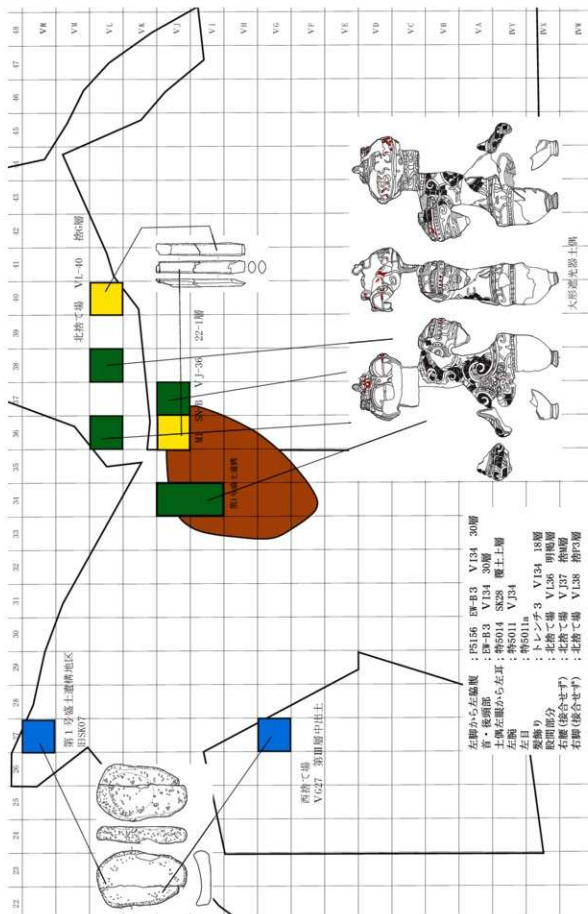


図194 遺物接合分布図

第3節 まとめ

調査の結果、縄文時代中期の堅穴住居跡や土坑、晩期の盛土遺構や配石遺構などが発見され、当地域での文化様相を捉える多くの知見を得ることができた。ここでは本書に記載した内容を踏まえ、当センターの発掘調査で明らかになったことと、来年度刊行の報告書に向けての課題などを示す。

川原平(1)遺跡の本報告範囲は、川原平(1)遺跡のある台地の北西隅、大沢川が岩木川に合流する地点を見下ろす位置にある。川原平(1)遺跡の地山は礫層とシルト質層に分かれるが、本報告範囲はシルト質の地山を持つ範囲である。

【縄文時代中期後半】中期後半の堅穴住居跡と土坑などの遺構が検出できた。出土土器から円筒上層d式から大木10式期にかけて小規模な集落が形成されている。特徴は、地山がシルト質部分に中期遺構が築かれていることである。川原平(1)遺跡の地山は、礫層の部分と、シルト質の部分に大きく分かれ、その内、地山が礫層の部分には中期遺構が見られないため、意図的にシルト質の地山部分を選んで遺構を構築していたと思われる。また、中期の大形土坑については、美山湖一帯の各遺跡で確認されており、その性格は貯蔵穴と考えられる。

【縄文時代後期後葉から晩期前半】当該期の遺構は、配石遺構、土器埋設遺構、土坑、ピットなどが確認されている。これらの遺構群は、シルト質地山を掘り込んでいる。来年度刊行する地山礫層一帯は、柱穴群が存在することから、地山礫層地点には晩期の住居群の存在が示唆される。居住域と墓域の地山が異なっており、意図的な選地が推定される。

配石遺構群は比較的多く検出され、その北側に、土器埋設遺構が広がっている。土坑は配石遺構の周辺に分布している。配石遺構と土器埋設遺構から1基づつ、リン・カルシウム分析を行ったところ、遺構の底面近くから高い値のリン・カルシウムが検出されたので、墓の可能性が高い。また、一定地域内に、異なる性質の遺構が意図的に場所を違えて構築されている。これらの遺構が選択された地点にまとめて配置されていることや、自然科学分析の結果から、これら遺構群で墓域を構成していると考えられる。

また、配石遺構に中で、立石を持つ配石遺構(日時状組石遺構)が2基確認されている。この形態の配石遺構は、縄文時代中期末に出現し、後期前半で発展する。川原平(1)遺跡の配石遺構によって、少なくとも立石を持つ配石遺構は、晩期前半まで継続することが明らかになった。さらに1基の立石を持つ配石遺構の下部に構築された土坑の底面から、緑色凝灰岩製の玉がまとめて検出された。当該期の墓と玉製品の関係は各遺跡で確認されているが、立石を持つ配石遺構から玉が出土した例は、県内では初めてである。当該期の葬送を捉える上で、重要な資料と言えよう。

【縄文時代晩期後半】晩期後半期の遺構として、第1号盛土遺構が挙げられる。盛土遺構は、後期後葉から晩期前半の墓域を覆うように形成されている。盛土の特徴から、大きく2段階に分けて構築されており、遺物の出土状況から、Ⅲ段階には意図的な遺物の廃棄が見られ、時期も晩期4期から5期にかけてである。一方Ⅳ段階には、土砂の廃棄に伴い、遺物も包含され、時期も後期後葉から晩期全般と幅広い時期の遺物が出土している。

盛土遺構は秋田県・岩手県・北海道で確認されている。その性格は諸説あるが、当遺跡の盛土遺構は、意図的な遺物の廃棄と、多量の土砂の廃棄という2種類の廃棄パターンが確認されている。縄文時代晩期における儀礼、土木作業などに関わる性格を垣間見ることができた。

【遺物】遺物としては後期後葉から晩期5期の土器が出土している。その中で数は少ないが、晩期4期から5期の土器と共伴して聖山式が確認されている。聖山式は、渡島半島と青森県北部の地域に多く見られる型式であり、川原平(1)遺跡はこれら地域の亀ヶ岡文化との関連が窺える。盛土遺構の形成に合わせて出土しており、盛土遺構構築とどのように関わっていたかは課題と言えよう。他に各種石器・石製品、土偶・動物形中空土製品、漆製品などが出土している。

本報告によって同一地点における墓域から盛土遺構への変遷が見られ、晩期後半段階における集落構造の変化が確認できた。それは、川原平(1)遺跡全体の集落構造とも密接に関わるとと思われる。次年度では、3つの盛土遺構の他に、竪穴住居・掘立柱建物などの居住域、大規模な捨て場などの報告が予定され、集落の全体像がより詳細に報告される。これらの成果を踏まえ、来年度に刊行される最終報告書において、川原平(1)遺跡の集落構造が検討されるであろう。

なお、本報告で行われた自然科学分析の成果は、来年度刊行報告書に掲載される。

(担当者一同)

引用・参考文献

※ 以下は本文引用で次のように省略する。

- 青森県教育委員会→青森県、秋田県教育委員会→秋田県、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター→岩手県
 青森県教育委員会 1978 『源常平遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第39集
 青森県教育委員会 1979 『細越遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第49集
 青森県教育委員会 1984 『一ノ渡遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第79集
 青森県教育委員会 1986 『今津遺跡・間沢遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第95集
 青森県教育委員会 1995 『千苺(1)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第174集
 青森県教育委員会 1999 『十榎内(1)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第261集
 青森県教育委員会 2000 『三内丸山遺跡XIV』青森県埋蔵文化財調査報告書第282集
 青森県教育委員会 2001 『十榎内(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第304集
 青森県教育委員会 2005 『三内丸山遺跡26』青森県埋蔵文化財調査報告書第404集
 青森県教育委員会 2006 『川原平(1)・(4)・大川添(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集
 青森県教育委員会 2009 『砂子瀬遺跡Ⅱ・大川添(2)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第482集
 青森県教育委員会 2010 『砂子瀬遺跡・水上(3)遺跡・水上(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第466集
 青森県教育委員会 2014 『芦沢(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第540集
 青森県教育委員会 2014 『鬼川辺(1)遺跡・鬼川辺(2)遺跡・鬼川辺(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第541集
 青森県教育委員会 2014 『大川添(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第544集
 青森県教育委員会 2014 『上新岡館・粟師遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第545集
 青森県教育委員会編 2008 『あおもり縄文展～JOMONを世界へ、三内丸山からの発信へ～』
 青森県史編さん考古部会編 2013 『青森県史 資料編 考古2 縄文後期・晩期』青森県史編さん考古部会
 青森県立郷土館 1984 『亀ヶ岡石器時代遺跡』青森県立郷土館調査報告書第17集
 秋田県教育委員会 1988 『玉内遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第171集
 秋田県教育委員会 2005 『向塚田D遺跡』秋田県文化財調査報告書第392集
 秋田県教育委員会 2008 『堀ノ内遺跡』秋田県文化財調査報告書第432集
 秋田県教育委員会 2010 『向塚田D遺跡(第2次)』秋田県文化財調査報告書第452集
 阿部義平 1968 「配石墓の成立」『考古学雑誌』第54巻第1号 77-96頁
 飯島義雄 1981 「仮称「連繫入組文」と「横位連続工字文」について—縄文時代晩期北海道亀田郡七飯町山遺跡出土の
 土器に施文された体部文様を中心として—」『考古風土記』第6号 1-17頁
 石野博信 1967 「弥生時代の貯蔵施設」関西大学考古学研究室年報1
 一戸町教育委員会 1995 『山井遺跡』一戸町文化財調査報告書第36集
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター→1986『五庫Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第94集
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター→1986『五庫Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第97集
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター→2002『清水遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第382集
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター→2006『大橋遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第481集
 江坂輝弥 1960 『土俵』校倉書房
 江坂輝也 1985 「配石遺構とは」『考古学ジャーナル』254 7-10頁
 小杉康 1986 「千葉県江原古遺跡及び岩手県雨滝遺跡出土の亀形土製品—所謂亀形土製品、土版、岩版の型式学的研究と
 用途問題—素描—」『明治大学考古学博物館報』No. 2 51-71頁
 小杉康 1996 「土製品—動物形中空土製品を例にして—」『考古学雑誌』第82巻第2号 37-49頁

- 小林圭一 2010 『亀ヶ岡式土器成立期の研究－東北地方における状況時代晩期前葉の土器型式－』早稲田大学 総合研究機構 先史考古学研究所
- 齋藤忠 1985 「配石遺構一特に環状列石について」『考古学ジャーナル』254 2-6頁
- 三戸町教育委員会 2000 『沖中遺跡・沖中(2)遺跡』三戸町埋蔵文化財調査報告書第1集
- 品川欣也 2003 「器種と文様、そして機能の相関関係にみる大洞A式土器の変遷過程」『鞍古史学』第119号 97-134頁
- 鈴木克彦 1982 「風韻堂コレクション: 岩俣、亀型土製品、土器片利用の円盤」『青森県立郷土館調査研究年報』第7号 47-64頁
- 鈴木克彦 2007 「北日本のストーン・サークル」『季刊考古学』第101号 17-20頁
- 鈴木道之助 1981 『図録石器の基礎知識III 縄文』柏書房
- 須藤隆 2007 『東日本縄文・弥生時代集落の発展と地域性』東北大学大学院文学研究科
- 須藤隆 2014 「峠下聖山遺跡の調査と日ノ浜式土器の追求」『斬新考古』第2号 2-4頁
- 関根達人・上條信彦 2012 『下北半島における亀ヶ岡文化の研究 青森県むつ市不備無遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告8
- 芥沢長介 1960 『石器時代の日本』築地書館
- 芥沢長介編 1979 『聖山』東北大学文学部考古学研究会考古学資料集別冊2
- 田村誠一 1968 「第3節 業師II号遺跡」『岩木山』岩木山刊行会 89-116頁
- 塚原正典 1987 『配石遺構』考古学ライブラリー49
- 長沼孝 1993 「縄文集落の変遷－北海道」『季刊考古学』第44号 42-51頁
- 七飯町教育委員会 1979 『聖山 北海道亀田郡七飯町における縄文時代遺跡の調査』
- 十和田市教育委員会 1983 『明戸遺跡発掘調査概報』十和田市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集
- 野村崇 1985 「東北北部と北海道の配石遺構－近年の発掘調査を中心として－」『考古学ジャーナル』254 11-14頁
- 八戸市教育委員会 2012 『史跡是川石器時代遺跡発掘調査報告書』八戸市埋蔵文化財調査報告書第135集
- 林謙作 1965 「2 東北」『日本の考古学II 縄文時代』河出書房 64-96頁
- 林謙作 1995 「縄文時代史24 縄文時代の集落(4)」『季刊考古学』第50号 109-116頁
- 弘前市教育委員会 2010 『大森勝山遺跡発掘調査報告書』弘前市教育委員会
- 平賀町教育委員会 2005 『太師森遺跡－発掘調査報告書－』平賀町埋蔵文化財調査報告書第36集
- 福井淳一 2014 「北海道の「盛土遺構」とは何か」『盛土遺構を巡る 予稿集』1-14頁
- 福田正宏 2000 「北部亀ヶ岡式土器としての聖山式土器」『古代』第108号 129-158頁
- 藤沼邦彦 1997 『歴史発掘③ 縄文の土偶』講談社
- 藤沼邦彦・関根立人 2008 「亀ヶ岡式土器(亀ヶ岡式系土器群)」『総覧縄文土器』UM Promotion 682-693頁
- 藤沼邦彦他 2004 『亀ヶ岡文化遺物実測図集』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告1
- 藤沼邦彦他 2005 『青森県東津軽郡平館村今津遺跡発掘調査報告書－津軽半島東沿岸における亀ヶ岡文化の遺跡－』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告2
- 藤沼邦彦・小川忠博 2006 『ミニ特別展「亀ヶ岡文化の世界」の図録』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告3
- 藤沼邦彦・横山寛剛・秋山真吾 2006 『亀ヶ岡文化遺物実測図集(2)』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告4
- 藤沼邦彦・秋山真吾 2007 『亀ヶ岡文化遺物実測図集(3)』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告5
- 三瓶村教育委員会 1996 『宇鉄遺跡発掘調査報告書』
- 八木勝枝 2004 「北上川中・下流域の盛土遺構－縄文時代晩期包含層分析からの一視点－」『岩手考古学』第16号 45-64頁
- 八木勝枝 2010 「東北地方縄文後晩期の盛土遺構」『三内丸山遺跡などの盛土遺構の研究－予稿集－』46-55頁
- 山内清男 1937 「縄紋土器型式の細別と大別」『先史考古学』1-1 『山内清男・先史考古学論文集』(一) 示人社 1997年収録

表14 遺構計測表(1)

遺構名前	図番号	時期	グリッド 南北	グリッド 東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
SI07	図7	不明	VL	30・31	上端、下端無し	上端、下端無し	—	—	床面のみ検出。土器656.5g。 中期後葉か?
SI08	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
SI09	図9・10	中期末	VL・M	29・30	5.24×4.81m	5.09×4.64m	0.51m	—	土器908.6g、剥片石器類 176.9g
SI10	欠番	—	—	—	—	—	—	—	→SQ→移動
SI11	図12・13	中期末	VJ・K	30・31	4.4×3.83m	4.14×3.63m	0.6m	—	土器2093.7g、剥片石器類 716.7g
SI12	図16	中期末	VK	32	3.72m(長軸のみ)	3.63m(長軸のみ)	0.36m	—	土器2024g、剥片石器類 529.6g
SI13	図18	中期中葉	VG	34・35	3.27×2.66m	2.83×2.22m	0.41m	—	大木系土器 (図19-2)が 出土している。
SK07	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
SK08	図21	不明	VL・M	30	3.65×3.68m	0.37×0.22m	0.25m	—	焼土検出
SK09	図22	中期後半	VL	30・31	3.07×2.65m	1.8×1.52m	2.28m	—	土器341.6g、剥片石器類 379.2g
SK10	図23	中期後葉	VL	32	2.97×2.96m	1.37×0.61m	1.26m	—	土器754.3g、剥片石器類 270.8g
SK11	図23	中期後半	VL・M	30・31	2.4×1.93m	1.49×1.26m	1.1m	—	土器20.6g、剥片石器類6.6g
SK12	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
SK13	図24	不明	VK・L	29・30	0.94×0.95m	0.88×0.73m	0.3m	—	—
SK14	図24	中期後半	VK・L	32・33	2.90×2.45m	1.91×1.82m	1.35m	—	土器223g、剥片石器類77.7g
SK15	図24	不明	VK	33	1.74×1.12m	0.96×0.93m	0.31m	—	土器99.5g、剥片石器類 72.1g
SK16	図25	中期後半	VL・M	31・32	3.86×2.50m	0.88×0.49m	2.21m	—	—
SK17	図25	不明	VJ	31	1.01×0.62m	0.9×0.52m	0.17m	—	—
SK18	図26	中期後葉	VI・J	31	2.82×2.48m	2.13×2.08m	1.63m	—	土器7518.6g、剥片石器類 829.1g
SK19	欠番	—	—	—	—	—	—	—	→SQ→移動
SK20	図26	中期後葉	VK	31・32	2.91×3.28m	2.48×2.07m	1.98m	—	土器1453.1g、剥片石器類 5.5g
SK21	図27	晩期後半	VI	35	1.84×1.59m	0.79×0.71m	0.97m	—	遺物は大河式 からそれ以前 を含む。
SK22	図28	晩期前葉	VI・J	35・36	1.55×1.44m	1.18×1.16m	0.53m	—	SB67に切られている。土器 3887.3g、剥片石器類562.6g
SK23	図28	中期後半	VI・J	32	3.45×3.37m	2.29×2.4m	1.53m	—	土器821.6g、剥片石器類 450.8g
SK24	図29	中期後半	VJ・K	33	3.43×3.25m	2.28×1.86m	1.47m	—	覆土上層から 赤部の土玉 (図41-4)出土
SK25	図29	中期後半	VJ・K	30・31	2.16×1.98m	1.87×1.79m	0.29m	—	SI11と重複している。
SK26	図30	中期後半	VJ・K	32	2.35×1.86m	1.98×1.42m	0.90m	—	土器121.6g、剥片石器類49.1g
SK27	図30	中期後半	VK	32	4.06×2.88m	2.14×2.13m	1.31m	—	土器7.1g
SK28	図31	中期後半	VI・J	34	2.98×2.54m	1.93×1.7m	1.77m	—	土坑覆土上層 並びに周辺から 遮光器土偶 (図92・93)が 出土している。
SK29	図32	中期後葉	VJ・K	32・33	3.17×2.47m	2.06×1.9m	0.89m	—	土器350.4g、剥片石器類 125.3g
SK30	図32	中期後半	VL・M	28・29	4.04×2.81m	2.02×1.89m	0.66m	—	—
SK31	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
SK34	図18	中期中葉	VG	34	1.07×1.06m	0.81×0.65m	0.32m	—	SI13より古い。土器76.8g、 剥片石器類158.9g
SK35	欠番	—	—	—	—	—	—	—	浅い凹み。土器521.8g、剥片 石器類19.8g
SK36	図33	晩期前半	VH	32	1.39×1.1m	0.35×0.25m	0.58m	—	図41-15 土器292.3g、剥片石器類 56.3g
SK37	図33	晩期前半	VH・I	32	1.29×0.99m	1.07×0.6	0.57m	—	土器223.6g、剥片石器類 105.5g
SK38	図34	晩期前半	VI	32	0.77×0.64m	0.44×0.33m	0.3m	—	—
SK39	図34	中期後半	VI	31・32	2.35×2.26m	1.86×1.79m	0.94m	—	土器531.7g、剥片石器類 1433.7g
SK40	図34	晩期中葉	VI	33	0.47×0.41m	0.24×0.14m	0.42m	—	土器161.1g、台付き鉢出土

表14 遺構計測表(2)

遺構名	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド E東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
SK41	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK42	図34	中期後半	VJ	32	1.09×0.91m	1.01×0.69m	0.86m		
SK43	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK44	図35	晩期前半	VG	32	1.10×0.90m		0.30m		土器16.9g、剥片石器類 29.4g
SK45	図35	中期後半	VK	33・34	3.44×2.61m	2.13×1.82m	1.51m		土器375.1g、剥片石器類 1738.1g
SK46	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK47	図53	晩期前半	VH	34	0.65×0.51m	0.32×0.27m	0.22m		
SK48	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK49	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK50	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK51	欠番	—	—	—	—	—	—		→SQへ移動
SK52	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK53	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK54	欠番	—	—	—	—	—	—		
SK55	図35	晩期前半	VG・H	32	1.03×0.71m	0.87×0.56m	0.39m		土器44.6g、剥片石器類 55.5g
SQ20	図45	晩期前半	VK	32	2.22×2.16m	—	—		他の配石遺構と異なり配石 下の土坑は検出されていない。 土器244.7g、剥片石器類 80.2g
SQ21	図47・48	晩期前半	VH	32	0.92×0.75m	0.7×0.46m	0.60m	底面から緑色 凝灰岩製玉 (図54-7~27) 出土	立石を持つ形状。土器646.8 g、剥片石器類78.4g
SQ22	図49	晩期前半	VH	33	1.07×0.74m	0.69×0.46m	0.45m		土器5366.6g、剥片石器 238.6g
SQ23	図49	晩期前半	VI	32	1.04×0.85m	0.62×0.56m	0.24m		
SQ25	図49	晩期前半	VH	33・34	1.03×1.02m	0.78×0.49m	0.40m		土器431.5g、剥片石器
SQ26	図50	晩期前半	VH	32	1.34m×1.11m	1.20×1.02m	0.42m	石製円盤(図 56-6)出土	SB69に切られている。土器 547.3g、剥片石器類15g
SQ27	図51	晩期前半	VH	32	1.43×1.12m	1.07×0.65m	0.3m	底面から石匙 (図56-8)出土	立石を持つ形状。土器 197.9g剥片石器類196.2g。 リン・カルシウム分析
SQ28	図50	晩期前半	VI	32・33	0.96×0.83m	0.57×0.55m	0.35m		土器125.4g
SQ29	図52	晩期前半	VH	33	1.16×0.99m	0.70×0.58m	0.39m		土器1146.3g、剥片石器 87.4g
SQ30	図52	晩期前半	VI	33	1.04×0.95m	0.90×0.81m	0.22m		
SQ31	図52	晩期前半	VH	33	0.47×0.37m	0.17×0.14m	0.24m		土器27g、剥片石器9.1g
SQ32	図52	晩期前半	VH	33	0.64×0.44m	0.52×0.34m	0.32m		土器181.4g、剥片石器 54.8g
SQ42	図53	晩期前半	VK	33	上端、下端無 し	上端、下端無 し	—		旧S10。土器15.6g、剥片 石器類59g
SQ44	図52	晩期前半	VJ	34	0.44×0.38m	0.21×0.18m	0.25m	接合雑出土 (図57-1)	旧SK19。剥片石器類93.8g
SQ45	図53	晩期前半	VH	34	0.77×0.54m	0.71×0.4m	0.35m		旧SK47。土器121g、剥片 石器類30g
SQ46	図53	晩期前半	VI	33	1.22×0.97m	1.12×0.72m	0.17m		旧SK51。土器36.1g
SQ47	図53	晩期前半	VI	33	0.69×0.61m	0.54×0.4m	0.38m		旧P11365
SR50	図58	晩期前半	VH	35	0.36×0.38m	—	0.23m		正位。剥片石器類59.3g
SR51	図58	晩期前半	VN	26	0.51×0.44m	0.18×0.13m	0.34m		正位。
SR52	図58	晩期前半	VK	30	0.46×0.39m	—	0.34m		正位。
SR53	図58	晩期前半	VI	33	0.37×0.3m	—	0.35m		横位。
SR54	図59	晩期前半	VI	33・34	0.37×0.35m	—	0.19m		正位。
SR55	図59	晩期前半	VJ	30	0.46×0.41m	—	0.18m		正位。
SR56	図59	晩期前半	VJ	32	0.43×0.32m	0.2m (長軸の み)	0.18m		正位。
SR57	図59	晩期前半	VJ	35	0.34×0.3m	—	0.11m		場方確認できない。埋設土 器遺構でない可能性高い。
SR58	図60	晩期前半	VJ・K	34	0.40×0.36m	0.24×0.2m	0.25m		正位。剥片石器類0.5g
SR59	図60	晩期前半	VK	34	0.38×0.31m	0.23×0.17m	0.18m		正位。
SR60	図60	晩期前半	VI	34	0.40×0.34m	—	0.14m		正位。
SR61	図60	晩期前半	VJ	33	0.36×0.34m	0.17×0.16m	0.24m	土器内部から 石製円盤出土 (図65-3)	正位。
SR62	図61	晩期前半	VJ	34	0.38×0.36m	0.22×0.21m	0.35m		正位。

表14 遺構計測表(3)

遺構名前	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド E東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
SR63	図61	晩期前半	VJ	31・32	0.41×0.39m	0.19m(長軸のみ)	0.42m		正位。
SR64	図61	晩期前半	VI	35	0.29×0.27m	—	0.24m		正位。
SR65	図62	晩期前半	VJ	34	0.33×0.32m	0.15(長軸のみ)	0.26m		正位。リン・カルシウム分析
SR66	—	晩期前半	VI	35	—	—	—		横倒しの深鉢形土器である。剥片石器類51.9g
SR67	図28	晩期前半	VI	35	0.30×0.29m	—	0.35m		逆位。
SR68	図62	晩期前半	VJ	34	—	—	0.19m		掘方確認できない。埋設土器遺構でない可能性がある。
SR69	図50	晩期前半	VH	32	0.51(長軸のみ)	—	0.1m		正位。剥片石器類11.9g
SR70	図62	晩期前半	VH	33	0.26×0.25m	0.13×0.11m	0.15m		正位に置かれた冬版文の深鉢形土器。
SR71	図63	晩期前半	VI	32	0.49×0.37m	—	0.43m		正位。剥片石器類3.3g
SR72	欠番	—	—	—	—	—	—	—	→P11に移動。土器139.3g
SR73	図63	晩期前半	VK	31	0.28×0.25m	0.21×0.16m	0.16m		正位。剥片石器類43.8g
SR74	図63	晩期前半	VJ	32	0.37×0.33m	0.19×0.14m	0.34m		横位。
SR76	図63	晩期前半	VH	33	0.49×0.4m	0.38×0.32m	0.3m		旧P11:529。横位。
SN51	図44	晩期後半	VG・H	34	—	—	0.17m	図68	M1にて確認。土器1026.5g、剥片石器類1008.9g
SN52	図44	晩期前半	VH・I	33	0.46×0.53m	—	0.13m	図69	土器109.2g、剥片石器類61.4g
SN53	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
SN54	図44	晩期前半	VH	35・36	0.67×0.57m	—	0.14m	図69	土器179.9g 剥片石器類56.9g
SN55	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
SN56	図44・71	晩期前半	VG	33	0.31×0.23m	—	0.09m		P11:1376上面にて検出。埋設土器内に焼土
SN57	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—

表15 ピット計測表(1)

遺構名	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド E東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
524		後期から晩期	VI	33	0.35×0.3m	0.23×0.16m	0.26m		
721		後期から晩期	VI	31	0.37×0.33m	0.2×0.14m	0.17m		
1101		後期から晩期	VI	31	0.46×0.43m	0.33×0.26m	0.61m		
1102		後期から晩期	VI	30	0.3×0.27m	0.23×0.16m	0.27m		
1103		後期から晩期	VI	30	0.24(長輪のみ)	0.2×0.11m	0.4m		
1104		後期から晩期	VI	30	0.23×0.22m	0.17×0.13m	0.34m		
1105		後期から晩期	VK	32・33	0.39×0.4m	0.24×0.16m	0.34m		
1189		後期から晩期	VK	33	0.31×0.3m	0.19×0.16m	0.37m		
1190		後期から晩期	VI	31	0.3×0.25m	0.12×0.1m	0.23m		
1191		晩期前半	VJ	31	0.37×0.37m	0.22×0.16m	0.44m	半歯状文の鉢形土器(図72-1)	土器21.1g
1192		後期から晩期	VK	31	0.31×0.26m	0.15×0.13m	0.35m		
1193		後期から晩期	VK・L	31	0.3×0.24m	0.14×0.1m	0.22m		
1194		後期から晩期	VK	33	0.25×0.22m	0.14×0.14m	0.32m		
1195		後期から晩期	VI	31	0.26×0.22m	0.18×0.13m	0.27m		
1196		後期から晩期	VK	33	0.32(長輪のみ)	0.29×0.13m	0.34m		
1197		後期から晩期	VJ	31	0.25×0.21m	0.21×0.13m	0.19m		
1198		後期から晩期	VJ	32	0.35×0.37m	0.3×0.23m	0.22m		
1199		後期から晩期	VK	31	0.47(長輪のみ)	0.41(長輪のみ)	0.32m		
1200		後期から晩期	VI	32	0.52×0.44m	0.32×0.24m	0.57m		
1208		後期から晩期	VJ	32	0.33×0.31m	0.08×0.04m	0.38m		
1209		後期から晩期	VJ	31	0.51×0.46m	0.17×0.14m	0.45m		
1210		後期から晩期	VK	33	0.26×0.22m	0.11×0.05m	1.34m		
1211		後期から晩期	VJ	31	0.22×0.21m	0.13×0.12m	0.29m		
1212		後期から晩期	VI	31	0.32×0.32m	0.23×0.2m	0.34m		
1285		後期から晩期	VJ	32	0.29(長輪のみ)	0.15×0.1m	0.35m		
1286		後期から晩期	VJ	32	0.36×0.3m	0.19(長輪のみ)	0.25m		
1287		後期から晩期	VJ	33	0.34×0.26m	0.24×0.19m	0.46m		
1321		後期から晩期	VJ	35	0.52×0.43m	0.14×0.09m	0.43m	有蓋(図72-2)	剥片土器類70.1g
1322		後期から晩期	VJ	35	0.48×0.42m	0.24×0.14m	0.27m		
1323		後期から晩期	VI	35	0.3×0.26m	0.11×0.1m	0.2m		
1324		後期から晩期	VJ	35	0.46×0.36m	0.22×0.21m	0.37m	剥片土器類35.6g	
1325		後期から晩期	VJ	35	0.29×0.28m	0.18×0.15m	0.16m	剥片土器類5.2g	
1326		後期から晩期	VI	35	0.36×0.28m	0.16×0.1m	0.24m		
1327		後期から晩期	VI	35	0.36×0.33m	0.19×0.11m	0.22m	剥片土器類32.1g	
1328	図70	後期から晩期	VI	35	0.26×0.25m	0.18×0.17m	0.32m		
1329		後期から晩期	VI	35	0.37×0.34m	0.11×0.07m	0.27m	有蓋(図72-3)	剥片土器類16.3g
1330		後期から晩期	VI	35	0.21×0.21m	0.1×0.08m	0.11m		
1331	図70	後期から晩期	VJ	35	0.22×0.22m	0.24×0.23m	0.28m		
1333	図70	後期から晩期	VJ	35	0.22×0.22m	0.2×0.19m	0.26m		
1339		後期から晩期	VI	32	0.28×0.21m	0.14×0.08m	0.28m		
1348		後期から晩期	VI	35	0.53×0.5m	0.45×0.44m	0.23m	剥片土器類13.5g	
1350		後期から晩期	VF	33・34	0.39×0.33m	0.29×0.21m	0.15m		
1352		後期から晩期	VI	35	0.25×0.25m	0.16×0.13m	0.15m	剥片土器類6.3g	
1353	図70	後期から晩期	VI・J	34・35	0.58×0.35m	0.23×0.17m・ 0.17×0.13m	0.33m		
1354		後期から晩期	VI	35	0.31×0.29m	0.22×0.18m	0.19m		
1355		後期から晩期	VI	35	0.25×0.22m	0.16×0.13m	0.29m	剥片土器類7.6g	
1356		後期から晩期	VI	35	0.46×0.43m	0.12×0.12m	0.26m	剥片土器類9.7g	
1357		後期から晩期	VI	35	0.65×0.49m	0.51×0.25m	0.29m	剥片土器類3.2g	
1358		後期から晩期	VJ	35	0.31×0.31m	0.19×0.12m	0.24m	剥片土器類6.4g	
1360		後期から晩期	VH	35	0.29×0.23m	0.21×0.19m	0.23m		
1361		後期から晩期	VI	35	0.66×0.52m	0.18×0.15m	0.47m		
1362		後期から晩期	VI	35	0.32×0.29m	0.21×0.17m	0.31m	剥片土器類3.6g	
1363		後期から晩期	VI	34	0.75×0.7m	0.25×0.22m	0.27m	剥片土器類23.7g	
1364		後期から晩期	VI	36	0.41×0.33m	0.25×0.25m	0.18m	土器断片資料のため、図示していない。	土器12.7g
1365	欠番	—	—	—	—	—	—	→SQへ移動	
1366		後期から晩期	VI	34	0.56×0.51m	0.16×0.12m	0.52m	剥片土器類8.4g	
1367		後期から晩期	VI	34	0.62×0.4m	0.36×0.23m	0.42m	剥片土器類10.9g	
1368		後期から晩期	VI	36	0.32×0.3m	0.14×0.09m	0.31m		
1369	図70	後期から晩期	VH	34・35	0.61×0.4m	0.3×0.24m	0.45m	深鉢形土器底部出土。剥片土器類15.8g	
1370		後期から晩期	VI	35	0.25×0.24m	0.16×0.13m	0.24m		
1371		後期から晩期	VI	35	0.36×0.33m	0.17×0.13m	0.31m	珪質頁岩製石核や剥片などが319.4g出土。石核(図72-4)	剥片土器類319.4g

表15 ピット計測表(2)

遺構名前	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド D東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
1372		後期から晩期	VJ	34・35	0.53×0.28m	0.25×0.23m	0.36m		
1373		後期から晩期	VH	34	0.36×0.34m	0.25×0.25m	0.28m	土器断片資料のため、図示していない。	土器21.2g
1374		後期から晩期	VH	34	0.30×0.26m	0.23×0.17m	0.17m		剥片石器類23.6g
1375		後期から晩期	VH	33・34	0.28×0.21m	0.21×0.14m	0.16m		
1376	図71	晩期前半	VG	33	0.79×0.69m	0.32×0.18m	0.5m	底部に高台を持つ晩期の深鉢形土器(図72-5・6)	上面に第56号埴土遺構、土器813.7g
1377		後期から晩期	VH	33	0.21×0.23m	0.15×0.19m	0.14m	土器断片資料のため、図示していない。	土器6.1g
1378		後期から晩期	VH	33	0.42×0.35m	0.33×0.3m	0.22m	土器断片資料のため、図示していない。	土器27.7g
1379	図71	晩期前半	VG	33	0.63×0.5m	0.52×0.43m	0.45m	人組文を持つ深鉢形土器の胴部片(図72-7)	土器83g
1380		後期から晩期	VH	33	0.64×0.5m	0.33×0.26、 0.15×0.13m	0.39m	土器断片資料のため、図示していない。	底部(下層1、下層2)土器45.2g
1381		後期から晩期	VH	35	0.28×0.23m	0.22×0.19m	0.12m		
1382		後期から晩期	VH	35	0.26×0.25m	0.23×0.12m	0.2m		
1383		後期から晩期	VF	32	0.34×0.24m	0.2×0.13m	0.35m	土器断片資料のため、図示していない。	土器12.1g、剥片石器類12.4g
1384		後期から晩期	VG	34	0.34×0.31m	0.08×0.06m	0.28m	晩期の口縁部断片資料	土器28.7g、剥片石器類12.7g
1385		後期から晩期	VJ	36	0.28×0.27m	0.13×0.14m	0.15m	土器断片資料のため、図示していない。	土器111g
1386		後期から晩期	VJ	36	0.27×0.25m	0.12×0.1m	0.17m	土器断片資料のため、図示していない。	土器26.1g
1387		後期から晩期	VJ	35	0.35×0.29m	0.17×0.12m	0.23m		
1388		後期から晩期	VJ	35	0.62×0.47m	0.2×0.16m	0.44m	土器断片資料のため、図示していない。	土器126.2g、剥片石器類8.7g
1389		後期から晩期	VH	33	0.35×0.3m	0.31×0.29m	0.27m	土器断片資料のため、図示していない。	土器32.9g
1390		後期から晩期	VH	32	0.41×0.37m	0.23×0.14m	0.39m	土器断片資料のため、図示していない。	土器12.8g
1391		後期から晩期	VH	34	0.38×0.35m、 0.68×0.61m	0.18×0.15m、 0.23×0.2m	0.58m、 0.39m		13・14年度調査
1392		後期から晩期	VI	34	0.54×0.41m	0.38×0.16m	0.16m	土器断片資料のため、図示していない。	土器1.5g、剥片石器類3.7g
1393		後期から晩期	VI	34	0.77×0.41m	0.38×0.14m	0.32m		剥片石器類4.4g
1395	図70	晩期前半	VI	34	0.69×0.59m	0.34×0.29m	0.63m	C字文を持つ壺形土器(図72-8)	土器253.3g、剥片石器類7.2g
1396		晩期前半	VI	34	0.46×0.43m	0.16×0.15m	0.3m	人組三叉文をもつ壺形土器の胴部片(図72-9)	土器48.2g
1397		晩期前半	VI	34	0.67×0.57m、 0.83×0.57m	0.44×0.38m、 0.18×0.16m	0.39m	人組文を持つ鉢形土器(図74-16)	開口部(上層1、上層1+上層2)・底部(下層1、下層2)、土器120.1g、剥片石器類19.8g
1398		後期から晩期	VI	33・34	0.58×0.46m、 0.82×0.42m	0.31×0.17m、 0.19×0.18m、 0.27×0.27m	0.45m	晩期の口縁部断片	開口部(上層1、上層1+上層2)・底部(下層1、下層2、下層3)、土器222.6g、剥片石器類7.0g
1399		後期から晩期	VI	33	0.97×0.86m	0.3×0.07m	0.6m	土器断片資料のため、図示していない。	土器123g
1400	図71	晩期前半	VI	34	0.79×0.56m	0.42×0.24m	0.5m	香炉形土器(図73-1)	土器91g、剥片石器類6.1g
1401		晩期前半	VI	34	0.58×0.42m	0.24×0.16m	0.5m	羊歯状文を持つ注口形土器(図73-2)	土器290.1g、剥片石器類22.3g

表15 ピット計測表(3)

遺構 名前	図番号	時期	グリッ ド南北	グリッ ド東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
1402		晩期前半	VI	34・35	0.86×0.71m	0.45×0.21m	0.26m	入組文を持つ 深鉢形土器 (図73-3)	土器270.9g、剥片石器 類24.9g
1403		後期から晩期	VH	34	0.72×0.62m	0.51×0.32m	0.31m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器5.4g
1404		後期から晩期	VH	34	0.26×0.24m	0.16×0.13m	0.27m	土器断片資料 のため、図示 していない。 石鏝(図73- 4)	土器96.3g、剥片石器 類87.8g
1405		後期後半	VJ	34	1.49×1.28m	0.32×0.23m	0.46m	磨付き土器片 (図73-5)、 石核(図73- 6)	土器18.1g、剥片石器 類70.4g
1406		後期から晩期	VJ	32	0.26×0.22m	0.2×0.12m	0.16m		
1407		後期から晩期	VJ	33	0.37×0.29m	0.19×0.14m	0.27m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器15.2g
1408		後期から晩期	VI	32	0.24×0.2m	0.14×0.13m	0.19m		
1409		後期から晩期	VJ	32	0.36×0.25m	0.19×0.16m	0.37m		
1410		後期から晩期	VI	32	0.51×0.46m	0.13×0.11m	0.39m	土器断片資料 のため、図示 していない。剥片類が 496.4g出土。 二次加工剥片 (図73-7)	土器48.4g、剥片石器 類595.9g
1420		後期から晩期	VI	34	0.63×0.54m	0.47×0.38m	0.22m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器54.5g
1421		後期から晩期	VI	34	0.45(長軸のみ)	0.32×0.27m	0.29m	石鏝未製品 (図73-9)	土器76.1g、剥片石器 類42.1g
1422		後期から晩期	VI	34	0.48(長軸のみ)	0.29×0.28m	0.37m		
1423		後期から晩期	VJ	34	0.49(長軸のみ)	0.21×0.19m	0.29m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器4.9g
1424		後期から晩期	VJ	34	0.44(長軸のみ)	0.25×0.23m	0.37m	土器断片資料 のため、図示 していない。 石鏝(図73- 8)	土器106.5g、剥片石器 類89.1g
1425		後期から晩期	VJ	34・35	0.5(長軸のみ)	0.25×0.22m	0.46m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器96.3g
1426		後期から晩期	VJ	34	1405と同一	0.34×0.18m	0.31m	凹石(図73- 11)	剥片石器類77g
1427		後期から晩期	VJ	32	0.26(長軸のみ)	0.18×0.15m	0.18m		
1428		後期から晩期	VH	34・35	0.43×0.36m	0.23×0.14m	0.38m		
1429		後期から晩期	VH・I	34	0.47×0.35m	0.14×0.14m	0.24m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器1.9g
1431		後期から晩期	VH	34	0.51×0.41m	0.28×0.23m	0.33m		
1432		後期から晩期	VJ	32	0.64×0.58m	0.25×0.21m	0.55m		
1433		後期から晩期	VJ	32	0.3×0.23m	0.18×0.11m	0.37m		
1434	図71	後期から晩期	VH	33	1.39×0.81m	1.23×0.62m	0.35m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器142g
1436		後期から晩期	VH	33	0.37(長軸のみ)	0.28(長軸のみ)	0.4m		
1437	図71	後期から晩期	VG・H	33	0.63×0.52m	0.25×0.2m	0.61m	土器断片資料 のため、図示 していない。	土器38.9g、剥片石器 類31.8g
1438		後期から晩期	VG	32・33	0.74×0.56m	0.31×0.26m	0.45m		剥片石器類66.6g
1439		晩期前半	VI	33	0.33×0.27m	0.26×0.18m	0.34m	入組三文文を もつ深鉢形土 器(図73-10)	土器120.4g、剥片石器 類48.3g
1440		後期から晩期	VH・I	33	0.36×0.28m	0.33×0.21m	0.27m	沈鏝と新実文 を持つ晩期土 器(図74-1)	土器61g
1441		後期から晩期	VJ	32	0.25×0.25m	0.25×0.19m	0.35m		
1442		後期から晩期	VJ	32	0.28×0.26m	0.25×0.15m	0.29m		
1444		後期から晩期	VJ	34	0.39×0.36m	0.29×0.24m	0.28m		
1445		晩期前半	VJ	34	0.38×0.3m	0.22×0.21m	0.37m	入組文を持つ 深鉢形土器 (図74-4)、 石核(図74- 5)	土器116.1g、剥片石器 類61.2g

表15 ピット計測表(4)

遺構名前	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド D東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
1446		晩期前半	VJ	34	0.73(長軸のみ)	0.52(長軸のみ)	0.52m	深鉢形土器(図74-2) 雲形文を持つ注口形土器(図74-3)	土器115.9g、剥片石器類22.9g
1447		後期から晩期	VJ	34	0.47×0.44m	0.16×0.11m	0.25m		
1448		後期から晩期	VJ	34	0.28×0.24m	0.06×0.03m	0.32m	土器断片資料のため、図示していない。	土器21.6g
1449		後期から晩期	VJ・K	34	0.48×0.42m	0.41×0.32m	0.35m	土器断片資料のため、図示していない。	土器37g
1450		後期から晩期	VI	33	0.45×0.38m	—	0.33m	土器断片資料のため、図示していない。	柱状上端、下端あり。土器115.3g、剥片石器類10.6g
1452			VI	32	0.46×0.35m	—			
1460		後期から晩期	VH	34	0.26×0.24m	0.11×0.05m	0.21m		14年度調査
1461		後期から晩期	VG	32	0.25×0.18m	0.14×0.13m	0.13m		14年度調査
1462		後期から晩期	VH	35	0.27×0.21m	0.14×0.13m	0.18m		14年度調査
1463		後期から晩期	VH	35	0.42×0.34m	0.2×0.13m	0.43m		14年度調査
1464		後期から晩期	VH	35	0.34×0.3m	0.26×0.22m	0.34m		14年度調査
1465		後期から晩期	VH	34	0.37×0.34m	0.27×0.25m	0.29m		14年度調査
1501		後期から晩期	VJ	34	0.24×0.21m	0.13×0.09m	0.42m		
1502		後期から晩期	VI	34	0.48×0.47m	—	0.43m	土器断片資料のため、図示していない。 石匙(図74-6)	柱状上端、下端あり。土器144.3g、剥片石器類5.0g
1503		後期から晩期	VI	33・34	0.44×0.42m	0.33×0.2m	0.25m	土器断片資料のため、図示していない。	土器164.7g、剥片石器類11.5g
1504		後期から晩期	VI	34	0.41×0.35m	0.24×0.22m	0.37m	土器断片資料のため、図示していない。	土器69.3g、剥片石器類38.4g
1505		後期から晩期	VI	34	0.61×0.56m	0.41×0.31m	0.31m	土器断片資料のため、図示していない。	土器90.8g
1506		後期から晩期	VH	34	0.43×0.34m	0.29×0.23m	0.3m	土器断片資料のため、図示していない。	土器65g
1507		後期から晩期	VG	34	0.56×0.37m	0.19×0.18m	0.3m	土器断片資料のため、図示していない。	土器30.5g
1508		後期から晩期	VH	34	0.33m(長軸のみ)	0.15×0.13m	0.26m	土器断片資料のため、図示していない。	土器7.2g
1509		後期から晩期	VG	33	0.47×0.38	0.36×0.32m	0.23m		
1510		後期から晩期	VG	33	0.34×0.32m	0.3×0.26m	0.27m		
1511		晩期前半	VG	34	0.35×0.32m	0.28×0.26m	0.27m	人組文を持つ深鉢形土器(図74-7)	土器85.6g
1512		後期から晩期	VG	33	0.44×0.37m(上端)	0.31×0.19m	0.31m	断片資料	土器18.3g
1513		後期から晩期	VJ	32	0.27×0.22m	0.2×0.12m、 0.06×0.03m	0.48m		底部(下端、柱状下端)
1514		後期から晩期	VJ	32	0.44×0.37m、 0.3×0.28m	0.17×0.16m	0.43m	土器断片資料のため、図示していない。	開口部(上端、柱状上端)。土器3.3g
1515		後期から晩期	VJ	32	0.31×0.3m	0.17×0.14m	0.46m	土器断片資料のため、図示していない。 日架屋を持つ深鉢形土器(図74-8)	土器14.4g
1516		晩期前半	VH	33	0.59×0.56m	0.38×0.38m	0.3m		土器256.7g
1517		後期から晩期	VJ	34	0.39×0.38m	0.3×0.18m	0.28m		
1518		後期から晩期	VI	33	0.49×0.42m	0.31×0.28m	0.28m	土器断片資料のため、図示していない。	土器48.7g、剥片石器類0.9g
1519		後期から晩期	VI	32	0.47m(長軸のみ)	0.13×0.09m	0.3m		
1520		後期から晩期	VI	32	0.23m(長軸のみ)	0.16m(長軸のみ)	0.22m		
1522		後期から晩期	VJ	34	0.48×0.37m	0.25×0.21m	0.36m	印石・磨石(図74-13)	土器14.5g
1523		後期から晩期	VI	33	0.44×0.37m	0.13×0.09m	0.41m	土器断片資料のため、図示していない。	土器112.3g
1524	欠番	—	—	—	—	—	—		

表15 ピット計測表(5)

遺構名前	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド E東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
1525		後期から晩期	VI	33	0.42×0.33m	—	0.25m		剥片石器類106.6g
1527		後期から晩期	VF	33	0.54×0.45m	0.22×0.17m	0.29m		
1528		後期から晩期	VF・G	33	0.34×0.29m	0.09×0.06m	0.31m		
1529	欠番	—	—	—	—	—	—		→SEへ移動
1531		晩期前半	VH	33	0.49m(長軸のみ)	—	0.11m	入組三又文を持つ棒形土器(図74-9)	周辺のピットに切られている。土器155.5g
1532		後期から晩期	VH	33	0.37×0.33m	0.24×0.16m	0.24m	土器断片資料のため、図示していない。	土器12g
1533		後期から晩期	VH	33	0.34m(長軸のみ)	0.16m(長軸のみ)	0.24m	土器断片資料のため、図示していない。	土器89.6g
1534		後期から晩期	VH	33	0.43×0.36m	0.25×0.21m	0.32m	土器断片資料のため、図示していない。	土器9.2g
1535		後期から晩期	VG	32	0.46×0.4m	0.23×0.18m	0.39m		
1536		後期から晩期	VG	32	0.53×0.43m	0.25×0.21m	0.48m		剥片石器類10.8g
1537		後期から晩期	VH・I	34	0.36×0.32m	0.35×0.23m	0.12m		
1538		後期から晩期	VJ	34	0.37×0.16m	0.12×0.06m	0.34m	土器断片資料のため、図示していない。	土器106.7g、剥片石器類37.5g
1539		後期から晩期	VJ	32	0.56×0.5m	0.33×0.18m	0.44m		
1540		後期から晩期	VJ	34	0.53m(長軸のみ)	0.36m(長軸のみ)	0.31m	土器断片資料のため、図示していない。	土器6.8g
1541		後期から晩期	VH	33	0.35×0.33m	0.2×0.15m	0.32m	土器断片資料のため、図示していない。	土器5.6g
1542		後期から晩期	VH	33	0.27×0.19m	平面無し	0.05m	土器断片資料のため、図示していない。	土器36.2g
1543		晩期前半	VI	33	0.52m(長軸のみ)	0.27m(長軸のみ)	0.41m	有付き棒形土器(図74-10)、入組三又文を持つ土器(図74-11)、土器(図74-12)	土器230.4g、剥片石器類24.9g
1544		後期から晩期	VJ	34	0.46×0.29m	0.37×0.19m	0.34m		
1545		後期から晩期	VJ	34	0.68×0.49m	0.47×0.36m	0.33m	土器断片資料のため、図示していない。	土器6.5g
1546		後期から晩期	VJ	35	0.29×0.24m	0.22×0.17m	0.16m		
1547		後期から晩期	VJ	35	0.42×0.4m	0.3×0.24m	0.2m	土器断片資料のため、図示していない。	土器2.6g
1548		後期から晩期	VJ	35・36	0.41×0.36m	0.29×0.27m	0.18m		剥片石器類11.4g
1549		後期から晩期	VI	35	0.29×0.24m	0.21×0.18m	0.19m		
1550		後期から晩期	VI	33	0.54×0.43m	0.41×0.3m	0.34m	土器断片資料のため、図示していない。	土器9.9g
1551		後期から晩期	VI	36	0.35×0.32m	平面無し	0.19m	土器断片資料のため、図示していない。	土器5.4g
1552		後期から晩期	VI	35	0.34×0.26m	0.25×0.17m	0.09m		
1553		後期から晩期	VJ	35	0.3×0.26m	0.25×0.15m	0.18m		
1554		後期から晩期	VJ・I	35	0.44m(長軸のみ)	0.36×0.27m	0.22m		
1555		後期から晩期	VI	34	0.39×0.29m	0.27×0.13m	0.18m	土器断片資料のため、図示していない。	土器36.5g
1556		後期から晩期	VI	34	0.61×0.43m	0.24×0.19m	0.54m	土器断片資料のため、図示していない。	土器24.4g、剥片石器類6.1g
1557		後期から晩期	VI	34	0.3×0.27m	0.15×0.13m	0.15m	土器断片資料のため、図示していない。	土器14g
1558		後期から晩期	VI	34	0.38×0.25m	0.24×0.2m	0.09m	土器断片資料のため、図示していない。	土器3.4g
1559		晩期後半	VI	33	0.46×0.35m	0.26×0.16m	0.23m	棒形土器(図74-14)、口縁部片(図74-15)	土器130.7g
1560		後期から晩期	VJ	34	0.31×0.18m	0.15×0.13m	0.08m		
1561		後期から晩期	VH	34	0.73×0.58m	0.63×0.42m	0.24m		
1562		後期から晩期	VH・I	34	0.41m(長軸のみ)	0.17×0.08m	0.33m		

表15 ピット計測表(6)

遺構名前	図番号	時期	グリッド D南北	グリッド D東西	開口部	底部	深さ	遺物	備考
1563		後期から晩期	VI	34	0.45×0.42m	0.39×0.39m, 0.1×0.07m	0.29m		底部(下層1、下層2)
1564		後期から晩期	VI	33	1.05m(長軸のみ)	0.8m(長軸のみ)	0.3m		
1565		後期から晩期	VI	33	0.43×0.43m	0.3×0.31m	0.2m	土器断片資料のため、図示していない。	土器29g
1566		後期から晩期	VG	33	0.32×0.25m	0.2×0.17m	0.46m		
1569		後期から晩期	VG	33+34	0.31×0.29m	0.15×0.11m	0.23m		
1570		後期から晩期	VG	34	0.36×0.3m	0.17×0.16m	0.13m		
1571		後期から晩期	VG	34	0.33×0.33m	0.23×0.16m	0.19m	土器断片資料のため、図示していない。	土器61.4g
1572		後期から晩期	VG	34	0.47×0.41m	0.23×0.2m	0.29m	土器断片資料のため、図示していない。	土器24.9g
1573		後期から晩期	VG	34	0.25×0.17m	0.16×0.13m	0.16m		
1574		後期から晩期	VG	33	0.26×0.23m	0.11×0.07m	0.19m		
1575		後期から晩期	VI	33	0.4×0.33m	0.24×0.19m	0.35m		
1576		後期から晩期	VI	34	0.47×0.4m	0.26×0.19m	0.39m		
1577		後期から晩期	VI	34	0.58×0.48m	0.41×0.31m	0.33m		
1578		後期から晩期	VJ	33	0.56×0.47m	0.46×0.3m	0.23m		
1579		後期から晩期	VG	33	0.42×0.39m	0.19×0.18m	0.68m		
1580		後期から晩期	VG	33	0.3×0.24m	0.16×0.14m	0.34m		剥片石器類2.1g
1581		後期から晩期	VG	32	0.38×0.33m	0.2×0.17m	0.42m		
1582		後期から晩期	VG	32	0.77×0.63m	0.27×0.26m	0.72m		
1583		後期から晩期	VG	32	0.39×0.34m	0.32×0.24m	0.24m		
1585		後期から晩期	VI	32	0.34×0.26m	0.17×0.12m	0.27m	土器断片資料のため、図示していない。	土器19.3g
1587		後期から晩期	VI	33	0.44×0.41m	0.26×0.19m	0.27m		
1588		後期から晩期	VI	33	0.6m(長軸のみ)	0.43m×0.18m	0.24m	土器断片資料のため、図示していない。	土器45.5g、剥片石器類7.3g
1589		後期から晩期	VG・H	33	0.58×0.47m	0.32×0.24m	0.37m		
1590		後期から晩期	VG	34	0.47m(長軸のみ)	0.37m(長軸のみ)	0.14m	土器断片資料のため、図示していない。	土器11.8g、剥片石器類128.8g
1591		後期から晩期	VJ	33	0.51×0.6m	0.47×0.36m	0.43m		
1592		後期から晩期	VH	33	0.3×0.39m	0.1×0.11m	0.32m	土器断片資料のため、図示していない。	土器88.4g
1594		後期から晩期	VH	33	0.35×0.29m	0.21×0.19m	0.26m		
1595		後期から晩期	VH	33	0.22×0.24m	0.15×0.14m	0.15m	土器断片資料のため、図示していない。	土器3.5g
1596		後期から晩期	VJ	33	0.36×0.24m	0.17×0.09m	0.21m		
1597		後期から晩期	VH	33	0.4m(長軸のみ)	0.2×0.14m	0.21m		
1601		後期から晩期	VH	33	0.31×0.25m	0.14×0.11m	0.33m		剥片石器類3.5g
5208		後期から晩期	VH	33	0.34m(長軸のみ)	0.18m(長軸のみ)	0.24m		
5213		後期から晩期	VH	32	0.7×0.52m	0.16×0.13m	0.39m		
SR72		後期から晩期	VH	33	0.3×0.35m	0.21×0.14m	0.42m		Pitとして扱う

表16 土器観察表 (1)

図例番号	写真 図号	原高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通構	トレンチ・ レベル	グリップ 幅	段間	部位	型式	器種	部位	口縁形態・口縁	文様	施文	外面	付着物	底面形 態・口縁	加工・備考	順序 番号
8-1	747	13.0	—	10.2	S107 4	—	V1-30 E-29・30	1	腹土	不明	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	?	口縁部は縦文、腹部 は横文	ナガ	外スス 内コナ	欠損	P-1	1
11-1	747	14.0	24	—	S109	—	V1-30 E-29・30	1	腹土	中間後通	深鉢	口縁	平縁	?	口縁部は縦文、腹部 は横文	ナガ	外スス 内コナ	欠損	解文、台番号	5
14-1	747	17.0	24.1	—	S111	—	V1-30 E-30・31	1	腹土	腹土直直 木口付行	深鉢	口縁	平縁	口縁部は縦文	口縁部は縦文、腹部 は横文	ナガ	外スス なし	欠損	P-2	12
14-2	747	16.0	11	—	S111	—	V1-30 E-30・31	1	腹土	底通	差	上半部	平縁、底面は通 縁口直直、外側 部直	口縁部は縦文、内面は縦文	口縁部は縦文、腹部 は横文	ナガ	外スス	欠損	P-1	92
14-3	—	—	—	—	S111	—	V1-30 E-30・31	1	腹土	底通	深鉢	口縁	平縁	なし	口縁部は縦文、腹部 は横文	ナガ	外スス	欠損		8
14-4	—	(4.4)	—	4.4	S111	—	V1-30 E-30・31	1	腹土	底通	深鉢	腹部	欠損	?	口縁部は縦文、腹部 は横文	ナガ	内コナ	高台		11
17-1	748	—	—	—	S112	—	VK-32	1	腹土	大木99番 行	深鉢	腹部	欠損	口縁部は縦文	口縁部は縦文	ナガ	外スス	欠損		252
17-2	748	7.1	8.3	4	S112	—	VK-32	1	腹土	大木99番 行	鉢	先形	平縁	口縁部は縦文	口縁部は縦文	不明	器内外面	平底	P-1、器孔2、底面 部は底面直直の遺跡	9009
17-3	748	—	—	—	S112	—	VK-32	1	腹土	焼酎h	深鉢	腹部	欠損	口縁部は縦文	口縁部は縦文	ナガ	なし	欠損		15
17-4	—	—	—	—	S112	—	VK-32	1	腹土	焼酎	深鉢	口縁	平縁	口縁部は縦文	口縁部は縦文	ナガ	器内外 面	欠損		14
17-5	748	—	—	—	S112	—	VK-32	1	腹土	焼酎中通	深鉢	口縁	平縁(底直)	口縁部は縦文	口縁部は縦文	ナガ	なし	欠損		13
19-1	748	20.0	22.2	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 大	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	なし	欠損	P-3007	963
19-2	748	12.2	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	大木98番 行	深鉢	腹部	欠損	口縁部は縦文	口縁部は縦文	ナガ	外コナ	欠損		963
19-3	748	16.2	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 大	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	外コナ	欠損		964
19-4	748	14.9	17.6	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 大	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	なし	欠損		962
19-5	748	—	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間下層 大	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	外スス	欠損		954
19-6	—	—	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層 d～e式	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	なし	欠損	小皿、細砂	455
19-7	748	11	25	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 式	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	外スス	欠損	細砂	963
19-8	748	—	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 式	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	外スス	欠損		964
20-1	748	—	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 式	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	外スス	欠損	細砂	23
20-2	—	—	—	—	S113	—	V6-35	1	腹土	百間上層、 式	深鉢	口縁～ 腹部	欠損	口縁部は縦文、腹部 は横文	口縁部は縦文	ナガ	外スス	欠損		22

表16 土器観察表(2)

原器 番号	写真 番号	口径 (cm)	底径 (cm)	通高 (cm)	建構	トレンチ・ ペイント	グリップ	段高	部位	型式	器種	部位	口縁形態・器種	文様	地文	外面	付着物	底径 ・器種	胎土・備考	
20-3	-	-	-	-	S13	-	V6-35	I	口縁 口部	鳥羽目文・ 放射目文	口縁	口部	口縁 口部	口部	口部	ナツ	なし	次損		
20-4	-	(1.7)	4.8	-	S13	-	V6-35	I	口縁 口部	放射目文	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	なし	平直			
20-5	-	(11.2)	11	-	S13	-	V6-35	I	口縁 口部	中間後葉	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	内コマ	次損			
20-6	748	(18.9)	-	-	S13	-	V6-35	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	次損		中体土器	
30-1	749	-	-	-	S09	-	V1-30・ J1	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		P-1
30-2	-	-	-	-	S10	-	V1-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
30-3	-	-	-	-	S10	-	V1-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
30-4	749	-	-	-	S10	-	V1-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		小體
30-5	749	-	-	-	S10	-	V1-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		遺跡時胎土の浸 透感あり
30-6	749	-	-	-	S10	-	V1-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		小體
30-7	-	(3.0)	-	9.7	S10	-	V1-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	平直		小體
30-9	750	(25.0)	26.0	-	S20	-	V6-31	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		P-1
37-1	750	38.7	26.6	11.0	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
37-2	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
37-3	-	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
37-4	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		小體、器身、37-4 との同一器種
37-5	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		小體、器身、37-3 との同一器種
37-6	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
37-7	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
37-8	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		
37-9	750	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		小體、器身
37-10	-	-	-	-	S18	-	V1・ J-32	I	口縁 口部	口部上葉 式	口縁	口部	口縁 口部	口部	ナツ	外スス	なし	次損		小體、器身

表16 土器観察表 (3)

図例 器名	時期	高径 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	造構	トレンチ・ ベント	グロッド J-32	段間	部位	型式	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	外面	付着物	底径 ・高径	器形 番号	
37-11	950	-	-	-	S816	-	V1・ J-32	I	胴土 体部	復林式	深鉢	口縁~ 体部	波状口縁	口縁外側部、底面、口縁部、 下で腹面が浅く、唇状の波状、 口縁部が深く、波状	灰色(黒文不明)	ナツ	なし	欠損	200	
37-12	-	-	-	-	S818	-	V1・ J-32	I	胴土上層	底蓋	蓋	口縁	平縁	口縁外側部、口縁部	ナツ	なし	欠損	F-1	192	
38-1	-	(1.7)	-	10.3	S816	-	V1・ J-32	I	胴土	中期後蓋	深鉢	底部	欠損	?	ナツ	なし	凹座	小磯	207	
38-3	949	(8.2)	14.1	-	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土上層	晩期1b	注口	口縁	山状突起(口縁部)	入組二文文、波線	ナツ	なし	欠損	F-3108	508	
38-4	949	(6.8)	14	-	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土上層	晩期1b	注口	口縁	突起(口縁部)	波線	ミゴキ	なし	欠損	F-5108	555	
38-5	-	-	-	-	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土上層	晩期1a	深鉢	口縁	平縁、口縁面取	なし	ミゴキ	なし	欠損		200	
38-6	949	-	-	-	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土上層	晩期1a	鉢	口縁	平縁、口縁面取	なし	ミゴキ	なし	欠損	小磯	206	
38-7	-	-	-	-	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土	晩期7-4	深鉢	体部	欠損	波線	不明	外スス	欠損		193	
38-8	949	-	-	-	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土上層	晩期後半	鉢	体部	欠損	波線	ナツ	なし	欠損		199	
38-9	-	(8.8)	-	8.8	S822	-	V1・ J-35・36	II	胴土上層	晩期後半	深鉢	底部	欠損	?	ミゴキ	なし	高台		537	
39-1	950	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土	晩期4	鉢	口縁~ 体部	山状突起	口縁部、底文、体部、口縁部、 底文(波状なし)	ミゴキ	なし	欠損		447	
39-2	950	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IV	28	-	-	-	-	-	-	-	-	図9-1と同 器体 S266		
39-3	950	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IV	18	-	-	-	-	-	-	-	-	図9-1と同 器体 S529		
39-4	950	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土中層	晩期1a	深鉢	体部	平縁、口唇縁状	横位波線	ナツ	なし	欠損		300	
39-5	950	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土中層	晩期後半	鉢	口縁	平縁、口唇縁状	横帯、横位波線	不明	内コガ	欠損		302	
39-6	950	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土中層	晩期後半	鉢	口縁	平縁、口唇縁状	横文部に波帯、横位波線	ミゴキ	内コガ	欠損		301	
39-7	951	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土上層	晩期後半	鉢	口縁	平縁、口唇縁状	横位波線	不明	内コガ	欠損		344	
39-8	-	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土上層	晩期後半	鉢	口縁	平縁、口唇縁状	横位波線	横文不明	ナツ	なし	欠損		345
39-9	-	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土下層	晩期後半	鉢	口縁	平縁、口唇縁状	横文不明	ミゴキ	なし	欠損		371	
39-10	-	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土下層	晩期後半	鉢	口縁	平縁	横帯、横位波線	横文	ナツ	なし	欠損		371
39-11	951	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土下層	晩期後半	鉢	口縁~ 体部	平縁、口唇縁状	横帯、横位波線	横文	ナツ	なし	欠損		371
39-12	951	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土中層	晩期後半	蓋	胴部	欠損	波線	ミゴキ	なし	欠損		206	
39-13	-	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土中層	晩期後半	深鉢	底部	欠損	波線	不明	ナツ	なし	欠損		207
39-14	951	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土上層	晩期後半	鉢	口縁	平縁	口縁部、体部、口唇縁状、 波帯	横文	不明	内コガ	欠損		209
39-15	-	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土上層	晩期後半	鉢	口縁	波状	口縁部、体部、口唇縁状、 波帯、内側縁に波帯	横文	不明	内コガ	欠損		331
39-16	951	-	-	-	S821	-	V1-35	IV	胴土上層	晩期後半	深鉢	口縁	平縁、口唇縁状	横位波線	不明	内コガ	欠損		327	

表16 土器観察表(4)

発掘 番号	写真 図版	高 (cm)	口徑 (cm)	底径 (cm)	通構	トレンチ・ プレート	グリップ	段階	部位	型式	器種	部位	口縁部・胴部 形状・文様	文様	地文	内面	付着物	底面形 ・底縁	出土・備考
39-17	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土上層	晩期後半	深鉢	口縁	平縁、口唇内側 突起に血紋	織文地に横位足線1条	肌摩垂	ナデ	外スス、 内コソ	欠損	
39-18	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土下層	晩期後半	深鉢	口縁	平縁、口唇内側 突起に血紋	織文地に横位足線1条	肌	ナデ	なし	欠損	
39-19	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土上層	晩期1b	鉢	口縁	平縁、斜行目取 に黒目向1条、文様部下地横位足 線1条	横位足線1条、横位足線2 下に斜行、横位足線1条、横位足 線1条	肌	ミガキ	外スス、 内コソ	欠損	
39-20	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土中層	晩期7-4	小口鉢	口縁	平縁	肌	ナデ	なし	なし	小破	
39-21	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土下層	晩期9~晩 期1a	鉢	口縁	平縁、突起、口 唇、唇面	肌	肌	外スス	欠損		
39-22	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土下層	晩期1b	鉢	口縁	小突起口縁	肌	肌	外スス、 内コソ	欠損		
39-23	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土中層	晩期9~晩 期1a	鉢	口縁	平縁、口唇突起	肌	肌	外スス、 内コソ	なし		
39-24	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土上層	晩期7-4	深鉢	口縁	平縁	肌	肌	外スス、 内コソ	欠損	小破	
39-25	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土中層	晩期1b	鉢	口縁	平縁、二山形の 突起に血紋、口唇 突起に血紋、口唇 突起に血紋	肌	肌	外スス	欠損		
39-26	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土下層	晩期7-4	深鉢	口縁	平縁、口唇部分 突起に血紋	肌	肌	外スス、 内コソ	欠損	小破、内縁の底縁時 の粘土の成長痕	
39-27	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土下層	晩期	深鉢	口縁	平縁	肌	肌	ナデ	なし	小破	
39-28	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土中層	晩期	深鉢	口縁	平縁、口唇内側 突起に血紋	なし	肌	外スス、 内コソ	欠損		
39-29	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土上層	晩期	鉢	口縁	平縁	なし	肌	外スス、 内コソ	欠損	外縁の底縁時 上の成長痕	
39-30	-	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土上層	晩期	鉢	口縁	平縁	なし	肌	外スス、 内コソ	欠損		
39-31	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土下層	晩期前半	鉢	口縁	平縁、口唇部分 突起に血紋	横位足線1条	肌	外スス、 内コソ	欠損	内縁の底縁時 上の成長痕	
39-32	953	-	-	-	821	-	V1-35	IV	腰土	最古式	深鉢	口縁~ 底部	平縁	横位足線1条、横位 足線2条、突起部 による人頭文	肌	外スス	欠損		
41-1	-	-	-	-	820	-	V1・ J-32	I	腰土	晩期7-4	深鉢	口縁	平縁	肌	無文	不明	外スス	欠損	
41-5	-	-	-	-	820	-	V1-34	I	腰土上層	中期後半	深鉢	口縁	波状口縁	肌	肌	外スス	欠損		
41-6	-	-	-	-	820	-	V1-34	I	腰土上層	晩期9~晩 期1a	深鉢	口縁	平縁、二山形の突起 に血紋	肌	肌	外スス	欠損		
41-7	-	-	-	-	820	-	V1-34	I	腰土上層	晩期1b	鉢	口縁	平縁	肌	肌	ナデ	なし	小破	
41-8	-	-	-	-	820	-	V1-34	I	腰土上層	晩期	深鉢	口縁	平縁	肌	肌	外スス	欠損	小破	
41-9	-	(L.9)	-	-	820	-	V1-34	I	腰土上層	晩期後半	注口	底部	平縁	肌	肌	外スス、 内コソ	欠損	小破、貫通孔	
41-10	-	(S.0)	-	-	820	-	V1-34	I	腰土	晩期前半	不明	台部	平縁	肌	肌	外スス	欠損	小破	

表16 土器観察表 (5)

図例 断面 番号	口徑 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ プレート	グリップ E-32・33	段階	部位	形状	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	外面	付着物	底径 ・口縁	断面 番号
41-12	79.0	-	-	-	VJ・ E-32・33	I	腹土	椀形式	深鉢	口縁	波状口縁	山形文	山形文	ナデ	なし	欠損	小楕
41-13	-	-	-	-	VJ・ E-32・33	I	腹土	椀形式	深鉢	体部	欠損	波状によう縄文不明	波状によう縄文不明	ナデ	なし	欠損	小楕
41-15	95.0	-	-	-	VH・32	II	腹土・34	碗形	深	下半部	欠損	円文、波状によう縄文	ナデ	なし	草底	欠損	231
41-16	95.0	-	-	-	VH・ 1-32	II	腹土	碗形	鉢	体部	欠損	円文、波状によう縄文	ナデ	なし	欠損	234	
42-1	95.0	-	-	-	V1-31・ 32	I	腹土	碗形半	盃	口縁	平縁、口唇面取	波状によう縄文	ナデ	なし	外スス	欠損	235
43-1	95.1	(5.1)	-	-	V2-32	II	腹土	碗形	鉢	口縁	波状によう縄文	波状によう縄文	不明	外スス、 内コガ	欠損	244	
43-2	95.1	-	-	-	V3-32	II	腹土	碗形半	鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	内コガ	欠損	244	
43-3	95.1	-	-	-	V4-32	II	腹土	碗形7-4	深鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	外スス	欠損	243	
43-4	-	-	-	-	V4-32	II	腹土	碗形7-4	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	波状によう縄文	不明	外スス	外スス	欠損	240
43-6	95.1	-	-	-	VK-33・ 34	II	腹土	百須上層、 式	深鉢	口縁	平縁、波状、口 唇面取、口 唇面取、口 唇面取	波状によう縄文	不明	外スス	外スス	292	
46-1	95.2	-	-	-	VF-32	II	腹土	碗形半	鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	内コガ	欠損	26	
54-1	95.2	41.8	34	9	VH-32	II	19	碗形半	深鉢	口縁	波状口縁	なし	LE	ナデ	内コガ	6290	
54-2	95.2	-	-	-	VH-32	II	腹土下層	百須上層、 式	深鉢	口縁	波状口縁	波状によう縄文	不明	外スス	外スス	32	
54-3	-	-	-	-	VH-32	II	腹土下層	百須上層、 式	深鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	外スス	外スス	36	
54-4	-	-	-	-	VH-32	II	腹土下層	百須上層、 式	深鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	外スス	外スス	35	
54-5	95.2	-	-	-	VH-32	II	腹土下層	百須上層、 式	深鉢	口縁	波状口縁	波状によう縄文	不明	外スス	外スス	39	
54-6	95.2	(7.6)	16.4	4.2	VH-32	II	19	碗形	鉢	体部	平縁、口唇面取	波状によう縄文	不明	なし	面取	6279	
55-1	95.2	-	-	-	VH-33	II	腹土下層	碗形	深鉢	口縁	平縁	なし	LE	ナデ	なし	95	
55-2	95.2	-	-	-	VH-33	II	腹土	碗形	深鉢	口縁	平縁	なし	LE	ナデ	外スス	96	
55-3	-	-	-	-	VH-33	II	腹土下層	碗形	鉢	口縁	平縁、口唇面取	なし	LE	ナデ	外スス	98	
55-4	95.2	-	-	-	VH-33	II	腹土下層	碗形1b	鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	なし	外スス	92	
55-5	95.2	-	-	-	VH-33	II	腹土下層	碗形1a~ b	鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	なし	外スス	94	
55-6	-	-	-	-	VH-33	II	腹土	碗形1b	鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	なし	外スス	95	
55-7	95.2	-	-	-	VH-33	II	腹土下層	碗形1a~ b	鉢	体部	欠損	波状によう縄文	不明	なし	外スス	97	

表16 土器観察表 (6)

調査 番号	図例 番号	口徑 (cm)	底径 (cm)	通高 (cm)	造構	トレンチ・ ベント	グランド レベル	段階	部位	型式	器種	部位	口縁形態・器種	文様	施文	内面	付着物	底面形・器種	加土・備考	調査 番号
55-8	952	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はb - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	縦文 文様部施文なし、体 面無施文	ミガキ ナメ	外スス 内コナ	大皿	加土・備考 器50-57×8、器 90-10同-胴体	27	
55-9	952	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面 - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	なし	ナメ	ナメ	なし	大皿	P-5210	72
55-10	-	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	小股付口縁、股 部は穴開	なし	ミガキ、ナメ	ミガキ	外スス	大皿	-	76
55-11	-	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	60
55-12	-	-	-	-	SZ22a	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	74
55-13	952	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	81
55-14	-	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	82
55-15	952	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	83
55-16	-	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	75
55-17	-	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	56
55-18	-	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	59
55-19	-	11.3	-	9.5	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	94
55-20	-	12.2	-	10.1	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	77
55-21	952	-	-	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	外スス	大皿	P-5212	84
55-22	952	31	-	-	SZ22, SZ25	-	VP-33・ 34	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	なし	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	83
55-23	952	66.0	6.1	-	SZ22	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	なし	ナメ、ケズリ	内コナ	大皿	-	27	
56-1	953	-	-	-	SZ25	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	104
56-2	-	-	-	-	SZ25	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	97
56-3	953	-	-	-	SZ25	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	98
56-4	-	-	-	-	SZ26	-	VP-32	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	108
56-7	-	2.8	-	8	SZ27	-	VP-32	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	1032
56-9	-	-	-	-	SZ29	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	内コナ	大皿	-	119
56-13	953	12.1	22	-	SZ32	-	VP-34	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	外スス	大皿	器56時の加土の股 文様部	126
56-14	-	-	-	-	SZ45	-	VP-34	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	外スス	大皿	-	250
57-3	953	-	-	-	SZ46	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	外スス	大皿	-	7
64-1	953	30.1	24.3	5.3	SZ80	-	VP-33	Ⅱ	口縁 - 胴部	底面はa - 胴部	深鉢	口縁 - 胴部	平縁	施文 文様部施文なし、横 文様部施文	ナメ	ナメ	外スス	大皿	P-1	4009

表16 土器観察表(7)

器種 器番号	写眞 図例	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通孔 ・ トレント ・ ベント	グリップ	段高	部位	形式	器種	部位	口縁形態・断面	文様	施文	内面	付着物	底径 ・ 器高	器種 ・ 器番号
64-2	753	(29.3)	26.8	8.8	SR2	-	V1-20	II	碗	深鉢	胎元形	平縁	なし	胎元走	ナゲ	外スス 内コウ	平底	6811
64-3	753	(23.3)	-	7.8	SR3	-	V1-33	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	横立波線	胎元走	ナゲ	なし	平底	6812
64-4	-	(17.4)	-	7.5	SR8	-	V1-34	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	なし	胎元走	ナゲ	外スス 内コウ	平底	6817
64-5	754	(11.4)	-	6.5	SR7	-	V1-35	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	?	胎元走 胎元走上5cm 胎元走なし	ナゲ	なし	高台	6816
64-6	754	(28.0)	-	6	SR9	-	V1-34	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	?	胎元走	ナゲ	内コウ	平底	6818
64-7	-	(2.4)	-	7.8	SR5	-	V1-31	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	なし	胎元走	ナゲ	なし	平底	6814
64-8	-	(2.4)	-	6	SR1	-	V1-26	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	?	胎元走	ナゲ	なし	平底	胎元し、接合不可 6810
64-9	754	-	-	-	SR6	-	V1-32	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	なし	胎元走	ナゲ	なし	平底	胎元し、接合不可 6815
64-10	754	-	-	-	SR4	-	V1-33	II	碗	深鉢	胎元形	平縁	なし	胎元走	ナゲ	なし	欠隅	胎元し、接合不可 6813
65-1	754	-	-	-	SR0	-	V1-34	II	碗	深鉢	胎元形	平縁	なし	胎元走	ナゲ	外スス 内コウ	欠隅	6819
65-2	754	(16.3)	27.8 (個人 蔵)	8.4	SR1	-	V1-33	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	なし	胎元走	ナゲ	外スス 内コウ	欠隅	6820
65-4	754	(22.0)	32.4	7.6	SR3	-	V1-31	II	碗	深鉢	胎元形	平縁、部分的に 胎元形	なし	胎元走(胎元走上5cm 胎元走なし)	ナゲ	なし	胎元	6822
65-5	754	21.5	19.1	6.3	SR4	-	V1-35	II	碗	深鉢	胎元形	小波状口縁	なし	胎元走(胎元走上2cm 胎元走なし)	ナゲ	外スス 内コウ	平底	胎元時代分析中 6823
65-6	754	32.8	36.2	8.8	SR2	-	V1-34	II	碗	深鉢	胎元形	平縁、口唇函取	なし	胎元走(胎元走上5cm 胎元走なし)	ナゲ	なし	胎元	6821
66-1	754	33.4	27.9	8.5	SR5	-	V1-34	II	碗	深鉢	胎元形	胎元形(胎元・胎 元(胎元)部分 的に口唇函取)	なし	胎元走(胎元走上5cm胎元 走なし)	ナゲ	外スス 内コウ	平底	6824
66-2	754	25.7	24.8	8.4	SR6	F9-83	V F-31(64)	II	碗	深鉢	胎元形	平縁、口唇函取	なし	胎元走(胎元走上5cm胎元 走なし)	ナゲ	外スス 内コウ	高台	6825
66-3	755	(11.2)	-	10	SR8	-	V1-33	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	?	胎元走	ナゲ	外スス 平底	6827	
66-4	755	(25.3)	9.5	-	SR7	F9-83	V1-35	II	碗	深鉢	胎元形	平縁	なし	胎元走	ナゲ	なし	欠隅	6826
66-5	755	34.0	27.6	8.3	SR70	-	V14・V 1-33	II	碗	深鉢	胎元形	胎元形(胎元・胎 元(胎元)口唇 函取)	なし	胎元走	ナゲ	なし	高台	6829
66-6	755	(20.1)	-	9.4	SR9	-	V1-32	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	?	胎元走(胎元走上5cm 胎元走なし)	ナゲ	外スス 内コウ	胎元	6828
67-1	755	(27.1)	-	9	SR71	-	V1-32	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	なし	胎元走	ナゲ	外スス 内コウ	胎元	6830
67-2	-	(7.2)	-	8	SR7	-	V1-33	II	碗	深鉢	胎元形	欠隅	?	胎元走	ナゲ	なし	平底	表面面取磨 6832
67-3	-	(17.2)	21	7	SR74	-	V1-32	II	碗	深鉢	胎元形	平縁、口唇函取	なし	胎元走	ナゲ	外スス 高台	胎元	6833
67-4	755	-	23.9	8.1	SR74	-	V1-32	II	碗	深鉢	胎元形	平縁、口唇函取	なし	胎元走	ナゲ	なし	高台	F-3211 6834

表16 土器観察表 (8)

図版番号	写真	口徑 (cm)	底徑 (cm)	通構	トレンチ・プレート	グッド・ベント	段階	部位	型式	器種	部位	口縁形態、口縁部	文様	地文	内面	付着物	底径・口徑	器種	加土・備考	器序番号
67-5	755	18.0	17.2	5.6	SR36	-	VF-33	II	腰周中腹	鉢	胎元部	OV内の連続する凹凸の連続する項目	文様 横位沈線、沈線間に連続する横位凹凸の連続する項目	文様 文部帯跡をなし、体部は	ナツ	外スス、内コブ	凹面			564
68-1	755	(9.6)	15.3	(9.1)	SN7・SN14	SN-B	VH-34	II	胎周1~5	竹付鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	なし	有	胎周目式		547
68-2	755	9.8	(15.6)	8.7	SN5	SN-B	VH-34	II	腰周1~5	竹付鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	外スス、内コブ	有	胎周目式		561
68-3	755	6.8	8.6	5.1	SN16	-	VH-34	II	底腹	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ナツ	外スス、内コブ	凹面	P-517a、胎周時代別分中		569
68-4	755	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	腰周1~5	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	内コブ	次瀬	胎周目式		148
68-5	755	-	-	-	SN5	-	VH-34	II	腰周1~3	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	内コブ	次瀬	胎周目式		500
68-6	755	-	-	-	SN5	-	VH-34	II	腰周1	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	外スス、内コブ	次瀬	胎周目式		504
68-7	755	-	-	-	SN5	-	VH-34	II	腰周後半	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	内コブ	次瀬			537
68-8	-	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	腰周後半	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	ミガキ	内コブ	次瀬			129
68-9	-	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	胎周後半	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			142
68-10	-	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	腰周後半	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			140
68-11	-	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	腰周後半	皿	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			145
68-12	-	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	腰周後半	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			137
68-13	755	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	腰周後半	深鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			147
68-14	755	-	-	-	SN5	-	VG-35	II	底腹	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			130
68-15	-	(6.7)	-	6.6	SN51a	-	VH-34	II	腰周	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			164
69-1	756	35.1	8.5	SN82	-	VH-33	II	19	底腹	深鉢	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬	P-5171		6311
69-2	756	(3.8)	8.5	SN54	-	V1-35・V1-36	II	底腹	皿	胎元部	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			153	
69-3	756	-	-	-	SN54	-	V1-36	II	胎元部	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			152	
72-1	756	-	-	-	p11109	-	V1-31	II	胎元部	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			688	
72-5	756	29.9	23	8.4	p111276	-	VG-33	II	胎元部	深鉢	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			562	
72-6	-	12.9	15	5.6	p111276	-	VG-33	II	胎元部	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			553	
72-7	-	-	-	-	p111279	-	VG-33	II	胎元部	鉢	胎元部	胎元部	胎元部	不明	内コブ	次瀬			胎周目式	509

表16 土器観察表(9)

器種 器番号	図例	口徑 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ プレート	グロッド ポイント	段階	層位	型式	器種	部位	口縁形態・胎線	文様	地文	外面	付着物	底面形 態・胎線	器種 番号		
72-8	7256	4.6	10.5	-	p11295	-	V1-34	II	腰瓶	盆	口縁	明突起(胎位)	腰瓶上半部式、 腰瓶下半部式、 腰瓶	口縁部は、 赤褐色、 黒褐色	ミガキ	腰内外面	欠損			
72-9	7256	-	-	-	p11296	-	V1-34	II	腰瓶	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	ミガキ	なし	胎内外面	欠損		
73-1	7256	(6.0)	9.5	4.0	p11400	-	V1-34	II	腰瓶	香炉	胎線	胎線	胎線	胎線	ミガキ	なし	胎内外	胎内外面	胎内外面	
73-2	7256	-	-	-	p11401	-	V1-34	II	腰瓶	注口	口縁~ 胎線	胎線	胎線	胎線	ミガキ	なし	胎内外	胎内外面	胎内外面	
73-3	7256	-	-	-	p11402	-	V1-34、 35	II	後胎	後胎	口縁	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
73-5	7256	-	-	-	p11405	-	V1-34	II	後胎7-4	後胎	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
73-10	-	-	-	-	p11439	-	V1-33	II	胎線1~ 11	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-1	7256	-	-	-	p11440	-	V1~ 1-33	II	後胎7-4	後胎	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-2	7256	-	-	-	p11446	-	V1-34	II	後胎7~ 胎線1a	後胎	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-3	7256	-	-	-	p11446	-	V1-34	II	胎線2~3	胎線	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-4	7256	-	-	-	p11445	-	V1-34	II	胎線1a	胎線	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-7	7256	-	-	-	p11451	-	V6-34	II	胎線7~ 胎線1a	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-8	7256	10.5,6.1	26	8	p11456	-	V1-33	II	胎線	胎線	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-9	7256	-	-	-	p11457	-	V1-33	II	胎線1b	胎線	口縁	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-10	7256	6.5	-	-	p11454	-	V1-33	II	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-11	7256	-	-	-	p11454	-	V1-33	II	胎線1b	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-12	-	-	-	-	p11453	-	V1-33	II	胎線1a	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-14	-	-	-	-	p11459	-	V1-33	II	胎線上部	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-15	-	-	-	-	p11459	-	V1-33	II	胎線後半	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
74-16	7256	-	-	-	p11457	-	V1-33	II	後胎	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面
80-1	7257	12.4	23.8	-	M	トレンチ 30	V1-35	II	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎線	胎内外	胎内外面	胎内外面

表16 土器観察表 (10)

図例 器名 器番号	写真 撮影 位置	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	底径 (cm)	グワッド センター	図例 位置	器式	器種	部位	口縁部・胴部・底面	文様	地文	内面	付着物	底面形・底縁	加工・備考	器例 番号
80-2	9537	16	26.9	-	M1	トレンチ 10 VJ-33	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部・ 底面	平縁	なし	ナゲ	外エス 内コガ	欠損	F-3173	1666	
80-3	9537	4.7	(15.4)	3.6	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	皿	口縁部・ 底面	平縁	沈面内に突起列を、腹方による 雲形文、磨面磨ぎナシ	ミガキ	なし	丸底 (内底 平坦)		1666	
80-4	9537	8.6	26.2	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、斜目列	なし	ナゲ	外エス 内コガ	欠損	1663		
80-5	9537	3.7	19	12.2	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	皿	口縁部・ 底面	平縁、A型突起、 口唇部加飾の突起	横位に線状、沈面による雲形文 (腹方なし)、文様付下腹位文 線状	ミガキ	磨面	欠損	6051		
81-1	9537	(6.2)	32.2	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	皿	口縁部・ 底面	平縁	沈面による雲形文(腹方なし)	ミガキ	なし	欠損	貫通孔1	1664	
81-2	9538	(33.3)	9.5	(7.4)	M1	SN トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	皿	口縁部・ 底面	平縁	腹面に線状、磨面と横位に線状 と縦位に線状文、腹面凹文線 状	ナゲ	外エス	平底	2066		
82-1	9538	9.9	-	1.5	M1	トレンチ 10 VJ-33	23	底蓋	注口	口縁部・ 胴部	欠損	横位に線状、磨面と横位に線状 と縦位に線状文、腹面凹文線 状	ミガキ	磨面	底面	9093		
82-2	9538	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部分 内に凹文	なし	ナゲ	外エス	欠損	1270		
82-3	9537	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-34	23(30)	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部凹文	なし	ナゲ	外エス	欠損	貫通孔1	1260	
82-4	9537	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、斜目列	なし	ナゲ	外エス 内コガ	欠損	1493		
82-5	9538	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-34・ 33・38	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、二山状の 突起、口唇部加飾、口唇 部凹文	沈面内に突起列を、腹方による 雲形文、磨面(部分に磨面) 下がり底位(部分に磨面)	ミガキ	外エス 内コガ	欠損	1091		
82-6	9538	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-34・ 33・38	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部加飾、口唇 部凹文	横位に線状、磨面と横位に線状 と縦位に線状文、腹面凹文線 状	ナゲ	なし	欠損	磨面	1092	
82-7	9538	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	林	口縁部・ 胴部	平縁、斜目列目 列	文様磨面なし、体 面凹文	ミガキ	外エス 内コガ	欠損	1013		
82-8	9538	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	林	口縁部・ 胴部	平縁、斜目列目 列	横位に線状、磨面と横位に線状 と縦位に線状文、腹面凹文線 状	不明	内コガ	欠損	1491		
82-9	9538	-	-	-	M1	TR-83	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部凹文	横位に線状	不明	内コガ	欠損	1465		
82-10	9538	-	-	-	M1	TR-83	23	底蓋	深鉢	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部凹文	横位に線状	不明	内コガ	欠損	1465		
82-11	9537	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	林	口縁部・ 胴部	平縁、斜目列目 列	横位に線状、磨面と横位に線状 と縦位に線状文、腹面凹文線 状	ナゲ	なし	欠損	1142		
82-12	9537	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-35	23	底蓋	林	口縁部・ 胴部	平縁、斜目列目 列	横位に線状、磨面と横位に線状 と縦位に線状文、腹面凹文線 状	ナゲ	なし	欠損	1292		
82-13	9537	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-33	23(30)	底蓋	林	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部凹文	横位に線状	不明	内コガ	欠損	1286		
82-14	9537	-	-	-	M1	トレンチ 10 VJ-33	23	底蓋	林	口縁部・ 胴部	平縁、口唇部凹文	横位に線状	不明	なし	欠損	1169		

表16 土器観察表 (11)

調査 番号	写真 撮影 高	口径 (cm)	底径 (cm)	造構	トレンチ ・ ペネット	グッド フット	段高	部位	形状	土質	器種	部位	口縁形態・断面	文様	施文	内面	付着物	底径 ・ 断面	製作 番号
82-15	957	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-35	IIa	23	晩期B	-	鉢	口縁 ・ 胴部	肩以下に施された点線状の 文様。口縁部には、丸線状の 文様を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	モガキ ・ ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	1131	
82-16	957	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-34	IIa	23	後期7-4	-	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	モガキ	なし	欠損	1125	
82-17	957	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-35	IIa	23	後期7-4	-	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	不明	外スス ・ 内コウ	欠損	1271	
82-18	957	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-35	IIa	23	後期7-4	-	注口	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	なし	欠損	1373
82-19	958	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-35	IIa	23	晩期後半	-	不明	不明	不明	不明	不明	ナツ	外スス	欠損	1314
82-20	958	-	-	M1	FR-83	VJ-35	IIa	23	晩期1a	-	注口	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	なし	欠損	1471
82-21	958	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-35	IIa	23	後期7-4	-	注口	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	なし	欠損	1261
82-22	958	-	-	M1	トレンチ 10	VJ-34・ VJ-35・ VJ-36	IIa	23	晩期	-	注口	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	なし	欠損	1309
83-1	958	20.7	10.9	8.5	M1	VJ-35・ VJ-36	IIa	8・9	晩期1a	-	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	なし	欠損	6397
83-2	958	15	17.5	-	M1	VJ-35	IIa	8・9	晩期1a	-	台付鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	なし	欠損	9867
83-3	958	18.4	27	-	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	8・9	晩期1a	台付 鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	外スス ・ 内コウ	台	9853	
83-4	-	7.9	-	8.4	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	8・9	晩期後半	台付鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	外スス	台	9866	
83-5	958	7.35	10.3	-	M1	トレンチ6	VJ-36	IIa	9	晩期1a	台付鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	8812	
83-6	958	5.5	17.4	7.2	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	9	晩期	四角形 深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	9299	
83-7	959	-	-	-	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	8・9・7	晩期後半	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	なし	欠損	8704	
83-8	959	-	-	-	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	9	晩期後半	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	なし	欠損	8809	
83-9	959	-	-	-	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	8	晩期	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	外スス	欠損	8867	
83-10	959	-	-	-	M1	FR-82	VJ-35	IIa	9	晩期1a	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	8751	
83-11	959	-	-	-	M1	トレンチ6 ・ 36	VJ-35	IIa	8	後期7-4	深鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	8666
83-12	959	-	-	-	M1	トレンチ6	VJ-35	IIa	8・9	晩期	鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	8724
83-13	959	-	-	-	M1	FR-83	VJ-35	IIa	9	晩期後半	鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	ナツ	外スス ・ 内コウ	欠損	8631
83-14	-	-	-	-	M1	トレンチ6	VJ-36	IIa	8	晩期後半	鉢	口縁	口縁に点つて文様部には施す が、口縁部には施す。施文は、 口縁部を施す。施文は、 口縁部を施す。	丸線状の文様	丸線	不明	内コウ	欠損	8701

表16 土器観察表 (12)

原器 番号	写真 番号	原高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ レベル	段階	位置	形状	器種	部位	口縁形態・飾部	文様	施文	内面	付着物	底面・ 裏・器底	加工・備考	原器 番号
83-15	7559	-	-	-	M1	トレンチ#6 V1-35	IIa	8-9	後頸7-4	深鉢	口縁	平縁、二山状の 唇に直縁 起、口唇直縁	縦位の横線目出し横文を斜 めに織りこむ、下部の直縁に みみ、右半の直縁に横文	文様無文なし	ナガ	なし	欠損	小磯	8703
83-16	7559	-	-	-	M1	トレンチ#6 V1-35	IIa	8-9	底頸5	底	底面	欠損	底面	無文	ナガ	なし	欠損		8716
84-1	7559	31.5	25.8	8	M1	EP#1 V1-34	IIa	16	底頸5	台付鉢	口縁	平縁、口唇内側 唇に直縁 起、口唇直縁	横位の横線、突起、工字文	横位の横線、突起、工字文	不明	外スス、 内コガ	存	P-5156、底面年代 資料中	8399
84-2	7559	15.5	10.3	9	M1	SN-B V1-34	IIa	16	底頸後半	鉢	口縁	平縁	なし	口唇直縁なし、体 面直縁なし	ナガ	内コガ	平底		9377
84-3	7559	14	-	6	M1	EP#1 V1-34	IIa	16	底頸	鉢	口縁	平縁	なし	口唇直縁なし、体 面直縁なし	ナガ	外スス、 内コガ	底面	P-5159	9386
84-4	7559	16.3	16.3	6	M1	SN-B V1-34	IIa	16	底頸	鉢	口縁	平縁	なし	口唇直縁なし、体 面直縁なし	不明	外スス、 内コガ	平底		9388
84-5	7559	10.4	18	-	M1	トレンチ#1 V1-34	IIa	16	底頸1/4	台付鉢	口縁	平縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ナガ	内コガ	存		9389
84-6	7559	4.5	-	8	M1	トレンチ#1 V1-34	IIa	16	底頸	鉢	口縁	平縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ナガ	内コガ	存	P-5040	9390
84-7	7559	4.5	(14.4)	3.6	M1	トレンチ 1-35B V1-36	IIa	16+23	底頸5	浅鉢	口縁	平縁	口唇直縁なし、体 面直縁なし	無文	ミガキ	磨削内外 面	平底		7589
84-8	7559	-	-	-	M1	トレンチ#1 V1-34	IIa	16	底頸後半	鉢	口縁	平縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	不明	外スス、 内コガ	欠損		7215
84-9	7559	-	-	-	M1	トレンチ#1 V1-33	IIa	16	底頸2	注口	口縁	平縁、唇に直縁 起	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ	なし	欠損		7222
84-10	7559	-	-	-	M1	SN-B V1-34	IIa	16	底頸2	鉢	口縁	平縁、唇に直縁 起	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ キナ	外スス	欠損		7301
85-1	-	(7.2)	(15.9)	-	M1	トレンチ 2-3 V1-34	IIa	19	後頸5	台付鉢	口縁	小口直縁の直 縁、唇に直縁 起、口唇直縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ キナ	なし	存	P6145	6366
85-2	7560	4	14.6	-	M1	トレンチ#2 V1-35	IIa	19	底頸後半	鉢	口縁	明縁、口唇直 縁起	口唇直縁、体 面直縁	横位の横線、突起	不明	外スス、 内コガ	欠損		3200
85-3	7560	5.3	12	-	M1	トレンチ#1 V1-33	IIa	19	底頸2	鉢	口縁	平縁、唇に直縁 起、口唇直縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ	外スス、 内コガ	欠損	底面年代資料中	6367
85-4	7560	4.4	16.6	-	M1	トレンチ 2-3 V1-33	IIa	19	底頸4	鉢	口縁	明縁、唇に直 縁起、口唇直 縁起	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ	内コガ	欠損		6370
85-5	7560	6.1	23.4	-	M1	トレンチ#3 V1-34	IIa	19	底頸1a	深鉢	口縁	平縁、唇に直縁 起、口唇直縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ キナ	外スス、 内コガ	欠損		6371
85-6	7560	7.3	15.2	-	M1	EP#3 V1-35	IIa	19	底頸3	台付鉢	口縁	平縁、唇に直縁 起、口唇直縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ	外スス、 内コガ	欠損		6372
85-7	7559	(8.1)	(6.1)	-	M1	EP#2 V1-34	IIa	19	底頸5	台付鉢	口縁	平縁	横位の横線、突起	横位の横線、突起	ミガキ	なし	付着かし し		7466

表16 土器観察表 (13)

器種 番号	写真 図説	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ レベル	段階	位置	層位	型式	器種	部位	口縁形状・飾部	文様	地文	内面	付着物	底面形・底溝	器種 番号
85-8	7960	4.2	15	—	M1	トレンチ②	V1-34	Ⅱa	19・18	碗	広口 盆口	口縁	平縁	横位波線文	ミガキ	なし	欠損	欠損	3124
85-9	7960	8.9	—	—	M1	トレンチ①	V1・ V1-33	Ⅱa	19	碗類Ⅱ- 2	広口 盆口	胴部	欠損	口縁部より北 口縁部より南、西縁部 に波線文を施す。山岳文、 L形波線文	ミガキ	なし	欠損	欠損	6277
85-10	7959	4.3	—	4	M1	トレンチ①	V1-34	Ⅱa	19	碗類	小形盆	胴部	欠損	L形波線 文	ナガ	胴内底	平底	2871	
85-11	7960	27.1 (12.2)	9.5	—	M1	トレンチ 2・3	V1-34・ V1-34	Ⅱa	18・18	碗類Ⅱ	盆	縁部	なし	L形波線 文	ミガキ	縁部外面	凹底	6312	
85-12	7961	—	—	—	M1	トレンチ①		Ⅱa	19	碗類Ⅱ	盆	胴部	欠損	L形波線 文	ナガ	なし	欠損	6278	
85-13	7960	—	—	—	M1	トレンチ③	V1-34	Ⅱa	19	碗類Ⅱ	盆	胴部	欠損	L形波線 文	ナガ	なし	欠損	3133	
86-1	—	—	—	—	M1	トレンチ③	V1-33	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	L形波線文	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	2853	
86-2	7960	—	—	—	M1	トレンチ③	V1-34	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	L形波線文	ナガ	なし	欠損	3122	
86-3	7960	—	—	—	M1	EP-2	V1-34	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	L形波線文	ナガ	外スス	欠損	3044	
86-4	7960	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-33	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	L形波線文	ナガ	外スス	欠損	3547	
86-5	—	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-34	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁	なし、口唇面部に横位の波 線文を施す。山岳文を施す。 部分人取文となる。横文相違	ナガ	外スス	欠損	2752	
86-6	7960	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-33	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁	なし、口唇内側や口唇 面取に波線文を施す。	ナガ	外スス	欠損	3373	
86-7	—	—	—	—	M1	EP-2	V1-34	Ⅱa	19	碗類Ⅱ	盆	口縁	平縁、口唇内側 や唇面取に波線文を施す。	不明	不明	外スス、 内コガ	欠損	3444	
86-8	—	—	—	—	M1	EP-2	V1-34	Ⅱa	19	碗類Ⅱ	盆	口縁	平縁、口唇面取	横位波線文	不明	不明	外スス	欠損	3444
86-9	7960	—	—	—	M1	EP-2	V1-34	Ⅱa	19	碗類Ⅱ	盆	口縁	平縁	横位波線文	不明	不明	外スス、 内コガ	欠損	3444
86-10	7960	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-34	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁	横位波線文	不明	不明	外スス、 内コガ	欠損	3411
86-11	—	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-34	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁	横位波線文	不明	不明	外スス	欠損	2766
86-12	—	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-34	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	横位波線文	不明	不明	外スス	欠損	2771
86-13	7960	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-32	Ⅱa	19	碗類	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	横位波線文	不明	不明	外スス	欠損	2787
86-14	7960	—	—	—	M1	EP-2	V1-34	Ⅱa	19	碗類②-4	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	なし	不明	なし	欠損	3445	
86-15	7960	—	—	—	M1	トレンチ②	V1-34	Ⅱa	19	碗類②-4	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	なし	不明	なし	欠損	3174	
86-16	7960	—	—	—	M1	トレンチ①	V1-34	Ⅱa	19	碗類Ⅱ	深鉢	口縁	平縁、口唇面取	横位波線文、人取文、横位 波線文	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	2922	

表16 土器観察表 (14)

器種・器番号	写真 撮影 年月	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	造構	トレンチ・ レベル	グッド ポイント	段間	層位	型式	器体	部位	口縁形態・裝飾	文様	施文	内面	付着物	底面形・ 底飾	器土・備考
86-17	1960	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIa	19	後期7-4	深鉢	口縁	平縁、山形突起	口縁に沿って肩状の肩1条、山形突起 下に施す中央部と片肩状の 肩2条による凸凹の文様(口縁部)	1区(横溝)	ミガキ 外スス 内コガ	欠損	小破	
86-18	1960	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIa	19	後期7-4	深鉢	底部	欠損	口縁部と片肩状の肩2条による凸凹の文様(口縁部)	1区(横溝)	ナガ	内コガ	欠損	
86-19	1960	-	-	-	M1	EP-2	V1-34	IIa	19	晩期1b	深鉢	口縁	小波状口縁	相対する器縁部と三角状交叉 の文様	1区(横溝)	ミガキ	なし	欠損	
86-20	-	-	-	-	M1	EP-2	V1-34	IIa	19	晩期1a	深鉢	口縁	平縁、波状の山形突起、口縁直上	相対する器縁部と三角状交叉 の文様	1区(横溝)	ナガ	外スス 内コガ	欠損	
86-21	1960	-	-	-	M1	トレンチ 2・3	V1-34	IIa	19	晩期2	鉢	口縁	平縁、肩状口縁	波状の山形突起、波状の 山形突起、横線(器縁部)と波状 の文様	文様部ミガキ、外 ナ、内面横線(器縁部)	ナガ	外スス 内コガ	欠損	
86-22	1960	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIa	19	晩期3	鉢	口縁	平縁	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	ミガキ	器縁部外 内面	欠損		
86-23	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-33	IIa	19	晩期2	注口	口縁	平縁、波状の山形突起	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	ミガキ	ナガ	なし	欠損	
86-24	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIa	19	晩期2	鉢	口縁	平縁、山形突起、 口縁直上	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	無文	ミガキ	内コガ	欠損	
86-25	1960	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIa	19	晩期3	鉢	口縁	平縁、肩状口縁	横線(器縁部)、上辺2条の波状 の文様	文様部外スス、 内面横線(器縁部)	ミガキ	外スス 内コガ	欠損	
86-26	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-33	IIa	19	後期7-4	深鉢	口縁	平縁、波状の山形突起	波状の山形突起、波状の 山形突起、内面横線(器縁部)	器縁部のため不明	ナガ	外スス 内コガ	欠損	
86-27	-	-	-	-	M1	トレンチ2	V1-35	IIa	19	晩期1b~ 2	鉢	口縁	平縁、山形突起	波状、山形突起	ナガ	ナガ	外スス	欠損	
86-28	-	-	-	-	M1	トレンチ 2・3	V1-34	IIa	19	後期7b~ 晩期1a	深鉢	口縁	平縁、山形突起	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	1区(横溝)	ナガ	外スス 内コガ	欠損	
86-29	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-33	IIa	19	晩期直前	深鉢	口縁	平縁	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	1区(横溝)	ミガキ	なし	欠損	
86-30	-	-	-	-	M1	EP-2	V1-34	IIa	19	晩期1b~ 2	鉢	口縁	平縁、山形突起、 部分的に口唇直 上	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	無文	ミガキ	外スス 内コガ	欠損	
86-31	1960	-	-	-	M1	EP-2	V1-34	IIa	19	晩期3	鉢	口縁	平縁、肩状口縁	肩状の山形突起、波状の 山形突起、内面横線(器縁部)	1区(横溝)	ミガキ	外スス 内コガ	欠損	
86-32	1960	-	-	-	M1	トレンチ 2・3	V1-34	IIa	19	晩期3	皿	口縁	平縁、波状の山形突起、 口縁直上	波状、波状の山形突起、 内面横線(器縁部)	1区(横溝)	ミガキ	なし	欠損	
87-1	1960	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIa	19	晩期3	鉢	口縁	平縁	横線(器縁部)、波状、内面横線(器 縁部)	口縁部波状なし、 器縁部	ミガキ	内コガ	欠損	
87-2	1960	-	-	-	M1	トレンチ 2・3	V1-34	IIa	19	晩期後半	鉢	口縁	平縁、口唇直上	横線(器縁部)、波状、内面横線(器 縁部)	口縁部波状なし、 器縁部	不明	外スス 内コガ	欠損	
87-3	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIa	19	晩期後半	鉢	口縁	平縁	横線(器縁部)、波状、内面横線(器 縁部)	口縁部波状なし、 器縁部	不明	内コガ	欠損	

表16 土器観察表 (15)

器類 番号	時期	口径 (cm)	底径 (cm)	通高 (cm)	造構	トレンチ・ レベル	グリップ	段間	部位	器種	型式	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	裏面 ・底面	加土・備考	器類 番号
87-4	760	-	-	-	M1	E9-82	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	平縁、突起	横文線、工字文、突起(体部正上縁に横文)、内面横文線3条	口縁部横文なし、体部正上縁	ミガキ	なし	灰	3409	
87-5	760	-	-	-	M1	トレンチ7	V1-33	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	平縁、刻目瓦	横文線3条	横文	不明	内コガ	灰	3503	
87-6	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIa	体部	鉢	晩期後半	体部	突起	横文線3条	横文	不明	内コガ	灰	3117	
87-7	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-33	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	切取底、口部正上縁に横文	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	不明	外スス、内コガ	灰	3262	
87-8	-	-	-	-	M1	トレンチ7	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期	口縁	平縁、刻目瓦	横文線3条	横文	不明	外スス、内コガ	灰	2769	
87-9	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-33	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	平縁、深縁する切取底	横文線3条、切取底の正上縁に横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文線3条	横文	ナガ	外スス、内コガ	灰	2825	
87-10	-	-	-	-	M1	トレンチ7	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	刻目	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ミガキ	なし	灰	2873	
87-11	-	-	-	-	M1	トレンチ7	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	平縁	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ナガ	内コガ	灰	2774	
87-12	-	-	-	-	M1	E9-82	V1-32	IIa	口縁	鉢	晩期中盤	口縁	体部	横文線3条、突起	横文	ナガ	なし	灰	2809	
87-13	761	-	-	-	M1	E9-83	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	平縁	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	不明	内コガ	灰	1382	
87-14	761	-	-	-	M1	トレンチ・トレンチ3	V1-34	IIa	口縁・体部	深鉢	晩期Ib	口縁・体部	小突起口縁	横文線3条、深縁による人型文(正上縁の下縁に横文)、前部正上縁に横文、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ミガキ	なし	灰	1336	
87-15	761	4.5	(備 3.7)	-	M1	SN-8	V1-35	IIa	口縁	鉢	晩期	口縁	刻目	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ナガ	なし	灰	1339	
88-1	761	21.0	20.2	7.0	M1	トレンチ7	V1-35	IIa	口縁	鉢	晩期中盤	口縁	切取底	横文線3条	横文	ミガキ	内コガ	灰	6427	
88-2	761	(8.3)	16.1	台型 9.2	M1	トレンチ7	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期I~5	口縁	切取底	横文線3条	横文	ミガキ	内コガ	右	3091	
88-3	761	-	19.8	-	M1	トレンチ7	V1-35	IIa	口縁	鉢	晩期後半~晩期Ib	口縁	切取底	なし	横文	ミガキ	なし	右(通 かし 乳)	6349	
88-4	761	-	-	-	M1	トレンチ 8+9	V1-34	IIa	口縁・体部	深鉢	晩期	口縁・体部	切取底	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ナガ	外スス、内コガ	灰	5069	
88-5	761	-	-	-	M1	トレンチ7	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期7-4	口縁	切取底、深縁	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ナガ	外スス、内コガ	灰	6923	
88-6	761	-	-	-	M1	E9-81	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期後半	口縁	平縁、二山切取底、口管深縁	なし	横文	ミガキ	外スス、内コガ	灰	6119	
88-7	761	-	-	-	M1	トレンチ8	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期Ib	口縁	平縁、切取底	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	不明	外スス、内コガ	灰	6070	
88-8	761	-	-	-	M1	E9-81	V1-34	IIa	口縁	鉢	晩期Ib	口縁	平縁、山形突起、口管深縁	横文線3条、突起、内面横文正上縁に横文	横文	ミガキ、ナガ	外スス、内コガ	灰	6844	

表16 土器観察表 (16)

原器番号	写真 図版	口徑 (cm)	底径 (cm)	通孔・ グロット ・ベント	段間	部位	形式	器種	口縁・ 体部	器底	口縁・器底 の形状(単位)	口縁・器底の 小突起や凹み の位置(単位)	文様	施文	内面	付着物	底径 器底・器 口	出土・備考	器所 番号
89-1	791	22.5	25.9	-	Ⅱa	20	後期7-4	鉢	口縁~ 体部	底	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ミガキ	外エス、 内コウ	丸縁		5277
89-2	791	4.8	16.9	7.4	Ⅱa	20	後期2	皿	口縁	底	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ミガキ	外エス	丸縁	P-5066 裏	3095
89-3	-	-	-	-	Ⅱa	20	後期1b~ 2	鉢	口縁	底	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	外エス	丸縁		757
89-4	-	-	-	-	Ⅱa	20	後期7-4	深鉢	口縁	底	平縁、口直径 が広い	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	外エス、 内コウ	丸縁		797
89-5	-	-	-	-	Ⅱa	20	後期2	鉢	口縁	底	平縁、三山状器 底	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	外エス	丸縁		804
89-6	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期7-4	深鉢	口縁	底	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ミガキ	外エス	丸縁	P-5059	1304
89-7	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期7-4	深鉢	口縁~ 体部	底	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	外エス、 内コウ	丸縁	P-5059	1304
89-8	791	-	-	-	Ⅱa	20	白濁上層 式	深鉢	口縁	底	平縁	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	外エス	丸縁		2288
89-9	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期1a	注口	突起	注口	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	なし	丸縁	P-5060	1399
89-10	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期1a	注口	突起	注口	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	なし	丸縁	P-5061	1397
89-11	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期1a	注口	突起	注口	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	なし	丸縁	P-5059	1401
89-12	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期1a	注口	突起	注口	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	なし	丸縁	P-5064	1396
89-13	791	-	-	-	Ⅱa	20	後期1a	注口	突起	注口	平縁、器底は ゆるい凹み	口縁に沿って器底側に、器底 の中央に凹み		丸縁、体部 に丸縁	ナブ	なし	丸縁	P-5053	1402

表16 土器観察表 (17)

図録 番号	写真 図録 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ レベル	グッド ポイント	段階	層位	型式	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	底径 ・口縁 (cm)	器土・備考		
89-14	39.1	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	29	晩期1a	注口	腹部	欠損	沈澱による入眼文、体中による 三文文、文様部下部輪状凸條 注口縁下部二段の彫込み、雲 足間及び突縁上縁部	1R(彫り)、体部下半 ミガキ	ナゲ	なし	欠損	788	細砂	
89-15	39.1	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IVa	14-2	晩期1a	注口	注口	欠損	なし	ミガキ	ナゲ	なし	欠損	1600	細砂	
90-1	39.2	33.4	8.8	S022・ S029・M1	トレンチ4	VH-32・ 33	IIa	24・25・ 樓上	晩期前半	胴鉢	胴先部	平縁(口径突 縁部)	なし	系文文様入眼文(体中) 系文上縁部(体中)	ミガ キナ ナゲ	外スス、 内コソ	高台	S022か?	118	500か?
90-2	39.2	16.5	10.3	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期	深鉢	底先部	平縁、斜目目	横状凸條(突縁上縁部、 体中)	系文(体中)上2cm 粗線(体中)	ミガキ	外スス、 内コソ	平座	F-0199、原厚年代 分析中	3002	3002
90-3	39.2	8.6	13	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期前半	鉢	底先部	平縁、口唇面	なし	1R(横状)系文	ミガキ	外スス、 内コソ	平座	F-5266	5994	5994
90-4	39.2	-	-	M1	トレンチ4	VH-32・ 33	IIa	24	晩期	深鉢	胴鉢	平縁、口唇面	なし	1R(横状)系文	ナゲ	外スス、 内コソ	欠損		605	605
90-5	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期	深鉢	胴鉢	平縁、口唇面	なし	1R(横状)系文	ナゲ	なし	欠損		711	711
90-6	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vg-32・ 33	IIa	8	晩期1a~ b	鉢	口縁~ 腹部	小波状口縁	なし	1R(横状)系文	ミガ キナ ナゲ	外スス、 内コソ	欠損	口縁部上縁 の粗土器部遺留 面	722	722
90-7	39.2	-	-	M1	トレンチ4	V H-34(6)	IIa	24	晩期1b	鉢	口縁~ 腹部	平縁、口唇面	なし	ナゲ	ミガキ	なし	欠損		701	701
90-8	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期2	鉢	口縁~ 腹部	平縁、口唇面	なし	無文	ミガキ	なし	欠損		874	874
90-9	39.2	-	-	M1	トレンチ4	VH-32・ 33	IIa	24	晩期7-4	深鉢	口縁~ 腹部	平縁	脇面上下、腹面、横状凸條(同 目付)、口唇面	1R(彫り)	ナゲ	外スス、 内コソ	欠損		607	607
90-10	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期1a~ b	鉢	腹部	平縁、山形突縁 (突起口唇面) 胴、口唇面	脇面上下、腹面、横状凸條(同 目付)、口唇面	文様部ナゲ、体中 横状凸條	ミガキ	外スス	欠損	図録4・7・8 同一器体	872	872
90-11	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期後半	深鉢	口縁	平縁	口縁に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條 口唇に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條 口唇に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條	取横状系文	ミガキ	内コソ	欠損		671	671
90-12	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-32	IIa	24	晩期7-4	深鉢	口縁	平縁	口縁に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條 口唇に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條	ナゲ	ナゲ	なし	欠損		693	693
90-13	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-32	IIa	24	晩期7-4	深鉢	腹部	欠損	口唇に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條 口唇に沿って体中(同目付、 口唇に点つて体中)横状凸條	1R(彫り)	ナゲ	外スス、 内コソ	欠損		698	698
91-1	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期1a~ b	底	肥土	欠損	横状凸條(同目付、横状凸條) 横状凸條、肥土(同目付)の横 状凸條	1R	ナゲ	なし	欠損	小磯	877	877
91-2	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-32	IIa	24	晩期2	鉢	口縁	平縁、斜目目	斜目上、口唇面、横状凸條 (同目付)、横状凸條、突縁 上縁部、文様部	系文(体中)系文、 系文(体中)系文	ナゲ	外スス、 内コソ	欠損		682	682
91-3	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期	広口鉢	口縁~ 腹部	平縁	なし	ミガキ、ナゲ	ナゲ	なし	欠損		873	873
91-4	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-33	IIa	24	晩期2	注口	腹部	欠損	横状凸條(口唇部、横状凸條) 口唇部、横状凸條	ミガキ	ナゲ	なし	欠損	遺留	897	897
91-5	39.2	-	-	M1	トレンチ4	Vp-32	IIa	24	晩期7-4	注口	腹部	欠損	沈澱、胎面、磨面(胎面)状	1R(彫り)	ナゲ	なし	欠損	小磯	897	897

表16 土器観察表 (18)

図版番号	写真 高100mm	口径 (mm)	底径 (mm)	遺構	トレンチ・ ベクト	グリップ 口	段間	部位	型式	器種	部位	口縁形態・顔面	文様	施文	内面	付着物	底面形・底面	出土・備考	図版 番号
91-6	7962	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	Ⅱb	24	白面土器式	深鉢	口縁・ 外側	口縁・ 外側	口縁部から底面まで 口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	直線状施文	ナガ	外スス	矢面	P-5290	1967
91-7	7962	-	-	M1	トレンチ1	V19-33	Ⅱb	24	復格式	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ キ、ナ	なし	矢面		739
91-8	7962	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	Ⅱb	24	復式 <small>→</small> 土 器式 <small>→</small> 土 器式 <small>→</small> 土 器式 <small>→</small> 土 器式	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ キ、ナ	外スス	矢面	615	
91-9	7962	-	-	M1	トレンチ1	V19-33	Ⅱb	25	晩期	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ キ、ナ	外スス	矢面	881	
91-10	7962	-	-	M1	トレンチ1	V19-33	Ⅱb	25	晩期7-4	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	外スス	小断	885	
91-11	7962	-	-	M1	SN-B	V6-34	Ⅱb	25	晩期Ⅱb	鉢	口縁	小突起口縁、三 山状突起	口縁部ナガ、直線状 施文	無文	ミガキ キ、ナ	外スス、 内コナ	矢面	838	
91-12	7962	-	-	M1	SN-B	V6-34	Ⅱb	25	晩期Ⅱb	鉢	口縁	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ、ナ	外スス、 内コナ	矢面	839		
91-13	7962	-	-	M1	トレンチ1	V19-33	Ⅱb	25	晩期2	皿口	口縁	縁部がやや 厚く、底面を やや窪ませる	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ、ナ	なし	矢面	傾斜、突起	873	
91-14	7962	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	Ⅱb	25	晩期Ⅱb	深鉢	口縁	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	なし	矢面	915	
91-15	7962	-	-	M1	トレンチ4	V19-33	Ⅱb	25	晩期Ⅱb	深鉢	口縁	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ	外スス、 内コナ	矢面	9366	
91-16	7962	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	Ⅱb	25	晩期Ⅱb <small>→</small> 2	皿口	皿口部	皿口部	皿口部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ	なし	矢面	963	
91-17	7962	-	-	M1	SN-B	V6-34	Ⅱb	25	晩期Ⅱb	皿口	口縁	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	なし	矢面	844	
91-18	7962	-	-	M1	SN-B	V6-34	Ⅱb	25	晩期Ⅱb	蓋	口縁	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	なし	矢面	849	
91-19	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	Ⅱb	25	復格式	深鉢	口縁	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	なし	矢面	932	
109-1	7967	15.9	8.5	M1	トレンチ5	V1-56	Ⅱb	11	晩期	深鉢	縁部	縁部	縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	外スス、 内コナ	高台 P-5138・5142	9363	
109-2	7966	24.4	32	M1	トレンチ5	V19-35・ V1-36	Ⅱb	11	晩期	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	外スス、 内コナ	高台 P-5014・P-5046、 高台の縁取りは施文無 き	9367	
109-1	7966	18.4	26.8	M1	トレンチ5	V1-36	Ⅱb	11	晩期	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	外スス、 内コナ	高台 P-5141、貫通孔2	9362	
109-2	-	14.7	16	M1	トレンチ5	V1-36	Ⅱb	11	晩期	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	外スス、 内コナ	高台 P-5141、貫通孔2	9362	
109-3	7967	14.5	22.6	M1	トレンチ5	V1-36	Ⅱb	11	晩期	深鉢	口縁・ 外側	口縁部	口縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ナガ	外スス、 内コナ	高台 P-5046、貫通孔2	9366	
109-4	7967	18.6	(20.2)	M1	トレンチ 5	NR-35・ 36	Ⅱb	11	晩期	付付物	縁部	縁部	縁部をほぼ完全に 縁取りし、底面は全 く縁取りされていない	口縁部ナガ、直線状 施文	ミガキ キ、ナ	外スス、 内コナ	高台 P-5046、貫通孔2	9366	
																		9333	

表16 土器観察表 (19)

器種 番号	写真 撮影 位置	口径 (cm)	底径 (cm)	通身 形状	トレンチ ・ ベント	グリップ	段高 (cm)	段間	部位	型式	器種	部位	口縁部形、断面	文様	地文	内面	付着物	原形・断面	器種 番号
106-5	797	11	31	-	M1	丸底	11・12・2	丸底4	林	丸底	口縁部	口縁部	横位文様、朝咲文、咲足、把手	丸	丸	不明	内口ゴ	丸底	6340
106-6	-	3.8	6.4	M1	SN-B	VJ-36	23	丸底10	林	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	内口ゴ	丸底	6352
106-7	797	7.8	20.2	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底10	林	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6416
106-8	797	4.6	11	-	M1	SN-B	VJ-35	11b	林	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	1218
106-1	-	7.1	14	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	林	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6425
106-2	797	4.6	-	8.3	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6661
106-3	797	8.1	6	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6413
106-4	797	7.9	9	-	M1	SN-B・ト レンチ5	VJ-35・ 36	11b・23	丸底中業	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6426
106-5	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6415
106-6	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6344
106-7	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	9370
106-8	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6418
106-9	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6423
106-10	-	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6369
106-11	-	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6381
106-12	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6414
106-13	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	4496
106-14	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6272
106-15	797	-	-	-	M1	SN-B	VJ-36	23	丸底10	林	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	1110
106-16	797	-	-	-	M1	SN-B	VJ-35	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	1239
106-17	-	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6300
106-18	797	-	-	-	M1	SN-B	VJ-35	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6353
106-19	797	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6349
106-20	-	-	-	-	M1	トレンチ5	VJ-36	11b	丸底	丸底	口縁部	口縁部	横位文様に交差する上流文様	丸	丸	不明	外口ゴ	丸底	6393

表16 土器観察表 (20)

器名 器番号	写真 撮影 位置	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通孔 位置	土色	形状	器種	部位	口縁形態・胎体	文様	地文	内面	付着物	底面形 態・胎体	器高 備考	
106-23	—	—	—	11	トレンチ6 V1-36	M1	腰周1/3	浅鉢	外唇	口縁凹	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	4228	
106-22	967	—	—	11	トレンチ6 V1-36	M1	後部1/3	浅鉢	口縁	口縁平縁	1区部滑	なし	外ガキ	なし	欠損	4314	
106-23	—	—	—	11	トレンチ5 V1-36	M1	腰周1/3~2/3	深鉢	口縁 外唇	口縁平縁	ナブ	ナブ	内ガキ	なし	欠損	4309	
110-1	969	32.5	35	15	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	深鉢	口縁 外唇	口縁平縁	無文	無文	ナブ	なし	欠損	9502	
110-2	969	42.5	30	15	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	深鉢	上半部	口縁平縁	無文	無文	ナブ	なし	欠損	9474	
111-1	969	27.2	23.5	8.4	SR-B V1-34	M1	底面	底鉢	底面	口縁平縁	なし	無文	土ガキ	外ガキ	底面	4445	
111-2	969	15.0	23.5	—	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	鉢	口縁 外唇	口縁凹	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	9482	
111-3	—	8.5	14.4	—	トレンチ3 V1-34	M1	腰周後半	鉢	口縁	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	口縁部と底面に 文様	9472
111-4	969	22.5	30.6	—	トレンチ1 V1-34	M1	腰周後半	深鉢	外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	9483	
111-5	969	13.4	33	—	トレンチ1 V1-34	M1	腰周後半	深鉢	口縁 外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	9490	
112-1	—	23.4	23.4	10.2	トレンチ3 V1-34	M1	腰周後半	鉢	口縁 外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	9472	
112-2	970	18	10.5	9	SR-B V1-35	M1	腰周後半	鉢	外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	無文	6426
112-3	970	13.0	24.2	—	トレンチ3 V1-34	M1	腰周後半	鉢	上半部	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	無文	9503
112-4	970	14.5	16.0	4.7	トレンチ1 V1-34	M1	腰周後半	鉢	底面	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	無文	6443
112-5	970	—	—	—	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	深鉢	口縁 外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	6039	
112-6	—	12.0	—	8.6	FR-82 V1-34	M1	底面	底鉢	底面	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	6487	
112-7	—	12.0	—	10	FR-82 V1-35	M1	底面	底鉢	下半部	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	6481	
112-8	969	8.8	—	7.2	SR-B V1-35	M1	底面	底鉢	下半部	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	6493	
113-1	970	8.5	11	5.7	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	鉢	外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	底面	6441	
113-2	—	11	12.6	5.6	SR-B V1-34	M1	腰周後半	鉢	外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	6711	
113-3	970	13.0	14.7	—	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	鉢	口縁 外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	欠損	6429	
113-4	970	10.5	12.9	7.9	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	台付鉢	底面	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	台	9486	
113-5	970	11.5	14.8	8.8	FR-82 V1-34	M1	腰周後半	台付鉢	外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	台	6438	
113-6	—	(64)	—	(64)	FR-82 V1-34	M1	底面	台付鉢	下半部	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	台	9473	
113-7	970	13.0	15.3	(63)	トレンチ3 V1-34	M1	腰周後半	台付鉢	口縁 外唇	口縁平縁	無文	無文	土ガキ	なし	台	6424	

表16 土器観察表 (22)

器名・器号	写真	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通体	土質・パテント	段階	部位	器種	形状	型式	器体	部位	口縁部、器蓋部	文様	施文	内面	付着物	底径部、器蓋部	加土・備考	器高 (cm)
110-2	971	08.0	-	6.5	M	SW-B	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	胴部・底周縁に波文、工字文	ミダキ		なし	四角付	1700	
110-3	971	01.90	-	5.8	M	トレンチ3	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁4~5	底	底周縁	底	底周縁	胴部波文、胴部波帯、遺器入底文	ミダキ	ナゲ	縁部外面	平底 (底径部、器蓋部)	P-032、壺山1式	710
110-4	971	01.90	-	5.3	M	トレンチ1	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁4	底	底周縁	底	底周縁	波文 (波行線も底周縁で区別した部分の波文、突起)	波文	ナゲ	なし	平底 (底径部、器蓋部)	P-205	730
111-1	-	20.5	8.6	9	M	トレンチ3	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	ナゲ	なし	平底	P-5131	944
111-2	971	21.2	-	6.4	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15・27	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	ナゲ	なし	平底		969
111-3	971	19.7	8.7	9.0	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	ナゲ	なし	平底	P-5178	6432
111-4	972	13.5	5.9	6	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文、突起	波文、斜行	不明	なし	平底	P-5176	6439
111-5	971	13.75	7.6	6.7	M	トレンチ3	V1-35	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文、口縁部粘土粒散	波文	ナゲ	なし	平底	P-5129	6436
111-6	972	14.8	6.7	5.2	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	ナゲ	なし	平底	P-5175	6431
111-7	972	14.9	5.3	4.5	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	ナゲ	なし	平底	P-5181	6446
111-8	972	15.6	-	6.4	M	SW-B	V1-35	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	ナゲ	なし	平底	P-5163	6442
111-9	972	11.8	4.9	4.9	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	口縁部波文	波文	不明	外スス、内コガ	平底	P-5177	6440
118-1	972	-	-	-	M	SW-B	V1-35	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	ナゲ	外スス	次周	6839	
118-2	972	-	-	-	M	SW-B	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	ナゲ	なし	次周	6714	
118-3	-	-	-	-	M	SW-B	V1-35	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	ナゲ	外スス、内コガ	次周	7060	
118-4	972	-	-	-	M	トレンチ3	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	不明	外スス、内コガ	次周	7842	
118-5	972	-	-	-	M	トレンチ3	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	ナゲ	外スス、内コガ	次周	7045	
118-6	972	-	-	-	M	トレンチ3	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	ナゲ	外スス、内コガ	次周	7067	
118-7	972	-	-	-	M	トレンチ3	V1-35	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	なし	波文	ナゲ	なし	次周	P-5129	7853
118-8	-	-	-	-	M	SW-B	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	波文	波文	ナゲ	外スス	次周	P-5284	7973
118-9	-	-	-	-	M	トレンチ3	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	波文	波文	ナゲ	外スス、内コガ	次周	P-5133	7870
118-10	-	-	-	-	M	SW-B	V1-35	皿 ⁶	15	底周縁半	底	底周縁半	底	底周縁	波文	波文	ナゲ	外スス、内コガ	次周	P-5167	7845
118-11	972	-	-	-	M	FR-02	V1-34	皿 ⁶	15	底周縁	底	底周縁	底	底周縁	口縁部波文、突起	波文	不明	外スス、内コガ	次周	P-5192	7827

表16 土器観察表 (23)

器名・器号	時期	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通構	トレンチ・ レベル	グリップ	段高	部位	型式	器種	部位	口縁形態・器動	文様	地文	内面	付着物	底径形 態・器動	器号 番号
119-12	972	-	-	-	M1	EP-82	V1-34	Ⅱa	15・19	晚期4	部鉢	外部	欠損	区画的な不明	区画的な不明	ミガキ	外スス	欠損	6839
119-13	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期1b	鉢	口縁	小変状口縁	裏面(肩下)に短線、人組三文	裏面(肩下)に短線、人組三文	ミガキ	なし	欠損	6737
119-14	972	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期1a	部鉢	口縁	小変状口縁	区画的な不明	区画的な不明	ミガキ	外スス	欠損	6873
119-15	-	-	-	-	M1	EP-82・ト レンチ	V1-34	Ⅱb	15	晚期4	部鉢	口縁	平縁、口唇縁	区画的な不明	区画的な不明	ミガキ	外スス	欠損	6840
119-16	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期1a	鉢	口縁	小変状口縁	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	内コガ	欠損	6735
119-17	972	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期1a	鉢	外部	欠損	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6876
119-18	972	-	-	-	M1	トレンチ	V1-34	Ⅱb	15	晚期2	鉢	外部	欠損	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6453
119-19	-	-	-	-	M1	トレンチ	V1-34	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁	初段、肩上	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	なし	欠損	7023
119-20	-	-	-	-	M1	トレンチ	V1-34	Ⅱb	15	晚期後半	皿	口縁	突起	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	なし	欠損	7022
119-21	972	-	-	-	M1	EP-82	V1-34	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁	平縁、口唇縁	区画的な不明	区画的な不明	ミガキ	なし	欠損	7046
119-22	972	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期	皿	口縁～ 外部	平縁	なし	なし	ナガ	なし	欠損	6650
119-1	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	二山状突起	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6743
119-2	972	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	肩上	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6732
119-3	972	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	平縁	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	7901
119-4	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15・6	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	平縁	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	内コガ	欠損	6761
119-5	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	初段、肩上	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	なし	欠損	6725
119-6	973	-	-	-	M1	EP-82	V1-34	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	平縁	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6888
119-7	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁～ 外部	平縁、口唇内 唇外に突起	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6744
119-8	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	口縁	平縁	区画的な不明	区画的な不明	不明	内コガ	欠損	6726
119-9	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期	鉢	口縁	肩目	区画的な不明	区画的な不明	不明	外スス、 内コガ	欠損	7855
119-10	-	-	-	-	M1	EP-82	V1-34	Ⅱb	15	晚期後半	鉢	外部	肩目	区画的な不明	区画的な不明	不明	内コガ	欠損	6912
119-11	973	-	-	-	M1	EP-82	V1-34	Ⅱb	15	晚期	鉢	口縁～ 外部	二山状、肩目	区画的な不明	区画的な不明	ミガキ	内コガ	欠損	6894
119-12	973	-	-	-	M1	EP-82	V1-34	Ⅱb	15	晚期4～5	鉢	口縁～ 外部	初段、肥平	区画的な不明	区画的な不明	ミガキ	内コガ	欠損	6887
119-13	973	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	Ⅱb	15	晚期	鉢	口縁	山形突起、肥平	区画的な不明	区画的な不明	ナガ	外スス、 内コガ	欠損	6762

表16 土器観察表 (24)

写眞 図號	原高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ レベル・ 中心	段階	層位	型式	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	底径 ・ 器 高	器 高 ・ 底 径	
119-14	273	-	-	M1	S8-B	15	Ⅱb	晩期Ⅳ	鉢	口縁 ・ 底面	山口突起、口唇 山口に凸出	無文	ナガ	なし	欠損	6209		
119-11	273	-	-	M1	FR-82	15	Ⅱb	晩期Ⅳ	深鉢	口縁	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	なし	欠損	9000		
129-1	275	40.0	35.4	M1	FR-82	18	Ⅱ-19	晩期後半	深鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	なし	平縁	F5017		
129-2	275	39.9	31	M1	トレナンチ 1・FR-82	18	Ⅱb	晩期後半	深鉢	口縁部 ・ 底面	平縁、口唇面収 小突起口縁	無文	ナガ	なし	欠損	F-5051	9317	
130-1	-	-	-	M1	FR-82	18	Ⅱb	晩期後半	深鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	F-5017	9408	
130-2	275	(15.0)	29	M1	FR-82	18	Ⅱb	晩期後半	深鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	9532		
130-3	-	(8.0)	14.2	M1	FR-82	18	Ⅱb	晩期後半	鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	9088		
130-4	275	(8.0)	28	M1	FR-82	18	Ⅱb	晩期後半	鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	9526		
130-5	275	12.1	18.2	8.9	FR-82	18	Ⅱb	晩期後半	台付鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	F-5022	9529	
130-6	275	10.3	13.8	7.8	M1	トレナンチ 3	Ⅱb	晩期後半	台付鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	F-5076	9524	
130-7	-	(8.3)	15	M1	FR-82	18	Ⅱb	晩期Ⅳ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	F-5183	9409	
130-8	275	11.8	15.6	8	M1	FR-82	18	晩期Ⅳ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	山口突起	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	欠損	9495		
130-9	275	(4.6)	21	M1	FR-82	18	Ⅱb	晩期Ⅴ	鉢	口縁	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	なし	欠損	7920	9402 14cm± 2の 等間隔に並ぶ でい	
130-10	275	(3.2)	-	7.3	M1	FR-82	18	晩期Ⅴ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	平	8309		
130-11	275	(3.1)	-	7.8	M1	トレナンチ 3	Ⅱb	晩期Ⅴ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	平	9310		
130-12	275	(3.1)	-	7	M1	トレナンチ 1	Ⅱb	晩期Ⅴ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ナガ	なし	平	9109		
127-1	275	11.7	(18.0)	8.5	M1	トレナンチ 1-3A	Ⅱb	晩期Ⅴ	台付浅鉢	口縁部 ・ 底面	8突起4単位	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	赤彩内外 面	台通 穴	P-3066	7306	
127-2	275	11	18.6	7	M1	FR-82	18	晩期Ⅴ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	8突起4単位	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	赤彩内外 面	台通 穴	F-5182	9337	
127-3	276	10	16	8	M1	FR-82	18	晩期Ⅴ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	8突起	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	赤彩内外 面	台通 穴	9338		
127-4	276	(8.7)	21.2	(6.0)	M1	トレナンチ 3	Ⅱb	晩期Ⅴ	台付浅鉢	口縁部 ・ 底面	8突起4単位	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	赤彩内外 面	台通 穴	F-9069	7302	
127-5	276	(6.3)	(16.0)	-	M1	トレナンチ 3	Ⅱb	晩期Ⅴ	台付浅鉢	口縁部 ・ 底面	8突起4単位	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	赤彩内外 面	台通 穴	F-3077	7499	
127-6	276	(5.9)	10.4	-	M1	FR-82	18	晩期Ⅴ	台付鉢	口縁部 ・ 底面	山口突起、口唇 山口に凸出	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	赤彩内外 面	台通 穴	F-5182、赤彩で工 字文	9322	
127-7	276	4.5	13.4	4.8	M1	トレナンチ 3	Ⅱb	晩期Ⅴ	深鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	なし	底面 底に	F-3079	9331	
127-8	276	5.55	17	6.1	M1	FR-82	18	晩期Ⅴ	深鉢	口縁部 ・ 底面	平縁	口縁部無文、内面 口縁に平縁	ミガキ	なし	底面 底に	F-3079	9331	

表16 土器観察表 (25)

図号	原形	口径 (cm)	底径 (cm)	通身	トレンチ・ グロッド レベル	段階	位置	層位	型式	器種	部位	口縁部形・胎動	文様	地文	外面	付着物	底径形 態・胎動	器号
127-9	-	5.8	15.8	5.5	M1	EPR-82	V1-33・ 34	IIIb	底周後半	深鉢	胎元形	平底	襷立文様・内周 襷立文様・上段立文様	口縁部凹線、体部凹 線	ミゴキ	なし	火燄	P-5023
127-10	375b	4.7	15.4	3	M1	トレンチ 3・EPR-42	V1-34	IIIb	底周後半	深鉢	胎元形	約突起4単位	なし	ミゴキ	胎形内外 面	胎形内外 面	丸底	5414
127-11	375b	6.1	26.7	-	M1	トレンチ 2・3	V1-34	IIIb	底周後半	皿	底形	約突起4単位	なし	ミゴキ	胎形内外 面	胎形内外 面	丸底 底径 凹線	5904
128-1	375b	-	18.8	10.4	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周4～5	底	胎元形	平底、胎元・三 角胎動	胎形無文、肩縁部、胎元胎 文、内周襷立文様	LR	ナゲ	なし	襷立文様・胎元胎 文	8077
128-2	375b	59.0	-	4.5	M1	EPR-82	V1-34	IIIb	底周底	底	下半部	火燄	胎形無文、工字文、襷立文様	LR(胎元)、胎元下半 部	ナゲ	なし	平底	9000
128-3	-	15.3	6.6	7	M1	EPR-82	V1-33	IIIb	底周後半	底	胎元形	平底、口唇面底	口唇部無文	口縁部ナゲ	なし	胎形内外 面	9811	
128-4	375b	13.7	-	-	M1	トレンチ 1・3・5・ EPR-82	V1-33・ 34	IIIb	底周底	底	胎元形	火燄	胎形無文、口縁部無文、胎元胎 文、胎元胎文、襷立文様	LR	ミゴキ、 ナゲ	なし	火燄	器田1式
128-5	375b	16.0	10.8	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周底	底	上半部	山形突起口唇面 (口唇部凹線)	口縁部無文、胎元工字文(胎元 胎文)、内周襷立文様	胎元 ナゲ	なし	胎形内外 面	P-5037	
128-6	-	14.2	6.4	6.8	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周後半	底	胎元形	平底、口唇面底	口唇部無文	口縁部ナゲ	なし	胎形内外 面	9815	
128-7	375b	64.0	6	-	M1	トレンチ 2・3	V19-34	IIIb	底周後半	底	口縁	突起	口唇部無文	ミゴキ	ナゲ	胎形内外 面	P-5012	
128-8	375b	64.0	4	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周後半	底	口縁	突起	沈線、体部文様不明	ミゴキ	胎形内外 面	火燄	5994	
128-9	375b	55.1	4.3	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周後半	底	口縁	平底	沈線、体部文様不明	ミゴキ	胎形内外 面	火燄	9404	
129-1	-	8.7	8.2 (最大径 11.1)	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周後半	底	上半部	平底、口唇面底	口縁部無文	口縁部ナゲ	なし	胎形内外 面	9512	
129-2	377	14.8	10.2	6	M1	トレンチ 1・EPR-82	V1-34	IIIb	底周後半	底	胎元形	平底	なし	ミゴキ	なし	平底	9516	
129-4	377	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIIb	底周	深鉢	口縁	平底	なし	口縁部ナゲ	ナゲ	胎形内外 面	6455	
129-5	377	-	-	-	M1	EPR-82	V1-34	IIIb	底周	深鉢	口縁	平底、口唇面底	口縁部無文	口縁部ナゲ、体部 凹線	ナゲ	なし	火燄	5316
129-6	377	-	-	-	M1	EPR-82	V1-34	IIIb	底周	深鉢	口縁	平底	なし	胎元胎 文	ナゲ	胎元胎 文	7918	
129-7	377	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIIb	底周	深鉢	口縁	平底、口唇面底	なし	胎元胎 文	ナゲ	胎元胎 文	8062	
129-8	377	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周後半	深鉢	口縁	平底、口唇面底	胎元地に襷立文様	胎元胎 文	ナゲ	なし	火燄	8468
129-9	377	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIIb	底周後半	深鉢	口縁	平底、口唇面底	胎元地に襷立文様	胎元胎 文	ミゴキ	なし	火燄	8658
129-10	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	IIIb	底周後半	深鉢	口縁	平底、胎元形に 口唇面底	胎元地に襷立文様	LR	ナゲ	なし	火燄	9009
129-11	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIIb	底周	林	胎元形	口唇面底	胎元胎 文	ナゲ	なし	胎形内外 面	9809	
129-12	377	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-34	IIIb	底周	深鉢	胎元形	胎元形	なし	胎元胎 文	ナゲ	なし	火燄	8826

表16 土器観察表 (26)

図録 番号	写真 番号	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ レベル	グロッド	段位	型式	器種	部位	口縁部・底・胴部	文様	施文	内面	付着物	底径 部・胴部	器高 備考	
130-13	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹	深鉢	口縁 上部	平縁	なし	染紅文	ナガ	なし	次皿	823	
130-1	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	後腹7-4	深鉢	口縁	平縁・突起、口 唇直取	なし	染紅文	ナガ	なし	次皿	821	
130-2	978	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	後腹7-4	深鉢	口縁	平縁、口唇直取、 口唇直取	なし	1区(内面)	ミガキ	外スス	次皿	小皿	829
130-3	977	-	-	-	M1	トレンチ2	V1-3A	Ⅱb	底腹2	鉢	底部	次皿	縦文 文書帯	ミガキ	内コガ 内コガ	次皿	P-501	846	
130-4	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹2	鉢	口縁	平縁、肩直取	八割三文字	ナガ	内コガ 内コガ	次皿	547		
130-6	977	-	-	-	M1	EP-2	V1-3A	Ⅱb	底腹15	鉢	口縁	平縁	横位三文字	ナガ	外スス 内コガ	次皿	583		
130-7	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹3	鉢	口縁	平縁、突起の周 目直取	口縁に沿った赤土を施す「ノ」 の字文、横位三文字	ナガ	外スス 内コガ	次皿	848		
130-8	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹3	鉢	口縁	平縁、口唇直取	縦文帯(口唇直取)	ミガキ、横文帯	ミガキ	なし	次皿	8519	
130-9	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	突起	比羅、内面横位三文字	ナガ	内コガ	次皿	8153		
130-10	977	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	突起	口縁に沿った赤土を施す	ナガ	なし	次皿	8500		
130-11	978	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	深鉢	口縁	平縁、口唇直取	横位三文字、突起	ナガ	内コガ	次皿	8494		
130-12	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	深鉢	口縁	平縁、口唇直取	横位三文字、突起	ナガ	なし	次皿	8489		
130-13	-	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	深鉢	口縁	突起	横文帯に横位三文字(部分的に)	ナガ	なし	次皿	8466		
130-14	977	-	-	-	M1	EP-2	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	突起	横位三文字	ナガ	なし	次皿	8209		
130-15	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	深鉢	口縁	突起	横文帯に横位三文字(部分的に)	ナガ	なし	次皿	8506		
130-16	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹1	鉢	口縁	突起	口縁に沿った赤土を施す	ナガ	なし	次皿	8499		
130-17	977	-	-	-	M1	EP-2	V1-33	Ⅱb	底腹1	鉢	口縁	平縁	横位三文字、突起	ナガ	外スス	次皿	8448		
130-18	977	-	-	-	M1	EP-2	V1-33	Ⅱb	底腹	鉢	口縁	突起	横位三文字	ナガ	なし	次皿	7039		
130-19	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	平縁	口唇直取、突起	ナガ	なし	次皿	8551		
130-20	977	-	-	-	M1	EP-2	V1-33	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	突起	横位三文字、突起、内面横位 三文字	ナガ	外スス、 内コガ	次皿	7065		
130-21	977	-	-	-	M1	トレンチ3	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	突起	横位三文字、突起	ナガ	内コガ	次皿	P-5005		
130-22	977	-	-	-	M1	EP-2	V1-3A	Ⅱb	底腹後半	鉢	口縁	突起	横位三文字、突起	ナガ	なし	次皿	8273		

表16 土器観察表 (27)

図例 断面 番号	位置 説明	高 (cm)	口徑 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ レベルト	段階	型式	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	裏面 ・底面	断面 番号
130-23	977	-	-	-	M	FR-82	1B	底腹足	鉢	口縁	二山状突起	横位文様(体部は横文様に等文)	口唇部隆起なし、体部凹線	不明	内コテ	欠損	7009
130-24	-	-	-	-	M	トレンチ①	1B	底腹足	洗鉢	口縁	山形突起	横位文様、底平	文部帯隆起なし、体部平	ナテ	なし	欠損	右側面・底面 の凹線が 口縁部まで の文部帯に 一致する
130-25	978	-	-	-	M	FR-82	1B	底腹後半	洗鉢	口縁	山形突起	なし、内面横位文様	ミガキ	体部内外	欠損	9209	
130-26	977	-	-	-	M	FR-82	1B	底腹足	鉢	口縁～ 体部	二文突起	工文文、突起、横位文様(体部は 横文様に等文)、内面横位文様	不明	内コテ	欠損	肥半付?	
130-27	978	-	-	-	M	トレンチ③	1B	底腹足	皿	口縁	平縁	横帯、透き入地文、内面横位文	ミガキ	横帯・体部	欠損	9406	
130-28	-	(1.0)	17	-	M	トレンチ③	1B	底腹足	台付鉢	口縁	凹線	横帯、工文文、横位文様、内面 横位文様	ミガキ	体部内外	欠損	9821	
130-29	978	-	-	-	M	トレンチ③	1B	底腹足	深鉢	体部	欠損	文部帯隆起なし、体部 凹線横位文様	ミガキ	外スス	欠損	8531	
130-30	978	-	-	-	M	トレンチ③	1B	底腹	深鉢	口縁	平縁	横位文様	ミガキ	なし	欠損	P-5005 8465	
130-1	-	(24.0)	-21.6	9	M	FR-83	V1-35	底腹後半	深鉢	底足形	平縁	横位文様・底、内面横位文様	ミガキ ナテ	外スス 内コテ	凹線	P-5142、横付から 横文文様	
130-2	-	(21.0)	22.5	8.2	M	FR-82	V1-35	底腹	深鉢	底足形	二山状突起(口唇部 位から口唇部 まで)	横位文様・底、突起	ナテ	外スス 内コテ	平縁	9541	
130-3	981	(18.3)	30.1	-	M	FR-83	V1-35	底腹	鉢	口縁～ 体部	平縁、口唇内面 突起に凹線	横位文様・底	ナテ	外スス 内コテ	平縁	9540	
130-4	-	(28.0)	20.8	-	M	FR-82	V1-35	底腹後半	深鉢	口縁～ 体部	凹線	横文様に横位文様	ナテ	外スス	欠損	9546	
130-5	-	(11.0)	19.9	-	M	FR-82	V1-35	底腹後半	鉢	口縁	平縁	横位文様・底、突起(下部の文様 と突起は横文様に等文)	ナテ	なし	欠損	6206	
130-6	981	10.4	13.6	5.1	M	FR-82	V1-35	底腹後半	鉢	底足形	平縁	横位文様・底、内面横位文様	ナテ	内コテ	平縁	6209	
130-7	-	-	-	-	M	FR-83	V1-35	底腹	鉢	口縁	平縁	文部帯隆起なし、体部 凹線横文	ナテ	外スス 内コテ	平縁	9668	
130-8	-	(8.5)	-	(8.8)	M	SR-B	V1-35	底腹	平半部	口縁	凹線	横文様に等文	ナテ	なし	欠損	9145	
130-1	981	(9.3)	12.1	-	M	FR-83	V1-35	底腹	鉢	口縁～ 体部	凹線	工部帯隆起なし、体部 凹線横文(底面は4cm 程度隆起なし)	ナテ	外スス 内コテ	平縁	9073	
130-2	981	-	-	-	M	FR-82	V1-35	底腹1/3	洗鉢	口縁	平縁、口唇面凹線	横位文様・底、突起	ナテ	外スス 内コテ	欠損	6207	
130-3	981	(5.6)	17.7	-	M	FR-83	V1-36	底腹後半	鉢	体部	凹線	横位文様・底	不明	内コテ	欠損	9067	
130-4	981	(5.7)	19.2	-	M	SR-B	V1-35	底腹後半	鉢	口縁～ 体部	平縁、口唇凹線 に凹線	横位文様・底、突起	ナテ	外スス 内コテ	欠損	9035	
130-5	981	12.5	16.6	-	M	SR-B トレンチ① V1-35	1B・2B	底腹足	台付鉢	底足形	B突起、二文突起	横帯、工文文、突起(体部は横文 様に等文)、内面横位文様	ミガキ	内コテ	平縁	9545	
130-6	981	12	16.5	9	M	トレンチ 6・FR-83	V1-35・ 36	底腹後半	台付鉢	底足形	凹線	横位文様・底、突起、体部凹線 横文	ナテ	内コテ	平縁	9063	

表16 土器観察表 (28)

器種 番号	写真 図版	口徑 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	容量 (ml)	土質	トレンチ・ プレート	グリップ パターン	段高	部位	型式	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	施文	内面	付着物	底径形 態・裝飾	加工・備考
130-7	391	9.2	15.2	7.4	M	S8-B	V1-35	Ⅱc	7-1	底周	底鉢	台付浅鉢	底周	平縁	口縁無文・体部無文・底周縁文・横位文	ナズ	ナズ	なし	台	
130-8	391	(26.9)	9.8	-	M	S8-B	V1-34	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	平縁	口縁無文	口縁部ナズ・体部無文	ミガキナズ	なし	欠損	
130-9	391	(13.0)	-	6.5	M	E9-B3	V1-35	Ⅱc	7-1	底周	底鉢	底鉢	底周	欠縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ・体部無文	ミガキナズ	なし	底底	
130-10	391	16.2	8.6	4.5	M	E9-B3・ S8-B	V1-35	Ⅱc	28・ 9-1・9	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ・体部無文	ミガキナズ	縁部内外 面	平底	P-561
140-1	-	-	-	-	M	S8-B	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
140-2	391	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	外ズナズ	欠損	
140-3	-	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	平縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	外ズナズ	欠損	
140-4	-	-	-	-	M	S8-B	V1-35	Ⅱc	7-1	底周	底鉢	底鉢	底周	平縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
140-5	-	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	7-1	底周	底鉢	底鉢	底周	類目内	なし	口縁部ナズ	ナズ	内コガ	欠損	
140-6	-	-	-	-	M	E9-B3	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	内コガ	欠損	
140-7	-	-	-	-	M	E9-B3	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	明突縁・口唇面 突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	内コガ	欠損	
140-8	391	-	-	-	M	S8-B	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	平縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
140-9	391	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	平縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	内コガ	欠損	
140-10	391	-	-	-	M	S8-B	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	平縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	内コガ	欠損	
140-11	-	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	2-2	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
140-12	-	-	-	-	M	S8-B	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
140-13	391	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	山形突縁・口唇 面欠・二凹突 縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
140-14	391	-	-	-	M	E9-B3	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	外ズナズ 内コガ	欠損	
140-15	-	-	-	-	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	7-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	欠損	
144-1	392	21.6	24.4	8.5	M	E9-B2	V1-35	Ⅱc	1-1	底周	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	底底	
144-2	392	(22.1)	12.9	-	M	S8-B	V1-34	Ⅱc	1-1	底周後半	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	不明	外ズナズ 内コガ	欠損	
144-3	392	(8.5)	15	-	M	S8-B	V1-34	Ⅱc	5	底周	底鉢	底鉢	底周	突縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	不明	外ズナズ 内コガ	欠損	
144-4	392	(17.0)	-	12.4	M	トレンチナズ	V1-34	Ⅱc	6・118	底周	底鉢	底鉢	底周	欠縁	口縁部ナズ	口縁部ナズ	ナズ	なし	平底	P-5008

表16 土器観察表 (29)

器名 器番号	写真 図号	高径 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通構	トレンチ・ ペント	グロッド	段間	層位	型式	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	裏面形 態・裝飾	器高 ・器径	出土・備考
144-5	2952	-	-	-	M1	FW-81	V-C-34	III ⁶	1-1	晩期Ia	深鉢	口縁~ 底部	平縁、山形突 起、突山形突 起	注縁による入組文、注縁 間に縁位の連続する短式横線1本	1本(節消)	ナゲ	外エス、 内コガ	欠損	5274	覆輪刺体
144-6	-	-	-	-	M1	トレンチ1	VH-34	III ⁶	5	晩期Ia	深鉢	口縁	注縁による入組文(右下りの横 位に連続)	1本(節消)	ミガキ	内コガ	欠損	7281		
144-7	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	27	晩期後半	鉢	口縁	横位注縁3本	無	ナゲ	内コガ	欠損	7475		
144-8	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	III ⁶	5	晩期後半	鉢	口縁~ 上部	横位注縁2本	短横条	ナゲ	なし	欠損	7279		
144-9	-	-	-	-	M1	SN-B	VH-34	III ⁶	27	晩期後半	鉢	口縁~ 上部	横位注縁	無文	ミガキ	なし	欠損	2760		
144-10	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	27	晩期後半	鉢	口縁	工字文、2本の横位注縁間に短 目柄、内面縁位注縁1本	無文	ミガキ	なし	欠損	7478		
144-11	2953	-	-	-	M1	FW-82	V1-34	III ⁶	5	晩期Ia	台付鉢	底部	?	無文	ナゲ	なし	台(横 位注縁 多本)	8387	入組式新形器か?	
147-1	2953	16.1	19	8	M1	伊東3・ SN-B		III ⁶	31・1	晩期後半	台付鉢	底部	横位注縁多本、横帯	文帯帯地文なし、体 節消	ナゲ	内コガ	台	9995		
147-2	-	-	15	7.3	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2	晩期後半	碗形	底部	口縁注縁文、体節消注縁1本	口縁部ナゲ、体節消、 文帯帯地文なし	ナゲ	内コガ	台	9964	横片から底玉露	
147-3	2954	8.9	11.6	6.4	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2	晩期後半	鉢	底部	横位注縁多本、横帯、内面縁位 注縁1本	口縁部注縁なし、体 節消注縁1本	ナゲ	内コガ	節消	9392	P-5182、工字文 横目文	
147-4	2953	12.1	14.8	6.6	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2	晩期後半	鉢	底部	横位注縁多本、横帯、内面縁位 注縁1本	口縁部注縁なし、体 節消注縁1本	ナゲ	内コガ	欠損	9966		
147-5	2954	3.6	17.4	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	31	晩期後半	深鉢	口縁	横位注縁2本	口縁部ナゲ、体節消、 ミガキ	ミガキ	内面外通	欠損	2161		
147-6	2954	13.3	7	-	M1	FW-82	V1-34	III ⁶	6	晩期 Ia	深鉢	口縁	口縁注縁1本	口縁部ナゲ、体節消、 ミガキ	ナゲ	なし	欠損	2841		
147-7	2954	18.7	20.7 (器高) 18.6 (器径)	7.8	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2・31	晩期 Ia	深鉢	下半部	側部に注縁	1本	ナゲ	なし	平縁	9973		
147-8	2954	(4.3)	-	5.4	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2	晩期Ia	台付鉢	底部	?	無文	ナゲ	なし	台(横 位注縁 多本)	9420		
147-9	-	-	-	-	M1	FW-82	VH-35	III ⁶	7-2	晩期	深鉢	口縁	平縁、口唇凹状 注縁	なし	無文	ナゲ	なし	欠損	9189	
147-10	2954	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2	晩期	深鉢	口縁	平縁、口唇凹状	なし	無文	ナゲ	なし	欠損	9920	
147-11	2954	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	7-2	晩期Ia	鉢	口縁	注縁による入組文(右下りの横 位に連続1本)、文帯帯注縁を定 規的に横位注縁とする短式注 縁1本	口縁部ナゲ、体節消 横条	ナゲ	なし	欠損	9928		
147-12	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	31・7-2	晩期後半	深鉢	口縁	横位注縁多本(下部の注縁は横文 帯)	横位注縁多本(下部の注縁は横文 帯)	ナゲ	なし	欠損	2145		
147-13	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	31	晩期後半	鉢	口縁~ 底部	横位注縁、突起、内面縁位注縁2 本	横位注縁、突起、内面縁位注縁2 本	ナゲ	内コガ	欠損	2175		
147-14	-	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	31	晩期後半	鉢	口縁~ 上部	横位注縁2本、突起、内面縁位注 縁1本	横位注縁2本、突起、内面縁位注 縁1本	ナゲ	外エス、 内コガ	欠損	2163		
147-1E	2954	-	-	-	M1	SN-B	V1-35	III ⁶	31	晩期SN~晩 期Ia	深鉢	底部	注縁による入組文、注縁による 短式注縁	1本(節消)	ミガキ	外エス	欠損	2162	小器	

表16 土器観察表 (30)

器名 器番号	口徑 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	容量 (ml)	形状	部位	土質	用途	文様	施文	内面	付着物	裏面 底面 断面	器土・備考
147-16	-	-	-	-	丸底	口縁~ 肩部	平縁	口縁内面 舌状口縁	工字文、変形、横位波線	横文不明	不明	内口ヤ	丸底	
147-17	-	-	-	-	丸底	口縁~ 肩部	平縁	口縁~ 肩部	なし	横文	ナヤ	なし	丸底	
147-18	-	-	-	-	丸底	口縁~ 肩部	平縁	口縁~ 肩部	なし	横文	ミガキ	なし	丸底	
147-19	-	-	-	-	丸底	口縁~ 肩部	肥子	口縁~ 肩部	なし	横文	ナヤ	なし	丸底	
147-20	394	-	-	-	丸底	口縁	肥子	口縁	横帯、工字文、横位波線、内面 横位波線	横文	不明	なし	丸底	
149-1	-	(21.3)	24.6	-	丸底	口縁~ 肩部	小変状口縁	口縁	横位波線	横文	ナヤ	なし	丸底	P-5019・P-5114
149-2	-	(6.5)	16	6.1	丸底	口縁	肥子	口縁	横位波線、突起	横文	不明	内口ヤ	丸底	裏面 底面 断面
149-3	394	(26.5)	27	-	丸底	口縁	平縁	口縁	横位波線、突起、内面横位波 線	横文	ナヤ	滑り付	丸底	P-5002
149-4	394	14.2	15.8	6.8	丸底	口縁	平縁	口縁	口縁無文、突起	横文	ナヤ	内口ヤ	丸底	P-5006
149-5	395	(8.5)	19.9	-	丸底	口縁~ 肩部	平縁	口縁~ 肩部	口縁無文	口縁無ナヤ、体面 横文	不明	内口ヤ	丸底	P-5084
149-6	-	(10.1)	22.1	-	丸底	口縁~ 肩部	肥子	口縁~ 肩部	口縁無文、体部無文、工字 文、横位波線	横文	不明	内口ヤ	丸底	P-5102
150-1	395	11.0	16.8	7.6	丸底	口縁	肥子	口縁	横位波線、突起、内面横位波線	横文	不明	外口ヤ、 内口ヤ	丸底	P-5087
150-2	-	(7.6)	-	6	丸底	口縁	平縁	口縁	横文	横文	ナヤ	なし	丸底	1847
150-3	395	16.4	15.7	7	丸底	口縁	平縁	口縁	横位波線、横帯、工字文、突起 (内面横位波線)、内面横位波線	横文	不明	外口ヤ、 内口ヤ	丸底	P-5112、内口工字 文、底面年代不明中
150-4	394	(32.2)	-	8.8	丸底	口縁	平縁	口縁	横文	横文	ミガキ	なし	丸底	P-5009
150-5	395	11.9	16.6	7	丸底	口縁	平縁	口縁	横文	横文	ミガキ	滑り付	丸底	P-5098、台に横文 付(通)
150-6	395	(8.0)	17.5	-	丸底	口縁	平縁	口縁	横文	横文	ミガキ	滑り付	丸底	横文
150-7	395	(7.5)	17	-	丸底	口縁~ 肩部	肥子	口縁~ 肩部	横位波線、突起、内面横位波線、 内面横位波線	横文	不明	内口ヤ	丸底	P-5101
150-8	-	(8.0)	15.6	-	丸底	口縁	平縁	口縁	横位波線、突起	横文	ナヤ	外口ヤ、 内口ヤ	丸底	9471
150-9	395	(8.3)	14.4	-	丸底	口縁	平縁	口縁	横位波線、横帯、突起、内面 横位波線	横文	不明	外口ヤ、 内口ヤ	丸底	9449
150-10	395	(4.9)	-	7	丸底	口縁	平縁	口縁	横位波線、突起、内面横位波線、 内面横位波線	横文	不明	内口ヤ	丸底	1866
150-11	-	(2.2)	-	5.1	丸底	口縁	平縁	口縁	横文	横文	ナヤ	なし	丸底	1881
151-1	396	6.5	25	4	丸底	口縁	平縁	口縁	なし、内面横位波線	横文	不明	内口ヤ	丸底	P-5064、横文付

表16 土器観察表 (31)

図録番号	写眞 位置	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通身 形状	土色・ ベクト	段階	部位	型式	器種	口縁	肩部	腹部	底面	文様	施文	内面	付着物	底面形 態・痕跡	加工・備考	器形 番号
151-2	796	6.7	23.2	丸底	7	丸底	7	底面	丸底	底	底	底	底	底		ミガキ	なし	外口面 縁の遺跡	底面 丸底	F-514、原孔遺 跡	6294
151-3	795	4.6	14.9	丸底	7	丸底	7	底面	丸底	底	底	底	底	底		ミガキ	なし	内口面 縁の遺跡	丸底 (底面) 底面	F-5019・6009・ 515A	6295
152-1	796	26.0	(15.0)	8.1	M		7	底面	丸底	底	底	底	底	底		ミガキ	なし	底面 (底面) 底面	F-514K、壺山1式	6296	
153-1	-	値大径 15.30 (10.7)	7	7	M		7	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面	F-5017	9982	
153-2	-	値大径 16.0 (12)	7	7	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面	F-5085	6295	
153-3	795	(11.1)	(11.1)	5.3	M		29	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面	F-5160	6356	
153-4	795	(12.0)	(11.9)	6.6	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面	F-5066	6359	
153-5	795	(5.3)	-	3	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		5134	
153-6	-	-	-	-	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		6307	
153-7	797	-	-	-	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面	F-5020	6292	
153-8	-	-	-	-	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		6307	
153-9	795	(6.4)	14.8	丸底	M		7	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		9500	
154-1	797	-	-	-	M		7	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面	壺取時の粘土の設置 遺跡		9910
154-2	797	-	-	-	M		7	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		9944	
154-3	797	-	-	-	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		5197	
154-4	795	-	-	-	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		5097	
154-5	797	-	-	-	M		7	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		9905	
154-6	-	-	-	-	M		29	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		5110	
154-7	797	-	-	-	M		29	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		2216	
154-8	797	-	-	-	M		1	底面	丸底	底	底	底	底	底		丸底	なし	底面 (底面) 底面		5172	

表16 土器観察表 (32)

写眞 番号	器種 番号	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	通溝	トレンチ ・ベント	グロッド	段高	部位	型式	器種	部位	口縁形態・器底	文様	地文	内面	付着物	底径 形態・器底 (注1)	器高 形態・器底 (注1)	器種 番号
104-9	797	—	7.4	—	M1	TR-35 SN-B	VJ-35	器7	不明	不明	不明	底面	欠損	?	織文	ナゲ	なし	平底 (注1)	—	1044
104-10	797	—	—	—	M1	SN-B	VG-33	器7	器底+8	注口	注口	注口部	欠損	注口部下に二枚体の細小み	ミガキ、ナゲ	不明	なし	欠損	—	2533
104-11	797	—	—	—	M1	トレンチ4	VG-34	器7	器底+4	注口	器底	器底	欠損	注口部	なし	ナゲ	なし	欠損	—	2537
104-12	797	—	—	—	M1	トレンチ3	VJ-34	器7	器底	器底	器底	器底	欠損	上文字	黒	ナゲ	なし	欠損	—	2635
109-1	799	021.0	34.2	—	M1	トレンチ4	VG-33	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	なし	なし	なし	なし	欠損	器底に黒文 の段ナゲが施し られている	6013
109-2	—	02.20	15	6.5	M1	トレンチ 4+器底	VG-33	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	なし	黒線走	ナゲ	内コガ	平底	器底から順次器底 部にかけて黒文 の段ナゲが施す	6044
109-3	799	03.80	17	—	M1	トレンチ4	VG-33	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	なし	ナゲ	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6027
109-4	799	9.5	12.2	5.4	M1	SN-B+器 底	VJ-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文地に黒文が施す	黒線走	ナゲ	外スス、 内コガ	平底	器底の黒文の段 ナゲが施す	6076
109-5	—	—	—	—	M1	器底	VJ-33	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文地に黒文が施す、器底、内 面に黒文が施す	黒	ナゲ	なし	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6029
109-6	799	03.30	17.9	—	M1	トレンチ 1+SN-B	VJ-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す、器底(器底は織文 地に黒文、内面に黒文が施す) に黒文が施す	黒	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6077
109-7	799	4.0	6.8	4.2	M1	トレンチ1	VJ-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒	ナゲ	なし	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6075
109-8	799	06.0	22.7	—	M1	SN-B	VG-33	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	織文が施す(器底は黒文 地に黒文が施す、外スス、 内面に黒文が施す)	黒	ナゲ	なし	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6030
109-9	799	06.30	16.2	—	M1	トレンチ4	VG-33	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す、器底、内面に黒文 が施す	黒	ナゲ	内コガ	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6143
109-10	—	06.30	—	—	M1	器底	VJ-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒	ナゲ	外スス、 内コガ	台	—	6036
109-11	799	16.0	12.4	6.3	M1	器底	VJ-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す、器底(下部の黒文 は一部黒文が施す)	黒	ナゲ	外スス、 内コガ	台	—	6014
109-1	799	06.0	10	9.4	M1	SN-B	VG-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒	ナゲ	外スス、 内コガ	高台	—	6034
109-2	799	—	—	—	M1	器底	VJ-34	IVa	器底後半	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒	ナゲ	なし	高台	—	9092
109-3	799	—	—	—	M1	トレンチ4	VG-33	IVa	器底	器底	注口	注口部	欠損	織文地に黒文が施す	黒	不明	なし	欠損	P-6002	6017
109-4	799	6.6	16.5	8.6	M1	器底	VJ-33	IVa	器底	器底	注口	下半部	不明	織文が施す、器底(下部の黒文 は一部黒文が施す)	黒	ナゲ	なし	欠損	器底の黒文の段 ナゲが施す	6029
101-1	—	—	—	—	M1	器底	VJ-34	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	—	6039
101-2	—	—	—	—	M1	トレンチ4	VG-33	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	—	5988
101-3	—	—	—	—	M1	トレンチ4	VG-33	IVa	器底	器底	器底	器底	不明	織文が施す	黒線走	不明	内コガ	欠損	—	6001

表16 土器観察表 (33)

原器 番号	写眞 番号	原高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ ベント	段階	層位	型式	器種	部位	口縁形態・胎線	文様	施文	内面	付着物	底径 ・胎線	胎土・備考
161-4	-	-	-	-	M1	SN-B	V6-34	P6	底腹	鉢	口縁	平縁・胎線	なし	LE	ナゲ	なし	次面	遺跡群の最上の段 文様無
161-5	-	-	-	-	M1	SN-B	V18-34	P6	底腹後半	鉢	口縁	平縁	種文は浮線のみ(下部の浮線は種文 地による文)	体部は腹走	不明	外エス 内コガ	次面	
161-6	7989	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-34	P6	底腹7-4	深鉢	口縁	深鉢(胎線 三山文)口唇 胎線	口唇に深鉢文(胎線) 胎土による入面 胎土による入面	腹走(胎線)	ナゲ	外エス 内コガ	次面	
161-7	-	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-35	P6	底腹7-4	深鉢	体部	次面	胎線部に浮線する胎目文、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-8	7989	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-35	P6	底腹7-4	深鉢	口縁	平縁・口唇胎線	胎線部に浮線する胎目3 条、胎線部に産成する胎目	胎文	ミガキ	なし	次面	
161-9	-	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-34	P6	底腹7-4	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条 胎線による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ミガキ	外エス 内コガ	次面	
161-10	-	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	P6	底腹1a	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ミガキ	外エス 内コガ	次面	
161-11	7989	-	-	-	M1	SN-B	V6-34	P6	底腹1a	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ミガキ	外エス 内コガ	次面	
161-12	7989	-	-	-	M1	FB-B1	V18-34	P6	底腹7-4	盆	口縁	平縁・口唇胎線 胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	貫通孔1
161-13	-	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	P6	底腹	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-14	7989	-	-	-	M1	トレンチ 8・9	V17-34	P6	底腹上腹 式	深鉢	体部	次面	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-15	-	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	P6	底腹	鉢	口縁	平縁	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-16	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V18-34	P6	底腹1a	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-17	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V18-33	P6	底腹後半	不明	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-18	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V18-34	P6	底腹	不明	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-19	7989	-	-	-	M1	トレンチ4	V6-33	P6	底腹後半	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-20	-	-	-	-	M1	トレンチ1	V1-34	P6	底腹	鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-21	7989	-	-	-	M1	トレンチ 1・7	V18-33	P6	底腹12-14-1	深鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-22	7989	-	-	-	M1	SN-B	V6-34	P6	底腹後半	鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	ナゲ	なし	次面	
161-23	-	-	-	-	M1	FB-B1	V18-34	P6	底腹	鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	不明	内コガ	次面	
161-24	-	-	-	-	M1	SN-B	V18-34	P6	底腹12	鉢	口縁	胎線	胎線に浮線する胎目1条、胎線 による入面文、胎線部に浮線す る胎目1条	腹走(胎線)	不明	内コガ	次面	

表16 土器観察表 (34)

図例 番号	原高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ レベル	位置	層位	型式	器種	部位	口縁形態・器類	文様	施文	内面	付着物	底径形 態・器類	出土・備考
161-25	-	-	-	M1	トレンチ#1 V1-34	IV ₆	4	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	ナメク	ミガキ	なし	次皿	
161-26	-	-	-	M1	トレンチ#1 V1-34	IV ₆	4	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	ナメク	不明	内コテ	次皿	
161-27	-	-	-	M1	FB-82	IV ₆	4-1	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	浅文	ミガキ	内コテ	次皿	
161-28	-	-	-	M1	FB-81	IV ₆	13	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	浅文	ナメク	なし	次皿	
161-29	-	-	-	M1	トレンチ#4 V1-34	IV ₆	12	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	浅文	ナメク	外エス 内コテ	次皿	
161-30	-	-	-	M1	FB-82	IV ₆	4-1	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	浅文	ナメク	なし	次皿	
161-31	-	-	-	M1	FB-81	IV ₆	12	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	浅文	浅文	ナメク	なし	次皿	
161-32	-	-	-	M1	トレンチ#4 V1-35	IV ₆	14	晩周7-4	深鉢	口縁	平縁	浅文	浅文	ナメク	なし	次皿	外周付着
161-33	7593	-	7	M1	トレンチ 8-9	IV ₆	12	晩周	不明	底部	欠損	?	ナメク	ナメク	平底 (横底 付着)		
161-34	7599	-	-	M1	SN-8	IV ₆	12-1	晩周1a	深鉢	口縁・ 器底	欠損	なし	ナメク	ナメク	次皿		
161-35	7593	24.7	27.6	M1	SN-8	IV ₆	22-2	晩周	深鉢	器底	小波状口縁	なし	ナメク	ナメク	次皿		
161-2	7593	18.6	-	M1	SN-8	IV ₆	22-3	晩周後半	深鉢	口縁・ 器底	平縁	横底筋付浅文 文部筋付なし・体 部筋付	不明	内コテ	次皿		
161-3	-	66.4	22	M1	SN-8	IV ₆	22-3	晩周後半 期1a	深鉢	口縁	平縁	横底筋付 (横底筋による入眼文 に上部分が横底筋・入眼 文の間に三文文)	ミガキ	内コテ	次皿		
161-4	7593	22.3	21.8	0.2	FB-83	IV ₆	22-3	晩周	台付鉢	器底形	平縁	横底筋付なし・口縁 筋付・器底筋付 筋付・上縁筋付	ミガキ	外エス 内コテ	台付鉢 平底	P-519a, 最晩年代 分析中	
161-5	7593	8.6	6.8	5	FB-83	IV ₆	22-3	晩周5	台付鉢	器底形	平縁	横底筋付	ミガキ	なし	台 平底	P-519b	
161-6	7593	16.6	-	M1	FB-83	IV ₆	22-3	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	横底筋付1条、体底筋付2条 口縁筋付2条、体底筋付2条 横底筋付2条、体底筋付2条	不明	外エス 内コテ	次皿		
161-7	7593	10.3	19	-	FB-83	IV ₆	22-3	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	横底筋付1条、体底筋付2条 横底筋付2条、体底筋付2条	不明	外エス 内コテ	次皿		
161-8	-	13.4	-	7	M1	SN-8	IV ₆	22-2	晩周	深鉢	口縁	平縁	不明	外エス 内コテ	高台		
161-9	7593	-	-	6.1	M1	トレンチ 10	IV ₆	22	晩周	深鉢	口縁	平縁	横底筋付1条 体部と器底の間に横底筋1条	ナメク	内コテ	高台	
161-1	7593	6.0	21.1	4	M1	トレンチ#5 V1-36	IV ₆	19	晩周1a	深鉢形	平縁	横底筋付2条、器底による 筋付・体底筋付2条	ナメク	内コテ	平底	横底筋から底文 筋付	
161-2	7593	10.0	18.5	-	M1	SN-8	IV ₆	22-3	晩周後半	深鉢	口縁	平縁	横底筋付2条、器底による 筋付・体底筋付2条	ナメク	内コテ	次皿	
161-3	-	10.0	5.7	7	M1	SN-8	IV ₆	22-2	晩周	深鉢形	平縁	横底筋付2条、器底による 筋付・体底筋付2条	ナメク	なし	平底	横底筋から底文 筋付	
161-4	7593	18.4	12.5 (最大 径)	7.7	M1	FB-83	IV ₆	22-3	晩周	深鉢	口縁	平縁	横底筋付2条、器底による 筋付・体底筋付2条	ナメク	内コテ	次皿	
161-5	7593	16.0	10.0 (最大 径)	3.2	M1	FB-83	IV ₆	22-3	不明	器底	欠損	?	ナメク	なし	平底	横底筋から底文 筋付	

表16 土器観察表 (35)

器種 番号	写真 図版	口徑 (cm)	底径 (cm)	通径 (cm)	透孔・ ベント	グリップ	段間	部位	器種	形状	器種	部位	口縁形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	底径 ・ 通径	器種 番号
170-6	793	-	-	-	M	SN-B	V1-35	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁、口唇凸出	なし	黒	ナガ	なし	次瀬	2649
170-7	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-35	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	F-5111	6369
170-8	794	-	-	-	M	SN-B	V1-35	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	なし	ナガ	なし	次瀬	2596	
170-9	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-34	PV	22-3	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	内コヤ	2624	
170-10	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-35	PV	22-3	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	2115	
170-1	-	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	内コヤ	6113	
170-2	-	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	6348	
170-3	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-34	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	2105	
170-4	-	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	内コヤ	3969	
170-5	-	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	6403	
170-6	-	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	内コヤ	6412	
170-7	-	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	6410	
170-8	794	-	-	-	M	SN-B	V1-35	PV	22-3	底源4~5	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	内コヤ	2397	
170-9	794	-	-	-	M	トレンチ5	V1-36	PV	19	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	6411	
170-10	-	-	-	-	M	FR-B3	V1-35	PV	22-3	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	次瀬	2192	
170-11	794	-	-	-	M	SN-B	V1-36	PV	22-2	底源後半	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	内コヤ	2622	
170-12	794	-	-	-	M	SN-B	V1-35	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	2841	
170-13	794	-	-	-	M	SN-B	V1-36	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	1955	
170-14	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-34	PV	22-3	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	2011	
170-15	794	-	-	-	M	SN-B	V1-36	PV	22-3	底源1a~ b	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	1959	
170-16	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-34	PV	22-3	底源7-4	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	2106	
170-17	794	-	-	-	M	FR-B3	V1-35	PV	22-3	底源8	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	2196	
170-18	794	-	-	-	M	SN-B	V1-36	PV	22-2	底源	深鉢	口縁~ 体部	平縁	黒	ナガ	なし	外スス	1997	

表16 土器観察表 (36)

器名・図号	写真	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	遺構	トレンチ・ レベルト	段階	層位	型式	器種	部位	口縁の形態・裝飾	文様	地文	内面	付着物	底径 器・器高	器土・備考
170-19	794	-	-	-	M1	SR-8	VJ-36	IV	22-2	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	外スス	欠損	
170-20	794	-	-	-	M1	SR-8	VJ-36	IV	22-3	鹿角2	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	不明	内コガ	欠損	
170-21	794	-	-	-	M1	ER-83	VJ-34	IV	22-3	鹿角7-4	口縁	平縁、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	鹿角時代の粘土質土器 灰褐色、小破
170-22	794	-	-	-	M1	ER-83	VJ-34	IV	22-3	鹿角後半	口縁	平縁、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ミガキ	なし	欠損	
170-23	-	-	-	-	M1	ER-83	VJ-34	IV	22-3	鹿角7-4	口縁	平縁、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	欠損	
170-24	794	-	-	-	M1	SR-8	VJ-36	IV	22-2	鹿角7-4	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	不明	内コガ	欠損	
170-25	-	-	-	-	M1	ER-83	VJ-34	IV	22-3	鹿角7-4	口縁	平縁、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	
170-1	796	(18.0)	-	9	M1	トレンチ#4	VJ-32	V	I	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	内コガ	高台	
170-2	-	(11.0)	-	7.5	M1	トレンチ#6	VJ-36	V	I	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	不明	内コガ	平縁	
170-3	796	(5.9)	14.4	-	M1	トレンチ#2	VJ-34	V	I	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	内コガ	右	
170-5	796	(5.0)	-	12	M1	トレンチ#4	VJ-34	V	I	鹿角	口縁	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	右	
170-6	796	(4.3)	-	9.2	M1	トレンチ#4	VJ-35	V	I	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	右	
170-7	796	-	-	-	M1	トレンチ#1	VJ-34	V	I	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	内コガ	欠損	
170-8	796	-	-	-	M1	トレンチ#10	VJ-35	V	表部	鹿角	口縁	山形突起、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	欠損	
170-9	796	-	-	-	M1	トレンチ#4	VJ-34	V	I	鹿角	口縁~ 体部	内面彫り、突起、刻目	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	欠損	
170-1	797	(22.0)	34	-	M1	トレンチ#10	VJ-35	IV	22-28	鹿角	口縁	平縁、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	欠損	
170-2	797	(23.0)	30.9	14.4	M1	ER-83	VJ-35	IV	22-28	鹿角	口縁	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	欠損	
180-1	797	(20.0)	31.2	-	M1	ER-83、 SR-8	VJ-35、 VJ-35	IV	22-28	鹿角後半	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	
180-2	-	11.6	14.9	4.6	M1	トレンチ#10	VJ-35	IV	22-28	鹿角後半	口縁	山形突起、刻目、口唇面彫	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	内コガ	平縁、 刻目列、口唇面彫	
180-3	797	(13.3)	17.6	-	M1	ER-81	VJ-34	IV	22-16	鹿角	口縁~ 体部	平縁、口唇面彫	なし	横位紋線法	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	P-619
180-4	797	14.6	24	-	M1	トレンチ#6	VJ-35	IV	22-16	鹿角	口縁~ 体部	平縁、口唇面彫	なし	横位紋線法	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	P-612、 鹿角年代 分中、釜山1式
180-5	797	(3.0)	-	5	M1	トレンチ#1	VJ-33	IV	18-19	鹿角後半	不明	不明	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	なし	刻目列、 内面彫	
180-6	797	-	-	-	M1	ER-83	VJ-35	IV	22-28	鹿角	口縁~ 体部	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	外スス	欠損	
180-7	-	-	-	-	M1	ER-83	VJ-35	IV	22-28	鹿角	口縁	刻目列	横位紋線法、内面横位紋線法	文様帯彫文なし、体部彫	ナゲ	外スス、 内コガ	欠損	

表16 土器観察表 (37)

器種 器名	写眞 図版	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	造構	トレンチ・ ペルト	グリップ	段高	部位	型式	器種	部位	口縁形態・口縁	文様	施文	内面	付着物	底径形 態・口縁	加土・備考	器種 番号
189-8	797	-	-	-	M	E#83	VJ-35	22・28 不明	口縁 不明	碗型2	鉢	口縁	平縁、肩小	草書状文、文様跡下部横状文、 縁上縁	文草書状文なし、体 面刷毛状文	ミガキ ナ	外スス 内コガ	欠損		2888
189-9	797	-	-	-	M	E#83	VJ-35	22・28	口縁 不明	碗型2	鉢	口縁	平縁、口直縁	草書状文	ミガキ	ナ	なし	欠損		2446
189-10	797	-	-	-	M	トレンチ#1	VJ-33	18・19	口縁 不明	碗型	鉢	口縁	平縁、口直縁	なし	ミガキ	ナ	なし	欠損		8100
181-1	798	11.1	44.8	28.0	M	トレンチ 3・10	VJ-34・ 35・V J-35	1・15・ 18・22・ 29	口縁 不明	碗型4	皿	底面	突起、肩小	草書文、横状文	1(紅褐色)	ミガキ ナ	なし	草書 (横状 文跡)		7159
185-1	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-34	遺構外	口縁	碗型1a	深鉢	口縁	平縁、腹高直縁 に肩小を付する 形、口直縁	山形突起下に相対する部位の底縁 文、その内側に三文字、右側突起 下に二文字、口直縁、縁上縁、 縁上縁、縁上縁による入組文	1(紅褐色)	ナ	外スス 内コガ	欠損	88年と同一個体	9303
185-2	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-34	遺構外	口縁	碗型1a	鉢	口縁	小波状口縁、 肩小	同様の器種下に肩高、口縁起の 内側に突起を付する底縁文、 横状文、縁上縁による入組文	無文	ミガキ	外スス 内コガ	欠損		9066
185-3	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-32	遺構外	口縁 体部	碗型2	鉢	口縁 体部	小波状口縁	草書状文	無文	ミガキ	外スス 内コガ	欠損		9313
189-4	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-33	遺構外	口縁 体部	碗型2	鉢	口縁 体部	平縁、割目四	草書状文、口縁内側横状文	文草書状文なし、体 面刷毛状文	ナガ	外スス 内コガ	欠損		9316
189-5	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-33	遺構外	口縁 体部	碗型2	造	口縁 体部	平縁、割目四	草書状文、横状文、縁上縁目尻文	ミガキ	ナ	なし	欠損		9423
189-6	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-33	遺構外	口縁 体部	碗型3~4	浅鉢	口縁 体部	平縁、割目四 通縁する即足形、 内側腹厚	草書状文、横状文、縁上縁目尻文	1(紅褐色)	ミガキ	肩より内 部	欠損		9424
189-7	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-32	遺構外	口縁 体部	碗型	鉢	口縁 体部	平縁、割目四	?	桑文	ナガ	なし	欠損		183
189-8	-	-	-	3.6	遺構外	-	VJ-32	遺構外	口縁 体部	碗型	鉢	口縁 体部	平縁、割目四	?	ナガ	ナガ	なし	欠損		188
189-9	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-32	遺構外	口縁 体部	碗型3	浅鉢	口縁 体部	平縁、割目四	縁上縁による草書文、横状文、縁上縁目尻文	1(紅褐色)	ミガキ	なし	欠損	185-9と同	172
189-10	-	-	-	-	遺構外	-	VJ-32	遺構外	口縁 体部	碗型3	浅鉢	口縁 体部	平縁、割目四	縁上縁による草書文、横状文、縁上縁目尻文	1(紅褐色)	ミガキ	なし	欠損	185-9と同	178

※器名・器種は底の形状；凡の記

表17 土製品観察表

図番号	写真 図版	分類	遺構名	トレンチ	段階	層位	グリッド	F番	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
38-15	写真	土玉	SK22	—	遺構	層土	V1-36		15	16	15	1.6		土199
41-4	写真	土玉	SK24	—	遺構	層土上層	VJ-33	土玉1	17	18	14	4.3	赤鉄。中心に孔	土177
87-16	写真	土製内蓋	W1	トレンチ6	Ⅱa	8・9	V1-36		44	40	7	13.6	無孔	土200
92・93	写真	遮光器土偶	W1・SK29・北詰で掘	トレンチ3・トレンチ10・E18-E3	Ⅱa	新山直上・覆土・E18・30・明筋層・埋戻層・路の端	V1・J・L-34・36・37・38	P-5011・P-5011a・特-5014	329	164	102	506.2	左半部。部品は点状に出土し、数点北側に埋から出土している(図194)	土140
—	写真	粘土塊	W1	トレンチ1	Ⅱa	19	VH-34		—	—	—	15.4		土212
119-16	写真	土製内蓋	W1	E18-E2	Ⅱa	15	V1-34		30	30	4	3.7	無孔	土198
129-3	写真	中実土偶	W1	トレンチ3	Ⅱb	18	V1-34		18	31	14	3.1		土216
—	写真	粘土塊	W1	SN-B	Ⅱa	6	VH-34		—	—	—	84		土214
160-5	写真	中実土偶	W1	SN-B	Ⅳa	12-2	VG-33	P-5012	61	37	23	37.1	頸部・左脚欠損	土211
160-6	写真	土偶	W1	—	Ⅳa	17	VH-34	特5003	29	22	21	10.9	頭部	土196
160-7	写真	中実土偶	W1	トレンチ1	Ⅳa	木の根	VH-34		32	47	27	27	右腕	土147
160-8	写真	中空動物形土製品	W1	トレンチ4	Ⅳa	14	VG-33	特-5002	72	48	25	50.7	平行する沈積間に付目	土149
167-7	写真	中空土偶	W1	SN-B	Ⅳa	5	VG-34		62	60	18	36.4	胸部	土215
167-8	—	土製内蓋	W1	トレンチ4	Ⅳa	12	VG-33		35	37	8	10.5	無孔	土217
—	写真	粘土塊	W1	E18-E1	Ⅳa	12	VH-34		—	—	—	30.7		土213
183-1	写真	帆突文土偶	遺構外	—	V	1	VK		35	29	36	49.5	腰部	土144
183-2	—	土製内蓋	遺構外	—	V	1	V1		48	47	6	12.1	無孔	土193
183-12	—	土製品	遺構外	—	V	1	VK-32		26	9	8	2.1		土182

表18 漆製品観察表

図番号	写真 図版	分類	遺構名	トレンチ	段階	層位	グリッド	F番	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
—	写真	漆製品	W1	トレンチ10	Ⅱb	11	VJ	特-5004	—	—	—	—		J-1
—	写真	漆製品	W1	SN-B	Ⅱa	15	VH-35	特-5016	—	—	—	—		J-2

表19 石器・石製品観察表(1)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベ ルト	グリッド	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量(g)	備考	整理 番号
11-3	写47	削器	遺構	SI09	-	VL・ M-29・30	覆土	sh	62	58	14	42.8		2444
-	写47	台石	遺構	SI09	-	VL・ M-29・30	覆土 床直	sa	-	-	-	5,400.0	S-1	レ033
-	写47	台石	遺構	SI09	-	VL・ M-29・30	覆土 床直	sa	-	-	-	12,600.0	S-2	レ026
-	写47	台石	遺構	SI09	-	VL・ M-29・30	覆土 床直 込	sa	-	-	-	6,800.0	S-3	レ035
14-5	写47	石鏃	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土	sh	26	14	4	1.0	凹基鏃	2445
14-6	写47	石鏃	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土	sh	32	13	6	1.8	アスファルト基部、S-1	2602
14-7	写47	削器	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土	sh	34	17	7	3.4		2446
14-8	-	剥片	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	chal	43	33	19	31.3	両極剥片	2450
14-9	写47	加工 鏃	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土	rhy	70	68	21	102.9		レ012
14-10	写47	凹石	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	tuff	141	84	46	466.2	表裏に凹み	レ017
-	写47	赤色 顔料	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	石圍 伊内	foeu	-	-	-	1.4		石097
15-1	写47	石棒	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	sla	54	30	11	23.9		石005
15-2	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	tuff	66	62	18	87.5		石014
15-3	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	sa	73	66	20	133.7		石017
15-4	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	sa	39	35	9	20.9	研磨整形	石024
15-5	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	mad	65	61	11	44.7		石019
15-6	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	gran	58	50	20	80.3		石028
15-7	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	mad	70	64	21	106.0		石026
15-8	写47	石製 円盤	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 下層	rhy	52	54	18	71.8		石030
-	写47	台石	遺構	SI11	-	VJ・ K-30・31	覆土 床直	dior	-	-	-	24,000.0		レ030
17-6	写48	石鏃	遺構	SI12	-	VK-32	覆土	sh	21	15	6	1.5	凹基鏃	3077
17-7	写48	異形 石器	遺構	SI12	-	VK-32	覆土	sh	9	29	5	1.0	ブーメラン形状	2603
20-7	写48	石鏃	遺構	SI13	-	VG-35	覆土	sh	52	19	8	7.2		2454
20-8	写48	磨石	遺構	SI13	-	VG-35	覆土 下層	dol	118	83	56	878.4	表裏に磨面	レ013
36-8	写49	石杖	遺構	SK10	-	VL-32	覆土1	sh	42	57	35	76.5		2463
-	写49	台石	遺構	SK09	-	VN-29	覆土 10	sa	-	-	-	35,000.0	S-1	レ036
-	写49	台石	遺構	SK13	-	VK・ L-29・30	覆土1	dior	-	-	-	19,000.0	S-1	レ028
-	写49	台石	遺構	SK11	-	VL・ M-30・31	覆土 底面	cong	-	-	-	24,140.0	S-3	レ474
38-2	写50	石杖	遺構	SK18	-	V1・ J-31	覆土 上~8 層	sh	56	46	29	50.0		2472
38-10	写49	石鏃	遺構	SK22	-	V1-36	覆土 上層	sh	38	19	8	3.2		2498
38-11	写49	石鏃	遺構	SK22	-	VJ-35	覆土 下層	chal	28	20	5	1.8		2502
38-12	写49	石篋	遺構	SK22	-	VJ-35	覆土 下層	sh	41	31	7	7.2		2504
38-13	写49	異形 石器	遺構	SK22	-	VJ-35	覆土 下層	sh	41	31	10	9.7		2503
38-14	写49	石杖	遺構	SK22	-	V1-36	覆土	sh	46	31	29	57.8		2499
40-1	写51	石鏃	遺構	SK21	-	V1-35	覆土 上層	sh	37	13	6	1.9		2486
40-2	写51	石鏃	遺構	SK21	-	V1-35	覆土	sh	28	9	5	1.0	アスファルト基部	2474
40-3	写51	石鏃	遺構	SK21	-	V1-35	覆土 上層	sh	26	12	5	0.9		2480
40-4	写51	石鏃	遺構	SK21	-	V1-35	覆土	sh	38	18	8	3.5		2476

表19 石器・石製品観察表(2)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベ ルト	グリッド	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量(g)	備考	整理 番号
40-5	写51	削器	遺構	SK21	—	V1-35	覆土 中層	sh	65	42	10	28.9		2484
40-6	—	剥片	遺構	SK21	—	V1-35	覆土 下層	sh	96	86	25	147.8		2496
40-7	写51	石核	遺構	SK21	—	V1-35	覆土 上層	sh	37	48	19	32.5		2490
40-8	写51	石核	遺構	SK21	—	V1-35	覆土 上層	sh	43	55	53	125.6		2493
40-9	写51	凹石	遺構	SK21	—	V1-35	覆土 上層	tuff	116	74	38	432.6	表裏に凹み	レ002
40-10	写51	石皿	遺構	SK21	—	V1-35	覆土 下層	sa	273	144	65	3,000.0	縁なし石皿	レ009
41-2	写49	削器	遺構	SK23	—	V1・ J-32	覆土 11	sh	41	41	12	17.2		2506
41-3	写49	石礫	遺構	SK24	—	VJ・ K-33	覆土	sh	64	16	7	6.3	アスファルト基部	2507
41-11	写50	凹石	遺構	SK28	—	V1・ J-34	覆土	tuff	123	71	41	320.5	表裏に凹み	レ005
41-14	写49	削器	遺構	SK34	—	VK- 32・33	覆土1	sh	42	66	14	41.8		2516
42-2	—	石核	遺構	SK39	—	V1- 31・32	覆土 上層	sh	54	80	38	186.1		2523
42-3	—	原石	遺構	SK39	—	V1- 31・32	覆土 上層	sh	108	118	45	430.6		2524
42-4	写50	石核	遺構	SK39	—	V1- 31・32	覆土 上層	sh	49	61	48	182.3		2522
43-5	写51	凹石	遺構	SK44	—	V6-32	覆土2	de1	134	75	36	450.4	表裏に凹み	レ004
43-7	写51	石製 円盤	遺構	SK45	—	VK- 33・34	覆土	mod	32	32	11	14.9	研磨整形	石023
43-8	写51	石製 円盤	遺構	SK45	—	VK- 33・34	覆土	box	—	—	—	20.8		石106
43-9	写51	削器	遺構	SK45	—	VK- 33・34	覆土	sh	61	41	18	35.7		2530
43-10	写51	削器	遺構	SK45	—	VK- 33・34	覆土 上層	sh	79	52	22	71.5		2525
43-11	写51	削器	遺構	SK45	—	VK- 33・34	覆土	sh	63	35	13	23.6		2531
43-12	写51	石核	遺構	SK45	—	VK- 33・34	覆土	sh	46	71	37	100.4		2538
46-2	写52	石皿	遺構	SQ20	—	VK-32	覆土	sa	312	314	63	9,240.0	縁なし石皿、S-1	レ475
54-7	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	8	4.5	0.2		石082
54-8	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	12	8	6	0.4		石083
54-9	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	7.5	4.5	0.2	玉-3	石084
54-10	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	9	9	7	0.4	玉-11	石085
54-11	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	7	5.5	0.2	玉-2	石086
54-12	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	8	7	0.4		石087
54-13	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	9	9	7.5	0.5	玉-10	石089
54-14	—	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	5	7	4.5	0.1以下	片面穿孔	石090
54-15	—	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	7.5	4.5	0.2	玉-26,片面穿孔	石092
54-16	—	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	7	6.5	5.5	0.1	玉-5	石093
54-17	—	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	6.5	4.5	4	0.1以下	玉-1	石097
54-18	—	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	7	6	0.4		石099
54-19	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	7	5	4.5	0.1	玉-17	石075
54-20	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	6.5	5.5	3.5	0.1以下	玉-16	石076
54-21	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	8	7	4	0.1	玉-12	石077
54-22	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	7.5	7	5	0.2	玉-6	石079
54-23	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土 底面	grtuff	7	8	5.5	0.2	玉-9	石081

表19 石器・石製品観察表(3)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
54-24	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土底面	grtuff	7	6	4	0.1	玉-15	石082
54-25	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土	grtuff	7	6	4	0.1	玉-23	石086
54-26	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土	grtuff	7	6	4	0.1	玉-20	石087
54-27	写52	玉類	遺構	SQ21	—	VH-32	覆土	grtuff	18.5	11	8	1.3	玉-27	石088
56-5	写53	石鏃	遺構	SQ26	—	VH-32	覆土	sh	38	14	8	3.7		2457
56-6	写53	石製円盤	遺構	SQ26	—	VH-32	覆土	grtuff	32	34	14	19.7	側面研磨整形	石015
56-8	写53	石匙	遺構	SQ27	—	VH-32	覆土 最下層	sh	56	56	8	18.1		3063
56-10	写53	石鏃	遺構	SQ29	—	VH-33	覆土2	sh	23	12	5	1.1	アスファルト基部	2459
56-11	写53	石鏃	遺構	SQ29	—	VH-33	覆土2	sh	45	15	7	2.7		2460
56-12	写53	磨石	遺構	SQ29	—	VH-33	覆土 上層	dol	126	86	58	923.1	表裏に磨面。右側面にざらざら磨面	レ-011
—	写53	自然礫	遺構	SQ25	—	VH-34	覆土 上層	cong	—	—	—	11,600.0	S-1	レ-027
57-1	写53	原石	遺構	SQ44	—	VJ-34	覆土2	sh	96	120	75	693.8	接合資料	2601
57-2	写53	凹石	遺構	SQ46	—	VI-33	覆土 下層	and	109	59	82	411.7	表裏、右側面に凹み	レ-007
57-4	写53	石製円盤	遺構	SQ42	—	VK-33	覆土	dol	39	43	10	24.6	アスファルト付着	石018
—	写53	立石	遺構	SQ44	—	VJ-34	覆土	grtuff	—	—	—	8,600.0	S-1.配石遺構の立石。緑粒緑色凝灰岩製	レ-029
—	写53	台石	遺構	SQ46	—	VI-33	覆土 上層	and	—	—	—	19,600.0		レ-022
65-3	写54	石製円盤	遺構	SB61	—	VJ-33	覆土	tuff	45	44	15	49.3	アスファルト付着	石040
68-16	写55	石鏃	遺構	SNS1a	—	VH-34	覆土	sh	36	11	5	1.4	アスファルト基部	2542
68-17	写55	石鏃	遺構	SNS1a	—	VH-34	覆土	sh	26	8	5	1.1		2541
68-18	写55	石匙	遺構	SN-51	—	VH-34	覆土1	sh	72	41	11	27.3		1648
72-2	写56	石鏃	遺構	P11321	—	VJ-35	覆土	sh	22	9	4	0.7	アスファルト基部	2605
72-3	写56	石鏃	遺構	P11329	—	VI-35	覆土	sh	37	17	5	2.6	アスファルト基部	2546
72-4	写56	石核	遺構	P11371	—	VI-35	覆土	sh	68	68	57	275.6		2544
73-4	写56	石鏃	遺構	P11404	—	VH-34	覆土	sh	45	17	6	4.6		2549
73-6	写56	石核	遺構	P11405	—	VJ-34	覆土	sh	47	33	28	41.0		2548
73-7	写56	削器	遺構	P11410	—	VI-32	覆土	sh	62	33	16	33.1		2552
73-8	写56	石鏃	遺構	P11424	—	VJ-34	覆土	sh	25	10	4	0.9	アスファルト基部	2558
73-9	—	石鏃	遺構	P11421	—	VI-34	覆土	sh	36	24	4	3.1	未製品	2556
73-11	写56	凹石	遺構	P11425	—	VJ-34	覆土	and	137	88	68	936.6	表裏に凹み	レ-019
74-5	写56	石核	遺構	P11445	—	VJ-34	覆土	sh	38	57	31	61.2		2561
74-6	写56	石匙	遺構	P11402	—	VI-34	覆土	sh	59	32	5	5.0		145
74-13	写56	凹石 磨石	遺構	P11422	—	VI-34	覆土	cong	150	85	49	821.6	表裏に凹み。裏面に磨面、右側面にざらざら磨面	レ-018
94-1	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	26	11	4	0.8		2572
94-2	写63	石鏃	IIa	M1	SN-B	VI-35	30	sh	18	12	4	0.9		1500
94-3	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VH-34	19	sh	26	13	5	1.1		78
94-4	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	30	14	4	1.0		1167
94-5	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sh	30	12	4	1.1	アスファルト基部	165
94-6	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ6	VI-36	8	sh	29	11	4	1.0		976
94-7	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	地山直上	sh	21	13	4	1.1		2569
94-8	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ4	VG-33	24	sh	32	12	4	1.2	アスファルト基部	775
94-9	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ6	VI-35・36	9	sh	33	11	5	1.2		2570

表19 石器・石製品観察表(4)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
94-10	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sh	31	15	5	1.4	アスファルト基部	173
94-11	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sh	41	13	4	1.6	アスファルト基部	171
94-12	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	地山直上	sh	34	16	9	4.3		2568
94-13	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ3	VI-35	19	sh	25	13	5	1.2		579
94-14	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B3	VJ-34	30	sh	42	12	5	2.3		1923
94-15	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B3	VJ-34	30	sh	47	11	4	1.9		1919
94-16	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B1	VH-33	16	sh	53	14	7	3.9		1427
94-17	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B3	VJ-34	30	sh	20	9	3	0.6		1920
94-18	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ3	VI-34	19	sh	27	17	7	2.4		3078
94-19	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	28	13	3	1.1		1263
94-20	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VH-33	19	sh	33	13	6	1.9		97
94-21	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-33	23	sh	39	14	8	3.3	未製品	1286
94-22	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ6	VI-36	8	sh	32	20	7	3.7	未製品	971
94-23	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B3	VJ-35	23	sh	32	15	4	1.6	凹基底。アスファルト基部	1973
94-24	—	石鏃	IIa	M1	トレンチ3	VI-35	19	sh	32	20	9	4.1	未製品	578
94-25	—	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sh	35	32	9	7.4	未製品	174
94-26	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VI-32	19	sh	38	13	6	2.2	未製品?	154
94-27	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ7	VH-35	2	sh	59	39	18	35.0		1059
94-28	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	39	28	10	9.0		1258
94-29	写63	石鏃	IIa	M1	SN-B	VG-34	25	sh	45	62	8	16.2		1533
94-30	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B2	VI-34	19	sh	36	50	10	15.8		1785
94-31	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ4	VG-33	24	sh	30	55	10	10.7		2595
95-1	写63	石鏃	IIa	M1	トレンチ1	VI-34	16	sh	61	46	11	18.4	アスファルト張り付着	197
95-2	写63	石鏃	IIa	M1	EW-B2	VI-34	19	sh	50	54	11	18.1	アスファルト張り付着	1780
95-3	写63	石鏃	IIa	M1	SN-B	VH-34	16	sh	50	57	10	20.1	アスファルト張り付着	1593
95-4	写63	石鏃	IIa	M1	SN-B	VH-34	16	sh	52	65	9	25.5	アスファルト張り付着	1591
95-5	写63	鏃器	IIa	M1	EW-B3	VJ-34	23(30)	sh	70	31	21	43.5		2866
95-6	写63	削器	IIa	M1	トレンチ3	VI-34	19	sh	94	26	14	33.4		583
95-7	写63	削器	IIa	M1	EW-B3	VJ-35	23	sh	55	38	10	20.1		1972
95-8	写63	削器	IIa	M1	トレンチ6	VI-35	8・9	sh	62	36	10	23.0		937
95-9	写63	削器	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	61	36	10	22.0		1264
95-10	写63	微細削片	IIa	M1	トレンチ1	VI-34	16	sh	40	28	9	9.3		211
95-11	写63	削器	IIa	M1	トレンチ7	VH-35	2	sh	49	46	13	30.0		1055
95-12	写63	削器	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sh	34	43	10	11.0		170
95-13	—	切斷調整石器	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sh	34	26	8	6.6		148
95-14	写63	鏃器	IIa	M1	トレンチ4	VF-33	25	sh	49	45	12	17.4		771
95-15	写63	削片	IIa	M1	EW-B3	VI-35	9	sh	39	18	14	9.0	アスファルト付着	1885
96-1	写63	削器	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	89	81	21	133.2		1169
96-2	写63	削器	IIa	M1	EW-B3	VI-35	9	sh	49	47	7	15.1		1886
96-3	写63	削器	IIa	M1	トレンチ4	VH-33	24	sh	55	57	14	48.4	S-5206	2832
96-4	写63	微細削片	IIa	M1	トレンチ7	VH-34	2	sh	92	49	14	47.2		1067
96-5	写63	石核	IIa	M1	トレンチ2・3	VI-34	19	sh	37	39	27	34.0		369

表19 石器・石製品観察表(5)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベブルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
96-6	写64	石核	IIa	M1	トレンチ1	VH-34	19	sh	43	60	47	111.4		73
96-7	写64	石核	IIa	M1	EW-B1	VH-34	16	sh	46	65	50	152.0		1390
97-1	写64	石核	IIa	M1	トレンチ10	VJ-33	23	sh	49	69	44	122.2		1296
97-2	写64	石核	IIa	M1	トレンチ1	V1-33	19	sh	59	65	49	190.3		152
97-3	写64	石核	IIa	M1	トレンチ1	V1-32	19	sh	77	69	71	407.6		159
97-4	—	石核	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	39	50	49	83.3		1274
97-5	写64	石核	IIa	M1	EW-B2	V1-32	19	sh	50	45	46	89.2		1706
98-1	写64	石核	IIa	M1	EW-B2	V1-34	19	sh	84	86	73	544.9		1790
98-2	写64	石核	IIa	M1	EW-B3	VJ-34	30	ob	32	44	42	78.0		1926
98-3	写64	石核	IIa	M1	EW-B2	V1-34	19	sh	49	47	32	80.2		1784
98-4	写64	石核	IIa	M1	トレンチ8・9	VG-34	2	sh	52	71	69	232.8		1125
98-5	写64	石核	IIa	M1	トレンチ3	V1-34	19	sh	64	45	43	121.3		584
99-1	写64	石核	IIa	M1	トレンチ3	V1-33	19	sh	36	43	21	33.1		532
99-2	写64	石核	IIa	M1	トレンチ2	V1-35	19	sh	68	66	38	162.9		298
99-3	写64	石核	IIa	M1	トレンチ6	V1-36	8	sh	38	47	45	100.8		980
99-4	写64	石核	IIa	M1	トレンチ2・3	V1-34	19	sh	52	49	58	119.7		380
99-5	写64	敲石	IIa	M1	トレンチ10	VJ-35	23	sh	76	32	25	50.5	棒状の珪質頁岩素材	1268
99-6	写64	敲石	IIa	M1	トレンチ2・3	V1-34	19	sh	50	38	27	62.0	卵形の珪質頁岩素材	372
99-7	写64	敲石	IIa	M1	トレンチ6	VH-35・36	8	sh	58	45	21	57.9	珪質頁岩の剥片素材	1059
100-1	写64	磨石 磨石弁	IIa	M1	トレンチ4	VH-32	24	and	102	50	30	255.0	S5023	レ446
100-2	写64	凹石	IIa	M1	トレンチ7	VG-35	2	tuff	102	85	54	554.2	表裏に凹み	レ345
100-3	写64	凹石	IIa	M1	トレンチ8	VG-34	2	and	125	71	55	569.3	正面に凹み	レ358
100-4	写64	凹石	IIa	M1	トレンチ6	VH-35	9	tuff	124	94	29	401.7	表裏に凹み	レ328
100-5	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ6	V1-36	9	sa	140	52	39	353.9	表裏に凹み	レ340
100-6	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ1	VH-32	19	cong	120	93	37	523.4	正面に凹み	レ205
100-7	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ1	V1-33	19	tuff	105	74	39	365.8	表裏に凹み	レ232
100-8	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ3	V1-34	19	sa	119	86	64	709.3	表裏に凹み	レ267
100-9	—	凹石	IIa	M1	トレンチ1	VH-34	16	tuff	89	70	39	265.2	表裏に凹み	レ193
101-1	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ1	VH-34	19	sa	109	74	30	325.9	表裏に凹み	レ469
101-2	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ10	VJ-34	23	sa	97	75	34	251.5	表裏に凹み	レ129
101-3	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ1	VH-34	16	tuff	109	81	39	318.6	表裏に凹み	レ196
101-4	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ10	VJ-34	23	tuff	81	68	42	264.5	表裏に凹み	レ130
101-5	写65	磨石	IIa	M1	トレンチ10	VJ-34	23	tuff	63	53	39	148.3	細粒凝灰岩。表裏に顕著な磨面。石器長軸に対し交叉する擦痕顕著	レ133
101-6	写65	磨石	IIa	M1	EW-B1	VH-34	16	tuff	132	92	54	891.1	正面に不明瞭な磨面と黒色付着	レ055
101-7	写65	敲石	IIa	M1	トレンチ1	VH-34	16	sa	118	81	30	332.6	右と上側面に敲痕。擦痕が見られる。	レ189
101-8	写65	凹石+磨石	IIa	M1	EW-B1	VG-32・33	a	dol	112	96	56	875.5	正面に磨面、裏面に凹み	レ057
101-9	写65	凹石+磨石	IIa	M1	トレンチ1	VH-32	19	tuff	130	79	51	649.7	正面に凹み、側面にざらざらの磨面	レ207
102-1	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ1	V1-33	19	tuff	100	89	50	409.1	表裏に凹み。破損	レ233

表19 石器・石製品観察表(6)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・レベル	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
102-2	写65	凹石	IIa	M1	トレンチ4	VG-33	20	dol	113	71	34	429.0	表裏に浅い凹み。長軸両端に縦痕	レ292
102-3	写65	凹石 蔵石	IIa	M1	EW-B1	VG-32-33	a	tuff	99	65	52	418.9	正面に凹み、上下端に縦き	レ058
102-4	写65	蔵石	IIa	M1	トレンチ4	VH-33	24	cong	122	48	36	284.5	下端に縦き	レ136
102-5	写65	石皿	IIa	M1	EW-B2	VH-35	9	tuff	176	179	98	2,648.2	縁あり石皿	レ070
102-6	写66	石皿	IIa	M1	トレンチ3	VI-34	19	and	225	182	94	5,000.0	正面に磨面。縁なし	レ255
102-7	写66	石皿	IIa	M1	EW-B2	VH-35	9	sa	383	264	80	10,600.0	正面に磨面。縁なし	レ032
102-8	写65	石皿	IIa	M1	トレンチ1	VH-32	24	msd	260	180	32	1,985.5	正面に磨面。縁なし	レ452
—	写66	台石	IIa	M1	SN-B	VI-35	9-1	dei	—	—	—	3,800.0	S-5022	レ041
103-1	—	石削	IIa	M1	トレンチ6	VI-36	9	sla	69	34	13	53.5	S-5016	石089
103-2	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	dol	49	50	26	89.6		石011
103-3	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	tuff	27	24	11	9.5		石025
103-4	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ1	VH-32	19	grtuff	72	62	20	102.4		石016
103-5	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	sa	41	45	18	42.5	アスファルト付着。磨面整形	石012
103-6	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ1	VI-33	19	rhy	67	62	19	103.4		石020
103-7	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ1	VH-32	19	rhy	42	39	12	30.5		石029
103-8	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ4	VG-33	24	rhy	70	64	18	112.0		石047
103-9	写66	石製円盤	IIa	M1	トレンチ10	VJ-33	23	tuff	53	49	20	70.7		石096
103-10	—	石製品	IIa	M1	トレンチ3	VI-34	相当	dol	62	61	35	197.6		石118
107-1	写68	両面調整石器	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sh	79	56	27	90.0		831
107-2	写68	削器	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sh	54	30	9	13.0		825
107-3	写68	削器	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sh	47	32	11	19.5		837
107-4	—	微細剥片	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sh	45	32	12	13.8		816
107-5	写63	削器	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sh	37	38	15	18.7		807
107-6	写63	削器	IIb	M1	トレンチ5	VJ-34・35・36	11	sh	129	65	35	306.0	織素材	2870
107-7	写68	石核	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sh	56	45	35	105.8		836
108-1	写68	凹石	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	and	118	73	33	325.2	表裏に凹み	レ314
108-2	写68	磨石	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	tuff	131	83	55	833.8	表裏に磨面。右側面に刺摩と中軸縦線に潰れ痕	レ321
108-3	写68	加工鏡	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	sa	134	84	25	354.8	長軸一端に刺摩、石鏝?	レ316
108-4	写68	磨石	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	and	133	92	65	1,182.8	正面に磨面、裏面火ハネ	レ319
108-5	写68	蔵石	IIb	M1	トレンチ5	VJ-36	11	cong	159	83	68	1,172.0	下端に磨面。握り粉木状	レ315
120-1	写73	石蔵	IIIa	M1	SN-B	VH-34	15	sh	25	8	3	0.5		1673
120-2	写73	石蔵	IIIa	M1	EW-B2	VI-34	15	sh	24	7	4	0.6	アスファルト基部。衝撃刺摩	1770
120-3	写73	石蔵	IIIa	M1	トレンチ1	VI-34	15	sh	30	12	5	1.1		215
120-4	写73	石蔵	IIIa	M1	トレンチ1	VI-34	15	sh	28	11	3	0.8		216
120-5	写73	石蔵	IIIa	M1	EW-B2	VI-34	15	sh	27	12	5	1.1	アスファルト基部	1750
120-6	写73	石蔵	IIIa	M1	EW-B2	VI-34	15	sh	27	13	5	1.4	アスファルト基部	1758
120-7	写73	石蔵	IIIa	M1	トレンチ3	VI-34	15	sh	31	10	5	1.1		557
120-8	写73	石蔵	IIIa	M1	SN-B	VI-35	15	sh	30	10	4	0.9	アスファルト基部	1463
120-9	写73	石蔵	IIIa	M1	EW-B2	VI-34	15	sh	36	14	6	2.6		2189

表19 石器・石製品観察表(7)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
120-10	写73	石鏃	Ⅲa	M1	SN-B	V I-35	15	sh	35	10	5	1.2		1481
120-11	写73	石鏃	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	37	9	5	1.3		554
120-12	写73	石鏃	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	34	12	5	1.3	アスファルト基部	556
120-13	写73	石鏃	Ⅲa	M1	SN-B	V II-35	15	sh	40	11	6	1.6	アスファルト基部	1670
120-14	写73	石鏃	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	38	11	4	1.4	アスファルト基部	616
120-15	写73	石鏃	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	22	10	5	0.8		618
120-16	写73	石鏃	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	sh	28	9	4	0.9	未製品?	1766
120-17	写73	両面調整石器	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	85	50	30	142.5	SS020	572
120-18	写73	石匙	Ⅲa	M1	トレンチ1	V I-34	15	sh	64	39	10	17.8		192
120-19	写73	石匙	Ⅲa	M1	SN-B	V I-35	15	sh	60	61	15	28.7	アスファルト幅み付着	1479
120-20	写73	石匙	Ⅲa	M1	トレンチ1	V I-34	15	sh	55	44	8	16.2		217
120-21	写73	石匙	Ⅲa	M1	トレンチ1	V I-34	15	sh	46	50	12	19.4	アスファルト幅み付着	188
120-22	写73	削器	Ⅲa	M1	トレンチ1	V I-34	15	sh	61	60	14	41.9		194
120-23	写73	削器	Ⅲa	M1	SN-B	V I-35	15	sh	50	42	19	45.6		1470
120-24	写73	削器	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	40	31	10	7.4		594
120-25	写73	削器	Ⅲa	M1	SN-B	V I-35	15	sh	39	29	8	9.0		1466
121-1	写74	削器	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-35	15	sh	66	59	18	63.6		585
121-2	写74	削器	Ⅲa	M1	SN-B	V II-34・35	15	sh	50	42	9	17.4		1646
121-3	写74	石核	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	sh	43	49	22	42.4		1754
121-4	—	石核	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	sh	38	65	42	91.3		1771
121-5	—	石核	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	43	54	47	78.4		573
121-6	写74	石核	Ⅲa	M1	SN-B	V I-35	15	sh	44	58	40	121.3		1478
121-7	写74	石核	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	105	74	33	195.7		575
122-1	写74	石核	Ⅲa	M1	SN-B	V II-34・35	15	sh	73	72	39	163.1		1640
122-2	写74	敲石	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	sh	109	73	45	346.9	建質頁岩の大形厚手剥片素材	1777
122-3	写74	石核	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	sh	55	52	41	113.1		1769
122-4	写74	原石	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	sh	103	81	52	460.3	建質頁岩の歪角礫原石	620
123-1	写74	磨石	Ⅲa	M1	トレンチ3	V I-34	15	tuff	125	78	50	706.5	表裏に磨面、両側面にざらざら磨面	レ280
123-2	写74	敲石	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	tuff	81	48	35	173.5	長軸両端に敲き	レ080
123-3	写74	原石	Ⅲa	M1	SN-B	V II-35	15	dol	163	69	36	598.5	表裏に浅い窪み	レ169
123-4	写74	石製品	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	and	129	82	61	487.9		石115
123-5	写74	石製円盤	Ⅲa	M1	EW-B2	V I-34	15	tuff	37	36	15	30.1		石032
—	写74	台石	Ⅲa	M1	SN-B	V I-35	15	del	—	—	—	10,400.0		レ040
131-1	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	21	13	6	0.8		397
131-2	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	23	9	3	0.7		430
131-3	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	25	12	5	1.0		401
131-4	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	29	11	5	1.0	アスファルト基部	438
131-5	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	25	13	6	1.4	衝撃剥離	443
131-6	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	26	11	4	1.1	衝撃剥離	648
131-7	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	28	9	3	0.7		458
131-8	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	27	10	4	1.0		422
131-9	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V I-34	18	sh	29	13	5	1.3	アスファルト基部継身	424

表19 石器・石製品観察表(8)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・レベル	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
131-10	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	29	13	4	1.2		427
131-11	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	30	11	5	1.2	アスファルト基部	431
131-12	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	30	11	5	1.1		432
131-13	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	27	10	5	1.0		118
131-14	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	27	12	5	34.6		123
131-15	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	30	11	5	1.2	アスファルト基部	518
131-16	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	25	11	5	1.2		604
131-17	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	29	12	4	0.7		609
131-18	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	26	16	5	1.4		670
131-19	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	28	9	4	0.8	アスファルト基部	119
131-20	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	28	14	5	1.6	アスファルト基部	468
131-21	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ2	V1-34	18	sh	36	8	4	0.9		336
131-22	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	35	10	6	1.6		439
131-23	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	35	12	4	1.4	アスファルト基部	177
131-24	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	32	10	4	0.9		393
131-25	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	29	14	7	2.2	アスファルト基部	433
131-26	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	40	10	4	1.4		603
131-27	写78	石鏃	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	33	13	5	1.6	アスファルト基部	421
131-28	写78	石鏃	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	37	15	10	4.4		1795
131-29	写78	石鏃	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-33	18	sh	57	21	8	6.2		1740
131-30	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	59	26	13	20.9		651
131-31	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	84	60	14	54.3		429
131-32	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	58	51	7	19.4	アスファルト積み付着	121
131-33	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	69	34	13	23.9	アスファルト積み付着	406
131-34	写78	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-33	18	sh	33	20	5	2.7		1741
131-35	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	50	68	11	24.8		460
131-36	写78	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	41	53	11	15.3		1798
132-1	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	73	62	13	48.7		428
132-2	写78	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-33	18	sh	53	53	8	19.7	アスファルト積み付着	1739
132-3	写78	石匙	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	54	81	12	35.0		533
132-4	写78	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-33	18	sh	56	51	15	30.6	アスファルト積み付着	1743
132-5	写78	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	46	56	12	20.3	アスファルト積み付着	1791
132-6	写78	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	40	57	10	18.8	アスファルト積み付着	1796
132-7	写79	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	60	66	13	40.5	アスファルト積み付着	1799
132-8	写79	石匙	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	54	66	13	31.2	アスファルト積み付着	1826
132-9	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	55	20	12	7.4		605
132-10	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	65	44	11	32.3		645
132-11	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	71	40	13	26.7		634
133-1	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	62	48	8	22.2		630
133-2	写79	削器	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	60	51	13	30.4		1814
133-3	写79	削器	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	78	44	22	60.6		1816
133-4	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	55	44	12	25.5	アスファルト右辺	602

表19 石器・石製品観察表(9)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
133-5	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	87	40	13	34.6		122
133-6	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	78	35	9	14.7		398
133-7	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	65	44	11	23.5		416
133-8	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	79	46	14	36.1		444
133-9	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	87	39	14	54.3		404
133-10	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	63	55	16	49.4		442
134-1	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	92	48	17	65.3		500
134-2	写79	削器	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	99	48	17	93.6		1822
134-3	写79	削器	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	54	57	16	48.7		1817
134-4	写79	削器	Ⅲb	M1	トレンチ2-3	V1-33	18	sh	55	65	13	40.9		2437
134-5	写80	削器	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	39	53	11	18.4		1807
134-6	写79	打製石斧	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	138	102	42	366.6	S5015, 分銅形	615
135-1	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	36	28	23	20.7		125
135-2	写80	石核	Ⅲb	M1	EW-B2	V1-34	18	sh	45	61	35	77.3		1802
135-3	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ1	V1-34	18	sh	29	36	33	38.7		144
135-4	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	45	60	33	77.8		410
135-5	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	54	53	40	107.2		654
135-6	—	石核	Ⅲb	M1	トレンチ3	VJ-34	18	sh	50	58	38	118.4		640
135-7	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	75	66	54	273.4		636
136-1	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	51	80	48	202.7	剥片素材	681
136-2	写80	石核	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	60	101	44	260.4		411
136-3	写80	剥片	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sh	105	97	62	428.0	大形の礫面剥片	426
137-1	写80	磨製石斧	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	grtuff	68	35	14	55.4	S-5010, 細粒緑色凝灰岩製	レ285
137-2	写80	回石	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sa	121	63	28	271.0	表裏に回み	レ268
137-3	写80	回石+磨石	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sa	97	55	26	180.4	正面に回み, 表裏に磨面	レ276
137-4	写80	回石+磨石	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	sa	135	90	68	874.4	表裏に回み, 右側面にザラザラ磨面	レ236
137-5	写80	磨石	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	dior	130	104	62	1,389.4	表裏に磨面	レ277
137-6	写80	石製品	Ⅲb	M1	トレンチ3	V1-34	18	dior	65	61	47	263.5		石117
141-1	写81	石鏃	Ⅲc	M1	SN-B	V1-35	7-1	sh	27	12	5	1.0	アスファルト基部	1485
141-2	写81	石鏃	Ⅲc	M1	SN-B	V1-35	7-1	sh	26	10	5	1.0	アスファルト基部	1486
141-3	写81	石鏃	Ⅲc	M1	EW-B2	VH-35	7-1	sh	27	8	3	0.5	アスファルト基部	2130
141-4	写82	石鏃	Ⅲc	M1	トレンチ10	VJ-35	22	sh	62	39	14	27.6		1199
141-5	写82	石鏃	Ⅲc	M1	SN-B	VH-34	7-1	sh	67	42	12	29.3	未製品	1619
141-6	写82	石鏃	Ⅲc	M1	SN-B	V1-35	7-1	sh	39	48	9	13.3	アスファルト積み付着	1487
141-7	写82	石鏃	Ⅲc	M1	トレンチ10	VJ-35	22	foqu	49	45	12	18.3	アスファルト積み付着	1284
141-8	—	削器	Ⅲc	M1	EW-B2	VH-35	2-2	sh	42	30	10	9.9	アスファルト左辺	2093
141-9	写82	石鏃	Ⅲc	M1	トレンチ10	VJ-35	22	sh	45	54	8	15.5	アスファルト積み付着	1283
141-10	写82	削器	Ⅲc	M1	トレンチ10	VJ-35	22	sh	70	35	12	30.9		1285
141-11	写82	削器	Ⅲc	M1	EW-B3	V1-36	7-1	sh	72	64	16	60.2		1879
141-12	—	剥片	Ⅲc	M1	EW-B3	V1-36	7-1	sh	45	27	10	9.4	アスファルト主要剥離面	1880
141-13	写82	石核	Ⅲc	M1	EW-B2	VH-35	7-1	sh	70	74	35	138.1		2134
141-14	写82	石核	Ⅲc	M1	EW-B2	VH-35	7-1	sh	49	59	61	190.4		2133
142-1	写82	石核	Ⅲc	M1	EW-B3	V1-35	7-1	sh	66	84	68	384.2		1891
142-2	写82	石核	Ⅲc	M1	EW-B2	VH-35	7-1	sh	69	51	42	155.3		2129

表19 石器・石製品観察表(10)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
143-1	写82	凹石	IIIc	M1	EW-B3	VJ-35	22・28	tuff	86	70	33	222.0	表裏に凹み	レ098
143-2	写82	凹石・磨石	IIIc	M1	EW-B2	VH-35	1-2	dior	119	96	60	988.7	正面に凹み、表裏に磨面	レ067
143-3	写82	加工磯	IIIc	M1	EW-B2	VH-35	7-1	tuff	90	74	18	120.9	石鐘?	レ076
143-4	写82	石皿	IIIc	M1	SN-B	VI-35	7-1	sa	334	108	75	3,800.0	縁なし石皿	レ043
145-1	写83	石磯	III d	M1	SN-B	VH-34	1-1	sh	24	10	5	1.0	アスファルト基部	1578
145-2	写83	石磯	III d	M1	SN-B	VH-34	1-1	sh	36	17	7	3.5		2606
145-3	写83	石磯	III d	M1	トレンチ1	VI-34	5	sh	50	10	5	1.9		2433
145-4	写83	石鐘	III d	M1	SN-B	VI-35	27	sh	67	35	11	19.1		1512
145-5	写83	石鐘	III d	M1	トレンチ1	VG-34	1	sh	26	19	8	2.2		1098
145-6	写83	石匙	III d	M1	SN-B	VH-34	5	sh	57	22	12	8.2		1613
145-7	写83	石匙	III d	M1	トレンチ8	VG-34	1	sh	37	43	9	13.7		1115
145-8	写83	削器	III d	M1	トレンチ8	VG-34	1	sh	51	32	6	11.6		1112
145-9	写83	石核	III d	M1	トレンチ7	VG・H-34・35	1	sh	47	56	40	124.7		1085
146-1	写83	凹石	III d	M1	トレンチ1	VH-34	5	sa	102	78	62	485.2	表裏に凹み	レ214
146-2	写83	凹石・磨石	III d	M1	トレンチ8	VG-34	1	tuff	98	92	73	905.4	表裏に凹み、下面に磨痕	レ362
146-3	写83	凹石	III d	M1	EW-B1	VG-34	1-1	tuff	115	122	50	538.1	表裏に凹み	レ059
146-4	写83	凹石	III d	M1	トレンチ8	VG-34	1	sa	101	52	34	226.4	表裏に凹み	レ364
146-5	写83	凹石	III d	M1	トレンチ1	VH-34	5	sa	144	56	32	328.4	正面に凹み	レ213
146-6	写83	凹石	III d	M1	トレンチ8	VG-34	1	sa	126	77	29	331.4	正面に凹み、裏面に鋭い磨痕	レ355
146-7	写83	磨石	III d	M1	トレンチ7	VG・H-34・35	1	and	116	87	63	886.1	表裏に磨面	レ342
146-8	写83	磨石	III d	M1	トレンチ1	VH-34	5	and	112	85	74	776.4	表裏に磨面	レ409
146-9	写83	磨石	III d	M1	トレンチ1	VH-34	5	dei	131	114	85	1,671.2	正面に磨面	レ216
148-1	写84	石磯	IIIe	M1	SN-B	VI-35	7-2	sh	36	13	5	1.5		1492
148-2	写84	石磯	IIIe	M1	SN-B	VI-35	31	sh	30	12	6	1.4	アスファルト基部	1505
148-3	写84	石磯	IIIe	M1	EW-B2	VH-35	6	sh	32	12	6	1.7		2062
148-4	写84	石磯	IIIe	M1	EW-B2	VH-35	6	sh	41	17	6	2.5	アスファルト基部	2063
148-5	写84	石磯	IIIe	M1	SN-B	VI-35	31・7-2	sh	31	11	6	8.5		1490
148-6	写84	石磯	IIIe	M1	トレンチ3	VI-34	31	sh	38	12	5	1.5	衝撃剥離	530
148-7	写84	石磯	IIIe	M1	SN-B	VH-34	X・1-3	sh	23	7	4	0.7	アスファルト基部	1606
148-8	写84	石磯	IIIe	M1	トレンチ3	VI-34	31	sh	20	10	5	0.6		580
148-9	写84	石鐘	IIIe	M1	SN-B	VI-35	31・7-2	sh	33	17	8	2.5		1491
148-10	写84	石匙	IIIe	M1	トレンチ1	VI-34	6	sh	47	49	13	16.8		221
148-11	写84	削器	IIIe	M1	SN-B	VI-35	31	sh	48	30	9	10.0		1504
148-12	写84	両面調整石器	IIIe	M1	SN-B	VI-35	7-2	sh	93	70	31	193.9		1496
148-13	写84	削器	IIIe	M1	SN-B	VI-35	7-2	sh	91	44	11	36.0		1495
148-14	写84	削器	IIIe	M1	EW-B2	VI-34	6	sh	62	40	13	21.5		2182
148-15	写84	石核	IIIe	M1	トレンチ3	VI-34	31	sh	39	63	57	123.7		600
148-16	写84	凹石	IIIe	M1	EW-B2	VH-35	6	dol	102	72	39	405.1	表裏に凹み、側面に鋭い磨痕	レ075
155-1	写87	石磯	III f	M1	トレンチ3	VI-34	28	sh	21	11	5	0.9	アスファルト基部	688
155-2	写87	石磯	III f	M1	トレンチ6	VI-35	7	sh	19	12	4	0.8		1006
155-3	写87	石磯	III f	M1	トレンチ2	VI-35	28	sh	25	10	5	1.2		345
155-4	写87	石磯	III f	M1	トレンチ3	VI-34	28	sh	27	12	5	1.2		685

表19 石器・石製品観察表(11)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
155-5	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	27	13	6	1.7	アスファルト基部	734
155-6	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	27	12	6	1.5		276
155-7	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	28	11	5	1.1		280
155-8	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	27	12	4	1.1		281
155-9	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	28	10	4	0.8	アスファルト基部	687
155-10	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	25	10	6	1.2		589
155-11	写87	石鏃	Ⅲf	M1	SN-B EW-B3	VJ-35	28	sh	31	9	5	0.9		1445
155-12	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	37	11	5	1.0		690
155-13	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2,3	V1-34	28	sh	34	12	6	1.6		2388
155-14	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	V1-35	28	sh	36	12	6	1.7	アスファルト基部	342
155-15	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	V1-35	28	sh	44	13	5	1.7		343
155-16	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	V1-35	28	sh	24	17	4	1.3	アスファルト基部	344
155-17	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sh	45	12	6	2.8		1021
155-18	写87	石鏃	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	74	55	14	42.3		252
155-19	写87	石匙	Ⅲf	M1	トレンチ6	VH-35	7	sh	38	25	5	3.0		983
155-20	写87	石匙	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sh	44	24	6	4.5		920
155-21	写87	石匙	Ⅲf	M1	トレンチ6	VH-35	7	sh	61	29	15	18.0		984
155-22	写87	石匙	Ⅲf	M1	SN-B EW-B3	VJ-35	28	sh	46	41	10	11.1	アスファルト積み、左辺付着	1446
155-23	写87	石匙	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sh	47	43	9	13.6		1008
155-24	写87	石匙	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	59	58	14	30.0		691
155-25	写87	石匙	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sh	62	78	16	52.0	アスファルト積み付着	1035
155-26	写87	搔器	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	41	39	10	15.3		706
156-1	写87	削器	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-36	7	sh	48	49	15	35.4		1044
156-2	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sh	56	52	13	31.6		1033
156-3	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sh	44	27	6	7.7	アスファルト右辺	964
156-4	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	34	41	9	10.3		262
156-5	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	60	39	10	18.8		277
156-6	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	54	51	9	26.2		707
156-7	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	50	53	18	58.5		717
156-8	写88	削器	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	111	50	20	99.8		698
156-9	写88	異形石器	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	29	54	10	8.1		279
156-10	写88	微細剥片	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	64	83	20	97.2		289
157-1	写88	石核	Ⅲf	M1	トレンチ2,3	V1-34	28	sh	67	73	36	174.7		384
157-2	写88	石核	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	79	66	37	120.8		269
157-3	写88	石核	Ⅲf	M1	トレンチ2	VJ-34	28	sh	64	40	35	77.3		275
157-4	写88	石核	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	36	51	40	67.1		712

表19 石器・石製品観察表(12)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・レベル	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
157-5	—	剥片	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	sh	70	65	23	71.4	縦面剥片	721
158-1	写88	凹石	Ⅲf	M1	トレンチ6	VH-35	7	sa	136	72	30	382.7	表裏に凹み	レ334
158-2	写88	凹石	Ⅲf	M1	トレンチ6		7	tuff	143	70	39	416.7	表裏に凹み。鋭い擦痕	レ330
158-3	写88	凹石	Ⅲf	M1	トレンチ6	VH-35	7	and	110	105	58	891.6	表裏に凹み	レ329
158-4	写88	凹石	Ⅲf	M1	EW-B3	VJ-35	28	tuff	114	79	49	537.1	表裏に凹み	レ090
158-5	写88	石皿	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	and	254	142	38	2,412.8	縁なし石皿	レ327
158-6	写88	石棒	Ⅲf	M1	トレンチ6	V1-35	7	sla	110	34	13	85.3	S-5017, 火ハネ	石006
158-7	写88	玉類	Ⅲf	M1	トレンチ3	V1-34	28	grtuff	13.5	12.5	3	0.9		石050
162-1	写90	石織	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-34	14-2	sh	29	8	5	0.9		1372
162-2	写90	石織	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-34	12	sh	25	12	6	1.2		2440
162-3	写90	石織	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	41	12	4	1.2	アスファルト基部	2162
162-4	写90	石織	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-33	14	sh	46	25	13	13.1	石織未製品?	786
162-5	写90	石鏝	Ⅳa	M1	SN-B	VG-33	12-2	sh	39	9	5	2.1		1520
162-6	写90	石鏝	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	37	20	7	4.1		2170
162-7	写90	石銃	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	49	44	16	14.7	アスファルト積み付着	2155
162-8	写90	石銃	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	52	60	12	24.5	アスファルト積み付着	2152
162-9	写90	削器	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	70	50	12	30.9		2166
162-10	写90	削器	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	73	40	12	33.3		2151
162-11	写90	削器	Ⅳa	M1	トレンチ4	VF-34	12	sh	42	32	8	8.7		802
162-12	写90	削器	Ⅳa	M1	トレンチ4	VF-34	12	sh	64	40	14	29.1		749
162-13	写90	二次加工剥片	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-33	12	sh	115	64	30	159.4		783
162-14	写90	石核	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-33	14-1	sh	50	61	36	93.4		1418
163-1	写90	石核	Ⅳa	M1	トレンチ1	VH-34	17	sh	86	120	73	788.0		132
163-2	写90	石核	Ⅳa	M1	トレンチ4	VF-34	12	sh	48	49	29	57.5		746
163-3	写90	石核	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	4-1	sh	46	50	35	96.6		2178
163-4	写90	石核	Ⅳa	M1	トレンチ4	VF-34	12	sh	77	86	73	489.8		803
164-1	写90	石核	Ⅳa	M1	トレンチ1	VH-34	17	sh	54	89	63	255.6		137
164-2	写90	石核	Ⅳa	M1	EW-B2	V1-34	17	sh	62	66	36	132.9		2168
164-3	写91	石核	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-34	12-3	sh	81	76	55	238.2		1400
164-4	写91	石核	Ⅳa	M1	SN-B	VH-34	4-1	sh	70	91	44	296.6		1568
164-5	写90	蔵石	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-35	14	sh	49	42	37	76.0		737
164-6	写90	蔵石	Ⅳa	M1	トレンチ4	VF-34	12	sh	49	42	36	75.7	建瓦質岩の原石素材	743
165-1	写91	磨製石斧	Ⅳa	M1	SN-B	VG-33	12-2	doi	88	55	29	236.8		レ183
165-2	写91	凹石	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-34	12-1	cong	135	89	44	471.0	表裏に凹み	レ051
165-3	写91	凹石	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-34	12-1	grtuff	143	66	41	457.4	表裏に凹み	レ056
165-4	写91	凹石	Ⅳa	M1	トレンチ1	VH-34	17	tuff	148	73	38	491.3	表裏に凹み	レ198
165-5	写91	凹石	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-34	12	tuff	140	68	55	647.9	正面に凹み	レ114
165-6	写91	凹石	Ⅳa	M1	トレンチ1	VH-34	17	sa	83	103	51	505.8	正面に凹み	レ221
165-7	写91	凹石	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-34	12	tuff	133	57	43	325.5	表裏と右側面に凹み	レ115
165-8	写91	凹石	Ⅳa	M1	SN-B	VG-34	12-2	tuff	154	65	46	563.8	表裏に凹み	レ158
165-9	写91	凹石	Ⅳa	M1	トレンチ4	VG-33	12	tuff	129	87	34	390.1	表裏に凹み	レ295
166-1	写91	蔵石	Ⅳa	M1	トレンチ1	V1-34	4	tuff	69	61	47	217.4	S-5001。細粒凝灰岩。正面に凹み	レ132
166-2	写91	凹石	Ⅳa	M1	トレンチ1	VH-34	4	tuff	97	72	60	434.2	短軸に沿って敲打整形。石鏝?	レ407
166-3	写91	磨石	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-34	12-1	doi	97	86	62	672.0	表裏に磨面	レ053
166-4	写91	磨石	Ⅳa	M1	EW-B1	VH-33	14-2	doi	110	90	51	718.5	正面に磨面	レ060

表19 石器・石製品観察表(13)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
166-5	写91	凹石・磨石	IVa	M1	SN-B	V G-34	a	tuff	133	80	52	621.3	表裏に凹み、正面に磨面	レ162
166-6	写92	磨石	IVa	M1	トレンチ1	V H-33	13	tuff	107	78	37	334.0	S-5012, 赤色顔料付着	レ194
166-7	写91	凹石・磨石	IVa	M1	EW-B1	V H-33	14-2	sa	127	70	31	365.8	表裏に凹み、下面に磨痕	レ062
166-8	写92	磨石	IVa	M1	トレンチ1	V H-34	17	tuff	109	58	28	205.9	長軸一端に磨き(剥離?)	レ215
-	写92	自然産	IVa	M1	トレンチ1	V G-33	12or 14-2	sa	-	-	-	7,000.0	石皿?	レ045
-	写92	原石	IVa	M1	トレンチ1	V H-34	17	fequ	-	-	-	26.0		133
167-1	写92	加工産	IVa	M1	SN-B	V G-34	12-1	sa	271	80	62	1,353.5	長軸一端に剥離加工	レ165
167-2	写92	石皿	IVa	M1	SN-B	V H-34	14-1	sa	213	106	38	958.2	磨り面不明瞭	レ175
167-3	写92	石棒	IVa	M1	トレンチ4	V G-33	14	sla	117	27	27	88.3	S5003	G5000
167-4	写92	石棒	IVa	M1	トレンチ1	V H-34	4	sla	112	22	13	47.8		石004
167-5	写92	石製円盤	IVa	M1	SN-B	V G-34	12-2	amd	78	83	19	153.5		石022
167-6	写92	石製品	IVa	M1	SN-B	V G-34	12-2	tuff	72	72	38	187.1	細粒凝灰岩	石008
171-1	写94	石鏃	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	42	10	6	1.8		1443
171-2	写94	石鏃	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	35	9	5	1.2		1444
171-3	写94	石鏃	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	oh	40	12	4	1.4		1929
171-4	写94	石鏃	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	25	10	4	0.8	アスファルト基部	1955
171-5	写94	石鏃	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	29	11	3	0.8		1961
171-6	写94	石匙	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-2	sh	79	19	12	8.1		1563
171-7	写94	削器	IVb	M1	SN-B	V J-35	22-3	sh	71	39	8	20.8		1621
171-8	写94	削器	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-2	sh	72	44	11	29.3		1621
171-9	写94	削器	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	sh	73	59	15	56.2		1943
171-10	写94	微細剥片	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	sh	118	51	17	93.7		1953
171-11	-	微細剥片	IVb	M1	トレンチ1	V H-34	4	sh	91	35	11	31.0		26
171-12	写94	削器	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	77	51	20	88.4		1967
172-1	写94	石核	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-1	sh	35	52	27	58.4		1541
172-2	写94	石核	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	44	61	43	109.5		1442
172-3	写94	石核	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	sh	62	86	29	162.4		1954
172-4	写95	石核	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	sh	63	55	39	131.8		1951
172-5	写94	石核	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-1	sh	40	53	55	123.4		1540
172-6	写95	石核	IVb	M1	トレンチ5	V J-36	10	sh	54	75	58	232.2		894
172-7	写95	石核	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-3	sh	49	60	40	98.1		1557
173-1	写95	石核	IVb	M1	トレンチ5	V J-36	10	sh	63	50	32	97.5		893
173-2	写95	原石	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	chal	50	90	43	232.9		3079
173-3	写95	石核	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	sh	133	109	59	760.7		1976
174-1	写95	凹石	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-3	sa	166	91	31	556.5	表裏に凹み	レ154
174-2	写95	凹石	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-3	tuff	138	56	32	294.6	表裏と右側面に凹み	レ147
174-3	写95	凹石	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-3	tuff	96	70	46	385.4	受熱, 細粒凝灰岩, 表裏に凹み	レ155
174-4	写95	砥石	IVb	M1	EW-B3	V J-34	22-3	sa	80	76	19	146.7	両面と下面に磨痕顕著	レ094
174-5	写95	石皿	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-2	amd	170	193	76	2,991.4	線なし石皿	レ153
174-6	写95	磨石	IVb	M1	EW-B3	V J-35	22-3	amd	98	62	18	86.8	S-5021	G5009
174-7	写95	石棒	IVb	M1	SN-B	V J-36	22-1	sla	157	23	13	26.1	北捨て場と接合	石002
176-1	写96	石鏃	V	M1	トレンチ2	V J-34	I	sh	27	9	4	0.8		235
176-2	写96	石鏃	V	M1	-	V I-34	I	sh	25	9	5	0.9		2307
176-3	写96	石鏃	V	M1	EW-B3	V J-34	I	chal	27	13	5	1.1		2567
176-4	写96	石鏃	V	M1	-	V K-34	I	sh	23	10	5	0.9		2598
176-5	写96	石鏃	V	M1	トレンチ10	V J-35	I	sh	21	9	3	0.6		1136
176-6	写96	石鏃	V	M1	トレンチ4	V F-33	I	sh	31	12	4	1.2		799
176-7	写96	石鏃	V	M1	-	V J-33	I	sh	38	10	6	1.7		2594
176-8	写96	石鏃	V	M1	-	V I-34	I	sh	42	12	4	1.4		2416
176-9	写96	石鏃	V	M1	-	V I-34	I	sh	28	12	4	0.9	衝撃剥離	2313
176-10	写96	石鏃	V	M1	EW-B2	V J-32	I	sh	40	18	10	5.5		1703
176-11	写96	石鏃	V	M1	トレンチ1	V I-34	I	sh	21	9	4	0.6		2207

表19 石器・石製品観察表(14)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベ ルト	グリッド	層位	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量(g)	備考	整理 番号
176-12	写96	石鏃	V	M1	—	VJ-34	I	sh	35	20	8	5.2		2353
176-13	写96	石鏃	V	M1	トレン チ2・3	VJ-33	I	sh	35	11	7	1.9		353
176-14	写96	石鏃	V	M1	トレン チ3	VI-33	I	sh	40	32	9	13.9		543
176-15	写96	石鏃	V	M1	トレン チ2	VJ-34	I	sh	63	71	9	30.5		246
176-16	写96	石鏃	V	M1	トレン チ1	VI-32	I	sh	52	50	8	17.8	アスファルト積み、右辺付着	213
176-17	写96	石鏃	V	M1	EW-B3	VJ-34	I	sh	40	48	11	17.8	アスファルト積み付着	1906
176-18	写96	石鏃	V	M1	トレン チ2	VJ-34	I	sh	53	59	9	23.7	アスファルト積み付着	247
176-19	写96	石鏃	V	M1	—	VJ-32	I	sh	50	36	9	16.0		2864
176-20	写96	石鏃	V	M1	—	VI-35	I	sh	44	48	11	16.8	アスファルト積み付着	2033
176-21	写96	石鏃	V	M1	EW-B2	VH-35	I	sh	36	38	10	10.9		2073
176-22	写96	削器	V	M1	トレン チ2	VJ-34	I	sh	62	64	15	43.0		237
176-23	写96	削器	V	M1	EW-B2	VI-34	I	sh	78	43	11	31.4		1872
177-1	—	石核	V	M1	—	VI-34	I	sh	50	54	26	68.9		2311
177-2	—	石核	V	M1	—	VG-34	I	sh	43	66	54	166.3		2285
177-3	写96	石核	V	M1	—	VH-32	I	sh	58	92	73	355.1		2653
177-4	写96	石核	V	M1	—	VJ-34	I	sh	85	73	36	235.4		2361
177-5	写96	石核	V	M1	EW-B2	VI-34	I	sh	68	71	50	216.3		1876
178-1	写96	磨製 石斧	V	M1	トレン チ5	VJ-36	I	sh	112	42	26	198.7	頁岩製	レ428
178-2	写96	回石	V	M1	トレン チ5	VJ-36	I	tuff	79	58	44	218.6	表裏に凹み、鋭い擦痕	レ416
178-3	写96	回石	V	M1	EW-B2	VI-34	I	sa	130	76	44	524.0	表裏に凹み	レ082
178-4	写96	回石	V	M1	トレン チ1	VH-33	I	bretuf	105	73	53	433.8	正面に凹み	レ197
178-5	写96	敲石	V	M1	EW-B2	VJ-32	I	tuff	53	54	50	154.5	下面に敲痕	レ069
178-6	写96	回石・ 磨石	V	M1	EW-B3	VJ-35	I	doi	104	80	52	629.4	正面に凹み、裏面に磨面	レ090
178-7	写97	石棒	V	M1	トレン チ1	VI-33	I	grtuff	97	29	16	56.0	S-5009	石001
178-8	写97	石棒	V	M1	—	VH-32	I	sla	92	20	15	41.9		石003
—	写97	台石	V	M1	トレン チ2・3	VI-34	I	sa	—	—	—	16,800.0	S-5008	レ049
—	写97	石皿	V	M1	トレン チ4	VJ-36	I	sa	—	—	—	2,284.7		レ471
182-1	写98	石鏃	不明	M1	EW-B3	VJ-35	22・ 28	chal	23	13	6	1.4		1978
182-2	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ2	VI-35	I	sh	30	10	5	1.4		300
182-3	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ2	VJ-34	I	sh	28	15	6	1.7		330
182-4	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ2	VJ-34	I	sh	29	9	6	1.2		332
182-5	写98	石鏃	不明	M1	EW-B3	VJ-35	22・ 28	sh	29	10	3	0.9	衝撃割離	1977
182-6	—	石鏃	不明	風倒 木	—	VH-34	覆土	sh	25	16	5	1.3		2582
182-7	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ2	VI-35	I	sh	50	13	6	2.9		346
182-8	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ1	VH-34	木の 根	ob	22	11	5	1.0		82
182-9	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ10	VJ-34	22・23	ob	17	15	3	0.6		1179
182-10	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ1	VH-33	22	sh	37	10	5	1.4		54
182-11	写98	石鏃	不明	M1	—	VJ-35	木の 根	sh	44	17	9	5.4		2405
182-12	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ10	VJ-35	木の 根	sh	96	38	15	45.0		1243
182-13	写98	石鏃	不明	M1	—	VJ-34	木の 根	sh	35	53	7	9.6		2355
182-14	写98	石鏃	不明	M1	トレン チ10	VJ-34	22・23	sh	50	67	13	31.6		1173
182-15	写98	石鏃	不明	風倒 木	—	VH-34	覆土	sh	48	45	9	13.0	アスファルト積み付着	2656
182-16	写98	削器	不明	M1	トレン チ9	VF-34	I	sh	26	45	7	8.1		1128

表19 石器・石製品観察表(15)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
182-17	—	石匙	不明	M1	SN-B	VH-35	壁清掃	sh	31	14	5	1.2	ミニチュア	1659
182-18	—	石匙	不明	M1	トレンチ1	VI-34	壁清掃	sh	68	20	5	6.2		209
182-19	写98	削器	不明	M1	トレンチ2	VJ-34	→徳山	sh	77	69	25	99.1		315
182-20	写98	削器	不明	M1	トレンチ10	VJ-35	22-23	sh	41	51	16	32.1		1324
182-21	写98	蔵石	不明	M1	トレンチ10	VJ-35	22-23	sh	60	41	17	61.1	頁岩製	1333
182-22	写98	石製円盤	不明	M1	—	VJ-35	木の根	rhy	84	74	29	240.4	アスファルト付着	石013
182-23	写98	磨製石斧	不明	M1	トレンチ10	VJ-34	22・23	sa	83	54	17	123.2		レ421
—	写98	石製円盤	不明	M1	トレンチ10	VJ-34	22-23	sa	—	—	—	333.6		石119
—	写98	台石	不明	M1	トレンチ10	VJ-34	22・23	sa	—	—	—	6,600.0		レ047
—	写98	石製円盤	不明	M1	EW-B3	VJ-35	22・28	dol	—	—	—	75.5		石116
—	写98	台石	不明	M1	トレンチ10	VJ-34	22-23	dior	—	—	—	17,200.0		レ066
183-3	写99	石鏃	遺構外	—	—	VM-26	I	sh	27	10	4	0.8		2575
183-4	写99	石鏃	遺構外	—	—	VF-34	I	sh	40	12	6	1.9		2265
183-5	写99	石鏃	遺構外	—	—	VF-35	I	sh	93	21	15	22.5		2234
183-6	写99	石匙	遺構外	—	—	VL-30	I	sh	68	54	10	24.5	アスファルト糊み付着	2778
183-7	写99	石匙	遺構外	—	—	VL-31	I	sh	41	62	8	17.4	アスファルト糊み付着	2579
183-8	写99	石匙	遺構外	—	—	VK-34	I	sh	52	69	13	29.1		2775
183-9	写99	石匙	遺構外	—	—	VL-32	I	sh	44	62	12	19.0		2591
183-10	写99	削器	遺構外	—	—	VL-28	I	sh	83	47	16	60.3		3032
183-11	写99	二次加工剥片	遺構外	—	—	VF-35	I	sh	132	113	40	538.9		2239
184-1	写99	石核	遺構外	—	—	VF-34	I	sh	98	95	67	622.3		2279
184-2	写99	石核	遺構外	—	—	VJ-30	I	sh	52	69	30	121.2		2738
184-3	写99	叩石	遺構外	—	—	VM-27	I	tuff	79	58	44	203.8	表裏に凹み	レ423
184-4	写99	磨石	遺構外	—	—	VG-33	I	and	118	79	64	877.2	表裏左右側面に磨面	レ106
184-5	写99	叩石	遺構外	—	—	VM-31	I	tuff	116	79	57	601.6	表裏に凹み。磨面あり?	レ449
184-6	写99	叩石・蔵石	遺構外	—	—	VK-31	I	tuff	111	60	26	220.8	表裏に凹み、下端に蔵き	レ467
184-7	写99	石製円盤	遺構外	—	—	VL-33	I	baz	63	57	15	81.2		石041
184-8	写99	石製円盤	遺構外	—	—	VM-31	I	and	—	—	—	30.3		石102
186-1	写100	石鏃	遺構外	—	—	VN-26	III	cha1	29	16	5	1.7	S-5002	2576
186-2	写100	石鏃	遺構外	—	—	VL-31	III	sh	22	11	3	0.6		2586
186-3	写100	石鏃	遺構外	—	—	VN-27	III	sh	21	15	4	0.6		2585
186-4	写100	石鏃	遺構外	—	—	VM-31	III	sh	17	14	5	0.8	凹基鏃	2571
186-5	写100	石匙	遺構外	—	—	VK-32	III	sh	56	39	12	24.0	S-1	2604
186-6	写100	石匙	遺構外	—	—	VM-31	III	sh	51	19	8	5.6		2589
186-7	写100	蔵石	遺構外	—	—	VM-31	III	sh	52	55	42	144.7	珪質頁岩の原石素材	2619
186-8	写100	石匙	遺構外	—	—	VK-31	III	sh	45	52	12	13.4		2584
186-9	写100	石鏃	遺構外	—	—	VG-32	III	sh	35	14	7	3.3		2573

表19 石器・石製品観察表(16)

図版番号	写真図版	器種	段階	遺構	トレンチ・ベルト	グリッド	層位	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
186-10	写100	削器	遺構外	遺構外	—	VN-26	Ⅲ	sh	71	56	15	50.7		3055
186-11	写100	削器	遺構外	遺構外	—	VF-32	Ⅲ	sh	60	50	15	47.3		2880
186-12	写100	削器	遺構外	遺構外	—	VF-32	Ⅲ	sh	60	52	14	44.3		2648
186-13	写100	凹石・蔵石	遺構外	遺構外	—	VH-32	Ⅲ	and	82	72	56	443.7	表裏残い凹み、側面に敷き	レ448
186-14	写100	蔵石	遺構外	遺構外	—	VM-29	Ⅲ	and	87	65	60	460.5	長軸一端に敷き	レ444
186-15	写100	磨石	遺構外	遺構外	—	VG-32	Ⅲ	and	94	71	57	442.6	表裏に磨面	レ441
186-16	写100	凹石	遺構外	遺構外	—	VJ-32	Ⅲ	cong	107	60	30	176.3	表裏に凹み	レ464
186-17	写100	石皿	遺構外	遺構外	—	VK-32	Ⅲ	and	230	147	40	1,455.9	緑なし石皿。S-1	レ003
187-1	写100	加工種	遺構外	遺構外	—	VK-33	Ⅲ	tuff	212	102	56	861.1	凹みがある	レ466
187-2	写100	石皿	遺構外	遺構外	—	VN-27	Ⅲ	sa	408	257	77	7,600.0	S-1。緑あり。西捨て場V627層中と接合	レ034
187-3	写100	石製円盤	遺構外	遺構外	—	VN-26	Ⅲ	rhy	41	41	15	36.8		石034
187-4	写100	石製円盤	遺構外	遺構外	—	VJ-33	Ⅲ	msd	52	51	8	28.7		石042
187-5	写100	石製円盤	遺構外	遺構外	—	VK-33	Ⅲ	tuff	—	—	—	13.7		石104
187-6	—	石製円盤	遺構外	遺構外	—	VI-31	Ⅲ	grtuff	32	31	15	20.2		石110
187-7	写100	石製円盤	遺構外	遺構外	—	VL-30	Ⅲ	baz	—	—	—	224.7		石111
187-8	写100	玉材	遺構外	遺構外	—	VN-26	Ⅲ	chal	14	10	8	1.5	S5005	石098
187-9	写100	石棒	遺構外	遺構外	—	VL-29	Ⅲ	tuff	—	—	—	95.9	S5014	石092
187-10	写100	石棒	遺構外	遺構外	—	VK-32	Ⅲ	hol	—	—	—	38.9	特5013	石091

石材凡例

and	安山岩
baz	玄武岩
bretuf	角礫凝灰岩
chal	玉髓
cong	凝岩
cry	水晶

dei	デイサイト
dior	閃緑岩
dol	粗粒玄武岩
fequ	鉄石英
gran	花崗岩
grd	花崗閃緑岩

grtuff	緑色凝灰岩
hol	ホルンフェルス
msd	泥岩
ob	黒曜石
por	斑岩
qua	石英

rhy	流紋岩
sa	砂岩
sh	建質頁岩
s1a	粘板岩
tuff	凝灰岩



S107 貼り床の範囲 SW一



S107 セクション W一



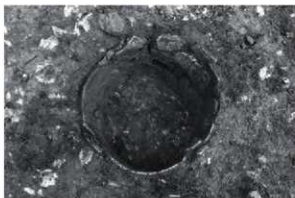
S107 完掘 E一



S107 炉 炭化物核出 E一



S107 炉 セクション N一



S107 炉 完掘 S一



S109 セクション W一



S109 入口施設 N一

写真1 建物跡(1)



S109 炉内セクション W←



S109 火焼面 N←



S109 完掘 E←



S109 図11-1 出土状況(床直) S←



S111 セクション S←



S111 石圍炉セク S←



S111 地床炉(左)と石圍炉 S←



S111 入り口 N←

写真2 建物跡(2)



SI11 完掘 SW 一



SI11 図 14-2 出土状況 N 一



SI12 セクション NE 一



SI12 炉 入口 NE 一



SI12 炉 SE 一



SI12 完掘 西・南側風倒木 SE 一



SI12 図 17-2 漆入土器



SI12 完掘 NE 一

写真3 建物跡(3)



SI13 検出状況 NE一



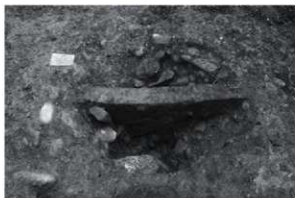
SI13 小穴(柱穴)検出状況



SI13 炉 土層 S一



SI13 セクション SW一



SI13 Pit 1 S一



SI13 図 19-1 V G-35 W一



SI13 全景 NE一



SI13 完掘 E一

写真4 建物跡(4)



SK08 セクション E→



SK08 焼土確認 S→



SK08 焼土・炭化物出土状況 S→



SK08 完掘 S→



SK09 掘出土状況 W→



SK09 土器出土状況 N→



SK09 セクション NW→



SK09 下部の掘出土状況 W→

写真5 土坑(1)



SK09 完掘 W←



SK09 完掘 NW←



SK10 セクション W←



SK10 Pit1 完掘 N←



SK10 Pit1 掘方完掘 W←



SK10 底面からの炭化物出土状況 S←



SK10 新段階完掘 W←



SK10 完掘 S←

写真6 土坑(2)



SK11 セクション S-1 出土状況 E ←



SK11 S-1 (右)、S-2 (左) 出土状況 E ←



SK11 完掘 底面直上にS-3 W ←



SK13 礎出土状況 E ←



SK13 完掘 (手前掘り過ぎ) E ←



SK14 セクション E ←



SK14 完掘 E ←



SK14 完掘 S ←

写真7 土坑(3)



SK15 セクション NE一



SK15 完掘 SW一



SK16 堆積土上部の礫出土状況 W一



SK16 セクション



SK16 セクション下部



SK16 完掘 W一



SK16 完掘 W一



SK16 完掘 W一

写真8 土坑(4)



SK17 セクション NE一



SK17 完掘 NE一



SK18 セクション SW一



SK18 土器出土状況 SW一



SK18 セク上半部 SE一



SK18 図 37-1 出土状況 SE一



SK18 図 37-1 出土状況 SE一



SK18 完掘 SW一

写真9 土坑(5)



SK20 セクション W一



SK20 図36-9 出土状況 覆土下部11層 W一



SK20 覆土下部11層 W一



SK20 完掘 NW一



SK21 検出状況 S一



SK21 セクション E一



SK21 完掘 E一

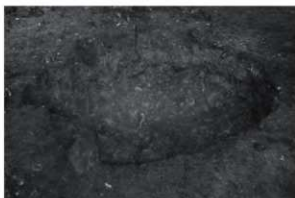


SK22 図38-3・4 出土状況 S一

写真10 土坑(6)



SK22 セクション S一



SK22 完掘 S一



SK23 セクション SE一



SK23 土器出土状況 W一



SK23 完掘 S一



SK24 検出状況 S一



SK24 セクション E一



SK24 完掘 SE一

写真 11 土坑 (7)



SK25(S1-11内) セクション E←



SK25 完掘 E←



SK26 セクション W←



SK26 掘出土状況 W←



SK26 完掘 S←



SK27 セクション SE←



SK27 完掘 SE←



SK28 掘出土状況 E←

写真 12 土坑 (8)



SK28 セクション N→



SK28 完掘 N→



SK29 セクション SE→



SK29 完掘 SW→



SK30 セクション E→



SK30 完掘(白線は残存部分) E→



SK34 セクション SW→



SK34 完掘 NE→

写真 13 土坑(9)



SK36 セクション S←



SK36 完掘 S←



SK37 セクション W←



SK37 完掘 W←



SK38 セクション NE←



SK38 完掘 N←

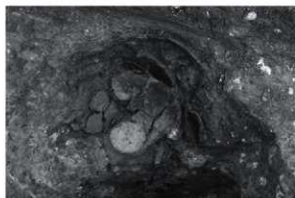


SK39 セクション S←



SK39 完掘 SE←

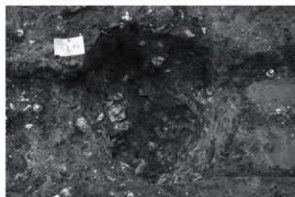
写真 14 土坑 (10)



SK40 土器出土状況 S 一



SK40 セクション V I-33 N 一



SK40 完掘 N 一



SK42 セクション SE 一



SK42 完掘 SE 一



SK45 セクション S 一



SK45 完掘 SE 一



SK45 完掘 NE 一

写真 15 土坑 (11)



SK55 完掘 N←



SK55 セクション N←



図 73-1 出土状況 W←



Pit1369 S←



Pit1367 S←



Pit1339 SW←



Pit1575 S←



Pit1410 SW←

写真16 土坑(12)とピット



S020 確認 W←



S020 土器、石器、検出状況 W←



S020・SK12 セクション W←



S020・SK12 セクション W←



S020 セクション W←



S020 セクション S←



S020 セクション W←



S020 セクション S←

写真 17 配石遺構(1)



SQ21・27 遠景 西→



SQ21・22・23・SN52 南→



SQ21 南→



SQ21 北→



SQ21 東→



SQ21 西→



SQ21 立石の根囲め状況 南→



SQ21 立石 南→

写真 18 配石遺構(2)



S021 セクション S-1



S021 セクション S-1



S021 掘り込みプラン S-1



S021 土抗プラン確認 S-1



S021 完掘 W-1



S021 土器(図54-1)出土状況 S-1



S021 玉出土状況 W-1



S021 玉出土状況 S-1

写真19 配石遺構(3)



S023 セクション S一



S025 セクション W一



S025 完掘 W一



S025 検出 S一



S025 検出 N一



S026 セクション W一



S026 完掘 W一



S021とS027 N一

写真 20 配石遺構(4)



S027 W→



S027 S→



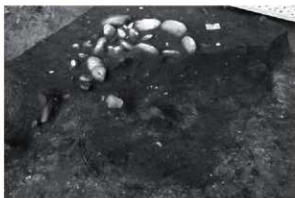
S027 E→



S027 N→



S027 セクション SE→



S027下 SK確認状況 E→



S027 土抗プラン確認 N→



S027 完掘 NE→

写真 21 配石遺構(5)



SQ28 検出 N→



SQ28 セクション N→



SQ28 完掘 S→



SQ29 検出 S→



SQ29 セクション E→



SQ29 セクション S→



SQ30 セクション W→



SQ30 完掘 SQ29 完掘前 W→

写真 22 配石遺構(6)



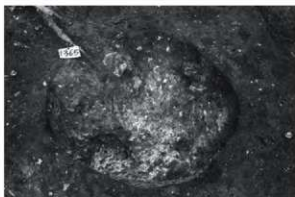
S042 完掘 S一



S042 白線はやや固い土の範囲 S一



S047 セクション S一



S047 完掘 E一



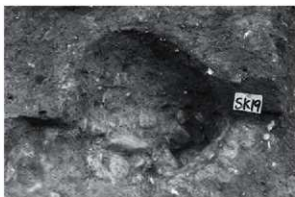
S046 セクション S一



S046 完掘 S一



S044 セクション N一



S044 完掘 N一

写真 23 配石遺構(7)



SR50 セクション E→



SR50 検出状況 E→



SR51 セクション N→



SR51 掘方 N→



SR52 検出状況 E→



SR52 セクション SE→



SR52 セクション E→



SR52 底部撮り直し確認写真 E→

写真 24 土器埋設遺構(1)



SR53 V I-33 19層検出状況 E ←



SR53 セクション E ←



SR54 検出状況 N ←



SR54 セクション W ←



SR55 検出状況 (S111 覆土内) SE ←



SR55 セクション E ←



SR56 検出状況 S ←



SR56 セクション SE ←

写真 25 土器埋設遺構 (2)



SR56 中のレキ出土状況 S→



SR56 掘方 SE→



SR57 セクション N→



SR57 完掘 N→



SR58 検出状況 W→



SR58 セクション W→



SR58 完掘 W→



SR59 検出状況 W→

写真 26 土器埋設遺構(3)



SR59 セクション W一



SR59 セクション W一



SR59 完掘 W一



SR60 検出状況 W一



SR60 検出状況 W一



SR60 セクション (M1 トレンチ3) W一



SR60 完掘 W一



SR61 検出状況 S一

写真 27 土器埋設遺構 (4)



SR61 検出状況 S-1



SR61 セクション S-1



SR62 検出状況 S-1



SR62 セクション S-1



SR62 セクション S-1



SR62 完掘 S-1



SR62 掘方外周の石 S-1



SR63 検出状況 SE-1

写真 28 土器埋設遺構(5)



SR63 平面 S-



SR63 セクション E-



SR63 完掘 E-



SR64 完掘 W-



SR64 セクション W-



SR65 検出状況 S-



SR65 セクション S-



SR65 完掘 S-

写真 29 土器埋設遺構(6)



SR66 検出状況 W→



SR67 セクション S→



SR67 セクション S→



SR67 完掘 S→



SR68 セクション E→



SR69 検出状況 W→



SR69 検出状況 W→



SR69 セクション W→

写真 30 土器埋設遺構(7)



SR70 検出状況 S→



SR70 セクション E→



SR70 セクション E→



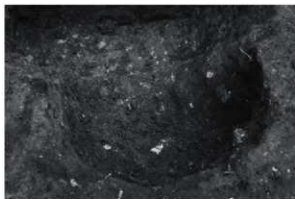
SR70 完掘 E→



SR71 検出状況 S→



SR71 セクション E→



SR71 完掘 S→



SR72 セクション S→

写真 31 土器埋設遺構(8)



SR73 検出状況 N→



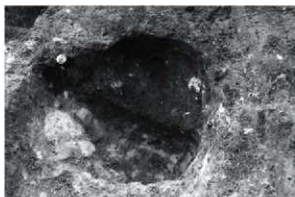
SR73 完掘 SE→



SR73 セクション SE→



SR74 検出状況 E→



SR74 完掘 N→



SR74 セクション NE→



SR76 土器出土状況 S→



SR76 セクション E→

写真 32 土器埋設遺構(9)



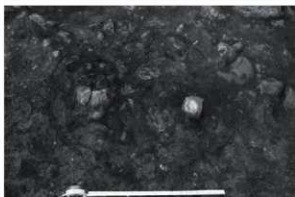
SN51 W-1



SN51(トレンチ7)SN-B東壁 検出時 E-1



SN51(トレンチ7)SN-B東壁 検出時 E-1



SN51(トレンチ7) 検出状況



SN51(トレンチ7) E-1



SN51a セクション V H-34 E-1



SN52 S022-23 S-1



SN52 V I-33 N-1

写真33 焼土遺構(1)



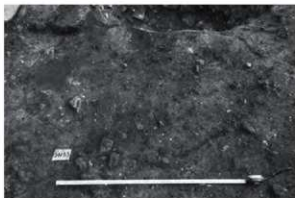
SN52 セクション N一



SN54 セクション V I-36 S一



SN55 セクション V I-35 N一



SN55 検出 W一



SN56 V G-34 E一



SN56 セクション E一



SN57 セクション N一



SN57 検出 V H-32 E一

写真 34 焼土遺構(2)



第1号盛土遺構 SW一



第1号盛土遺構 SE一



第1号盛土遺構 S一



第1~4号盛土遺構 S一



第1号盛土遺構外 W一

写真35 第1号盛土遺構 遠景



EW-B1 セクション 南壁3



EW-B1 風倒木 S-



EW-B1 セクション 南壁1



EW-B1 セクション 南壁2



EW-B1 セクション 南壁4

写真36 第1号盛土遺構 セクション(1)



EW-B2 セクション 西側 南壁全体 Sー



EW-B2 セクション 西側 南壁1

写真 37 第1号盛土遺構 セクション(2)



EW-B2 セクション 西側 南壁拡大



EW-B2 西側セクション S-1
写真 38 第1号盛土遺構 セクション (3)



EW-B2 セクション 西側 南壁 3



EW-B2 セクション 西側 南壁 2



EW-B2 セクション 東側 南壁 S→



EW-B2 セクション 東側 2 層の分布ライン S→



EW-B2 セクション 東側 南壁 1 S→

写真 39 第 1 号盛土遺構 セクション (4)



EW-B2 セクション 東側 南壁2 S一



EW-B3 セクション 西側 南壁全体

写真 40 第1号盛土遺構 セクション(5)



EW-B3 セクション 西側 南壁 1



EW-B3 セクション 西側 南壁 2



EW-B3 セクション 西側 南壁 3



EW-B3 セクション 東側南壁 S-1



SN-B 西壁セクション (トレンチ3)

写真 41 第1号盛土遺構 セクション (6)



SN-B セクション西壁 (トレンチ 1)



SN-B 西壁セクション (トレンチ 3) 拡大



SN-B セク西壁 (トレンチ 3)EW-B2 交点)



SN-B セクション西壁 (トレンチ 4)



SN-B セクション東壁 (トレンチ 6)



SN-B セクション東壁 (トレンチ 6)2



SN-B セクション西壁 (トレンチ 10)



SN-B トレンチ 5 セクション W→
セクション (7)

写真 42 第 1 号盛土遺構



SN-B 15層 遺物出土状況 W→



図 127-2 出土状況 (EW-B2 18層 N→)



図 126-7、130-17 出土状況 (EW-B2 18層 W→)



図 134-6 打製石斧出土状況 (トレンチ3 18層 N→)



トレンチ3 先行部 N→



図 84-1、84-3 出土状況 (EW-B1 16層上面 N→)



図 152-1 出土状況 (EW-B3 7層 S→)



図 147-3 出土状況 (SN-B(EW-B3) 7-2層 N→)

写真 43 第1号盛土遺構 出土遺物(1)



図 89-6 出土状況 (トレンチ 4 20 層 S→)



図 187-2 石皿出土状況 (Ⅲ層 E→)



図 92-1 出土状況 (トレンチ 10 地山直上 N→)

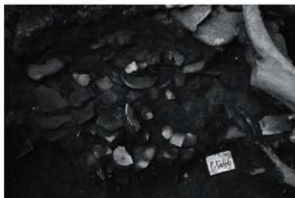


図 83-2 出土状況 (トレンチ 5 E→)



図 89-2 出土状況 (トレンチ 4 20 層 S→)



図 105-1、104-1、106-3
出土状況 (トレンチ 5 11 層 N→)



トレンチ 5 10 層 E→



図 106-8 出土状況 (トレンチ 5 11 層 NE→)

写真 44 第 1 号盛土遺構 出土遺物 (2)



トレンチ6 7層 W←



トレンチ6 8・9上面 W←



トレンチ6 8・9上面 E ←



図 150-1 出土状況 (トレンチ7 1層 S←)



図 151-1、149-3 出土状況 (トレンチ7 E←)



図 88-1、88-2 出土遺物状況 (トレンチ7 E←)



図 90-3 出土状況 (トレンチ4 24層 W←)



図 160-8 出土状況 (トレンチ4 14層 S←)

写真 45 第1号盛土遺構 出土遺物 (3)



図 187-9 出土状況 (Ⅲ層 W→)



図 187-10 出土状況 (Ⅲ層 E→)



図 88-2 文様拡大



図 114-5 文様拡大



図 115-2 文様拡大



図 116-1 文様拡大



図 147-3 文様拡大



図 150-5 台部 接合面の拡大

写真 46 第1号盛土遺構 出土遺物(4)・土器文様拡大写真

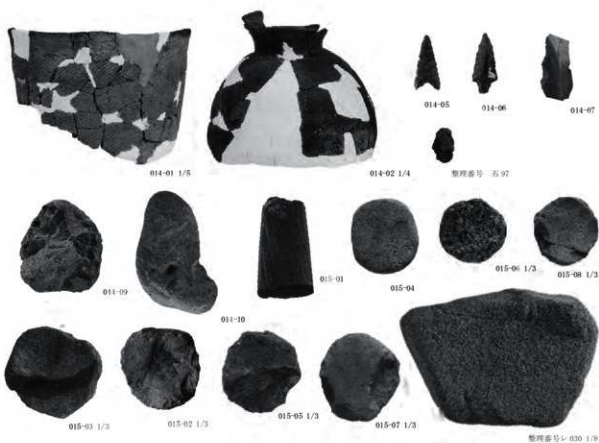


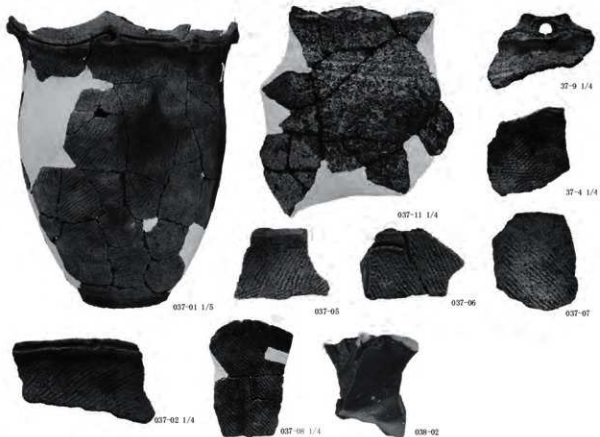
写真 47 遺構出土遺物(1)



写真 48 遺構出土遺物(2)



写真 49 遺構出土遺物 (3)



第 18 号土坑出土遺物



第 20 号土坑出土遺物

第 36 号土坑出土遺物

第 37 号土坑出土遺物

第 39 号土坑出土遺物



第 21 号土坑出土遺物

写真 50 遺構出土遺物(4)

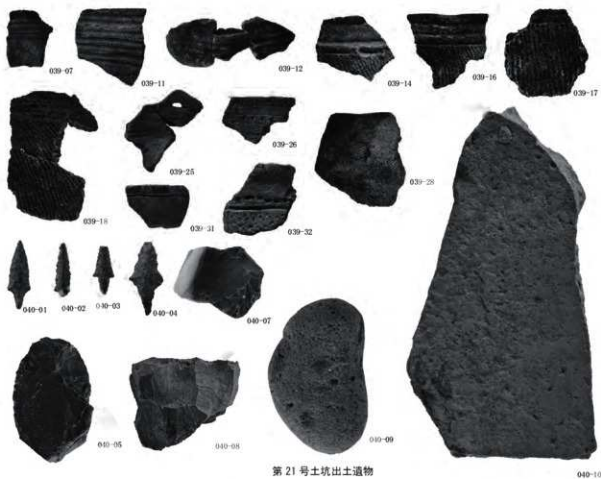


写真 51 遺構出土遺物 (5)



第 20 号配石遺構出土遺物



第 21 号配石遺構出土遺物



第 22 号配石遺構出土遺物

写真 52 遺構出土遺物 (6)



整理番号レ027 1/8
第25号配石遺構出土遺物



056-05 056-06
第26号配石遺構出土遺物



056-11 056-12
第29号配石遺構出土遺物



056-13
第32号配石遺構出土遺物



056-08
第27号配石遺構出土遺物



057-03 057-04
第42号配石遺構出土遺物



057-01 1/4



整理番号レ029 1/8



整理番号レ022 1/8



057-02

第44号配石遺構出土遺物

第46号配石遺構出土遺物



064-01 1/5

第50号埋設



064-02 1/5

第52号埋設



064-03 1/5

第53号埋設

写真53 遺構出土遺物(7)



写真 54 遺構出土遺物 (8)

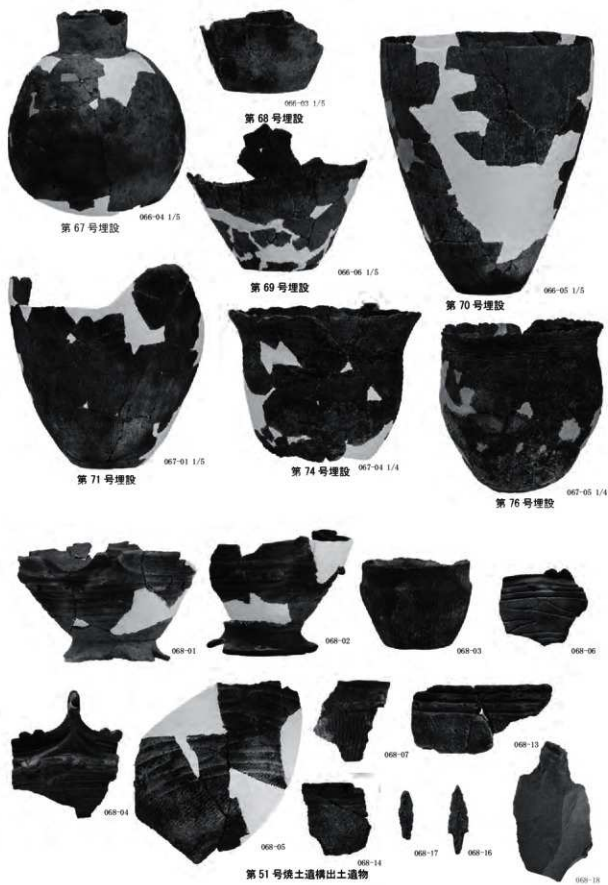
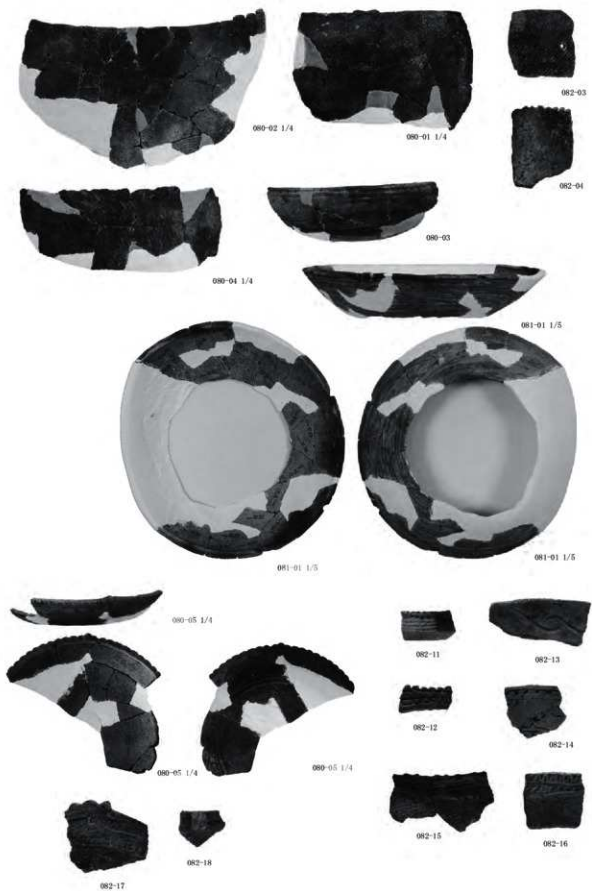


写真 55 遺構出土遺物 (9)

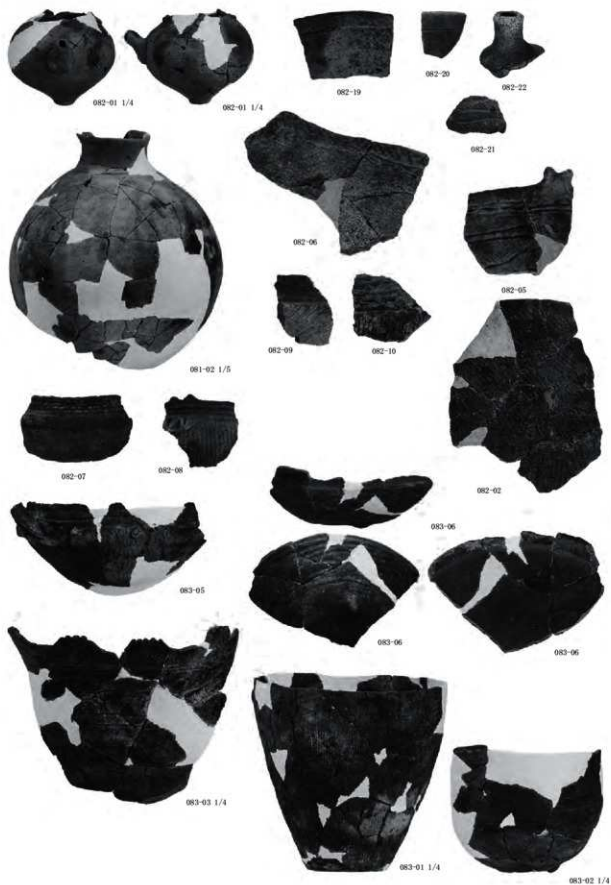


写真 56 遺構出土遺物 (10)



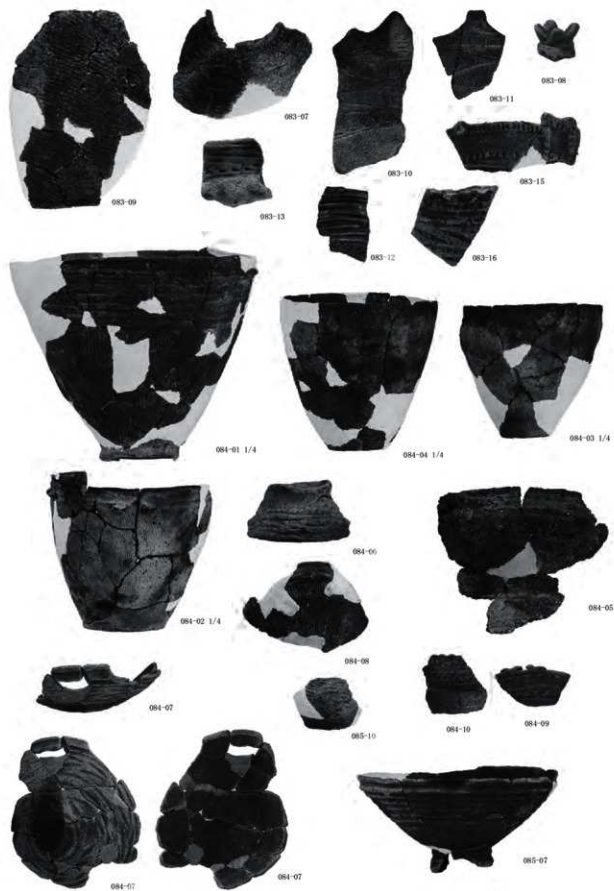
Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 57 第 1 号盛土遺構出土遺物 (1)



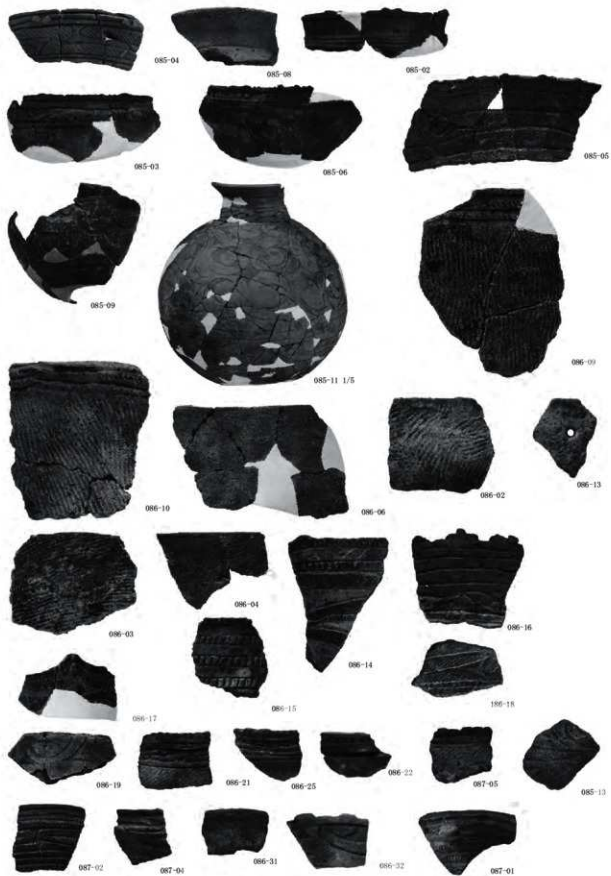
Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 58 第 1 号盛土遺構出土遺物 (2)



Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 59 第 1 号盛土遺構出土遺物 (3)



Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 60 第 1 号盛土遺構出土遺物 (4)

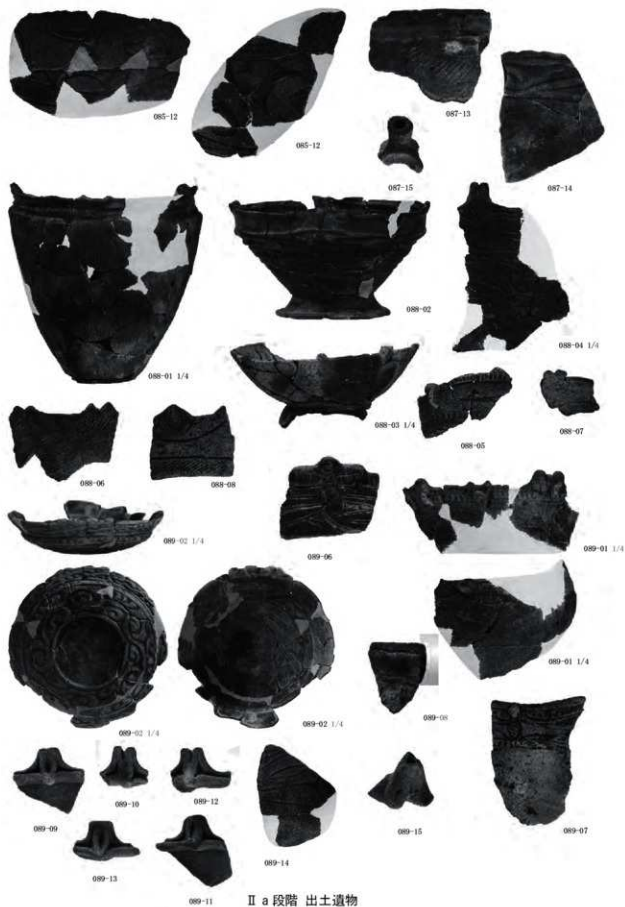
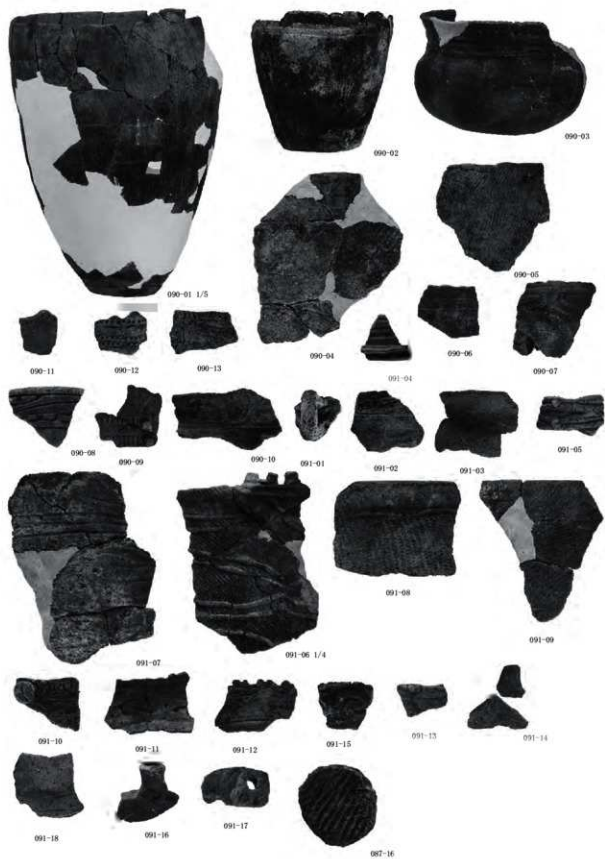
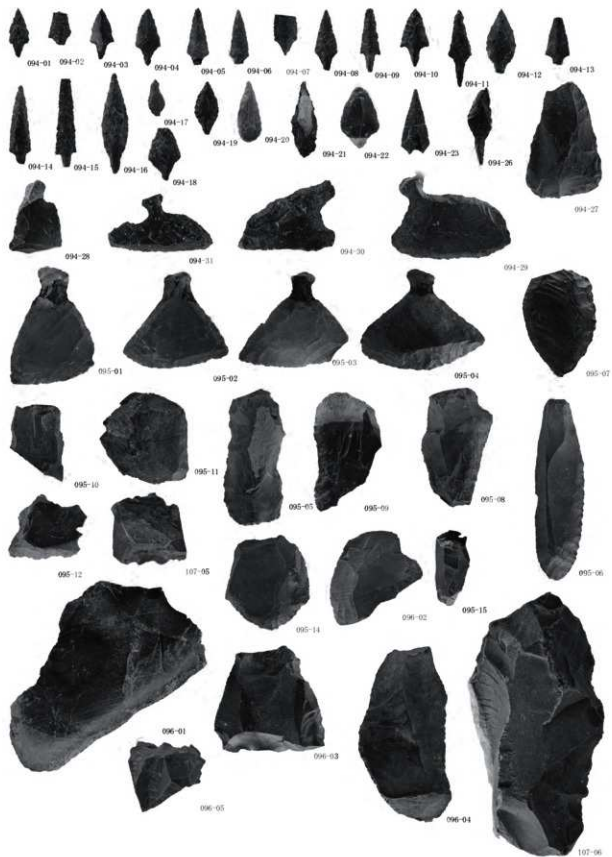


写真 61 第 1 号盛土遺構出土遺物 (5)



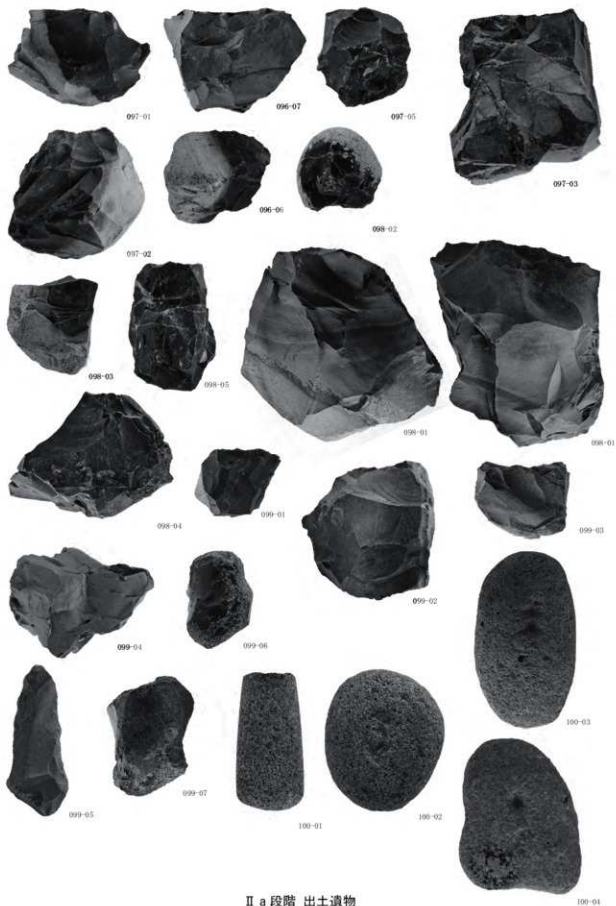
Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 62 第 1 号盛土遺構出土遺物 (6)



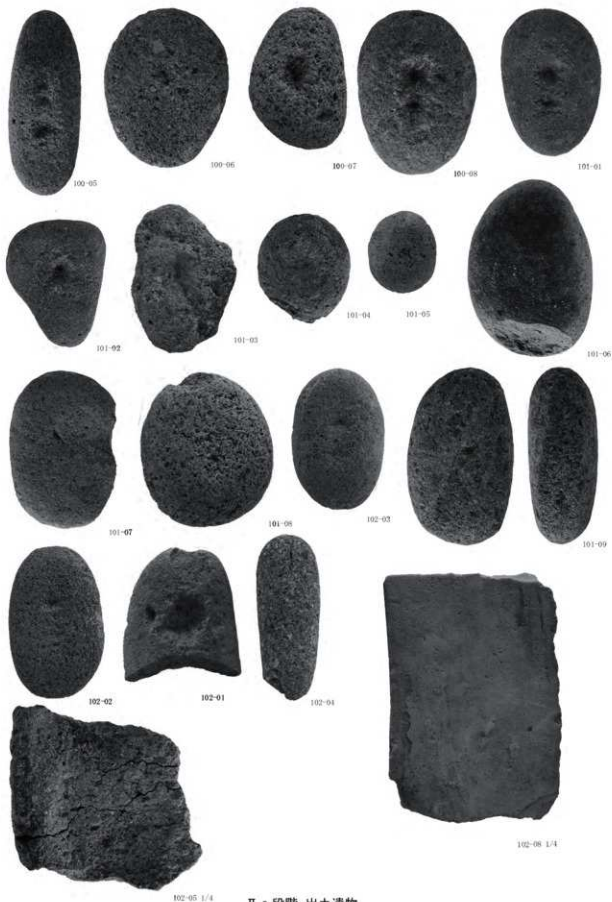
II a 段階 出土遺物

写真 63 第 1 号盛土遺構出土遺物 (7)



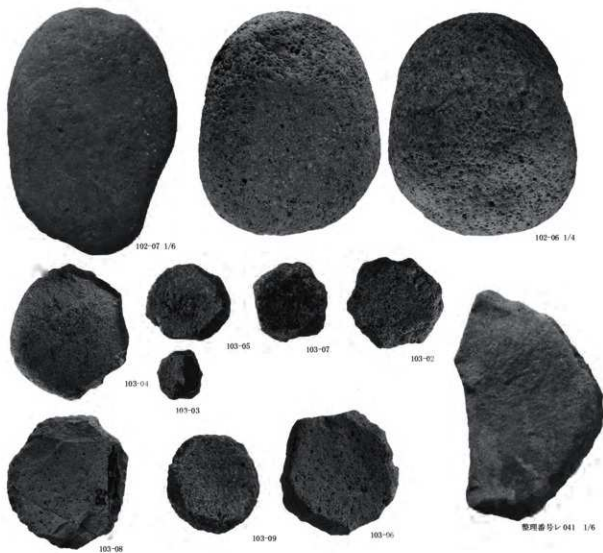
Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 64 第 1 号盛土遺構出土遺物 (8)



Ⅱ a 段階 出土遺物

写真 65 第 1 号盛土遺構出土遺物 (9)

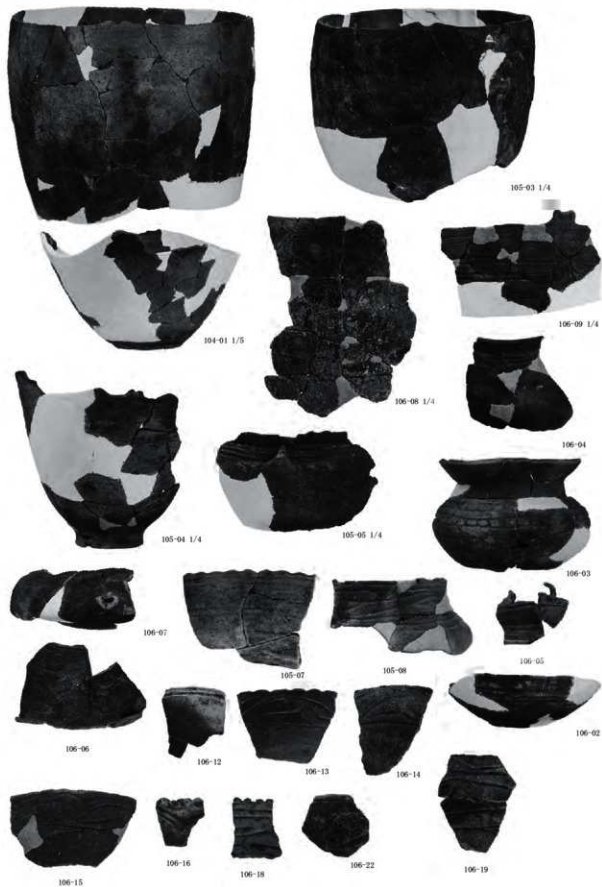


Ⅱ a 段階 出土遺物



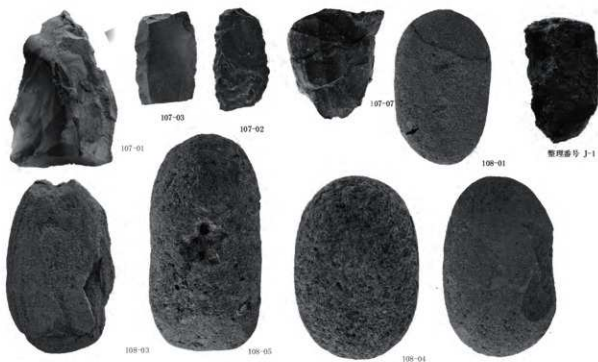
Ⅱ b 段階 出土遺物

写真 66 第 1 号盛土遺構出土遺物 (10)



Ⅱ b 段階 出土遺物

写真 67 第 1 号盛土遺構出土遺物 (11)



第1号盛土遺構 II b 段階出土遺物



II a 段階 出土遺物(土製品)

写真 68 第1号盛土遺構出土遺物(12)



110-01 1/4



111-01 1/4



110-02 1/4



111-02 1/4



111-05 1/4



111-04 1/4



112-06 1/4

Ⅲ a 段階出土遺物

写真 69 第 1 号盛土遺構出土遺物 (13)



112-03 1/4



112-02 1/4



112-05 1/4



112-04 1/4



113-01 1/4



113-04 1/4



113-03 1/4



113-05 1/4



113-07 1/4



113-08 1/4



113-14 1/4



113-13 1/4



113-15 1/4



114-07 1/4



114-01 1/4



114-02 1/4

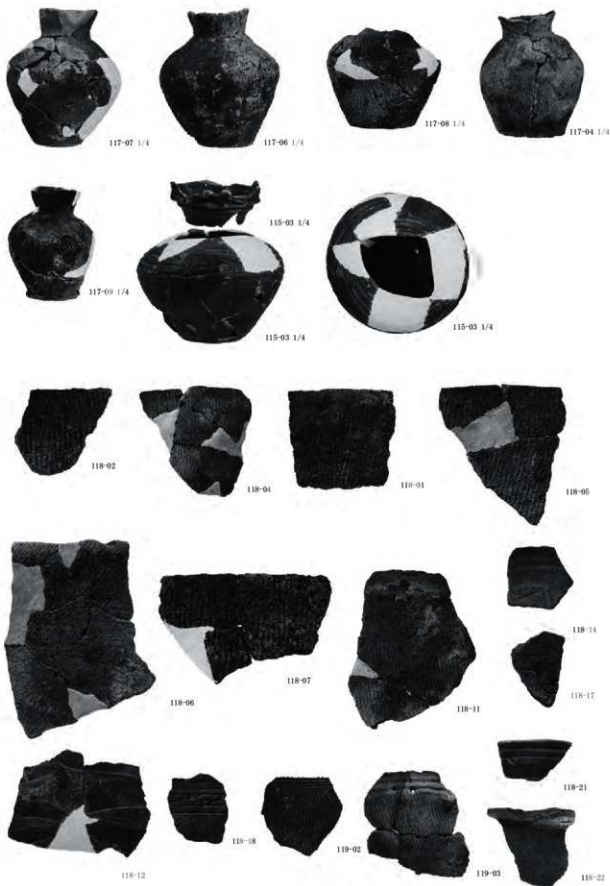
Ⅲ a 段階出土遺物

写真 70 第 1 号盛土遺構出土遺物 (14)



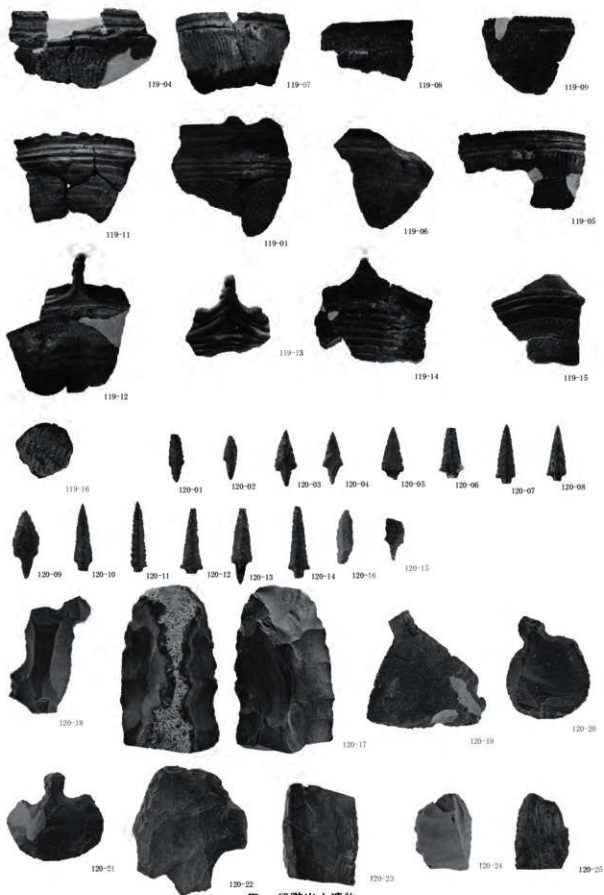
Ⅲ a 段階出土遺物

写真 71 第 1 号盛土遺構出土遺物 (15)



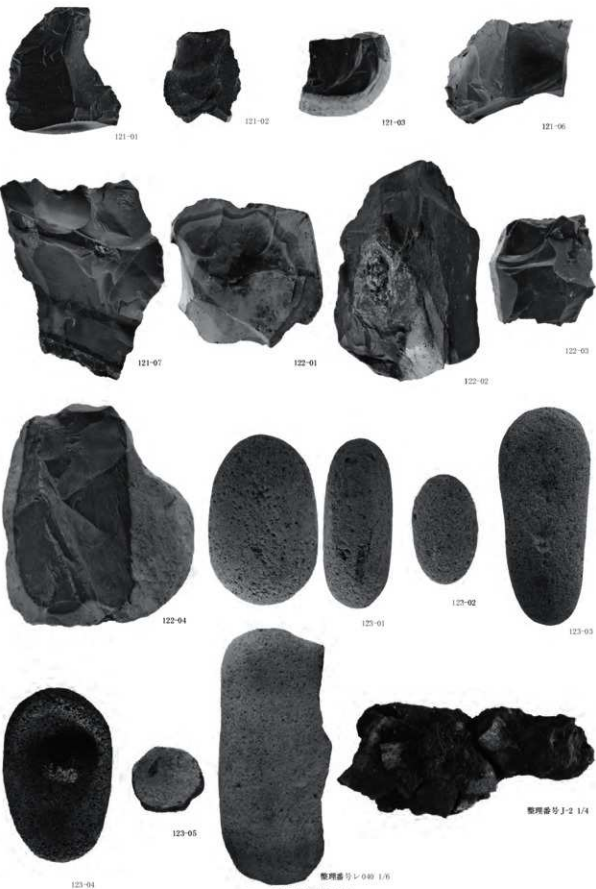
Ⅲ a 段階出土遺物

写真 72 第 1 号盛土遺構出土遺物 (16)



Ⅲ a 段階出土遺物

写真 73 第 1 号盛土遺構出土遺物 (17)



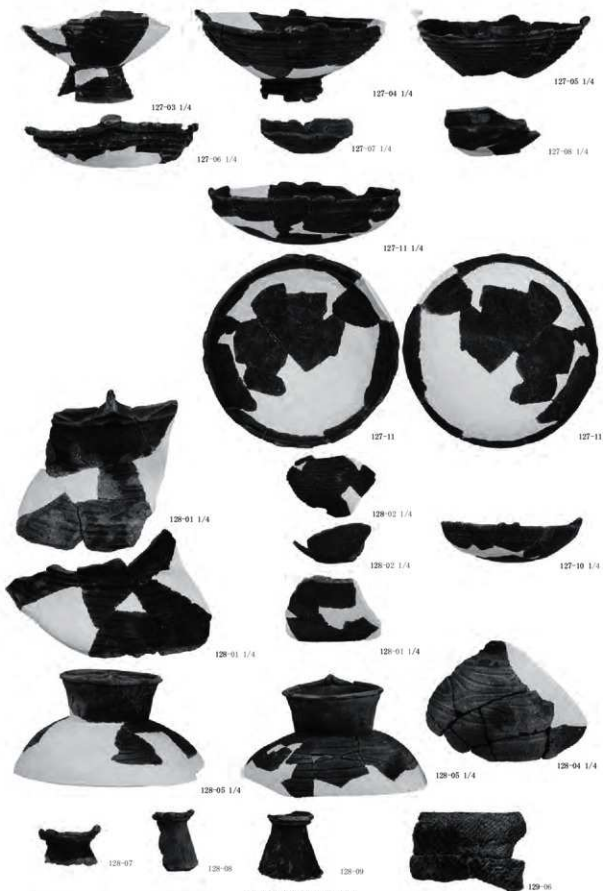
Ⅲ a 段階出土遺物

写真 74 第 1 号盛土遺構出土遺物 (18)



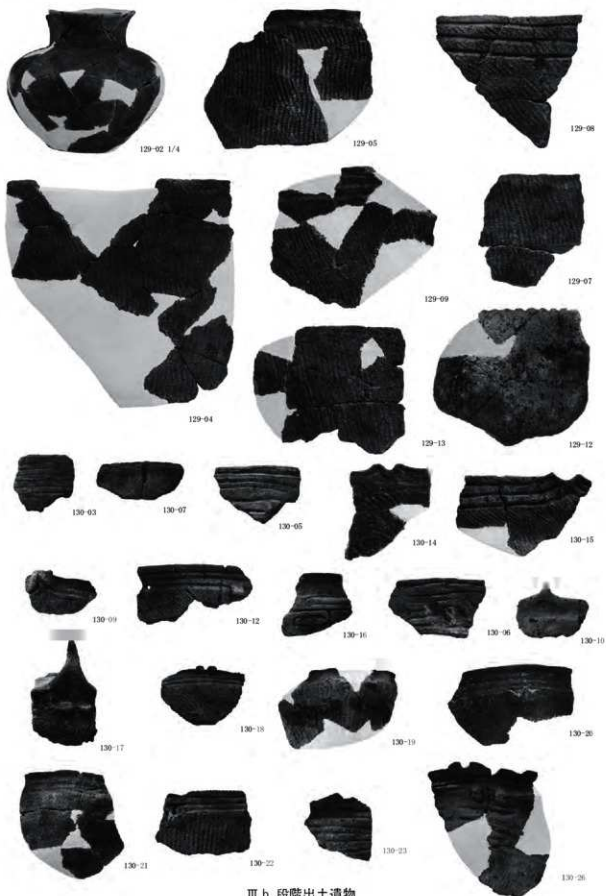
Ⅲ b 段階出土遺物

写真 75 第 1 号盛土遺構出土遺物 (19)



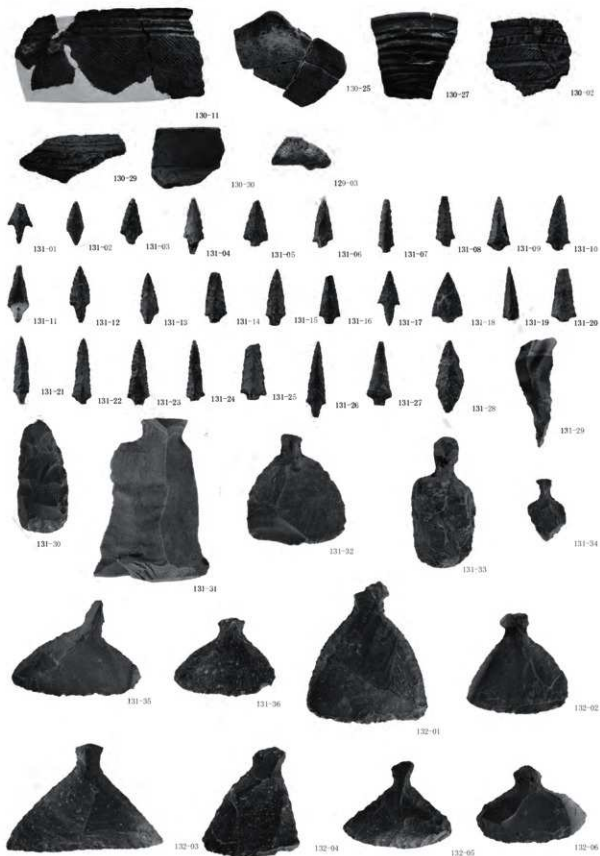
Ⅲ b 段階出土遺物

写真 76 第 1 号盛土遺構出土遺物 (20)



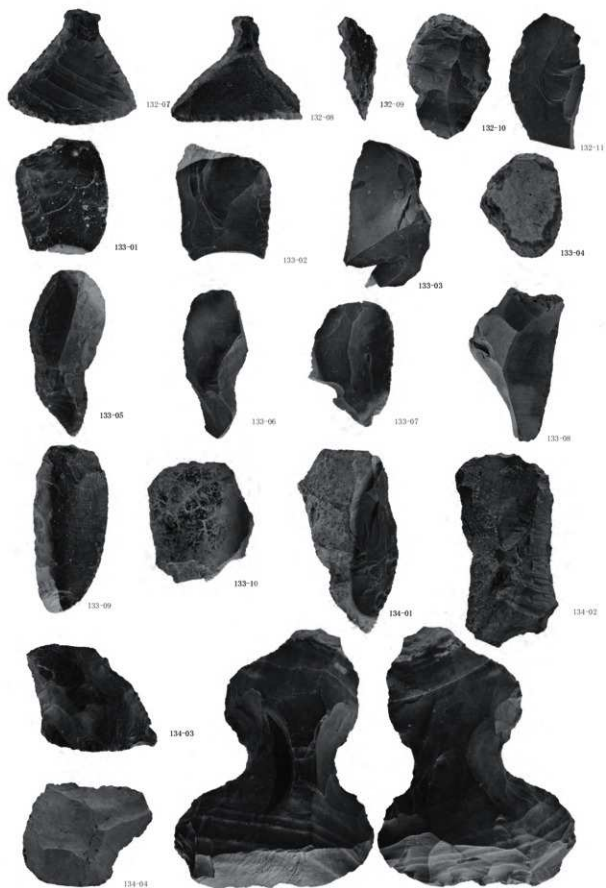
Ⅲ b 段階出土遺物

写真 77 第 1 号盛土遺構出土遺物 (21)



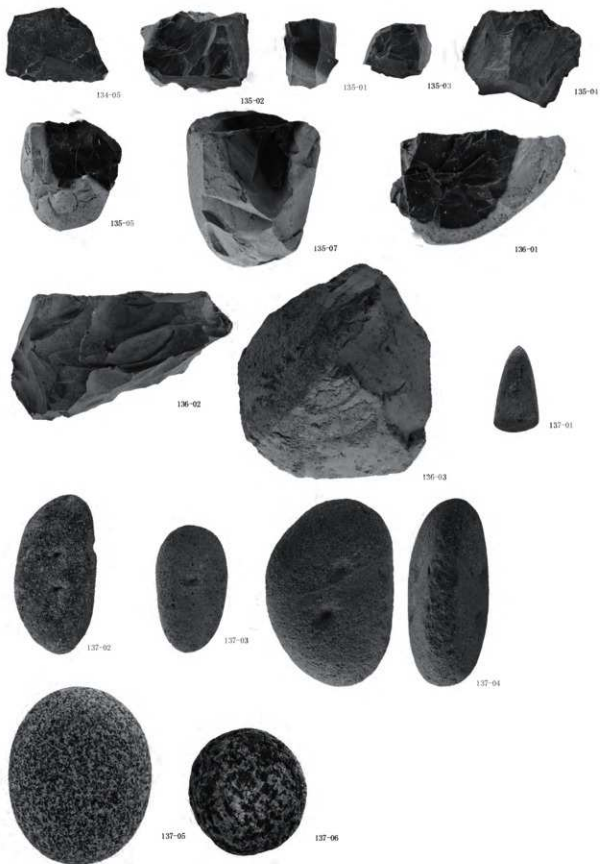
Ⅲ b 段階出土遺物

写真 78 第 1 号盛土遺構出土遺物 (22)



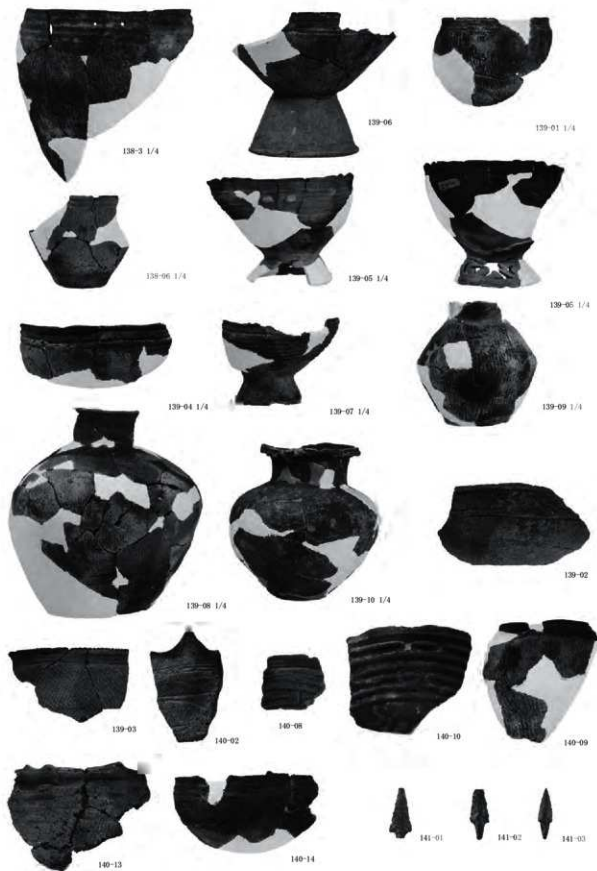
Ⅲ b 段階出土遺物

写真 79 第 1 号盛土遺構出土遺物 (23)



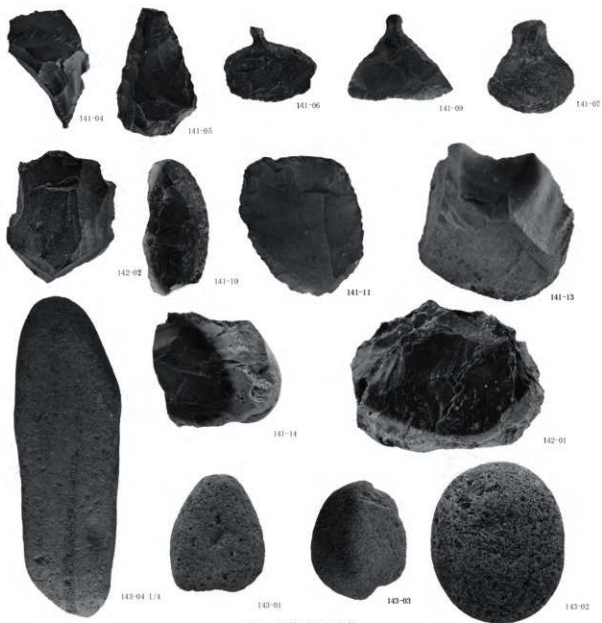
Ⅲ b 段階出土遺物

写真 80 第 1 号盛土遺構出土遺物 (24)



Ⅲ c 段階 出土遺物

写真 81 第 1 号盛土遺構出土遺物 (25)

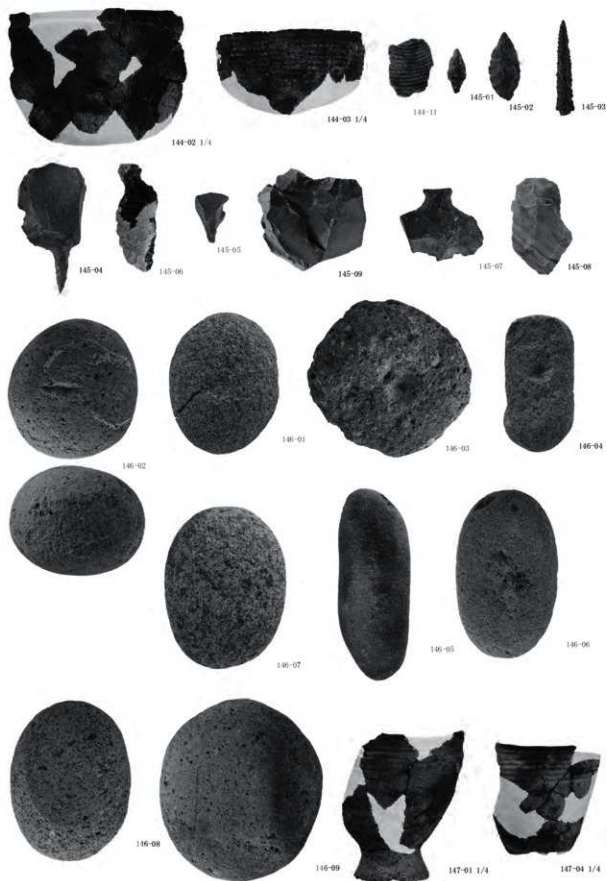


Ⅲ c 段階 出土遺物



Ⅲ d 段階出土遺物

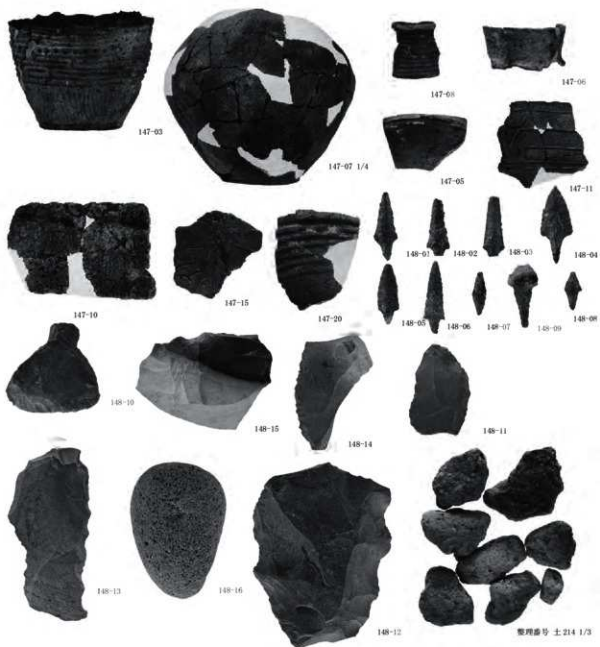
写真 82 第 1 号盛土遺構出土遺物 (26)



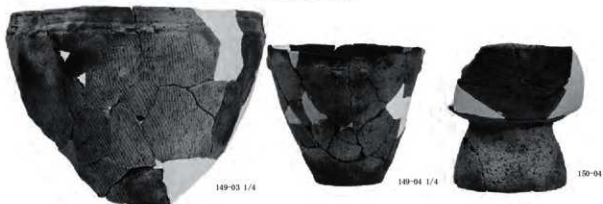
Ⅲ d 段階出土遺物

Ⅲ e 段階出土遺物

写真 83 第 1 号盛土遺構出土遺物 (27)

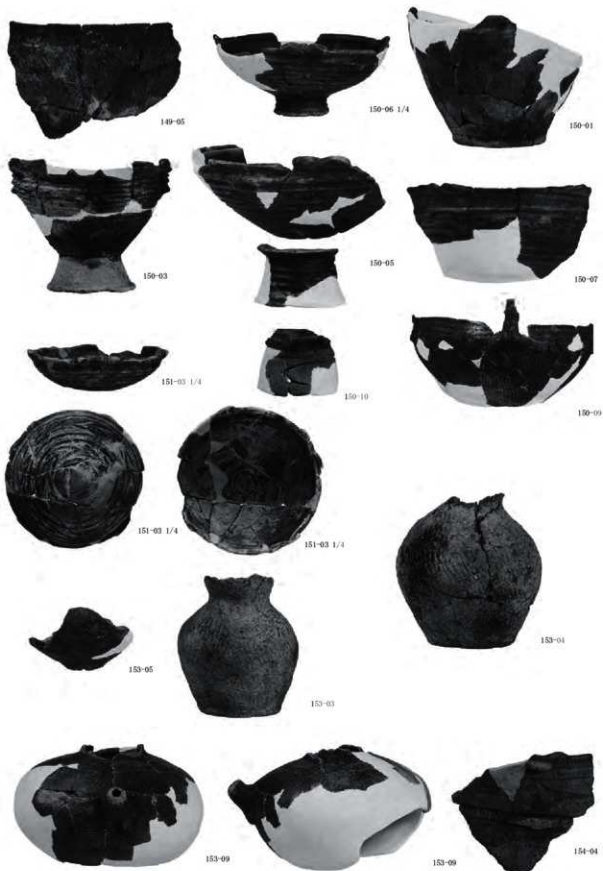


Ⅲ e 段階出土遺物



Ⅲ f 段階出土遺物

写真 84 第 1 号盛土遺構出土遺物 (28)



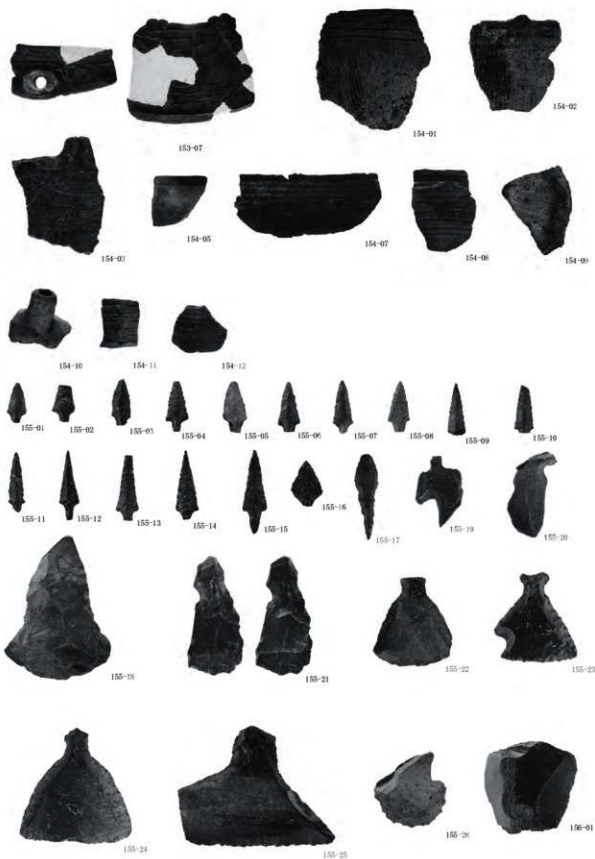
Ⅲ f 段階出土遺物

写真 85 第 1 号盛土遺構出土遺物 (29)



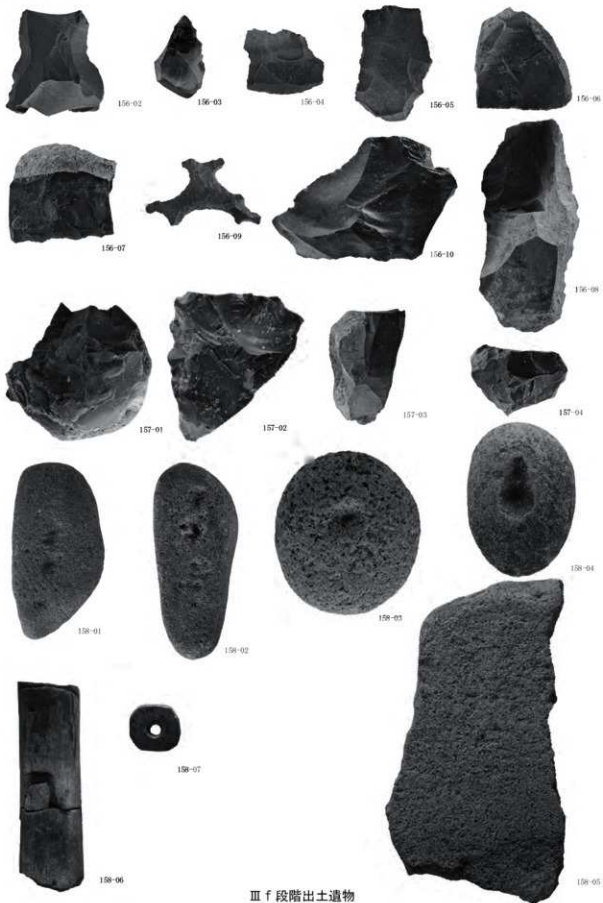
Ⅲ f 段階出土遺物

写真 86 第 1 号盛土遺構出土遺物 (30)



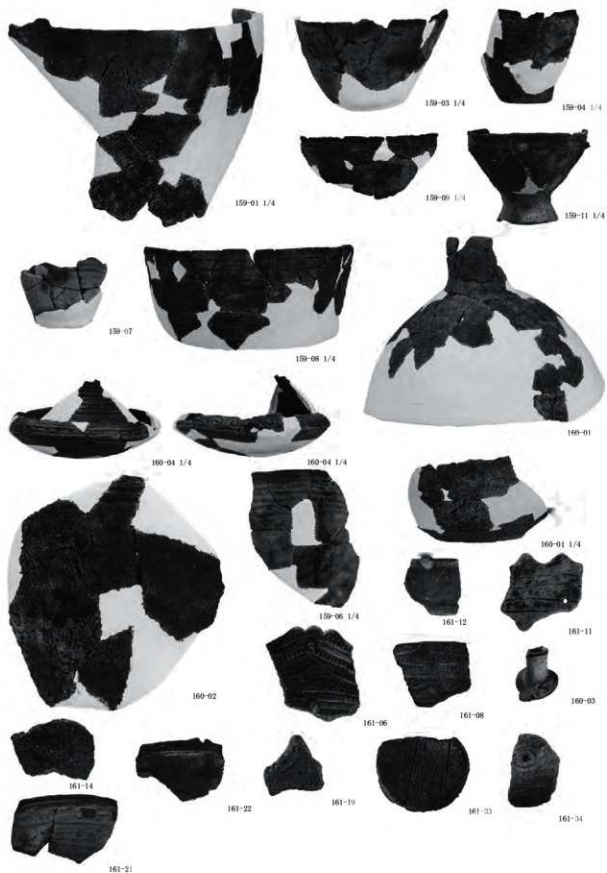
Ⅲ f 段階出土遺物

写真 87 第 1 号盛土遺構出土遺物 (31)



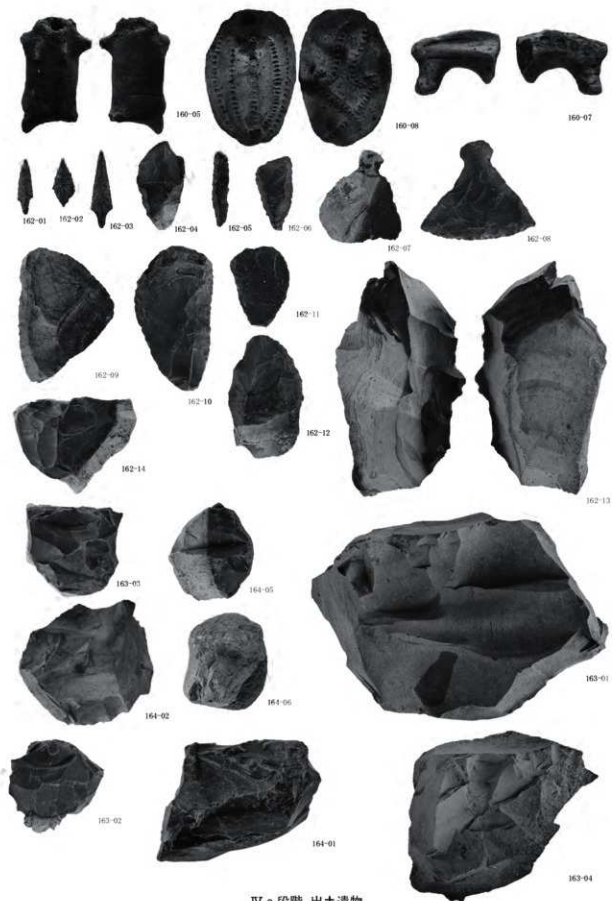
Ⅲ f 段階出土遺物

写真 88 第 1 号盛土遺構出土遺物 (32)



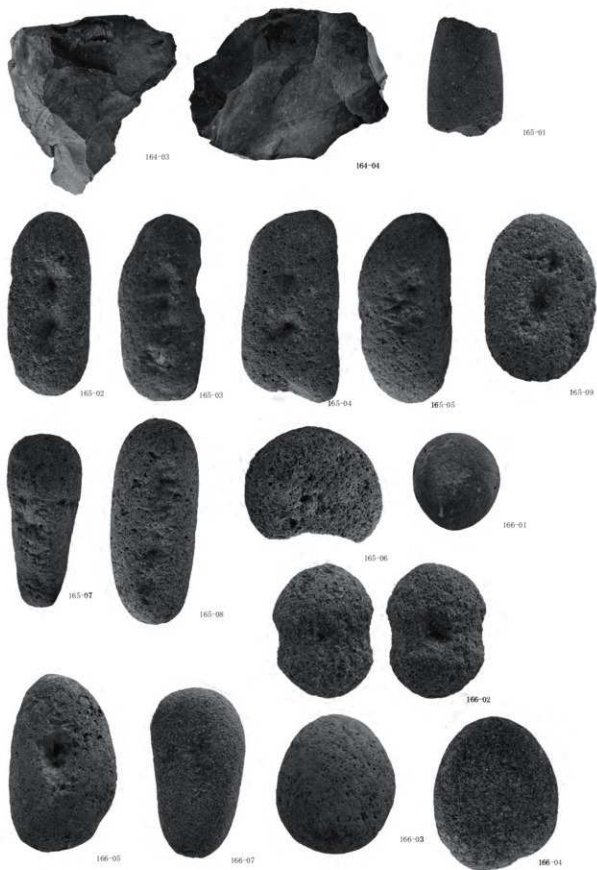
IV a 段階 出土遺物

写真 89 第 1 号盛土遺構出土遺物 (33)



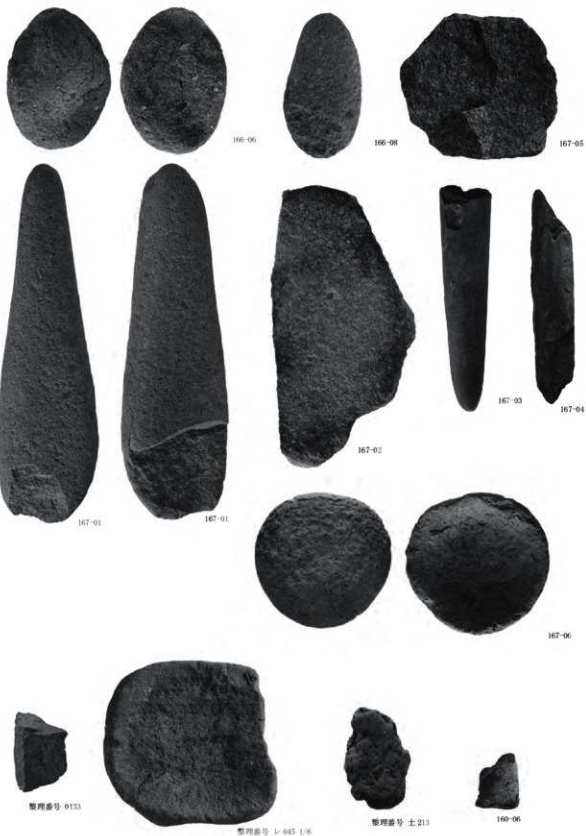
IV a 段階 出土遺物

写真 90 第 1 号盛土遺構出土遺物 (34)



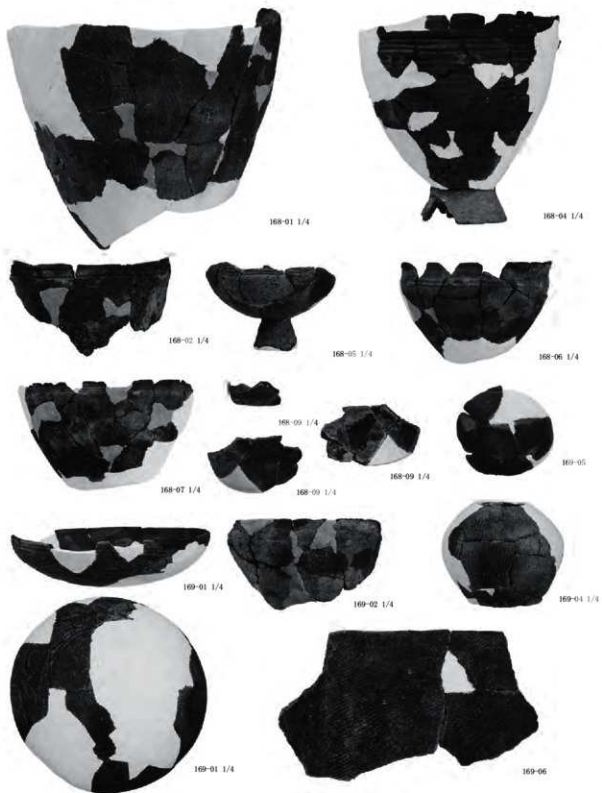
IV a 段階 出土遺物

写真 91 第 1 号盛土遺構出土遺物 (35)



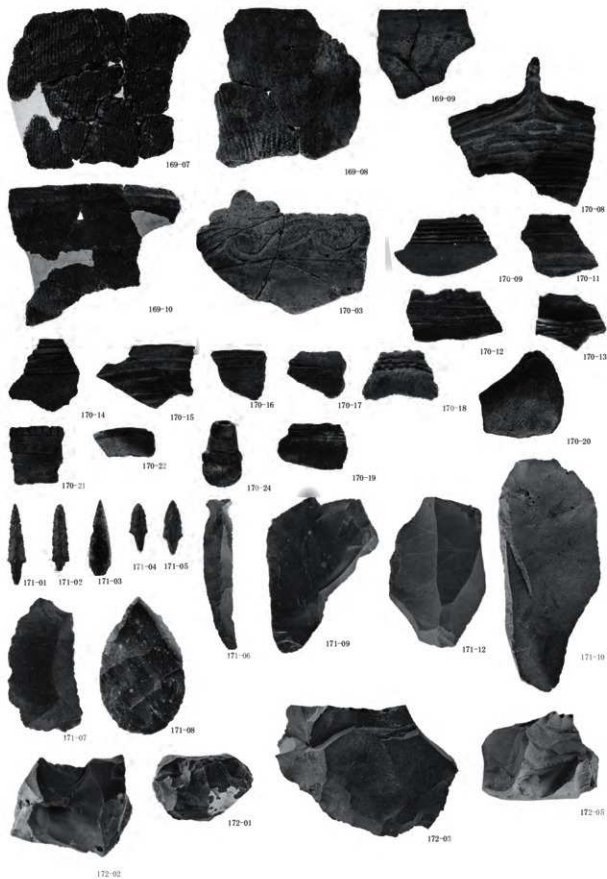
IV a 段階 出土遺物

写真 92 第 1 号盛土遺構出土遺物 (36)



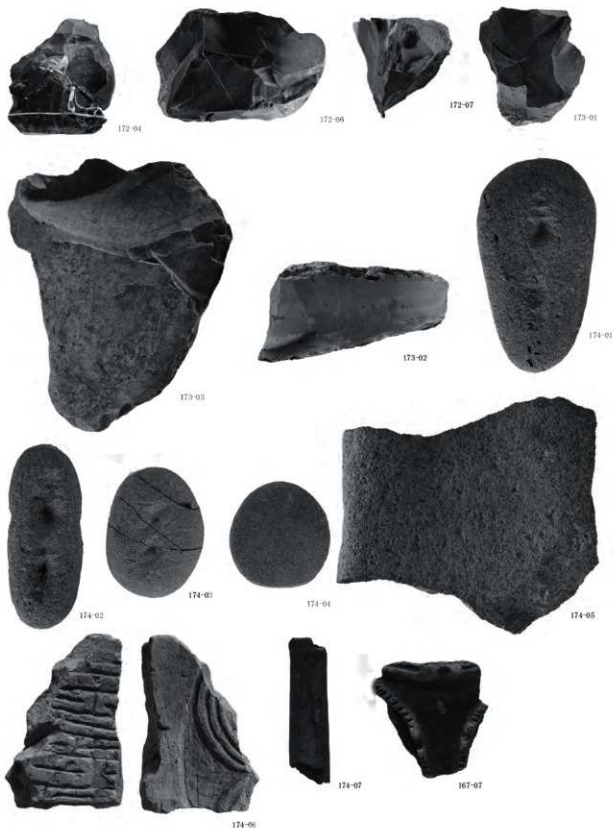
IV b 段階 出土遺物

写真 93 第 1 号盛土遺構出土遺物 (37)



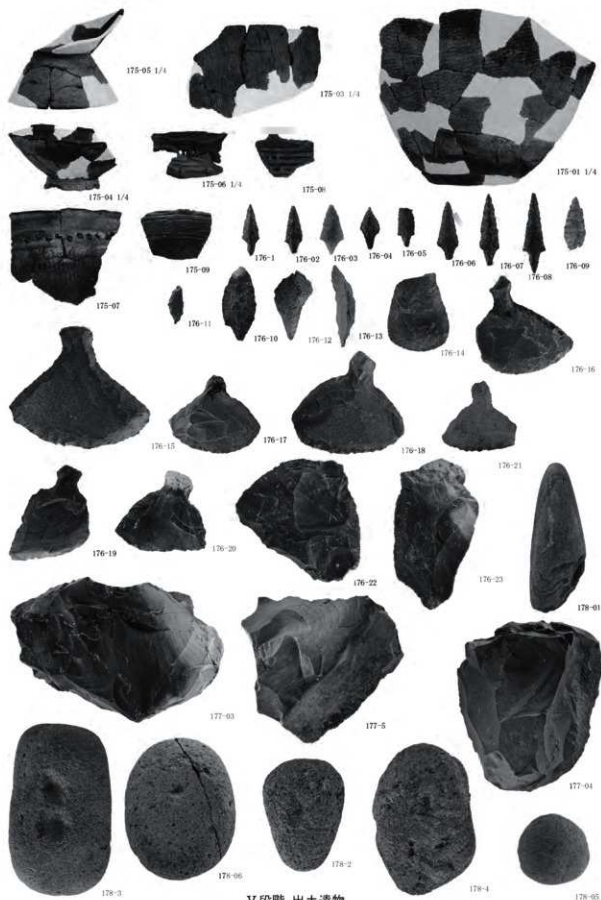
出土遺物

写真 94 第 1 号盛土遺構出土遺物 (38)



IV b 段階出土遺物

写真 95 第 1 号盛土遺構出土遺物 (39)

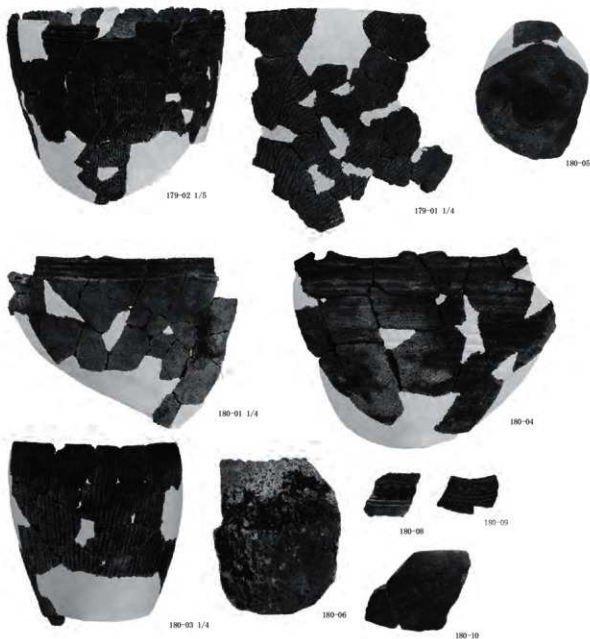


V段階 出土遺物

写真 96 第1号盛土遺構出土遺物 (40)



V段階 出土遺物



時期不明遺物

写真 97 第1号盛土遺構出土遺物 (41)

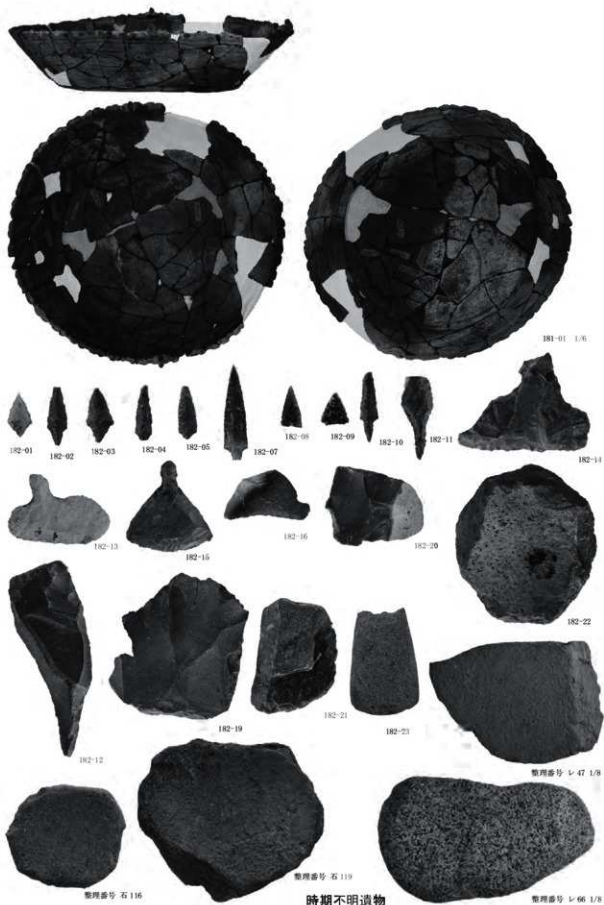
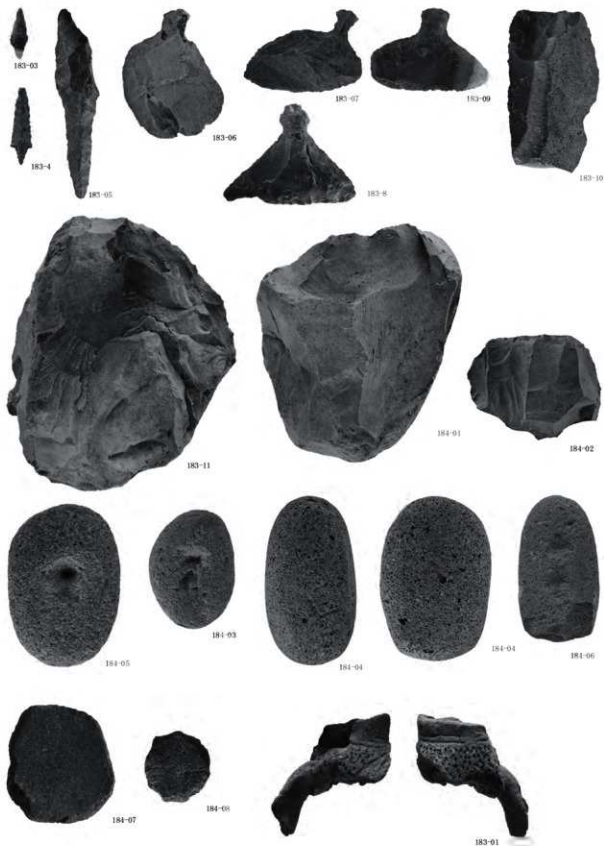


写真 98 第1号盛土遺構出土遺物 (42)



第 I 層

写真 99 遺構外出土遺物 (1)

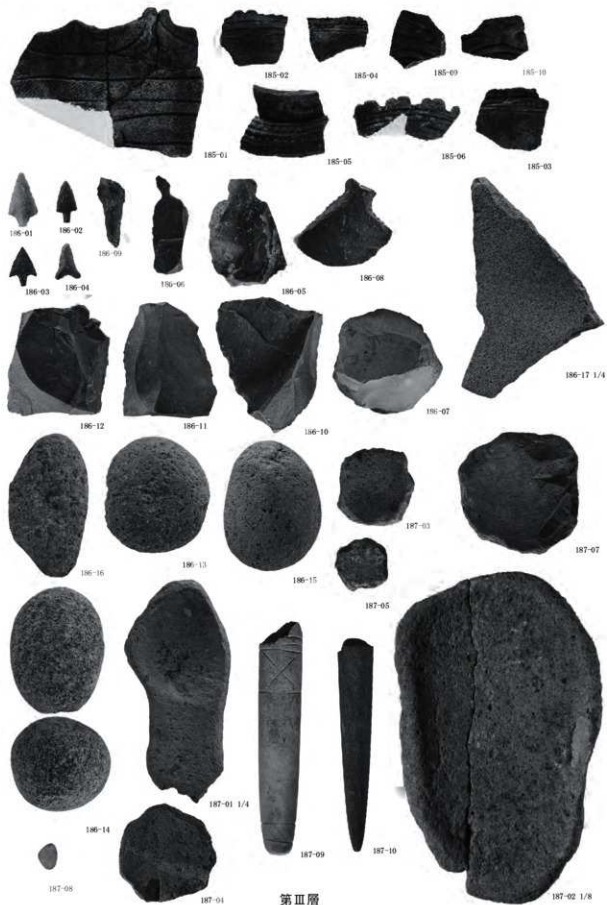


写真 100 遺構外出土遺物(2)

報告書抄録

ふりがな	かわらたい (1) いせき さん						
書名	川原平 (1) 遺跡 III						
副書名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告						
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第565集						
編著者	高橋 哲 斎藤 岳 岩井美香子 中澤寛将						
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター						
所在地	〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702						
発行機関	青森県教育委員会						
発行年月日	西暦2016年3月25日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGD2000)	調査期間	調査面積	調査原因
川原平(1)遺跡	青森県中津軽郡西目屋村大字川原平 字福岡地内	市町村	遺跡番号	北緯	東経	20130507 ? 20131114	671㎡ (報告範囲) 記録保存調査
		02343	343009	40° 31' 35"	140° 13' 31"		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
川原平(1)遺跡	集落	縄文	建物跡 5棟 土坑 32基 配石遺構 17基 土器埋設遺構 25基 焼土遺構 4基 ピット 224基 盛土遺構 1基	縄文土器(中期～晩期) 石器 土製品 石製品 漆製品 焼成粘土塊	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代中期の建物跡と土坑が確認され、小規模な集落が形成されている。 ・後期後葉～晩期後半にかけての大規模な集落跡で、遺物が大量に出土。 ・配石遺構は、晩期前半に構築されている。その内、日時計状組石遺構が2基確認されている。その周辺に土器埋設遺構が確認されており、晩期前半頃の集落が形成されている。 ・晩期後半に構築された盛土遺構が確認されている。 ・晩期後半(晩期4・5期)の土器がまともに出て出土し、壺山式土器が共存している。 ・中空動物形土製品(亀形土製品)が出土している。 		
要約	<p>川原平(1)遺跡は西目屋村役場から南西約9kmに位置し、岩木川右岸の河成段丘上に立地する。本報告は川原平(1)遺跡に関する3冊目の報告書である。今回報告範囲は2013年度に本調査に着手した区域内、調査北西側の地点である。土器・土製品が231箱、石器・製品類が61箱の合計392箱出土している。遺物のほとんどは縄文時代中期後半と、後期後葉～晩期後半に属する。また、今回報告範囲に係る自然科学分析は本書に収録しておらず、来年度以降に刊行される報告書にまとめて掲載する予定である。</p> <p>縄文時代中期後半の集落は、建物跡や土坑が確認されており、小規模な集落が営まれていたと思われる。</p> <p>後期後葉(青森県史による後期7-4期)～晩期後半(晩期5期)にかけて連続集落が営まれており、津軽ダム建設予定地内における該期の拠点的な集落と考えられる。今回の報告範囲は墓と推定される遺構が検出されており、本報告書範囲は、晩期前半の集落が形成されていたと考えられる。また、該期の配石遺構の内、日時計状組石遺構は、秋田県の大瀨遺状列石などの系譜を引く遺構と思われ、本遺跡の配石遺構は秋田県方面との関連も検討する必要がある。</p> <p>盛土遺構は、墓域の上面に構築されている。東北・北海道の各地で確認されており、土砂と共に遺物を埋蔵することによって形成されている。</p> <p>大量に出土した後期後葉～晩期後半の遺物のなかでも、晩期4・5期の資料がまともに出て出土し、これと共存して壺山式土器が出土している。北海道との関係を考える上でも非常に貴重な資料である。</p> <p>なお、川原平(1)遺跡の発掘調査は2015年8月に完了し、今後数冊の報告書が刊行される予定である。</p>						

青森県埋蔵文化財調査報告書 第565集

川原平（1）遺跡Ⅲ

—津軽ダム建設事業に伴う発掘調査報告書—

発行年月日 2016年3月25日

発 行 青森県教育委員会

編 集 青森県埋蔵文化財調査センター

〒038-0042 青森市新城字天田内152-15

TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702

印 刷 青森コロニー印刷

〒030-0943 青森市幸畑字松元62-3

TEL 017-738-2021 FAX 017-738-6753
